

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】 (五二) 遞信省ノ支出ニ係ル

二七〇、七六九^円一七五

へ大阪市住友某ヨリ購入ニ係ル一心入「ゴム」中間線百二十海里五ノ内七十九海里二七五ニ對スル代價ナリ本品へ下關釜山間海底電信線増設用トシテ大正八年二月末日ヲ納期トシ七年十月購入ノ契約ヲ爲シタルモノナルモ該工事ハ本品納入前在來品ヲ一時差繰リ七年十一月中竣功ヲ告ケタルモノニシテ其使用材料中一心入深海線四十一海里二二五ハ遞信費及電信電話營業費所屬物品ヨリ繰替へ其他ハ五年度ヨリ未使用ノ儘繰越セル大正三年臨時事件費所屬品ヲ充用シタルモノナルヲ以テ前掲七十九海里餘ノ海底線ハ特ニ購入ノ必要ナキモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ海底線ニ障害アリタル場合ニ急速改修ヲ果サンカ爲電線ヲ貯藏シ置クノ要アリ前記海底線ハ臨時事件費存積中ハ同費支辨工事ノ改修用ニ充テシカ爲殘存セルモノナリ又海底線延長ニ伴ヒ相當豫備數必要アリト謂フニ在リ然レトモ豫算上特定シタル臨時事件費支辨海底線敷設工事ハ孰モ完成ヲ告ケ本工事ハ主トシテ其殘存材料ヲ使用シタルモノナルヲ以テ他ノ費途ニ屬スル物品ヲ差繰リタル部分ニ對シ之カ繰戻ノ爲代品ヲ購入スルハ格別其他ノ部分ニ對シテハ之ヲ購入スルノ必要ナク又將來改修ノ必要ヲ生スルコトアリトスルモ海底線貯藏高ハ常時相當ノ豫備品現在セルヲ以テ之ヲ一時差繰リ使用スルニ於テハ事業上支障ヲ生スルノ虞ナキモノト認メサルヲ得ヌ要スルニ本件ハ工事施行上不必要ノ物品ヲ購入シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

時局以來大正三年臨時事件費ヲ以テ布設ニ係ル海底電信線ハ八百七十餘海里ニ達スルヲ以テ之カ障礙修理用トシテ同費所屬ノ豫備線ヲ相當存置スルノ要アリ殊ニ海底線ハ普通物品ト其ノ趣ヲ異ニシ管ニ之カ購入上多數ノ日子ヲ要スルノミナラス戰時ニ際シテハ禁制品トシテ取扱ハレ外國製品ノ輸入全ク杜絶スルニ至ルヲ以テ此ノ點ヨリ見ルモ平素相當數量ヲ貯藏スルハ事業上極メテ必要ナリトス本件ハ前叙ノ目的ヲ以テ存置セル海底線ヲ一時増設工費用ニ繰替使用シタルモノナルヲ以テ之カ代品ヲ購入シ其ノ繰戻ヲ爲シタルハ不當ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】

(五三) 東部遞信局ノ支出ニ係ル

六、五六〇^円一〇四

へ東京廣島間電話一回線架設工費用トシテ大正八年三月二十五日乃至同三十一日ヲ納期トシ購入セル物品代ニシテ外ニ本工事ノ爲本省ヨリ交付ヲ受ケタル物品價格壹萬九百五拾八圓四拾錢九厘ト共ニ八年度ニ於テ電話交換擴張工費用ニ組替ヲ爲シタルモノナリ右工事ハ七年九月本省ヨリ施行ノ命令ヲ受ケ同年十二月起工八年三月工費貳拾九萬八千六拾六圓拾六錢五厘ヲ以テ竣功ヲ告ケタルモノニシテ年度末ニ於テ特ニ此等物品ノ購入ヲ爲スノ要ナキモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ本工事ハ年度内ニ豫定ノ一部ヲ完了スルコト能ハサリシモ臨時事件ノ關係上本線ノ通話ハ一日モ緩ウスヘカラサルヲ以テ假設ノ方法ニ依リ之ヲ開始スルト共ニ其殘工事を要スル材料ヲ購入シ置キ次年度ニ於テ同一區間ニ施行スヘキ擴張工事ト關聯シ右購入材料ヲ使用シテ之ヲ完成セシメタリト謂フニ在リ然レトモ本件工事ノ年度内ニ完成シタルコトハ竣功明細書其他ノ關係書類ニ依リ明ナルノミナラス該明細書ニ依ルモ殆ト豫定數量ニ對スル材料ヲ使用セルニ徴シ一部竣功未了ニ屬スルモノアリト認ムルヲ得ヌ要スルニ本件ハ工事施行上不必要ノ物品ヲ購入シ之ヲ他ノ費途ニ組替ヘタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件購入ニ係ル物品ハ本省ヨリ交付ニ係ル物品ト共ニ大正三年臨時事件費支辨東京廣島間電話一回線架設工費用ニ必要ナル物品ナルモ年度内工事ノ一部完了セサリシ結果次年度ニ於テ本工事ト同一區間ニ施行スヘキ電話交換擴張工事ト關聯シテ其ノ未了部分ヲ完成セムカ爲該擴張工費用ニ組替タルモノナリ偶、竣功明細書等ニ前叙ノ關係ヲ詳悉ヲ缺キシハ遺憾トスル所ナルモ工事施行上不必要ナル物品ヲ購入シタルモノニアラサルヲ以テ不當ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

特別會計

大藏省所管

大正七年度 遞信省 (五三)

專賣局

歳出

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ九件(五四)

四二、〇三九^円五六〇

第一款 專賣局作業費 第二款 事業費

【報告】

(五四) 名古屋外八專賣支局ノ支出ニ係ル

四二、〇三九^円五六〇

ハ廳舎及倉庫ノ附屬門、木柵、石垣ノ新設並敷地水面ノ埋立、盛土、地均等ノ工費ニシテ廳舎及倉庫ノ新營ハ營繕費ノ支出ト爲セルニ拘ラス此等附屬工事ハ本費ノ支辨ト爲シタルモノナリ右ハ大正六年度検査報告ニ掲載セシト同シク本費ノ支出ト爲スヘキモノニ非ス殊ニ函館專賣支局水面埋立ノ如キハ本年度營繕費豫算中特ニ積算シタルモノニ係レリ依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス〔大正六年度(三三)三〇二頁參看〕

【辨明】

專賣局所屬固定資本ノ維持修理及補充ニ屬スルヲ以テ作業會計法第四條ニ依リ支出シタルモノニシテ豫算ノ目的外支出ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○會計法第十二條第一項(三九五頁參看)

○作業會計法(明治二十三年三月十八日)

第四條 固定資本ノ維持修理及補充ハ作業所特別會計ノ歳入ヲ以テ支辨スヘシ

帝國鐵道

歳入

違約金ヲ徴收セス契約ノ解除ヲ爲シタルモノ一件(五五)

四五、四九五^円〇〇〇

歳出

工事施行ニ際シ監督其宜シキヲ得サルモノ一件(五六)

四三五^円九七一

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ二件(五七)(六四)

一七五、八一五^円八四六

工事施行上適當ノ注意ヲ缺キ工費ヲ無効ニ歸セシメタルモノ三件(五八)(五九)(六三)

二一五、八三六^円八〇〇

物件購入代價ノ増價ヲ爲シ且不良品ヲ檢收シ遲滞ノ責任ヲ免除シタルモノ一件(六一)

一一三、四七四^円二〇〇

繼續費ニ非サル經費ヲ以テ數年度ニ涉リ一定金額ノ支出ヲ協定シタルモノ二件(六一)(六五)

七五、五六六^円〇五〇

其他不當ナルモノ一件(六〇)

一、九一四^円四二四

合計十件

六九二、〇四三^円二九一

資本勘定

歳入

第一款 鐵道資金收入 第三項 雜收入

【報告】

(五五) 本項決算額ノ外鐵道院ニ於テ違約金ヲ徴收セサリシモノ

四五、四九五^円〇〇〇

アリ右ハ大正六年六月京都市上京區淺田某ノ請負ニ係ル小濱線第五工區及同年三月鳥取縣西伯郡成實村赤澤某ノ請負ニ係ル西條線第三工區各建設工事契約保證金即チ前者參萬參千六百五拾圓後者壹萬千八百四拾五圓ニ相當スルモノニシテ請負人ヨリ契約ノ解除ヲ請求シタルトキハ違約金トシテ契約保證金ノ全部ヲ取得スルノ約款ヲ付シ竣功期限ヲ八年一月トシ契約シタルモノナルニ前者ハ七年四月後者ハ同年五月孰モ物價勞銀ノ騰貴ヲ理由トシ契約解除ヲ出願セシヲ以テ之ヲ許可スルト共ニ契約保證金ヲ沒收スルコトトシ請負人ニ通達セルニ拘ラス其情願ニ基キ之カ免除ヲ爲シタルモノナリ右ニ關シ當該官吏説明ノ要旨ハ請負人ノ情願ニ依リ契約ヲ解除シ保證金ヲ沒收スルコトトセシモ未タ其處分ヲ了セサリシ以前違約金免除ノ哀願アリ當時物價勞銀騰貴ノ爲一般請負人ニ於テモ損失ヲ蒙ルモノ多ク工事ノ遲延ヲ來ス處アリシヲ以テ七年八月一般ニ對シ一定ノ條件ヲ有スル工事ニ限り違約金ヲ徴セスシテ契約解除ノ上更ニ隨意契約ヲ以テ施行ノ事ニ決議セリ若本請負人ニ於テモ契約ノ出願ヲ爲ササリシトセハ當然右決議ニ基キ違約金ヲ免除セラルヘキモノナリシヲ以テ權衡上之ヲ免除シタリト謂フニ在リ然レトモ七年八月ノ決議ニ基キ契約ノ解除ハ物價勞銀ノ騰貴ニ因リ工事ノ進捗ニ支障ヲ及ホス處アルモノニ對シ已ムヲ得サル處置ニ出テタルモノナルヲ以テ査定實費見込額ニ依リ更ニ請負ニ應スルモノニ限り適用スヘキ

モノニシテ本件ノ如ク請負人ノ情願ニ依リ單ニ契約ノ解除ヲ爲スモノニ對シ之カ違約金ヲ免除スルカ如キハ其措置當ヲ得タルモノニ非ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 本件違約金ハ當初請負人ノ願出ニ依リ契約ヲ解除スルト共ニ之ヲ取得スルコトトナシタルニ工事請負人ハ一設ニ物價及勞銀ノ騰期セサル暴騰ノ爲到底請負工事ヲ進捗完成スルヲ得サル情態ニ陥レル事情アリタルニ依リ鐵道事業ノ遂行上支障ナキヲ期スル爲七年八月ヲ以テ同年三月以前契約ニ係ル請負工事中未成部分請負金額ト鐵道院實費見込額トノ差額カ未成部分請負金額ノ百分ノ五ヲ超過スルモノニ對シ進シテ一般ニ違約金ヲ徵セスシテ契約ヲ解除スルコトトナシタルカ故ニ同一事情ノ下ニ在ル請負人ニ對スル處理上差別ヲ爲スヲ適當ナラスト認メ同八月ノ一般の決定ノ趣旨ニ基キ本件モ亦無償解約ノ取扱ヲナセリ仍テ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

歳出

第一款 鐵道建設及改良費 第一項 建設費

【報告】 (五六) 鐵道院ノ支出ニ係ル

四三五 九七一

ハ東京市鹿島某ノ請負ニ係ル大湊線第一工區土工其他新設工事中野邊地川橋梁ノ橋臺橋脚工事費貳千九拾五圓拾七錢四厘ノ内ニシテ千七百五拾九圓貳拾錢參厘ハ大正六年度ニ屬シ外ニ官給材料價格貳千參百參拾四圓八拾貳錢五厘ヲ要セリ抑本件工事ハ五年十月請負ニ付シ七年八月解約ノ上橋臺橋脚傾斜シ八年十一月荷重試驗ヲ行ヒタルニ結局川上ニ於テ六寸川下ニ於テ二尺二寸ノ沈下ヲ來セリ之ニ關シ當局者調査ノ結果ニ依レハ右ハ請負人ニ於テ橋脚基礎工事施行ニ當リ監督者ノ承認ヲ經ス任意夜業ヲ爲シ遺形ノ支障ト爲ル荷重ノ約半數ヲ取卸シ作業中降雨ニ際シ休止シタル爲箱梓ハ川下ニ於テ約二尺五寸浮上リタルヲ以テ梓ノ一隅ニ穿孔シテ漲水セシメ復舊ヲ計リシニ約五寸沈下シタルニ由リ其上ニ増混凝土ヲ施シ傾斜面ヲ水平ト爲シタル上軀體凝土ヲ築造シタルモノナルニ拘ラス現場監督員ハ故意ニ該事故ヲ隱蔽シタルカ爲此等缺陷ニ心附カス工事受渡ヲ了シ工費ノ仕拂ヲ爲シタルモノナリ本件橋脚傾斜ノ結果之カ改築工事ハ鐵道院ニ於テ施行シ之ニ要スル經

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

費ハ請負人ノ負擔ト爲シタリト雖建築列車運轉ニ障礙ヲ來シ延テ工事ノ進捗ヲ妨ケタルカ爲途ニ八年度ニ於テ工費參千五百參拾餘圓ヲ以テ假橋ヲ架設スルノ已ムヲ得サルニ至リシカ如キハ畢竟工事施行上監督其宜シキヲ得サルニ因ルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

但シ八年度ニ於テ參千五百餘圓ヲ以テ假橋ヲ架設スルニ至リシハ主トシテ野邊地川橋梁並橋梁前後ノ土工工事未竣成ノ結果ニ外ナラス

第二項 改良費

【報告】 (五七) 鐵道院ノ支出ニ係ル

一六九 六二八 二四六

ハ足尾線大間々原向間線路法張石新設原向足尾兩驛合宿所新築木更津線姉ヶ崎檜葉間海岸石垣改築及東海道本線茅ヶ崎平塚間三十八哩二十鎖附近築堤防護等豫定工費拾八萬五千四百拾圓ノ内ニシテ其他ハ大正八年度ニ屬スルモノナリ右ハ當初收益勘定歳出第一款鐵道作業費第一項事業費ヲ以テ施工シタルモノナルニ爾後其益金ヲ増加セシムルカ爲之ヲ本費ノ支辨ニ變更シタルモノニシテ右ノ外同一目的ヲ以テ費途ノ變更ヲ爲シタルモノ百四十餘件工費七拾四萬七千餘圓ニ及ヘリ之ニ對シ鐵道大臣辯明ノ要旨ハ時局ノ影響ニ由リ運輸數量ノ激増ニ伴ヒ歲入ヲ増加シタリト雖事業増進物價騰貴等ノ爲事業費モ亦増加スルノ已ムヲ得サル實況ニ至リタルヲ以テ事業費ノ膨脹ヲ適當ニ控制スルノ必要ヲ認メタルニ因ルモノニシテ支出科目ノ更正ヲ爲シタルハ之ヲ改良費ニ移スヲ適當ノ工事ト認メタルカ爲ナリト謂フニ在リ然レトモ前掲足尾線ノ如キハ本年度新ニ買收セル線路ナルヲ以テ既定改良費豫算中此等ノ工費ヲ包含セサルコト明ナルノミナラス木更津線及東海道本線ニ於ケル工事モ亦孰モ風水害ノ復舊ヲ目的トスルモノナルヲ以テ其性質收益勘定ノ費途ニ屬シ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非ス而シテ當時收益勘定事業費支出見込額ハ豫算ノ範圍内ニ在リシノミナラス資本勘定ニ繰入ルヘキ益金見込額ハ參千五百拾參萬餘圓ニ上リ豫算ニ比シ九百參萬餘圓ヲ増加スヘキ狀況ニシテ事業費ノ支出ヲ控制スルノ必要アリシモノト認

大正七年度 帝國鐵道 (五七)

【辨明】

メ難シ要スルニ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス
本件足尾線大間々原向間線踏張石新設原向足尾兩驛合宿所新築工事ハ改良費支辨トナスヲ以テ相當トシ又木更津線姉ヶ崎橋脚間海岸石垣改良及東海道本線茅ヶ崎平塚間築堤防護工事モ亦單ニ風水害ノ復舊工事ニ止マルモノニアラサルヲ以テ改良費支辨トナスヲ相當トス仍テ豫算目的外ノ支出ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【案決】 承認

(參照) ○會計法第十二條第一項(三九五頁參看)

【報告】

(五八) 鐵道院ノ支出ニ係ル

一一〇、一八二、六六〇

ハ新潟市木戸某外二名ノ請負ニ付シ施行シタル磐越西線五十島馬下間及荻野豐實間費實日出谷間防雪工事費貳拾壹萬參千六百七拾九圓參錢ノ内ニシテ七萬五千六百六拾九圓ハ大正六年度ニ壹萬七千八百貳拾七圓參拾七錢ハ八年度ニ屬シ外ニ七年度迄ニ「セメント」火山灰、石灰等ノ官給品價格五萬九千五百五拾七圓五厘ヲ使用セリ本工事ハ防雪堤及雪覆ヲ設置セントスルモノニシテ六年七月之ヲ請負ニ付シタルモノナルニ九月ニ至リ混凝土ノ調合歩合ヲ變更シ當初石垣練積用等ハ「セメント」一、火山灰一、砂八、砂利一四擁壁増築及側溝用等ハ「セメント」一、火山灰一、砂六、砂利十二ノ割合ナリシヲ「モルタル」ヲ使用スヘキ工事ノ一部ヲ除キ「セメント」一、火山灰四、石灰三、砂十六、砂利三十二トシ其功程僅ニ四五分ニシテ嚴寒ノ季ニ入り加フルニ風雪ノ爲殆ト中止ノ折柄七年一月以降ノ積雪ニ因リ既成部分ヲ崩壞セラレ其損失額請負工費ノミヲ以テスルモ五千餘圓ニ及ヒ既成部分ノ撤去改修工費並官給材料損失額等ヲ加算スルトキハ壹萬七千餘圓ニ上リ設計及施工其當ヲ得サリシモノト認メラルルノミナラス工事監督ニ從事セル職員中請負人ヨリ收賄シ又請負人木戸某ノ使用人等共謀シテ官給「セメント」ヲ竊取賣却シタルノ事實アルヲ以テ之カ事山ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ

混凝土ノ調合割合ヲ變更シタルハ「セメント」拂底ノ爲工事ノ進捗ヲ妨ケラルル虞アリシニ由ルモノニシテ該調合ハ他ニ實例ナキモ「セメント」一、砂五調合ノ強度ニ相當スルモノト認メ且「セメント」ノミ調合ノ「モルタル」又ハ混凝土ハ施

行後約一箇月間ヲ經過セハ其強度増進ノ程度微少ナルモノ「セメント」火山灰又ハ「セメント」、石灰、火山灰混用ノモノハ
工事施行後約一箇年間ハ強度次第ニ増進スルモノト認メタリ而シテ被害ノ跡ニ就キ之ヲ調査スルニ降雪期以前ニ竣功
セシ部分ハ異狀ナカリシト雖被害部分ハ六年末頃施行セシモノニ係リ寒氣ノ爲凝固不十分ノ間ニ積雪襲來シ破壊セラレ
シモノニシテ火山灰及石灰混用ノモノハ強度増進ノ速度ニ及ホス寒氣ノ影響豫想外ニ大ナルモノナルコトヲ發見セリ被
害後ハ「セメント」ノ配給十分ト爲リシヲ以テ火山灰、石灰ノ混用ヲ廢シ「セメント」ノミヲ以テ施行スルコトニ改メタリ
又盜難ニ罹リタル「セメント」ハ總テ在庫中ノモノニシテ現場ニ於ケル調合歩合ニハ影響ナク假ニ現場ニ於テ犯行アリタ
リトスルモ六、七、八三箇年度ヲ通シ被害樽數百七十六ニシテ其使用總數三千八百九樽及殘數三百七樽餘ニ對比スルニ四
分二厘ニ止マルヲ以テ之カ爲著シク脆弱ナラシメタルモノト認ムルヲ得ス

ト謂フニ在リ然レトモ混凝土ノ調合ハ他ニ實例ナキ割合ヲ用ヒ殊ニ其硬化ハ施行後約一箇年ヲ要スト自認セルニ拘ラス之
ヲ年末寒氣ノ候ニ施工シタルハ注意ノ周到ヲ缺クモノト認メサルヲ得ヌ又工事監督上ノ粗慢ニ就テハ之ヲ司法裁判所ノ判
決ニ徴スルニ鐵道院技手渡邊某及雇岡沼某等ハ請負人ヨリ屢金品ヲ收賄シ又ハ酒食ノ饗ヲ受ケ就中木戸某ノ使用人等カ相
結託シテ官給「セメント」ヲ竊取セル不正行爲ヲ默視セルノ事實アリ而シテ該「セメント」ハ全部現場ニ送付シ事實上請負人
及其使用人ヲシテ任意出納ヲ爲サシメタルモノニ係リ且其盜難ハ六年十月ヨリ七年十月迄ノ間ニ於ケル事實ナルヲ以テ三
箇年度ヲ通シ交付セル總樽數ニ對比シ其歩合ヲ云爲スルカ如キハ當ヲ得サルノミナラス被告ノ供述ニ徴スルモ所定「セメ
ント」ヲ使用セサリシコト明ニシテ其強度ノ脆弱ナルヘキハ論ヲ竣タス要スルニ本件ハ工事ノ施行上適當ノ注意ヲ缺キ且
其監督粗慢ナリシカ爲多額ノ工費ヲ無効ニ歸セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件工事ハ大正六年七月ヨリ起工シ降雪前之ヲ完成スルノ豫定ナリシ處當時「セメント」ノ供給不十分ナリシニ依リ中途「セメント」ニ比
シ凝結速度幾分劣レル火山灰及石灰ヲ混用スルノ止ムヲ得サル事情アリタルモ火山灰及石灰混用ノモノハ施行後一箇年間ハ次第ニ強度
ヲ増スモノナリト雖其ノ凝結速度ハ初期ニ於テ著シク大ナルヲ以テ通常積雪ノ襲來スル時期(三四月頃)マテニハ相當硬化スル見込ナリ

シナリ從テ本件ハ検査報告ニ云フカ如ク直ニ工事設計及施行ノ時期等ニ付キテハ別段遺漏アリト認ムルコトヲ得ス然レトモ工事關係者中犯罪者ヲ出シタル爲擁壁ノ破損カ寧口類雪ノ破壞力ニ起因シタルモノニアラサルヤ否今日ニ於テハ之ヲ明ニスルコトヲ得サルヲ遺憾トス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】 (五九) 鐵道院ノ支出ニ係ル

二九、九七三、一四〇

ハ釧路本線百三十二哩二十鎖附近切取斜面混泥土被覆工事費四萬參百九拾八圓七拾貳錢ノ内ニシテ壹萬四百貳拾五圓五拾八錢ハ前年度ニ屬スルモノナリ右ハ大正六年度検査報告ニ詳悉セシ如ク工事施行上注意周到ヲ缺キタルニ因リ多額ノ工費ヲ無効ニ歸セシメタルモノニシテ不當ナリトス(大正六年度(三六)三〇六頁參看)

【辯明】

本件ハ大正六年度辯明書ニ於テ答辯セシカ如ク本工事施工後ニ於テ豫想以上ノ湧水ト火山灰混用ト相俟チ其ノ龜裂ヲ生セシメタルモノニ係リ而シテ火山灰混用ニ付キテハ設計施行上相當ノ注意ヲ拂ヒタルモノナレハ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】 (六〇) 鐵道院ノ支出ニ係ル

一、九一四、四二四

ハ小野濱停車場擴張工事ノ内海面埋立其他工事ニ於テ護岸据附用トシテ製作シタル混泥土方塊中凝結不良ニシテ其用ヲ爲ササリシ三百八十六箇體積約七十四立坪ノ工事費損失額九千九拾壹圓貳拾壹錢六厘ノ内ニシテ七千貳百七拾六圓七拾九錢貳厘ハ大正八年度ニ屬スルモノナリ右混泥土方塊ハ「セメント」及火山灰ヲ官給シ調合歩合ハ「セメント」〇、七五火山灰〇、二五砂三、砂利六トシ其製作据附等ヲ橋本某ノ請負ニ付シタルモノナリ然ルニ官給「セメント」中淺野小野田土佐各「セメント」株式會社ノ納品ヲ使用シタルモノハ方塊ニ何等異狀ナキモ東亞「セメント」株式會社ノ納品ヲ使用シタルモノハ凝結不良ニシテ其用ヲ爲ササル爲廢却ノ已ムナキニ至リシモノニシテ九年二月之カ實地ヲ検査スルニ該廢却方塊ハ基礎捨石及護岸裏込用栗石等ニ代用スルニ依リ節約スヘキ經費九百五拾餘圓ヲ控除スルモ結局官給物品代製作請負費及据附作業中止ニ基ク請負人ニ對スル賠償費ヲ併セ八千貳百參拾餘圓ハ國庫ノ損失ニ歸スルノ計算ナリ依テ之カ事山ヲ當該官吏ニ推問

セシニ其答辯ノ要旨ハ「セメント」ハ分析検査ノ上購入スルヲ以テ本件東亞「セメント」ノ如キモ別ニ疑義ヲ挿マス之ヲ使用シ方塊ヲ製作シタルニ爾後四週間ヲ經過シ將ニ沈下セントスルニ際シ凝結不良ナルヲ發見シタルヲ以テ激浪ノ箇所ニ使用スルハ不適當ナリト認メタリ而シテ其後該東亞「セメント」試験ノ結果ハ一等品「セメント」ノ耐力ヲ百「パーセント」トセハ東亞「セメント」ハ六十乃至七十「パーセント」ノ耐力ヲ有シ全ク效力ナキモノニ非スト認メタルヲ以テ爾來該「セメント」ハ比較的重要ナラサル工事ニ使用スルコトトセシニ格別異狀ヲ認メスト謂フニ在リ然レトモ右東亞「セメント」ハ七年十二月ノ納入ニ係リ八年三月現場ニ配給シ四月ヨリ五月ニ涉リ方塊製造ニ使用シタルモノニシテ其間變質ノ事實ヲ認メ難キノミナラス他會社ノ納入「セメント」ヲ使用セルモノハ其調合等總テ同一ナルニ本件「セメント」ヲ使用セルモノニ限リ此ノ如ク凝結不良ヲ來セルハ畢竟其品質粗惡ナルニ基クモノト認メサルヲ得ス現ニ大阪葺合間複線工事ニ於テモ本件ト同一契約ニ係ル東亞「セメント」ヲ官給使用シ其調合歩合「セメント」一、砂二、砂利四トセルニ施工後二箇月餘ヲ經過シ尙凝結十分ナラサリシカ爲之ヲ改築セルモノアリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】 本件東亞「セメント」株式會社製造「セメント」ハ鐵道院所定ノ規格ニ適合シタルモノナルモ他會社製品ニ此シ本件ノ如キ此種工事ニ使用スルニ當リ其ノ品質上適當ナラサル結果ヲ示シタルヲ遺憾トス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第二款 鐵道用品及工作費 第一項 用品及工作費

【報告】 (六一) 鐵道院ノ支出ニ係ル

一三三、四七四、二〇〇

ハ株式會社大島製鋼所ヨリ購入セル板型車輪二千箇代四拾壹萬七千四百圓ノ内ニシテ拾九萬四千九百貳拾五圓八拾錢ハ大正八年度以降ニ屬スルモノナリ抑本件ハ五年十二月東京製鋼株式會社ニ對シ「ホキールセンター」二千箇ヲ代價八萬四千四百圓ヲ以テ六年十月ヲ期限トシ購入契約ヲ締結シタルニ會社ハ之ヲ履行セス七年一月前記大島製鋼所ニ其權利義務ヲ讓渡シタルニ同所ハ製作原料タル低燐鉄鐵ノ入荷ナク契約後原料並燃料等豫想外ノ高價ト爲リ別途請負ニ係ル電車用輪心ノ如キ手薄ナル在庫原料ヲ以テ製作ニ努メ配合及鑄型等種種研究ヲ經多數鑄造品中ヨリ少數ノ合格品ヲ得稍ク完納ヲ遂ケタル

大正七年度 帝國鐵道 (六一)

狀況ニ在リ本契約物品モ亦製作困難ニシテ時日ヲ要ストシ板型車輪ニ變更方出願シタルヲ以テ同年四月之ヲ承認スルト共ニ當初契約一箇當代價四拾貳圓貳拾錢ヲ貳百八圓七拾錢トシ且納期ヲ八年三月ニ延長シ七年八月ヨリ九年三月ニ至ル間ニ於テ稍ク納入ヲ完了シタルモノナリ然ルニ右契約變更出願當時ハ既ニ納期限ヲ經過スルコト二箇月餘ナルニ延滞處分ヲ爲ササルノミナラス板型車輪ニ變更出願ノ事由タル原料不足及價格暴騰ノ如キハ契約變更ニ依リ影響ヲ受クヘキ理由ナク且納品ハ使用後幾クナラスシテ疵又ハ氣孔等危險ノ状態ヲ發現セルモノ漸増シ磨耗限度ニ達スルヲ埃タスシテ之ヲ外輪附ニ改造セルモノアルヲ以テ價格改定ノ基礎ト共ニ之カ事由ヲ鐵道大臣ニ質問セシニ其辯明ノ要旨ハ

本件契約變更ノ事由ハ請負人ノ出願ニ基クカ如キモ當省ニ於テ之ヲ承認セシハ十噸短軸ニ代フルニ十噸長軸ヲ使用スルコトニ省議確定セル結果使用ニ適セサルニ至リシト當時外輪ノ輸入殆ト不能ニシテ内地製作亦意ノ如クナラサリシカ爲「ホキールセンター」ヲ製作スルモ共用ヲ完ウセサルトニ因リ一方激増シツアル運輸數量ニ應センカ爲ニハ留輪及燒嵌作業ヲ節約シ得ル車輪ヲ製作スルノ已ムヲ得サル状態ニ在リ其運滞ニ對シ處分ヲ爲ササリシハ事情取調ノ上處分スヘキコトヲ留保セルモノニシテ後設計變更ニ依リ之ヲ免除シタリ又價格ニ關シテハ増量一封度當五拾錢ト爲シタルモノニシテ當時他ノ契約品一封度當六拾錢乃至六拾五錢ナリシニ比シ硬鑄鋼製作代トシテハ特ニ高價ト思料セス其他納品ニ就テハ使用ノ度ヲ經ルニ從ヒ偶疵又ハ氣孔ヲ發現スルニ至リシハ遺憾トスル所ナリト雖元來此等鑄鋼品ノ製作ハ註文ノ際工場設備及製作方法等ヲ調査シ原料試驗ヲ行ヒ製作ヲ爲サシメ製品ハ相當ノ検査ヲ爲シタル結果疵又、氣孔ナク且形狀、寸法、添附圖ニ對シ許容公差ノ範圍内ナルトキハ合格品トシテ採用セサルヘカラサルモノニシテ檢收上適當ノ順序ヲ踏ミタルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ右契約變更ノ事由トスル十噸長軸ハ之ヲ廣軌鐵道ニ使用スヘキモノニシテ兼テ現行狹軌ニ使用シ能ハサルニ非ラスト雖當初註文品ハ現行軌間ニ對シ使用上毫モ支障ナキモノナルヲ以テ縱ヒ七年度新製車輪ハ基本十噸長軸ヲ使用スルノ計畫ヲ樹テタルモノアリトスルモノ之ヲ新規註文品ニ適用スルハ格別本件ノ如ク契約後既ニ十數箇月ヲ經過シ

タルモノニ對シ之カ變更ヲ爲スカ如キハ徒ニ納期ヲ延長セシムルモノニシテ運輸數量ノ激増ニ伴フ車輛ノ急需ニ應スヘキ措置ニ非ス且外輪ノ輸入及製作意ノ如クナラサルノ事實ハ時局開始以來ノ事ニ屬スルヲ以テ「ホキール、センター」ヲ製作スルモ共用ヲ完ウセサルモノトセハ七年三月迄之ヲ等閑ニ付スヘキニ非ス然ルニ本件ハ請負會社ノ出願ヲ待チ初テ之カ變更ヲ爲シタルノ事實ニ由リ之ヲ觀レハ鐵道事業上ノ必要ヲ主トシタルモノニ非スシテ畢竟會社ノ情願ニ基キ之ヲ許容シ契約代價ノ値増ヲ爲シタルモノト認メサルヲ得ス加之本品ハ使用後幾クナラスシテ疵又ハ氣孔等危險ノ状態ヲ發現スルモノ漸増シ磨耗限度ニ達スルヲ埃タス之ヲ外輪附ニ改造スルノ已ムナキニ至レル事實アルニ對シ縱ヒ當局者ノ辯明スルカ如ク檢査上發見シ難キモノアリトスルモ多數ノ不良品ヲ檢收シ運滞ノ責任ヲ免除シタルカ如キハ其措置宜シキヲ得タルモノニ非ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】

歐洲戰爭以來鐵材ノ需給均衡ヲ失シ單ニ價格ノ暴騰ヲ來シタルノミナラス材料及製品ノ供給ヲ得ルコト頗ル困難トナリ且當時船舶ノ需要極度ニ達シ爲ニ鑄鋼品製作工場殊ニ繁忙ナリシヲ以テ鐵道用品ノ如キモ從前ノ製作工場ヨリノミ其ノ供給ヲ受クルトキハ到底需要ヲ充スヲ得サルヲ以テ多少經驗ニ乏シク製品ノ醜價ニ於テ不十分ナルモノヲ採用スルコトトシタリ從テ本件ノ如キ無經驗ノ製作工場ニ對スル戰時中ノ契約品ハ多少納期ノ延長及製品ノ幾分他ノ優良品ノ如クナラサルハ免レサル所ナリ而シテ本件ハ最初東京製鋼株式會社ニ注文シタルモ納期内ニ製作スルコトヲ得スシテ大島製鋼所ニ繼承セシメタルモノニシテ未タ製作ニ至ラサル間ニ於テ十噸短軸ニ代フルニ十噸長軸ヲ使用スルコトニ院議確定シ且外輪ノ輸入並内地製作共ニ意ノ如クナラサリシヲ以テ輪心ヲ製作スルモ幾ント其ノ用ヲ完ウスルヲ得サルヲ以テ會社ノ出願アリタルニヨリ納品未製作ナルヲ幸ヒ留輪及燒嵌作業ヲ要セスシテ直チニ使用シ得ル樣設計ヲ改ムルヲ利益ト認メタルニ因ル而シテ設計變更ノ結果重量ノ増加ニ對シテハ當時ノ時價ニ比シ約二割安價ニ契約スルコトヲ得タルヲ以テ其ノ改定單價ノ不當ニアラサルハ明ナリ又檢査報告ニ於テハ多數ノ不良品ヲ檢收シタルモノノ如ク云フモ當該官吏ニ於テハ所定ノ檢査方法ニ從ヒ仕様書並圖面ニ照シ檢收シタルモノニシテ其ノ間何等不良品ノ默許シタル事實ヲ認メス仍テ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

收益勘定

歳出

第一款 鐵道作業費 第一項 事業費

【報告】 (六二) 鐵道院ノ支出ニ係ル

六九、九八七〇〇

ハ白石川改修工事費分擔金年割額トシテ宮城縣ニ仕拂ヒタルモノナリ右ハ大正六年度検査報告ニ詳悉セシ如ク縣ノ計畫ニ係ル河川改修工事ニ對シ繼續費ニ非サル本費ヲ以テ數年度ニ涉リ之カ補助ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス(大正六年度(三八〇八百參看))

【辨明】 本件ハ大正六年度辯明書ニ於テ答辯セシ如ク宮城縣ニ工事ヲ委託シ其ノ費用ヲ仕拂タルモノニシテ補助ヲ爲シタルモノニアラス又繼續費

ニアラサル事業費ヲ以テ數年度ニ互リ支出セシハ縣事業計畫ノ數年度ニ互ルモノナリシ爲止ムヲ得サルニ出テシモノニシテ事業費豫算成立ニ伴ヒ之ヲ支出スルモノナリ仍テ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】 (六三) 鐵道院ノ支出ニ係ル

六五、六八一〇〇

ハ東京市竹田某ノ請負ニ付シ施行シタル經理局被服工場新築其他工事費六萬九千八百六拾參圓參拾錢ノ内第五工場木造二階建瓦葺總建坪三百五十坪ノ工事費ニシテ大正七年十二月竣功ヲ告ケタルモノナリ九年十二月之カ實地ヲ検査スルニ該建物二階梁ハ「トラス」形構造五間持放シ三十九箇ヲ設ケ上梁梁ハ松下端六寸成五分ノ角材三本繼キ下梁梁ハ下端四寸八分七寸ノ角材二本繼キト爲シ「トラス」形高ハ眞眞二尺五寸トシ上下架梁ヲ「ポルト」ニテ締附ケ格目巾ノ斜材ハ五寸敷居材又ハ四寸五分ニツ割ヲ用ヒタルモノナルニ九年五月同工場二階ハ重量物品置場ト爲スコトアルニ依リ補強工事ヲ要ストシ七千貳百餘圓ヲ以テ斜材ヲ相當大ノ材料ニ取替ヘ尙中東松四寸五分角ヲ取附ケ其他梁中央ノ下端ニ成六寸巾四寸八分長四尺五寸ノ添梁ヲ施シ各梁ノ中央部ニ内徑四吋ノ鋼鐵柱ヲ設置スルノ工事ヲ施行シタルモノナルモ其實該建物ハ竣功後僅ニ二箇月餘ニシテ既ニ二階梁ニ狂ヲ生シ床中央部ニ於テ一寸五分ノ垂下ヲ來セルヲ以テ之カ補強工事ヲ要スルノ已ムナキニ至リシモノナリ右ニ對シ當該官吏説明ノ要旨ハ本件建物ハ當初二階床ノ荷重ヲ一平方呎ニ付百五十磅トシテ設計シ工

事上述失ナキモノト認ムルモ竣功後實際ノ使用ニ當リ荷重ノ爲垂下ヲ來セルモノニシテ實測ノ結果最大積量ノ箇所ハ一平方呎ニ付二百磅乃至三百五十磅ノ材料ヲ置キタルコトアルニ基因ス而シテ補強工事ノ結果其荷重力ヲ一平方呎ニ付四百磅ト爲シタリト謂フニ在リ然レトモ該建物ハ竣功後用途ヲ變更シタルニ非スシテ當初ヨリ其二階ハ被服類ノ截斷若ハ裁縫工場ニ使用シ室内三行ニ職臺ヲ据附ケアルノ狀況ナルニ徴シ作業ニ妨ナキ範圍内ニ於テ若干ノ材料ヲ積載シタルコトアルニ過キサルモノト認メサルヲ得ス然ルニ竣功後幾クナラスシテ其荷重力ヲ二倍以上ニ變更シ之カ補強工事ヲ要スルニ至リシハ畢竟當初ノ調査杜撰ナリシニ基因スルモノニシテ本件ノ如キ五間梁間ノ構造ニ對シ其二階梁ヲ木造「トラス」形トシ之ヲ持放ト爲シタルカ如キ鋼鐵製ト異リ木部ノ收縮等ニ依リ梁繼手其他ニ自然ノ弛ミヲ生スルト共ニ中央部ノ垂下ヲ來スハ當然ノ事ナルヲ以テ其設計適當ノモノト認メ難シ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 本件建物ハ其ノ使用目的上一平方呎ノ荷重百五十磅度ヲ超ユルコトナキ見込ヲ以テ設計シタルモノニシテ五間張「トラス」持放ト爲シタルハ保安上毫モ差支ナキノミナラス仕業上便利ナルニ因ル而シテ竣功後一年二箇月間何等異狀ヲ認メサリシニ拘ラス作業上豫期以上ノ材料ヲ持込ミタル結果重量増加シタル爲構柙ノ垂下ヲ見ルニ至リシモノニシテ設計上何等不都合ナシ尙補強工事ノ施行ハ將來モ亦重量材料ヲ一時設置スル場合アルコトヲ慮リタルニ因ル仍テ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】 (六四) 鐵道院ノ支出ニ係ル

六一、一八七六〇〇

ハ北海道岩内港浚渫工事既成部分ノ代價トシテ岩内町ニ仕拂ヒタルモノナリ右ハ大正五年度検査報告ニ詳悉セシ如ク其施工ヲ町ニ委託シタルモノトシ其實工費ノ補助ヲ爲シタルモノニシテ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス(大正五年度(一七)二五八頁參看)

【辨明】 本件ハ大正五年度並六年度辯明書ニ於テ答辯セシ如ク本工事ヲ岩内町ニ委託シ同町ニ於テ現實ニ浚渫シタル坪數壹千四百八拾八坪ニ對シ仕拂ヒタルモノニシテ何等補助ヲナシタルモノニアラス仍テ本件ハ會計法第十二條ニ違背スルモノニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

(參照) ○會計法第十二條第一項(三九五頁參看)

【報告】

(六五) 鐵道院ノ支出ニ係ル

五、五七九^円〇五〇

へ静岡縣下太田川及原野谷川各改修工事費分擔金年割額トシテ各川水害豫防組合ニ仕拂ヒタル六千九拾圓ノ内ニシテ六百拾圓九拾五錢ハ大正八年度ニ屬スルモノナリ右ハ前記水害豫防組合ノ施行ニ係ル太田川改修工事費豫定總額貳拾貳萬五千圓ニ對シ壹萬八百四拾參圓原野谷川同拾九萬圓ニ對シ九千五百五拾七圓計貳萬圓ヲ負擔スルコトトシ繼續費ニ非サル本費ヲ以テ四年度以降六箇年度ニ涉リ年割額ヲ定メ工費仕拂高ニ比例シ支出スルコトヲ協定シ本年度ニ於テ四、五兩年度分中前掲金額ヲ仕拂ヒタルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ

袋井中泉間線路ハ太田川及原野谷川頻年ノ水害ニ鑑ミ保守上之ヲ昂上セントシタルニ地元ニ於テハ却テ水害ヲ助長セシムルモノトシ之カ協議ニ應セス偶水害豫防組合ニ於テ河川改修ノ舉アリ之ヲ施行スルニ於テハ線路保持上利益アルヲ以テ將來兩川間ニ介在スル蟹田川及駒洗川橋梁増架ノ必要アル場合地元ニ於テ異存ヲ述ヘサルコト及原野谷川改修設計ノ一部ヲ變更セシムル條件ノ下ニ河川改修工事費ヲ分擔スルコトトシ分擔額ハ線路上ニ要スル經費ノ約三分ノ二ト定ムルト共ニ之ヲ保存費ノ支辨ト爲シタルモノナリ而シテ數年度ニ涉リ分擔金ノ支出ヲ協定シタルハ組合工事費年度割ノ關係上已ムヲ得サリシモノニシテ該改修工事ハ内務省ニ於テ八年度以降七箇年度ニ涉リ直轄工事トシテ繼續施行スルコトト爲レルヲ以テ爾後分擔金ノ支出ヲ打切りタリ

ト謂フニ在リ然レトモ本件ハ線路保持上利益アルノ故ヲ以テ線路上工事ニ代ヘ河川改修工事費ヲ分擔セルニ過キスシテ其費額ノ如キモ線路上工事費ノ約三分ノ二ト爲シタルノ事實ニ徵シ組合ノ事業ニ對シ之カ補助ヲ爲シタルモノト認メサルヲ得ス而シテ此等ノ補助ハ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非サルノミナラス繼續費ニ非サル本費ヲ以テ數年度ニ涉リ一定金額ノ支出ヲ協定スルカ如キハ其措置宜シキ得タルモノニ非ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】

太田川及原野谷川ハ年々氾濫シ附近鐵道線路ノ被害少カラサルニ依リ該線路ノ昂上工事施工ノ必要ニ迫ラレ居リタル處偶々各川水害豫防組合ニ於テ河川改修ノ計畫アリ之カ施行ノ曉ニハ線路上ノ要ナキニ至ルニ依リ線路上ニ要スル工事費ノ支出ニ代ヘ河川改修工事費ノ

一部ヲ分擔シタルモノトス而シテ事業費ヲ以テ數年ニ互リ本費ノ支出ヲ爲スハ該組合ノ工事施工計畫年限ノ關係上ヨリ來レルモノニシテ數年度ニ互ル線路保持ニ關スル工事カ毎年作業費豫算ノ成立ヲ俟チテ事實上繼續的ニ支出セラルト事理上異ナル所ナキモノトス仍テ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

朝鮮總督府

歳入

租税ノ徴收過ニ屬スルモノ一件(六六)

二、二二八^円〇〇〇

歳出

虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ一件(六七)

九四六^円一一〇

事業遂行上ノ必要ヲ理由トシ過當ニ請負金額ノ割増ヲ爲シタルモノ一件(六八)

七二、一九〇^円〇一〇

合計二件

七三、一三六^円一三〇

歳入臨時部

第六款 戰時利得税 第一項 戰時利得税

【報告】

(六六) 仁川府ニ於テ徴收過ニ屬スルモノ

一、二二八^円〇〇〇

アリ右ハ株式会社仁川米豆取引所ノ利得額ヲ決定スルニ當リ拂込資本金額四萬五千圓ヲ戰時事業年度資本金額ニ加算セサルニ因ルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】

本件ハ會計検査院検査報告ノ通

但シ徴收過金貳千貳百貳拾八圓ハ大正九年六月二十四日之ヲ還付セリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

歳出經常部

第十二款 營林廠 第二項 事業費

大正七年度 朝鮮總督府 (六六)

【報告】

(六七) 朝鮮總督府營林廠ノ支出ニ係ル

九四六一二〇

ハ漂流木拾得報酬金トシテ證明シタルモノナルモ其實營林廠臨時助手朴某カ大正七年十月ヨリ十二月ニ至ル間ニ於テ單獨若ハ助手元某ト共謀シ證憑書類ヲ變造又ハ偽造シ或ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シ前掲金額ヲ騙取シタルモノナリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辯明】

本件ハ會計檢査院檢査報告ノ通

但シ騙取者元應變關係ノ分參百五拾六圓七十七錢ハ大正八年八月八日朴周陽關係ノ分五百八十九圓三十五錢ハ同年十二月二十九日之ヲ歲入ニ納付セシメ尙責任者タル中江鎮支廠長代理技手內藤解ニ對シテハ將來ヲ訓戒セリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【案決】 不當

歳出臨時部

第九款 鐵道建設及改良費 第二項 改良費

【報告】

(六八) 朝鮮總督府ノ支出ニ係ル

七二一九〇〇一〇

ハ京釜線沃川大田間及深川停車場前後線路改良工事ニ對スル請負代價ノ割増金トシテ合資會社間組外一名ニ仕拂ヒタルモノナリ抑沃川大田間改良工事ハ大正七年三月七拾八萬五千圓ヲ以テ合資會社間組ノ請負ニ付シ同年四月起工十二月十五日迄ノ竣功高參拾貳萬千餘圓ニ對シ數回ニ貳拾八萬九千餘圓ヲ仕拂ヒ又深川停車場前後線路改良工事ハ貳拾貳萬六千餘圓ヲ以テ七年五月京城府荒井某ノ請負ニ付シ同月起工十二月十五日迄ノ竣功高拾萬參千餘圓ニ對シ數回ニ九萬貳千餘圓ヲ仕拂ヒタルモノナルニ孰モ七年十二月其竣功高ニ對シ一割七分ノ増額ヲ行ヒタルモノニシテ既成部分ニ廻リ補給セルノミナラス該割増率ハ契約以前ニ屬スル六年九月ト七年四月トノ物價指數ヲ標準トシテ算定セルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ

前記工事ハ七年三月又ハ五月ノ契約ナリト雖之カ豫定價格ハ六年九月ノ物價ヲ基礎トシ算定セルモノニシテ契約當時既ニ低價ニ失セシモ他ノ請負人トノ關係上再三見積金額ヲ低減セシメ該豫定價格ノ範圍内ニテ請負ヲ爲サシメタルモノナ

リ而シテ本件契約當時ニ於テハ何等其増額ヲ明約セサルモ他ノ請負人ト同一程度ニ其見積額ヲ低減セシメタル事情ハ本請負人ヲシテ當然他ノ請負人ト同一ノ待遇ヲ受クヘキコトヲ豫想セシメ其後物價益騰貴シ工事遂行上困難ト爲リ他ノ請負人ニ對シ六年九月ト七年四月トノ物價指數ヲ標準トシ割増ヲ爲シタルヲ以テ本件モ亦其事情ヲ顧慮シ之カ損害ヲ補償スルニ非サレハ將來此ノ如キ契約ノ特點ヲ失スルニ至ルヘシト思惟シ割増ヲ爲シタルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ本件工事請負ニ際シ再三其見積額ヲ低減セシメタルトノ事實ハ何等認ムヘキモノナク縱ヒ此ノ如キ事實アリトスルモ既ニ請負人ニ於テ承諾ノ意思ヲ表示シ之カ契約ヲ締結シタル以上ハ當然其義務ヲ履行スヘキモノナルヲ以テ爾後物價ノ變動ニ因リ履行困難ト爲リタルモノニ對シ特ニ請負代金ノ割増ヲ爲スハ事業遂行上已ムヲ得サルノ措置トシテ之ヲ認容スヘシトスルモ其標準ハ專ラ契約締結後ノ狀況ニ基キ算定スルヲ要シ豫定價格調製ノ如キ内部ノ事實ヲ基礎トシ契約以前ノ物價ニ適ルカ如キハ不當ナルノミナラス其割増ヲ爲スハ契約不履行ノ場合ニ於ケル解約ニ伴ヒ生スヘキ諸般ノ利害ヲ考覈シ却テ契約ノ解除ヲ不利トスル場合ニ限ルヘキモノニシテ既ニ請負人ニ於テ之カ履行ヲ爲シタル部分ニ廻リ殊ニ本件ノ如ク物價ノ騰貴率僅少ナルモノニ對シ之ニ比例シテ割増ヲ爲スカ如キハ請負契約ノ特質ヲ没却スルモノニシテ不當ノ措置ト謂ハサルヘカラス其他答辯中本件ノ割増ハ他ノ請負人ニ對シ同一期間ノ物價指數ヲ標準トシ請負金額ヲ増加シタルノ事例ヲ顧慮シタルト謂フト雖他ノ請負ハ孰モ六年九月以前ノ契約ニ係ルモノナルヲ以テ之ト同視スヘキモノニ非ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】

本件工事ハ勅令ノ規定ニ依リ南滿洲鐵道株式會社ニ委託セシ鐵道建設改良工事ノ一部ニシテ會社ハ工事ノ性質上特命請負ニ付スルヲ利益ト認メ間組外一人ニ特命請負ヲ爲サシメタルモノニ係リ其ノ契約交渉ノ際ハ物價騰貴シテ同會社ノ一般請負人カ既契約ノ工事費單價(六年十二月ニ於テ六年九月ノ物價指數ヲ標準トシタルモノ)ノ再増加ヲ懇願セルトキニシテ會社ハ若シ獨リ本件工事請負人ニ對シテノ適當時ノ勞銀ニ依リ單價ヲ算定スルトキハ多數請負人ヲシテ更ニ激烈ナル請願ヲ惹起セシムルノ慮アリ且物價モ亦此邊カ頂上ニテ將來漸落スルニアラスヤトノ望モアリ旁々本件請負人ノ見積ニ當リテ他ノ請負人ト同一程度ノ單價ヲ設定セシムルヲ必要ナリト認メ此ノ意ヲ通シテ再三減額セシメ漸ク六年九月ニ調製セシ豫定價格ノ範圍内ニ於テ契約セシモノナリ然ルニ其ノ後物價益々騰貴シ事實一般請負人カ工事遂

行困難ノ域ニ達シタルヲ見テ七年六月ニ至リ他ノ請負人ニ對シテハ七年四月分ヨリ單價増額(六年九月ト七年四月トノ物價指數ノ差違ニ依リ算定)ノコトトセシテ以テ本件工事費モ亦同時ニ改定ヲ爲スヲ相當ト思惟セシモ契約後日尙淺ク且物價モ亦低落スルコトアランカトノ望ヲ囑シ尙暫ク之カ實行ヲ見合ハセ居リシカ物價ハ却テ益々暴騰シ到底工事ヲ遂行シ得サルノ窮境ニ陥リシヲ以テ同年十二月他請負人同様ニ單價ヲ増額シ之ヲ四月分ヨリ適用セラレンコトヲ同會社ヨリ申出タリ政府ハ形式上稍妥當ナラサルノ嫌アルモ其ノ當初直チニ適當ナル單價ヲ設定シ難カリシ事情殊ニ會社ニ於ケル特命契約ノ特質上相互信頼シテ請負人カ多大ノ缺損ヲ顧ミス忠實ニ工事ヲ進捗スルニ於テハ會社モ亦必スヤ他請負人ト同様ノ待遇ヲ爲スヘシトノ相互默契アリテ普通請負ノ場合ニ於テ往々見ル所ノ請負人カ直ニ工事ヲ中止シテ事業家ヲ困惑セシムルカ如キ舉ニ出テス能ク努力シテ其ノ進捗ヲ計リシコトヲ考慮シ且別途調査セシメシ該請負人等カ實際支拂居レル工賃等ヲ精査シテ各工種別ニ計算セル缺損見込額カ會社申出ノ増加額ヨリモ多キコト等ノ實情ニ依リ請負人カ履行ヲ爲シタリシ部分ニモ適リ單價ヲ増額スルハ止ムヲ得サル處置ト認メ之ヲ認可シ支拂ヲ爲サシメタルモノニシテ實質上不當ノ處置ニアラスト認ム

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

(參照) ○朝鮮總督ノ管理スル鐵道ノ業務ノ委託ニ關スル件(大正六年七月三十一日勅令第九十號)

朝鮮總督ハ其ノ管理スル鐵道ノ建設改良、保存及運輸並附帶ノ業務ヲ南滿洲鐵道株式會社ニ委託スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ朝鮮總督ハ南滿洲鐵道株式會社ニ對シ委託業務ノ執行ニ關シ必要ナル命令若ハ處分ヲ爲シ又ハ官吏ヲシテ其ノ業務ヲ檢査セシムルコトヲ得

臺灣總督府

歳入

價格ノ改定ヲ爲サス低價ニ物件ヲ拂下ケタルモノ一件(六九)

歳出

年度ノ區分ヲ紊リ且豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(七〇)

地方費ニ對スル補助其當ヲ得サルモノ一件(七一)

合計二件

歳入經常部

二二一、七一〇^円七四〇
 一一、九九九^円六〇〇
 一〇六、九九九〇〇〇
 一一九、五九八^円六〇〇

【報告】

(六九) 臺灣總督府營林局ノ徵收ニ係ル

二二一、七一〇^円七四〇

第一款 臺灣歳入 第二款 官業及官有財産收入

ハ大正五年三月合名會社鈴木商店ト締結セル年期賣買契約ニ基キ賣渡シタル扁柏丸太及桧角二萬八千二百四十三尺締餘ノ代價ナリ右ハ大正六年度檢査報告ニ詳悉セシ如ク時局ノ影響ニ因リ一般ニ對スル木材販賣目安價格ハ六年四月以降七年一月迄數回ニ七割餘ノ値上ヲ爲シタルニ拘ラス獨リ本件契約單價ニ對シテハ六年十二月運賃補償ノ條件ヲ撤廢シタルノ外之ヲ變更セス八年二月稍ク丸太上材尺縮八圓八拾六錢餘ヲ拾五圓拾貳錢ニ改定シタリト雖年度内改正單價ニ依リ賣渡シタルモノナク之ヲ大阪府ノ調査ニ係ル大阪木材市場價格ニ徵スルニ七年中臺灣扁柏上材參拾餘圓中材貳拾五圓以上ニシテ拂下代價ハ運賃其他ノ諸經費ヲ顧慮スルモ市價ニ比シ多大ノ懸隔アルノミナラス本年度ニ於テ吳、橫須賀兩海軍工廠ニ賣却シタル扁柏丸太嘉義渡ハ本件拂下材ト同等ノモノ上材貳拾四圓餘乃至貳拾九圓餘中材拾九圓餘乃至貳拾貳圓餘ニシテ尙極上材長尺モノノ價格ハ其五割増ト爲セルノ事實ニ由テ之ヲ觀レハ本件拂下代價ハ著シク低廉ニ失スルモノト認メサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス(大正六年度(四三三)三三頁參照)

【精明】

島内賣丸太目安價格ハ小口ノ賣値ヲ示セルモノニシテ大口ノ卸賣値ハ商取引ノ慣例トシテ之ニ依ルヲ許ササル事情アリ實際島内ニ於テモ亦大口ノ卸賣ニ對シテハ官應用材及少量ノ嗜好需要ノ外ハ目安價格ヨリ相當ノ割引ヲナセルナリ而モ島内賣丸太目安價格ハ木材供給量ノ關係上内地ヨリノ移入材ヲ基準トシテ其騰落ニ伴ヒ上下變換スルモノニシテ其ノ當時ノ如キ船運賃異常ノ高率ヲ示シ其ノ他ノ諸掛ニ於テモ亦意想外ノ失費ヲ要セシカ故ニ其ノ高價ナル運賃諸掛等ヲ加算シタル内地材ヲ基礎トシタル島内賣丸太目安價格ノ昂騰セシハ蓋シ當然ノ理ナリ然ルニ鈴木賣値段ハ大口ノ卸賣値ニ屬スルノミナラス大阪市場價格ヲ基準トセサル可ラサルヲ以テ之ヨリ逆算シテ海陸運賃諸掛ヲ差引シタルモノナレハ運賃諸掛ニ多額ノ費用ヲ要セシ事實並ニ需要ノ關係如何ニ依リ騰落ノ敏感ナル小口賣値ト然ラサル大口卸賣値トノ差異アル事實ハ相俟ツテ兩者ノ値開キヲ著シカラシムルニ至リシナリ而シテ營林局ハ木材價格ノ騰貴ニ鑑ミ契約價格改定ノ必要ヲ認メ大正七年十月交渉ヲ開始シタルモ折合著カス遂ニ鈴木商店ニ對シ十一月ヨリ木材ノ引渡ヲ中止シ八年二月始メテ協定ヲ見ルニ至リ上材拾五圓拾貳錢ニ改定シ當初ノ價格ニ比シ運賃ノ負擔其ノ他ヲ計上スレハ十一割餘ノ増値トナルハ大正六年度ノ決算ニ於テ辯明シタルトコロノ如シ而シテ大阪府ノ調査ニ係ル大阪市場ノ價格ニ徵セラレタル七年度中臺灣扁柏上材參拾餘圓中材貳拾五圓以上トアルハ甚敷懸隔アル

大正七年度 臺灣總督府 (六九)

四二九

カ如ク不審ノ點アリ當府ヨリ直接大阪府ヘ照會シタルニ其ノ回答ニ依レハ大正七年中ニハ平均尺締上材拾九圓拾參錢中材拾貳圓六拾錢トアリテ當府ニ對スル大阪府ノ回答ヲ以テ正鶴ヲ得タルモノト信ス又本年度及横須賀海軍工廠ニ賣却シタル木材ハ本件ノ木材ト同等ノ品質ナリトシテ其ノ價格ヲ比較シアルモ海軍工廠ニ於テハ先ツ上材中材中ヨリ長尺モノ及太モノノ優良品ヲ撰材セシムル取扱ナリシニ依リ本件木材ノ品質ハ海軍工廠ニ賣却シタル木材ノ品質ニ及ハサルモノニシテ決シテ同一視スヘキモノニアラサルナリ加之海軍工廠ニ賣却シタルハ小賣ノ取扱ナリシ等相俟ツテ値開キヲ見ルニ至リタルモノナリ

要スルニ本件ハ低廉ニアラサルモノト認ム

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

歳出臨時部

第三款 傳染病豫防費 第一項 傳染病豫防費

【報告】 (七〇) 嘉義廳ノ支出ニ係ル

一一、九九九^四六〇〇

ハ嘉義街低地瀦溜池ノ埋立工事ニ要シタル人夫賃ニシテ外ニ該工事ノ爲公共衛生費ヨリ支辨シタルモノ本年度ニ於テ貳百參拾五圓餘八年度ニ於テ九千七百拾六圓餘アリ右工事ハ「マラリア」防遏ノ爲蚊族ノ發生ヲ減滅スル目的ヲ以テ施行シタルモノニシテ本項豫算中ノカ工費ノ見積ナキノミナラス前記公共衛生費ノ仕拂ニ徴スレハ八年度ニ涉リ工事ヲ實施シタルモノト認メラルルニ本費ノ工事ニ限リ七年度末ニ於テ竣功セリトシ前掲金額ヲ支出シタルヲ以テ之ヲ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ本件ハ埋立區域ノ廣大ナルト費用ノ多額ナルトニ由リ工事ノ如キ觀アルモ「マラリア」ノ防遏ニ最有效果ナル蚊族ノ驅除撲滅ヲ爲スモノニシテ他ノ一般工事ト同視スヘキモノニ非ス又「マラリア」防遏作業ハ各方面ノ協力ヲ要スルモノニシテ公共衛生費ニ於テモ之ヲ作業費ヲ本年度豫算ニ計上セシカ先ツ國費ノ作業ニ全力ヲ傾注シ三月六日著手年度末完成ヲ告ケタル結果公共衛生費ニ係ル作業ハ之ヲ實行遲延シ八年八月末竣功ヲ見ルニ至リタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ低地瀦溜池ノ埋立方他ノ一般工事ト異ナル所ナキハ勿論本項豫算中工費ノ見積ナキコトハ從來ノ事例又ハ當初公共衛生費ニ於テ國費ヨリ補助ヲ受ケ本工事を施行セントシタル事實ニ徴スルモ明ナリ而シテ本工事は國費ヨリ人夫賃ノ

【辨明】

大部分ヲ公共衛生費ヨリ材料費、設備費、監督費等一切ノ經費ヲ支出シタルモノニ係リ兩者工事箇所ヲ異ニスルモノニ非ス且土取場ヨリ埋立地ニ至ル土砂運搬用輕便線路敷設ハ八年四月五日著手同十五日竣功監督員ノ該土取場ノ出張ハ八年五月乃至七月ニシテ共ニ公共衛生費ヨリ之ヲ經費ヲ仕拂ヘルノ事實ニ徴スレハ國費支辨ニ係ル前掲人夫ニ限リ年度内ニ於テ之ヲ使用シタルモノト認ムルヲ得ス依テ本件ハ會計法第三條及第十二條ニ違背シタルモノトス

マラリア防遏直接ノ作業ハ其ノ手段ニシテ足ラスト雖マラリア病ヲ媒介スル蚊族「アノフェレス」發生多キ池沼及降雨季節ニ於テ瀦溜スル凹地ノ埋立整理雜草竹藪ノ伐採原蟲保有者ノ服藥等相俟テ防遏ヲ施行スルニ非レハ其ノ效果ノ多キヲ期シ難キモノトス而シテ本件ハマラリア防遏上最モ有效ナル目的ヲ達成センカ爲嘉義街ニ於ケル低濕地瀦溜池ノ埋立作業ニ使用シタル人夫賃ノ仕拂ニシテ豫算ノ目的ニ反シタルモノニアラス而シテ國庫支辨ヲ以テ施行シタル本作業ハ大正八年三月六日著手同年三月三十一日終了シタルモノナリ而シテ埋立地ノ全區域ハ其ノ地域廣大ニシテ國庫支辨ノミヲ以テシテハ到底其ノ目的ヲ達成シ難キヲ以テ一部公共衛生費ヲ支出シテ本事業ノ完成ヲ告ケタリト雖國庫支辨ヲ以テシタル地域ト公共衛生費支辨ヲ以テ施行シタル地域トハ全然其ノ區域ヲ異ニシ其ノ完成期モ會計検査院推問ニ對スル答辯ノ通國庫支辨ノ作業ハ大正七年度ニ於テ完成ヲ告ケ公共衛生費支辨ノ作業ハ大正八年四月十八日著手同年八月二十九日完成ヲ告ケタルモノニシテ會計検査院ニ於テハ土取場ヨリ埋立地ニ至ル土砂運搬用輕便線路敷設カ八年四月五日著手同十五日竣工監督員八年五月乃至七月ノ間ニ該土取場出張ノ經費ヲ公共衛生費ヨリ支辨セル事實ヲ以テ之ヲ類推シテ國庫支辨ノ埋立作業カ大正八年度ニ於テ竣工シタリト謂フト雖國庫支辨ノ作業用トシテ土取場ニ敷設セル輕便軌道ハ三月六日之カ材料ヲ營林局嘉義出張所ヨリ無償借受敷設シタルモノニシテ大正八年四月五日敷設ニ著手シタル輕便軌道ハ公共衛生費支辨ヲ以テ埋立ヲ施行シタル區域ニ對スル敷設工事ナリ而シテ國庫支辨マラリア防遏作業ノ監督ニ從事セシメタル監督員ハ當時作業地附近ニ施行中ノ地方稅支辨排水工事監督員ヲシテ之ヲ兼シメタルモノニシテ公共衛生費支辨ノ作業ニ從事シタル監督員トハ全然異ルモノナリ

之ヲ要スルニ本件ハ彙ニ會計検査院ノ審理ニ對シ答辯ノ通會計法第三條及第十二條ニ違背シタルモノニアラスト認ム

【衆決】 承認

【貴決】 異議ナシ

(參照) ○會計法第三條(三九八頁參看)

○會計法第十二條第一項(三九五頁參看)

第八款 災害費

第八項 蕃地風水害復舊地方費補助

大正七年度 臺灣總督府 (七〇)

【報告】 (七一) 臺灣總督府ノ支出ニ係ル

ハ大正七年九月以降數回ニ渉ル暴風雨ノ爲臺灣地方費第一第二費區ニ於ケル蕃地構築物ノ被害甚シク急速之カ復舊ヲ要スルモ地方費ノ負擔ニ堪ヘストシ第二豫備金ヲ要求シ之カ補助ヲ爲シタルモノナリ右ハ大正六年度検査報告ニ詳悉セシト同様ノ事項ニシテ當局者ハ行政區域外ニ屬スル蕃地ヨリハ地方稅ヲ徵收スルコトナキヲ以テ蕃地ニ對スル施設費ヲ地方稅支辨ト爲スハ穩當ナラスト認メ從來蕃地ニ對スル諸經費ハ總テ國庫ノ補助ニ依リ之ヲ支辨シ來リタルモノニシテ地方稅會計ニ餘裕アルト否トニ關セスト辯明スルモ蕃地ニ對スル諸經費ヲ一旦地方稅支辨ニ編入シタル上ハ當然臺灣地方稅規則ニ據リ處理スヘキモノニシテ地方稅ヲ徵收スル地域ノ經費ナルト否トニ關スルモノニ非ス而シテ本年度ニ於テハ既ニ四百六拾四萬餘圓ヲ補足シ地方費收支計算書ニ依レハ純剩餘額貳百七拾五萬餘圓ニ達スルノ狀況ナルヲ以テ之ヲ補助スルノ必要ナキコト明ナリ依テ本件ハ不當ナリトス(大正六年度四六〇三二八頁參看)

【辯明】 本件ハ大正六年度會計検査報告ニ對スル辯明ノ如ク地方稅ハ其所屬地方費區内ノ人民ヨリ徵收スルモノニシテ當該費區内ノ行政費ニ充當スヘキヲ原則トスルハ論ヲ俟タス而シテ蕃地ハ行政區域外ニ屬シ從テ地方稅ヲ徵收スルコトナシ元來臺灣ニ於ケル蕃地ノ開發蕃人ノ撫育ハ國家の大事業ニシテ國費支辨トシテ國自身ニ於テ之ヲ經營スヘキヲ至當トスルモ警察機關ヲシテ之ニ當ラシムルヲ便宜ト認メ地方費區ノ經營ニ委シタルニ過キス從テ其ノ經費ヲ行政區域外ニシテ而モ地方稅ヲ徵セサル地方費區ノ負擔ニ歸セシムルカ如キハ穩當ナラスト認メ地方稅會計ニ餘裕アルト否トニ關セス從來其ノ經費ノ全部ヲ國庫ヨリ補足シ來リタルモノナリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○臺灣地方稅規則(明治三十一年七月十九日)

第六條 地方稅ヲ以テ支辨スヘキ費目左ノ如シ

- 一 辨務署費
- 二 街庄社等役場費
- 三 警察費
- 四 土木費

- 五 教育費
- 六 衛生費
- 七 勸業費
- 八 教育費
- 九 廳舎營繕費
- 十 地方稅取扱費

第七條 前條ノ費目ハ必要ニ應シ國庫ニ於テ其幾分ヲ補助スルコトアルヘシ

樺太廳

歳出

工事施行上適當ノ注意ヲ缺キ工費ヲ無効ニ歸セシメタルモノ一件(七一)

二一、八九一四四〇

歳出臨時部

第二款 特別事業費 第一項 港灣修築費

【報告】 (七一) 樺太廳ノ支出ニ係ル

一一、八九一四四〇

ハ吐鯤保船渠工事費參萬四千參百九拾六圓拾參錢ノ内ニシテ壹萬貳千五百四圓六拾九錢ハ大正六年度ニ屬スルモノナリ右ハ本斗築港事業ノ施行上ニ要スル函塊製造、船舶諸機械修理作業場設置ノ費用ニシテ大正六年度検査報告ニ詳悉セシ如ク工事ノ施行宜シキヲ得ス多額ノ工費ヲ損失ニ歸セシメタルモノニシテ不當ナリトス(大正六年度四七三一九頁參看)

【辯明】 會計検査報告ノ通

但シ大正六年度決算報告ニ對スル答辯ノ通ニシテ當時ノ事情已ムヲ得サリシモノト認ム

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

陸軍省所管

大正七年度 樺太廳 (七一)

東京砲兵工廠

歳出

豫算ノ使用其宜シキヲ得サルモノ一件(七三)
 物件ノ購入ニ當リ措置其宜シキヲ得ス國庫ニ不利ヲ來シタルモノ一件(七四)
 其他不當ナルモノ一件(七五)
 合計三件
 五六、五三六、九五〇
 八八五、八一九、五三〇
 七七、五〇〇、〇〇〇
 一、〇一九、八五六、四八〇

第一款 東京砲兵工廠作業費 第二項 事業費

【報告】 (七三) 東京砲兵工廠ノ支出ニ係ル

五六、五三六、九五〇

板橋目黒岩鼻各火藥製造所危害豫防地買収代及地上物件移轉費並右用地買収ニ伴ヒ本年度新ニ施行シタル目黒火藥製造所河川改修、道路附替、土壘新設等ノ工事ヲ併セ總額四拾六萬參千參百九拾九圓八拾錢ノ内ニシテ貳拾六萬八千七百五拾八圓七拾七錢ハ大正六年度ニ拾參萬八千四百四圓八錢ハ八年度ニ屬スルモノナリ右ハ大正六年度檢査報告ニ詳悉セシ如ク作業擴張ノ爲工室ノ増設、設備ノ移轉改良等ヲ企圖スルモノニシテ既存土地建物ノ維持補充ト認ムヘキモノニ非ス依テ本件ハ陸軍作業會計法第三條ニ違背シタルモノトス(大正六年度(四八)三三〇頁參看)

【辨明】 本件ハ前年度檢査報告ニ對シ辨明セル如ク銃砲火藥類取締法ノ制定ニ伴ヒ必要ナル危害豫防地帶ノ設定ト共ニ一工室ノ作業量減少ニ伴フ工室ノ補充又ハ貯藏所ノ位置變更等ヲ行ヒ以テ作業ノ安全ト危害豫防ノ完全ヲ期シタルモノニシテ要スルニ既設備ノ補充ヲ目的トシ何等事業ヲ擴張シタルモノニアラス從テ作業會計法第三條ニ違背シタルモノニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○陸軍作業會計法(明治二十三年三月十八日)

第三條第一項 東京及大阪砲兵工廠ハ俸給諸給旅費應費職工人夫ノ諸費材料素品及機械運轉用品ノ購入費土地建物其他工作物船舶機械器具ノ維持修理及補充費工場ノ雜費並ニ損失金ヲ作業ノ歳出トス

第三項 林料素品費

【報告】 (七四) 東京砲兵工廠ノ支出ニ係ル

八八五、八一九、五三〇

大正六年十一月及七年二月日本グリセリン工業株式會社ト購入契約ヲ締結シタル「グリセリン」六十萬五千疋ノ内本年度納入ニ係ル二十六萬四千六百八十六疋ノ代價ナリ右十一月契約ノ分ハ二十萬五千疋單價壹圓六拾七錢五厘ニシテ其納期七年四月乃至八年一月ノ各月又二月契約ノ分ハ四十萬疋單價參圓四拾八錢ニシテ其納期七年四月乃至八年三月ノ各月ト定メタルモノナルニ會社ハ第一回契約分ニ對シ七年七月及八月ニ於テ一萬九千五百五十疋第二回契約分ニ對シ七年四月ヨリ八年三月ニ至ル間ニ於テ二十七萬四千二百六拾餘ヲ納入シタルニ止リ他ハ之ヲ遅延シ八年二月納期ノ變更ヲ出願シタルニ對シ當時市價一疋當壹圓内外ニ低落シタルニ拘ラス延滞償金ヲ徵セス其未納ニ屬スル第一回契約分十八萬五千四百五十疋ニ對シテハ納期ヲ八年九月乃至九年三月第二回契約分十二萬五千七百九十三疋餘ニ對シテハ納期ヲ八年四月乃至八月トシ延期ヲ許可スルニ至レリ而シテ一面工廠ニ於テハ右納入遅延ノ爲作業上支障ヲ生スル虞アリトシ七年八月三井物產株式會社ヨリ單價參圓九拾錢四厘ヲ以テ二十七萬疋同年九月野澤某ヨリ單價參圓七拾八錢七厘五毛ヲ以テ三十萬疋ヲ購入スルノ已ムナキニ至リタルモノナリ依テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ會社ニ於テ當時製造機械ニ若干ノ故障ヲ生シ爾後修理ヲ加ヘタルモ其效ヲ奏セス意外ノ箇所ニ破損ヲ生シ機械ノ改造ヲ要スルニ至リタルト船腹不足ノ爲原料輸入ノ困難ニ陥リシトニ由リ納入ヲ遅延シタルモノニシテ不可抗力ニ準スヘキモノト認メ納期ヲ變更シ延滞償金ヲ免除シタルモノナリ而シテ第一回契約分ハ生産費暴騰セルニ拘ラス契約單價頗ル低廉ニシテ履行甚々困難ナル旨ヲ以テ屢解約ヲ申出テタルモ價格ノ騰落ニ依リ漫ニ解約スルハ購買上惡例ヲ胎スモノトシ之ヲ拒絕シタルニ會社ハ經營困難ニ陥リタルヲ理由トシ第二回契約分ヲ先ツ履行スヘキ旨申出テタルニ依リ事情已ムヲ得サルモノト認メ承諾ヲ爲シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ右ノ如ク第一回契約ヲ擱キ高價ナル第二回契約ヲ履行セシメタルハ會社ノ情願ヲ容レ故ラニ其便益ヲ圖リタルモノニシテ不當ナルノミナラス納入遅延ノ爲三井物產株式會社其他ヨリ高價ヲ以テ購入スルノ已ムナキニ至リ多大ノ不

利ヲ來シ且延納ヲ許可シタル八年二月中旬ニ於テハ市價暴落シ尙年度末現在品三十九萬二千餘疋ニ及ヒ之ニ對シ百七萬餘圓ノ格下ヲ爲シタルノ狀況ナルヲ以テ延納ヲ許可セス一旦契約ヲ解除シ更ニ必要ノ時期ヲ俟チテ購入スルヲ相當トス又會社ノ七年四月ヨリ八年三月ニ至ル生産狀況ヲ觀ルニ前期越高五千九百七十餘疋本期生産高四十三萬四千餘疋計四十四萬餘疋ノ内工廠ニ納入シタルハ六年度所屬ノ分ヲ併セ三十三萬八千餘疋ニシテ九萬六千餘疋ハ平均單價四圓八拾貳錢餘ヲ以テ日本火藥製造株式會社ニ賣却シタルノ事實アルニ徴シ多額ノ損失ヲ顧ミス長期ニ涉リ延期ヲ許可シタルハ失當ノ措置ト認メサルヲ得ヌ要スルニ本件ハ物品ノ購入ニ當リ其措置宜シキヲ得ヌ國庫ニ多大ノ不利ヲ來シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件ハ供給者タル日本「グリセリン」工業株式會社ニ於テ製造機械ニ故障ヲ生シタルト船腹不足ノ爲原料輸入ノ困難ニ陥リシ等何レモ不可抗力ニ準スヘキ事故ノ爲生産力ニ減少ヲ來セシモノト認メ延滞價金ヲ免除シ延納セシメタルモノニシテ其ノ間補充ノ爲臨時購入シタルモノニアリテモ當時ノ市價以內ノ價格ヲ以テ調辦シタルモノナリト雖當事者ノ措置適當ナラサルモノアリ特ニ將來ヲ戒飭セリ

【貴決】 措置適當ヲ闕ク

【衆決】 承認

【報告】

(七五) 東京砲兵工廠ノ支出ニ係ル

七七,五〇〇,〇〇〇

ハ東京瓦斯電氣工業株式會社ニ請負ハシメタル自動貨車十臺價格拾五萬五千圓ノ内五臺ノ代價ニシテ七萬七千五百圓ハ大正八年度ニ屬スルモノナリ右自動貨車ハ陸軍省ヨリ價格拾貳萬圓ヲ以テ製造令達ヲ受ケタルモノニシテ差損參萬五千圓ヲ工廠特別會計ノ負擔ニ歸セシメタルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ本品製造令達ハ七年五月年度更新ヲ俟チテ發セラレタルモ本品ノ急需令達アルヘキハ年度開始前早ク指示セラレタルヲ以テ廠内製造ヲ企圖セシニ時局竝補填兵器等ノ爲製造餘力少キト一面民間製造能力培養ノ爲前記會社ニ注文セシモノニシテ又臨時定價モ前年度ニ於テ早ク證議セラレタルモノニ係リ其發表マテニ相當日子ヲ要シ價格暴騰ノ爲差損ヲ生スルニ至レリ而シテ令達價格ハ恰モ一ノ請負價格ノ如キモノナルヲ以テ工廠作業上時ニ損失アルモノ之ヲ變更セサル方針ナリト謂フニ在リ然レトモ令達指

示ノ日附ニ就テハ何等之ヲ認ムヘキ資料ナク急速製造ヲ要スル物品ニ對シ令達指示後空シク時日ヲ經過シ製造餘力少キヲ觀ルニ及ヒ始テ會社ニ對スル注文ヲ決議セルカ如キハ之ヲ事實ト認メ難ク陸軍省ニ於テ軍用自動車製造技術獎勵ノ目的ヲ以テ民間ニ製造セシムルノ方針ヲ採リタルハ別途大阪砲兵工廠ニ對スル推問ノ結果ニ徴シ明ニシテ本件亦當初ヨリ製造ヲ民間ニ請負ハシムルノ豫定ヲ以テ令達ヲ受ケタルモノト認メサルヲ得ヌ隨テ本品ノ如キハ陸軍省ヨリ會社ニ對シ直接注文セシムルヲ相當トシ低價ノ製造令達ヲ受ケ之カ差損ヲ工廠特別會計ノ負擔ニ歸セシメタルハ不當ノ措置ト謂ハサルヲ得ヌ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 本件ノ如キ臨時製作品ニ對シ價格ニ著シキ差違ヲ生シタル場合ニ於テ之カ改定ヲ要求セサリシハ適當ト認メラレサルモノアルニ依リ特ニ將來ヲ注意セリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

千住製絨所

歳入 六,六二四,三七〇
競争入札ニ付スヘキ物件ノ貸下ヲ隨意契約ニ依リ且料金ノ算定宜シキヲ得サルモノ一件(七六)
歳出 五,九六一,八三八
工事施行上適當ノ注意ヲ缺キ工費ヲ無効ニ歸セシメタルモノ一件(七七)

第一款 千住製絨所作業收入 第二款 雜收入

【報告】 (七六) 千住製絨所ノ徵收ニ係ル 六,六二四,三七〇
ハ織機整紡機紡毛機縮絨機割毛機等六十五臺其他ヲ東洋麻毛紡織株式會社外八名ニ對シ隨意契約ニ依リ貸下ケタル料金ナリ右ニ對シ當局者説明ノ要旨ハ此等貸下器械ノ多クハ豫備機械トシテ存置シタルモノ及更新ノ爲除却スヘキ古機械ニシテ有事其他ノ關係ヲ顧慮シ倉庫ニ格納セルモノアリタルヲ以テ何時タリトモ返納セシムヘキ條件ヲ付シ之ヲ貸下クルトキハ
大正七年度 千住製絨所 (七六) 四三七

手入ノ費用ヲ要セサルノミナラス相當ノ使用料ヲ徴收スルコトヲ得且産業獎勵ノ趣旨ニ適合シ東洋麻毛紡織株式會社ノ如キハ菲草原料トシ品質強力共麻製品ト大差ナキ織布ヲ製作スルカ故ニ軍用地質トシテ有望ナルヲ認メ貸下ヲ爲シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ右ハ大正六年度検査報告ニ詳悉セシト同シク物件ノ貸借ハ法令ニ特別ノ明文アル場合ノ外總テ競争ニ付スヘキモノニシテ其料金ノ算定モ亦適當ト認メ難キノミナラス九年六月之カ實地ヲ調査スルニ貸下機械ハ普通毛紡績ニ使用シ得ヘク一般紡績會社ノ需要セサル特種ノ機械ト認ムルヲ得ス而シテ右借受人中津田某ノ如キハ織ニ貸下ヲ受ケタル整經機、割毛機、割絨機、繰返機各一臺及織機十八臺ノミヲ以テ製絨シ東洋麻毛紡織株式會社ハ八年ニ至リ研究ノ結果貸下機械ニテハ到底菲草原料ノ織布困難ニ付其事業ヲ休止セルノ状態ニ在リ要スルニ本件ハ競争ニ付スヘキ物件ノ貸下ヲ隨意契約ニ依リタルモノニシテ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス(大正六年度(四九)三二二頁參看)

【辨明】 本件ハ前年度検査報告ニ對シ辨明セル如ク貸下機械ハ千住製絨所一時ノ不用ニ屬シ作業ノ膨脹ヲ要スルトキハ何時ニテモ引上使用スヘキ條件附ノモノナルト一般紡績會社ノ需用セサル特種ノ機械ナルヲ以テ貸下出願ヲ俟テ附帶ノ條件ニ適合スルヤ否ヤニ依リ其ノ要旨ヲ決定スルモノナルト共ニ一面同所經營ノ附帶務タル民業ノ獎勵殊ニ軍用品ノ研究ニ資シ不用機械ノ利用ヲ一層有意義ナラシメタルモノナリ要スルニ需給ノ授合ヲ俟チテ初メテ其ノ目的ヲ達成シ得ルモノニシテ事實上一般競争ニ付スルノ餘地ナキモノトス又料金ノ算定ハ時價ヲ標準トシ之ニ耐使用見込能率ヲ評定シタルモノナルヲ以テ適當ナリト認ム

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 承認 (參照) ○會計法第二十四條(三九九頁參看)

歳出

第一款 千住製絨所作業費 第二項 事業費

【報告】 (七七) 千住製絨所ノ支出ニ係ル

五、九六一八三^円

ハ直營施工ニ係ル水槽工事費ニシテ外ニ在來品價格拾貳圓九拾五錢ヲ使用セリ本水槽ハ煉瓦造建坪四十二坪餘ニシテ大正八年三月竣功同年八月貯水ヲ開始シタルニ九月豪雨ノ際北側煉瓦壁全部高約三寸ノ箇所ヨリ倒壊シ八年度ニ於テ更ニ貳千

參百餘圓ヲ以テ復舊及附加工事ヲ施行スルニ至リタルモノナリ右ハ當初ノ設計其宜シキヲ得サルニ因ルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ該水槽ハ十分ナル強度計算ニ基キ構築シタルモノニシテ其水壓ニ堪フルハ貯水後一箇月間何等支障ヲ生セザリシニ徴スルモ明ナリト雖地盤ノ十分固定セサルニ先チ大雨ニ遇ヒ且周圍排水ニ不十分ナリシカ爲基礎ヲ洗ハレタル結果地盤沈下シ底部周圍ニ龜裂ヲ生シ倒壊シタルモノト認ムト謂フニ在リ然レトモ其提出シタル強度計算書ヲ見ルニ水槽壁底部ニ起ル張力一平方尺一万七千八百八十封度ナルニ對シ煉瓦積體ノ抗張力ヲ一平方尺二万六千六百封度ト計算シ築造シタルモノニシテ其方法妥當ナラサルノミナラス信頼セル抗張強度ノ如キモ甚シク過大ニシテ之カ倒壊ハ當初設計ニ際シ注意ノ周到ヲ缺キタルニ因ルモノト認メサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 本件ハ竣功後未タ周圍地盤ノ凝固セサルノ時機ニ於テ豪雨ニ遭遇シ基礎ヲ洗ハレタル等之カ倒壊ヲ招來スルノ一因トナリ不可抗力ニ基因スルモノアリト認メラルル點アルモ工事實施上注意ノ周到ヲ期スヘク特ニ將來ヲ注意セリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 承認

文部省所管

東京帝國大學

歳入

公用ヲ名トシ隨意契約ニ依リ物件ノ拂下ヲ爲シタルモノ一件(七八)

七、〇五〇三三^円

歳出

事實ニ反スル證明ヲ爲シ所屬年度ヲ混同シタルモノ三件(八〇)(八一)
其他不當ナルモノ二件(七九)

合計五件

一〇、五四二四〇〇

歳入經常部

第一款 東京帝國大學歳入

第五項 諸收入

大正七年度 千住製絨所 (七七)

【報告】 (七八) 東京帝國大學農學部ノ徴收ニ係ル

七〇五〇三三〇

ハ同部附屬朝鮮演習林内赤松立木竝損木二千四百七十五本材積一万九百七十一石七六ノ代價ニシテ朝鮮駐劄軍經理部ヨリノ照會ニ基キ同軍建築工事及陣營具製造請負人山本某ニ對シ明治三十一年勅令第九十二號第一條第一號ニ據リ隨意契約ヲ以テ賣拂ヒタルモノナリ右ニ關シ當該官吏説明ノ要旨ハ前記勅令第一條第一號ハ他ノ各號ニ於ケルカ如ク特ニ買受人ニ制限ヲ附セサルニ徴シ其指定ノ目的ニ使用スル以上ハ敢テ買受人ノ如何ヲ問フヘキモノニ非ス拂下材積ニ就テハ經理部ヨリ製材材積三千六百石ヲ必要トスル旨照會アリシニ由リ別ニ所要材積ヲ證明スル建築設計書ノ如キモノヲ徴セス又陣營具ハ兵營建築ニ附帶スヘキ設備ニシテ建築ノ一部分ト看做スヘク且主トシテ建築材ノ屑材ヨリ製造セラルルモノナルヲ以テ之ニ相當スル所要材積ヲ區別セスト謂フニ在リ然レトモ本件勅令ノ條項タル官廳又ハ公共ノ用ニ供スル爲該事業直接ノ起業者ニ對シ建築材料ヲ賣渡ス場合ニ限り適用スヘキ趣旨ニシテ營利ヲ目的トスル請負人ニ拂下クルカ如キ間接ノ場合ヲ包含スルモノニ非ス又陣營具ノ製造ハ建築工事ト認メ難ク隨テ本年度中同人ニ請負ハシメタル製造契約高壹萬九千貳百餘圓ニ相當スル材積ヲ建築用材ト共ニ該請負人ニ對シ前記勅令ニ據リ拂下ヲ爲シタルハ違法タルヲ免レサルモノトス依テ本件ヘ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

(參照) ○帝國大學資金並學校及圖書館資金所屬森林原野並產物特別處分規則(明治三十一年五月十八日勅令第九十二號)

第一條 文部大臣ハ左ノ場合ニ限り隨意契約ヲ以テ帝國大學資金並學校及圖書館資金所屬森林原野ノ貸渡及其ノ產物ノ賣却ヲ爲スコトヲ得

一 官廳又ハ公共ノ用ニ供スル爲メ森林原野ヲ貸渡シ若ハ建築材料ヲ賣渡ストキ

歳出經常部

第一款 東京帝國大學 第二項 物件費

【報告】

(七九) 本項ニ於テ東京帝國大學ノ支出ニ係ル

九三三三三九八〇

歳出臨時部第四款臨時支出金第五項物件費補足ニ於テ同大學ノ支出ニ係ル

一一二二八四二〇

ハ東京帝國大學醫科大學附屬醫院分院ニ於テ大正七年度中患者ニ供給シタル賄料並滋養品ノ代金ニシテ東京市小川某ニ仕拂ヒタルモノナリ九年三月ノカ實地ヲ検査スルニ當時ノ取扱者現職ニ在ラサルカ爲其實狀ヲ明ニシ難シト雖右賄料等ハ請負人ノ申出ニ依ラス毎月分院ニ於テ決定シ請負人ヲシテ之ニ基キ請求書ヲ作製提出セシメタルモノノ如ク其計算ノ基礎判明ナラサルヲ以テ當局者立會ノ上入院患者明細簿等ニ就キ之ヲ調査スルニ實際患者ニ供給セルハ一万三千三百食此代金五千七百七拾九圓五拾錢ナルニ之ニ對シ一万三千六百三十三食此代金五千九百參拾六圓拾五錢ノ仕拂ヲ爲シ差引三百三十三食此代金百五拾六圓六拾五錢ハ仕拂超過ノ計算ト爲レルニ當局者ハ爾後調査ノ結果却テ百六拾六圓餘ノ仕拂不足ト爲レル旨説明スルモ之カ仕拂ノ狀況ハ供給高ニ對シ毎月殆ト過不足アラサルハナク又患者滋養品ニ對シテハ支給明細表ニ依レハ實際供給シタルハ重湯、粥、鶏卵等此代金四千參百貳拾八圓參拾四錢ナルニ之ニ對シ四千六百六圓貳拾五錢ノ仕拂ヲ爲シ差引貳百七拾七圓九拾壹錢ハ使途不明ニ屬セリ依テ本件ヘ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

但シ東京帝國大學醫科大學附屬分院ニ於テ大正七年度中患者ニ供給シタル賄料並滋養品ノ代金ニシテ東京市小川某ニ仕拂ヒタル金額ニ關シ大正九年三月ニ於ケル會計検査院實地検査ノ場合ニ於ケル金額トノ間ニ符合セサル廉アリタルヲ以テ更ニ調査ヲ爲シタルニ其ノ結果賄料ニ於ケル金百六拾六圓參拾九錢ノ仕拂不足ヲ生シタリ此ノ不足額ニ付テハ債權者ヨリ權利拋棄ノ申出アリタルヲ以テ其儘處理完結シ又滋養品代金ニ付テハ金貳百七拾七圓九拾壹錢ノ過拂アリタルヲ以テ此ノ超過額ハ既ニ大正八年度歳入ヘ收納處理シタリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】

(八〇) 傳染病研究所ノ支出ニ係ル

一一三〇〇〇〇〇

ハ高橋某ニ仕拂ヒタル痘苗製造用犢牛百頭ノ賃借料トシテ證明セルモノナリ大正九年三月ノカ實地ヲ検査スルニ痘苗製造ニ關スル作業ハ事實前年度ニ於テ終了シ右犢牛ハ其際ノカ返却ヲ爲シタルモノナルニ豫算ニ不足ヲ生シタルヲ以テ其經費

大正七年度 東京帝國大學 (七九)(八〇)

ヲ本年度ノ支辨ト爲サンカ爲契約書ヲ七年四月一日附トシ同時ニ契約條項中積半引渡月日ヲ同月十日迄トシ検査調査其他支出關係書類等ニ於テモ亦悉ク本年度ニ於テ使用シタルモノノ如ク裝ヒ以テ前掲金額ヲ仕拂ヒタルモノナリ要スルニ本件ハ事實ニ反スル證明ヲ爲シ所屬年度ヲ混同シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】

(八一) 本項ニ於テ東京帝國大學農學部ノ支出ニ係ル

一、六四六、六五〇

歳出臨時部第四款臨時支出金第一項農科大學臨時授業費ニ於テ同部ノ支出ニ係ル

一、〇七二、六六〇

ハ農藝化學其他教室用各種物品購入及修繕代トシテ證明セルモノナリ大正九年二月之カ實地ヲ検査スルニ各教室ニ於テ豫算ノ有無ニ拘ラス擅ニ物品ノ購入又ハ修繕ヲ爲シ豫算ノ範圍内ニテ支辨シ得ル部分ノミヲ其年度ノ所屬トシ豫算ヲ超過シタル部分ニ對シテハ恰モ翌年度ニ於テ購入又ハ修繕ヲ爲シタルモノノ如ク裝ヒ以テ前掲金額ヲ仕拂ヒ更ニ本年度ニ於テ購入又ハ修繕ヲ爲シタル代價千四百壹圓四拾八錢ハ之ヲ翌年度ノ負擔ト爲シタルモノナリ要スルニ本件ハ物品ノ購入又ハ修繕ニ關シ豫算ヲ無視シ且事實ニ反スル證明ヲ爲シ所屬年度ヲ混同シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

農商務省所管

製鐵所

歳出

物件ノ購入ニ際シ事實ヲ作爲シ高價ノ代金ヲ仕拂ヒタルモノ二件(八一)

一七二、二〇四、一九〇

豫算ノ使用其宜シキヲ得サルモノ二件(八三)(八五)

九二、二九五、七七〇

物件ノ購入ニ際シ檢收其宜シキヲ得サルモノ一件(八四)

二二、八二五、〇五〇

合計五件

二八七、三二五、〇一〇

第一款 製鐵所作業費 第二項 事業費

【報告】

(八一) 本項ニ於テ製鐵所ノ支出ニ係ル

一一一、九七一、九六〇

第三項材料及素品費ニ於テ同所ノ支出ニ係ル

五九、二二二、二二〇

ハ中國製鐵株式會社外一組合ヨリ購入シタル大暮木炭鉄鐵八十四噸〇五、中國白鉄鐵三百九噸六一及雲伯鐵山組合ヨリ購入シタル庖丁鐵八十八噸六七五玉鋼四十二噸〇二ニ對スル代價ノ内ニシテ千貳百拾五圓九拾九錢ハ未拂ニ屬スルモノナリ大正八年六月之カ實地ヲ検査スルニ六年三月契約ヲ締結シタル大暮木炭鉄鐵千五百噸單價百拾五圓價格拾七萬貳千五百圓ノ内千四百八十八噸七九中國白鉄鐵千二百噸單價百貳拾八圓價格拾五萬參千六百圓ノ内四百八十八噸八九四及同年四月契約ヲ締結シタル庖丁鐵五百五十噸單價百六拾五圓價格拾四萬五千七百五拾圓ノ内九十三噸九一四玉鋼百六十噸單價百六拾五圓價格四萬貳千四百圓ノ内五十八噸二〇三ハ孰モ納入ニ至ラス請負人ヨリ鐵價及材料工賃等暴騰ノ爲契約單價ニテハ到底納入不可能ナリトノ理由ニ基キ契約解除ヲ出願シタルニ際シ未納數量ニ對スル違約金合計貳萬六千餘圓ヲ徵收シ七年六月ヨリ十月ニ至ル間ニ於テ解約ヲ爲シタルニ拘ラス契約更正傳票及決議書ノ日附ヲ同年三月三十一日ニ遡ラシメ恰モ同日契約ヲ解除シタルモノノ如ク裝ヒ更ニ七年六月木炭鉄鐵ハ貳百六拾圓同八月白鉄鐵ハ貳百九拾五圓庖丁鐵ハ四百七拾五圓玉鋼ハ四百八拾圓ノ單價ヲ以テ納入セシムヘキ新契約ヲ締結シ前契約ノ存續中即チ七年二月ヨリ同八月ニ至ル間ニ於テ檢收ニ係ル本件木炭鉄鐵其他ヲ新契約ニ對スル分納數量ト爲シ高價ノ新單價ニ依リ前掲金額ヲ仕拂ヒタルモノニシテ之カ爲契約解除ニ因ル違約金ヲ控除スルモ尙六萬千餘圓ノ損失ヲ來シタルノ計算ト爲レリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 本件大暮木炭鉄鐵ノ六年三月契約ヲ締結セル千五百噸ニ付テハ供給請負者ヨリ契約締結當時ニ比シ生産費及鐵價暴騰ノタメ到底契約價格ニテハ納入不可能ナルノ理由ヲ以テ六年夏期ノ交ヨリ屢次契約解除ヲ懇請シ來リ其ノ事情已ムヲ得サルモノナルヲ認メ全部ヲ解約スルノ方針ヲ執リ同時ニ次年度ニ於テ要スル數量ニ對シテハ別ニ之カ購入契約ヲ締結スルコトトシ七年二月ヨリ其ノ價格ヲ協議シ遂ニ千噸ヲ時

價ヨリ遙ニ低廉ニ供給スルコトヲ承諾セシメ之カ書類ノ提出ヲ待チテ其ノ手續ヲ完了セリ而シテ舊契約タル六年度分ニ屬スル千五百應口ニ對シテハ契約條項ニ基キ違約金ヲ徵收シテ解約シタルモノナリ

中國白銑鐵外二點ノ六年四月契約ノ分ハ同年十月ノ交ヨリ大要前掲大暮木炭銑鐵ト同様ノ理由ヲ以テ契約解除ヲ懇請シ來リタルモ本所製品注文引受ノ關係上之ニ應スルコト能ハス且一般鐵價モ亦暴騰セルノ際ナルヲ以テ之ヲ解約シテ新ニ他ニ購入ノ契約ヲ爲スハ頗ル不利トスルトコロナルヲ以テ同年十一月供給請負者ニ對シ約二割ノ値増ヲ行ヒ以テ全部ヲ完納セシムルコトニ交渉中同年十二月ニ至リ本所製品注文解約ノ申込アリ之ニ對シ彼是交渉ノ結果注文ノ解約ヲ爲サスシテ其ノ大部分ヲ七年度ニ繰延フルコトニ協定シタルニ依リ之カ原料ノ需要モ其ノ急迫ヲ緩和セラレタルヲ以テ値増ノ交渉ヲ撤回シ力メテ元價格ヲ以テ納入方ヲ獎勵シタルモ遂ニ七年三月ニ至リ若干宛ノ未納ヲ生シタルニ依リ契約條項ニ基キ違約金ヲ徵收シテ解約セリ然ルニ七年度ニ屬スル本所製品ノ注文引受量ニ對スル原料ヲ要スルヲ以テ七年八月新ニ是亦前掲大暮木炭銑鐵ト同シク當時ノ時價ヨリ低廉ナル價格ヲ以テ所要量ヲ購入スルノ契約ヲ締結シタルモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】

(八三) 製鐵所ノ支出ニ係ル

六九、九九七^円四七〇

【辯明】

ハ福岡縣遠賀郡上津役村養福寺貯水池築造ニ要スル豫定費額約百貳拾五萬圓ノ内ニシテ拾五萬參千貳百貳拾七圓四拾貳錢ハ大正六年度ニ其他ハ八年度以降ニ屬シ外ニ六、七兩年度ヲ通シテ在庫品壹萬六千參百圓壹錢ヲ使用セリ右ハ繼續費ニ非サル本費ヲ以テ數年ニ涉リ其目的ヲ達成スヘキ工事ヲ施行スルモノニシテ大正六年度檢査報告ニ詳悉セシ如ク擴張工事ノ一部ニ屬シ固定資本ノ維持補充ト認ムヘキモノニ非ス依テ本件ハ作業會計法第四條ニ違背シタルモノトス(大正六年度五二〇三二六頁參看)

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】

(八四) 製鐵所ノ支出ニ係ル

二二、八二五^円〇五〇

【辯明】

六拾五圓拾七錢ハ近江帆布月星印八號又ハ同等以上ノ品ヲ納入セシムルコトトシ大正七年三月下關市鈴木某ト契約シタルモノナルニ八年四月實地檢査ノ際調査スル所ニ依レハ其納品ハ織方不均一旦品質劣等ニシテ約一割減價スルヲ相當トシ又二萬八百四十六碼此代價壹萬六千貳百五拾九圓八拾八錢ハ倉庫掛ヨリ近江帆布月星印八號又ハ同等以上ノモノタルヘキ請求アリシニ基キ七年九月八幡市梶原某ヨリ購入シタルモノナルニ拘ラス該納品劣等ナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ本物件購入ノ際見本品ヲ要求セラレタルヲ以テ前記鈴木某ノ納入ニ係ル在庫品ノ内ヨリ之ヲ提出シ入札ヲ執行シタルモノニシテ見本品ト納品トハ品位相等シキモノナリト謂フニ在リ然レトモ爾後本院ニ於テ殘存現品ニ就キ調査スル所ニ依レハ納品ハ見本品ニ比シ原料稍粗惡且織方劣等ニシテ一割内外減價スルヲ相當ト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ物品ノ購入ニ際シ檢査其宜シキヲ得サリシモノニシテ不當ナリトス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】

(八五) 製鐵所ノ支出ニ係ル

一一、二九八^円三〇〇

ハ第二製鋼工場南部ニ於ケル蒸氣汽罐室ノ設備費參拾四萬貳千七百五拾五圓九錢ノ内ニシテ參拾貳萬四百五拾六圓七拾九錢ハ大正六年度ニ屬シ外ニ在庫品貳萬四千七百九拾五圓八拾參錢ヲ使用セリ右ハ大正六年度檢査報告ニ詳悉セシ如ク擴張工事ノ一部ニ屬シ本費ヲ以テ支辨スヘキ補足工事ト認ムルコトヲ得ス之ニ對シ當局者ハ元來第二期擴張以前ニ於ケル當所工場ノ蒸氣所要量ハ每一時間約三百三十一噸ニシテ各汽機ハ八汽壓ヲ標準トシテ設備セルモノニ係リ從來種種ノ方法ヲ講シ其最大能力ヲ發揮セシムルニ力メタルモ每一時間約二百八十二噸ノ蒸氣ヲ發生セシムルコトヲ得ルニ止リ作業上支障ヲ來スコト少カラサリシヲ以テ此増設ヲ計畫シタルモノニシテ四年一月ヨリ五年十二月ニ至ル間ノ實績ニ依ルモ其汽壓ハ一

大正七年度 製鐵所 (八五)

箇月平均六、四乃至七、七五ニ過キスト辯明スト雖本件汽罐ハ早ク四年十二月及五年八月ニ於テ註文シタルノ事實ニ由リテ之ヲ觀レハ四年一月ヨリ五年十二月迄ノ實蹟ハ事後ノ計算ニ屬スルコト明ナリ今本所作業ノ成績ヲ觀ルニ第二期擴張事業ニ屬スル各種工場設備ノ進捗ニ伴ヒ其製造力漸次増加シ四年度ニ於テハ明治四十三年度擴張以前ニ比シ鋼材生産高十萬餘噸ヲ増加シタリ然ルニ第二期擴張費豫算中ニハ原動力設備費トシテ九拾餘萬圓ヲ積算セルニ過キスシテ現ニ同年度迄ニ施行セル原動力設備中蒸氣力ニ就テハ殆ト施設ノ觀ルヘキモノナキニ拘ラス作業上何等支障ナカリシニ徴シ既設工場ニ對スル蒸氣力ハ多大ノ餘裕ヲ存セシモノト認メサルヲ得ス隨テ縱ヒ五年十二月迄ノ實蹟ニ於テ辯明ノ如ク蒸氣力ニ不足ヲ生セシトスルモ其不足ハ畢竟第二期擴張工場ノ漸次作業ヲ開始シタルニ原因スルモノト認ムルノ外ナキヲ以テ之ニ應スルノ施設ハ當然擴張費ノ支辨ト爲スヘキモノナリ要スルニ本件ハ固定資本ノ補充ヲ名トシ擴張ニ伴フ設備ヲ爲シタルモノニシテ作業會計法第四條ニ違背シタルモノトス(大正六年度(五)三三五頁參看)

【辨明】

本件ハ大正六年度歳入歳出決算検査報告ニ對スル辯明書ニ詳悉セシ如ク既設工場ノ蒸氣力ノ補充ヲ目的トシタルモノナルヲ以テ作業會計法第四條ニ所謂固定資本ノ補充ト認メ本費ノ支辨トナシタルモノニシテ七年度検査報告ニハ四年一月ヨリ五年十二月迄ノ實蹟ハ事後ノ計算ニ屬スト謂フモ時局ノ影響ニ依リ既設各工場ノ全能力ヲ擧ケテ生産ノ増加ヲ企テタルハ三年冬期ヨリニシテ之カタメ爾後痛切ニ蒸氣力ノ不足ヲ感シ百方之カ對策ヲ攻究シタルモ他ニ良法ヲ得ル能ハサリシヲ以テ四年十二月及五年八月蒸氣力ノ増加ヲ企畫シ注文ヲ爲シタルモノニシテ敢テ事後ノ計算ニ屬スルモノト謂フコトヲ得ス又本所作業ノ成績ハ第二期擴張以前タル明治四十三年度ニ比シ四年度ニ於テ鋼材十萬餘噸ノ増加ヲ示セルハ第二期擴張事業ニ屬スル各種工場設備ノ進捗ニ伴ヒ其ノ製造力漸次増加セルニ依ルト謂フモ第二期擴張ニ屬スル鋼材生産工場ノ作業開始ハ其ノ最早キモノタル第三分塊工場ハ五年四月第二期製鐵工場ハ同年六月ニシテ共ニ四年度ノ鋼材生産量ニ交渉ヲ有セス前記十萬餘噸ノ生産増加ハ全ク第二期擴張以前ニ屬スル既設工場ニ於テ時局ノ關係上最善ノ努力ヲ以テ全能力ヲ發揮シタルノ結果ニ外ナラス而シテ此ノ間蒸氣力ノ不足ハ益々酷シク延テ生産上惡影響ヲ生スヘキヲ憂慮シ已ムヲ得ス燃料經濟ヲ無視シテ汽罐ヲ極度ニ使用セシモ常ニ所要ノ蒸氣量ヲ得ル能ハスシテ生産上遺憾ノ點多大ナリシト前掲ノ如キ汽罐ノ酷使ハ到底永續シ得ヘキモノニアラサルヲ顧念シ遂ニ之カ増設ヲ爲シタルモノナリ要スルニ本件ハ第二期擴張ニ屬スル工場ニ對スル設備ニアラス隨テ名ヲ固定資本ノ補充ニ藉テ擴張工事ニ伴フ設備ヲ爲シタルモノニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

(參照) ○作業會計法第四條(四一二頁參看)

官 金

國庫金預入利子ノ協定宜シキヲ得ス國庫ニ不利ヲ來シタルモノ一件(八六)

【報告】

(八六) 本年度中政府ニ於テ一般會計並預金全部國債整理基金臨時國庫證券收入金各特別會計所屬餘裕金ヲ明治二十七年法律第十六號十八年布告第十三號及各特別會計法ノ規定ニ據リ日本銀行ニ對シ内地ニ於テ預入シタルモノ頗ル巨額ニ上リ其額特殊ノ用途ヲ指定シタルモノヲ除キ各月平均最高大正七年九月參億九百五萬餘圓最低八年一月壹億四千五百七拾六萬餘圓ニシテ全年度平均貳億參千八百拾壹萬餘圓ト爲ルノ計算ナリ右國庫金預入ニ關シテハ大正六年度検査報告ニ詳悉セシ如ク日本銀行ハ其預入ノ増加ト共ニ著シク外國爲替貸付金ヲ増加シ該預入金ヲ利用セサル場合ニハ制限外ニ多額ノ兌換券發行ヲ要スルノ状態ナルニ拘ラス其預入利率ハ保證準備兌換券發行稅ニ相當スル年一分二厘五毛ノ低率ヲ襲踏セリ之ニ對シ當局者ハ多年ノ慣行ニ基クモノニシテ之カ改定ハ金庫制度若ハ日本銀行ニ關スル諸制度ノ講究ニ缺ツヘキモノト爲セルモ元來預入利率ハ時ノ狀況ニ照シ相當ニ之ヲ定ムヘキモノニシテ敢テ制度ノ改正ニ缺ツテ要セス輒近狀勢一變シテ巨額ノ預入ヲ繼續シ日本銀行ハ相當納稅ヲ要セスシテ兌換券制限外發行ヲ爲シタルト同一結果ヲ收ムルノ狀況ナルニ預入利率ノ改定ヲ爲サス依然從來ノ低率ヲ襲踏スルカ如キハ不當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス而シテ日本銀行兌換券制限外發行ハ年度内平均四千五拾九萬餘圓ニ過キサリシモ國庫金ノ預入ヲ爲ササルニ於テハ著シク之ヲ増加シ年度内平均増加額ハ貳億貳百貳萬餘圓ノ巨額ヲ示シ之カ制限外發行稅額千貳百拾貳萬餘圓ト爲ルノ計算ニ對シ預入利子ハ貳百五拾貳萬餘圓ニ過キササルノ結果ヲ來セリ又日本銀行ニ於テハ其投資中外國爲替貸付金ニ於テ著シク増加シ同行營業週報ニ依レハ本年度中平均額貳億八千六百貳拾四萬餘圓ニ上リ該貸付金ニ對シ大藏大臣ノ認可セル利率ハ二分乃至六分五厘ナルニ徴シ國庫金ノ預入利率ハ甚シク低廉ニ失スルコト明ナリ要スルニ本件ハ國庫金預入利子ノ協定宜シキヲ得ス國庫ニ多大ノ不利ヲ來シタルモノニシテ

不當ナリトス(大正六年度(五四)三二九頁參看)

【辨明】

本年度中一般會計並預金部、國債整理基金、臨時國庫證券收入金各特別會計ノ餘裕金ヲ内地ニ於テ日本銀行へ當座預入セシハ國庫ニ多額ノ資金ヲ死藏スルトキハ徒ニ兌換券ノ發行高ヲ増加シ金融界ニ好マシカラサル感覺ヲ與フルヲ以テ從來荷モ國庫ニ餘裕アラハ之ヲ日本銀行へ預入シ同行力之ニ因リ免カルヘキ保證準備發行稅ニ相當スル年一分二厘五毛ノ利子ヲ納入セシムルノ慣例トナリ來リタルモノナリ尙本件ハ國庫制度ノ改正等ニ伴ヒ講究スヘキモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

(參照) ○國庫金出納上一時貸借ニ關スル法律(明治二十七年六月十二日)

第一條 政府ハ國庫金出納上一會計年度間餘裕アルトキハ相當ノ利子ヲ徵シテ之ヲ當座預入又ハ定期預トシテ日本銀行ニ預ケ入ル、コトヲ得

○預金規則(明治十八年五月三十日)

第六條 預り金ノ運用ハ日本銀行ヲシテ取扱ハシムルモノトス

○國債整理基金特別會計法(明治三十九年三月二日)

第四條 國債整理基金ハ金銀地金及有價證券ヲ以テ之ヲ保有シ其ノ他有利且確實ナル方法ヲ以テ之ヲ運用スルコトヲ得

前項ノ運用ハ日本銀行ヲシテ之ヲ取扱ハシム

○臨時國庫證券收入金特別會計法(大正六年七月二十一日)

第二條 本會計ノ資金ハ金銀地金及有價證券ヲ以テ之ヲ保有シ其ノ他確實ナル方法ヲ以テ之ヲ運用ス前項ノ運用ハ日本銀行ヲシテ之ヲ取扱ハシム

官 有 物

多額ノ資金ヲ以テ買收セル土地ヲ多年ニ涉リ其目的ニ使用セス管理宜シキヲ得サルモノ一件(八七)

坪數價格不同ノ土地ヲ交換シ且建物拂下ノ價格其當ヲ得サルモノ一件(八八)

馬匹ノ管理其宜シキヲ得サルモノ一件(八九)

合計三件

【報告】

(八七) 鐵道院ニ於テ明治四十四及大正四十五年度ニ涉リ費額九拾萬八千四百貳拾四圓四拾壹錢ヲ支出シ大里貯炭場敷地

用トシテ土地十二萬七千二百三十五坪餘ヲ買收シ爾後約十箇年ノ久シキニ涉リ現ニ不使用ノモノアリ抑本件ハ明治四十四年度中筑豐炭荷捌ノ爲門司大里間白木崎附近ニ一大貯炭場ヲ新設シ同時ニ大里停車場ヲ擴張セントスルノ計畫ニ出テタルモノニシテ之ヲ費用約八百萬圓ト定メ其事業ハ焦眉ノ急ニ迫リ一日モ猶豫スヘカラサルヲ以テ先ツ貯炭場用地ヲ買收シ萬一財政上四十五年度ヨリ著手シ能ハサル場合ニ於テハ之ヲ會社ノ經營ニ委スルモ差支ナシトシ其敷地所要坪數十六萬二千餘坪ノ内前掲面積ノ買收ヲ了シタルモノナリ然ルニ爾後何等實行ニ著手セザリシヲ以テ大正六年度中之カ事由ヲ鐵道院總裁ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ本件用地ハ若他ノ事業ノ爲先占セララルニ於テハ計畫遂行上障礙ヲ生シ買收ニ非常ナル困難ト不利トヲ來スヘキヲ慮リ急速買收シタルモノニシテ工事ノ施行ニ關シテハ資金ノ關係及設計上尙審議ヲ重ヌルノ要アリシニ由リ遷延今日ニ及ヒタルモ七年度ヨリ著手スルノ見込ナリト謂フニ在リ然ルニ八年度ヲ經過スルモ工事ニ著手セズ買收地ハ今仍其目的ニ使用セサルノ状態ニシテ本件計畫ノ如ク門司港ヲ以テ筑豐炭ノ集散地タラシメントスルハ同港ノ地位其他諸般ノ狀勢ニ照シ果シテ適當ナリヤ否ハ姑ク之ヲ擱キ當初本件土地買收ニ際シ本事業ハ焦眉ノ急ニ迫リ一日モ猶豫スヘカラスト爲シタルノ事由ト對照シ予盾ノ甚シキモノアリ加之買收地管理ノ状態ヲ觀ルニ敎習所官舎敷地及貨車航送設備擴張等ノ爲僅少ノ部分ヲ鐵道事業用ニ使用セルモノアルノ外大部分ハ耕作作用トシテ競争入札ヲ以テ貸付シ尙六千六百餘坪ハ隨意契約ヲ以テ帝國麥酒株式會社外二會社ニ貸付セリ而シテ耕作作用貸付地ニ在リテハ七年度實蹟ニ就キ之ヲ觀ルニ貸付料豫定價格ハ一段歩當小作米田ハ八斗五升乃至一石五升畑ハ一斗五升トシ此米價一石當拾八圓ノ割合ヲ以テ換算シタル小作料ニ對シ三割ヲ減シ其算出額ニ對シ更ニ四割乃至六割六分ヲ減シタルモノニ係リ總坪數十一萬二千餘坪此買收價格八拾萬千餘圓ニ對シ貸付料年額僅ニ貳千百餘圓ニ過キス耕作者ハ灌溉用溜池水路ノ維持修理其他引水上特別ノ負擔ヲ要シ且借地料ノ前納竝不作ニ際シ割引ヲ受クルヲ得サル等ノ事情アリトスルモ明治四十四及大正元年度ノ買收價格ニ對比シ其料金年利僅ニ二厘ニ過キサルノ狀況ニシテ土地ノ利用其當ヲ得サルモノト謂ハサルヲ得ヌ又帝國麥酒株式會社外二會

大正七年度 官有物 (八七)

社ニ貸付セル土地ハ曩ニ耕作用ニ貸付シタルモノヲ返地セシメ帝國麥酒株式會社ニ對シテハ空瓶又ハ麥酒箱置場トシテ五千百餘坪株式會社大里硝子製造所ニ對シテハ瓶及石炭置場トシテ二百餘坪合名會社鈴木商店ニ對シテハ埤塙乾場トシテ千二百餘坪ヲ孰モ使用許可ノ名義ヲ以テ隨意契約ニ依リ貸付シタルノミナラス會社ハ該地ニ木造倉庫若ハ事務所ヲ建築シ或ハ之ヲ庭球場ニ使用スル等指定ノ用途ニ副ハサルモノアリ元來官有地ニ對シ使用許可ヲ與フルコトヲ得ルハ官有地取扱規則第十一條ニ規定スルカ如ク公用中ノ土地ニシテ其公用ヲ妨ケサルモノタルコトヲ要ス然ルニ本件土地ハ現實公用ニ供シタルモノニ非サルヲ以テ之カ利用ハ競争入札ニ付スヘク使用許可ヲ與フルカ如キハ適法ノ措置ニ非サルノミナラス當局者ハ公共ノ用ニ供スル目的ヲ以テ返地セシメタルニ由リ公共ノ用ニ供スルモノナリト説明スト雖實地ノ狀況ニ徴シ且其返地ヨリ使用許可ヲ與ヘタル間僅ニ一箇月内外ヲ隔ツルニ過キサルニ由テ之ヲ觀レハ公共ノ用ニ供スル爲返地ヲ命シタルモノト認ムルヲ得ス要スルニ本件ハ多額ノ資金ヲ以テ買收セル土地ヲ多年ニ涉リ其目的ニ使用セス且其貸付ニ關シ措置宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ管理ニ關シテハ關門間隧道工事ノ施行其ノ他ノ事情ニ徴シ將來適當ノ措置ヲ講スヘシ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

(參照) ○官有地取扱規則(明治二十三年十一月二十五日) 勅令第二百七十六號

第十一條 官ニ屬スル公有地及公有水面ハ其公用ヲ廢シタルニアラサレハ賣拂讓與交換又ハ貸付スルコトヲ得ス但公衆ノ妨害トナラサル限リハ公用ニ供シタル儘有料又ハ無料ニテ特ニ其使用ヲ許スコトヲ得

【報告】

(八八) 鐵道院ニ於テ大正八年二月中岡山市下石井所在鐵道用地四千九百八十坪三合四勺此評價額貳萬四千九百壹圓七拾錢ヲ鐘淵紡績株式會社所有ニ係ル同市上石井所在宅地及田千七百七十三坪一合九勺四才此評價額參萬九千七百八圓拾七錢八厘ト交換契約ヲ爲シタルモノアリ右ハ兩地ノ坪數價格共ニ著キ差異アルノミナラス交換地ニ存在セシ倉庫ハ之カ爲別途賣却處分ニ付シタルモノナルヲ以テ其事由ヲ鐵道大臣ニ質問セシニ辯明ノ要旨ハ

本件ハ岡山驛官舎増設ノ必要ヲ生シ同驛構内模様換工事ノ結果不用ト爲レル本件交換地ニ之ヲ設置スルノ計畫ナリシモ該地ハ隣地ヨリ低ク沼狀ヲ爲シ且煤煙多ク衛生上適當ナラサルノミナラス土工其他ニ經費ヲ要スルコト多キヲ慮リ他ニ適當ノ候補地ヲ求メツツアリシ折柄鐘淵紡績株式會社ヨリ同社所有ニ係ル土地ヲ提供シテ交換セラレタキ旨申出アリ同地ハ現在鐵道官舎並事務所敷地ニ接続シ極メテ適當ニシテ且停車場ニ近ク旅館等ノ經營ニ利用シ得ヘク交換地ニ比シ面積狹小ナリト雖價格ニ於テハ差益アルヲ以テ交換地ヲ建物ト共ニ賣却シ別ニ官舎敷地ヲ購入スルヨリモ有利ナリト認め交換ヲ爲シタルモノナリ而シテ官有地取扱規則第八條ハ坪數及價格ヲ一體トシ交換ノ要件ト爲シタルモノニシテ官有財産管理規則ニハ坪數ヲ要件トセス單ニ評定價格相均シキモノト爲セルヨリ觀ルモ評定價格ニ重キヲ置キタルモノト認めタリ

ト謂フニ在リ然レトモ官有財産ヲ以テ他人ノ所有物ト交換スルコトヲ得ルハ官有財産管理規則ニ據ルモ其評定價格相均シキモノニ限ルヘキモノナルニ本件ハ其價格甚シク差異アルノミナラス交換代地ハ坪數ニ於テモ著シキ差減アリ右交換地カ官舎敷地トシテ適當ナラストセハ地上建物ト共ニ之ヲ賣却シ別ニ適當ノ土地ヲ購入スヘキモノナルニ會社ノ情願ヲ容レ地上物件ヲ分離シ會社カ交換ノ目的ヲ以テ新ニ購入セル土地ト交換ヲ爲スカ如キハ不當ノ措置ト認めサルヲ得ス又當局者ハ價格ニ於テ差益アルカ爲別ニ官舎敷地ヲ購入スルヨリモ有利ナリト認めタリト辯明スルモ交換地ニ存在セル倉庫ハ煉瓦造小屋組鐵骨平家建一部二階附二百三十五坪餘此官有財産簿登記價格壹萬八千餘圓ニシテ土地ト共ニ之ヲ處分スルニ於テハ建物時價昂騰ノ折柄交換ニ依ル差益ニ比シ寧ロ有利ナルハ疑ナキ所ナリ然ルニ之ヲ分離シ取除ノ目的ヲ以テ賣却スルノ己ムナキニ至ラシメタル結果競争入札ニ付スルモ本會社ノ外孰モ豫定價格ニ達セス結局代價六千餘圓坪當僅ニ貳拾五圓餘ヲ以テ會社ノ所有ニ歸セシムルニ至リタルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

本件交換受地ハ鐵道官舎及事務所敷地ニ接續シ鐵道業務ニ利用スル上ニ於テ交換渡地ヨリモ有利ノ地ナリシニ依リ交換スルニ至リタルモノニシテ渡地ニ存在セル建物ハ元ヨリ不用ナリシニ依リ土地處分ノ結果各別ニ處分セサルヲ得サルニ至リシモノニシテ本件交換ノ爲政府

ハ別ニ損失ヲ受ケタルモノニアラス仍テ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

(參照) ○官有地取扱規則(明治二十三年十一月二十五日)

第八條 官有地ト民有地ノ交換ハ兩地ノ坪數及價格相均シキモノニアラサレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

○官有財産管理規則(明治二十三年十一月二十五日)

第十一條第一項 官有財産ヲ以テ他人ノ所有物ト交換スルコトヲ得ルハ同一種類ノ財産ニシテ少クトモ評定價格相均キモノニ限ル

【報告】

(八九) 傳染病研究所ニ於テ其保管ニ係ル馬匹ヲ繋畜委託ノ名義ヲ以テ須山某外三名ニ對シ保管ヲ委託シ飼糧其他一切ノ經費ヲ負擔セシメ馬匹ノ使用ヲ許可シタルモノ大正六年度ニ於テ二十一頭此評價格千四百七拾圓五拾錢七年度ニ於テ三十六頭此評價格五千拾五圓八年度ニ於テ四十六頭此評價格七千四拾圓アリ抑本件馬匹ハ陸軍省ヨリ貧血試驗用トシテ保管轉換ヲ受ケタルモノニシテ右繋畜委託契約ニ據レハ委託馬ハ受託者ノ住所ニ於テ善良ノ繋畜ヲ爲シ住所以外ニ繋畜セントスル場合ニハ本所ノ承諾ヲ受クヘク飼糧其他一切ノ費用ハ受託者ノ負擔トシ且故意怠慢ニ因リ死ニ至ラシメタルトキハ評價ノ金額ヲ辨償スヘキモノトセリ九年三月實地ニ就キ之ヲ檢査スルニ右委託馬中須山某ニ委託シタル九頭ノ内五頭ハ同人住所ニ繋畜シアルモ四頭ハ執モ承諾ヲ得スシテ他ニ轉貸シ本人ノ住所ニ繋畜シアルモノモ亦善良ナル保管ヲ爲シタルモノト認メ難ク又篠原某ニ委託シアル十七頭ハ全部他ヘ轉貸シ料金ヲ收得シ毫モ契約上ノ義務ヲ履行シ居ラサルノ狀況ナリ依テ右委託ヲ爲シ竝不用馬匹ノ拂下處分ヲ爲ササリシ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ右ハ受託陸軍獸醫學士ノ研究材料トシテ保管轉換ヲ受ケタル馬匹ノ内貧血試驗ニ關シ當所ヘ繋畜ノ必要ナキモノヲ委託シタルモノニシテ主トシテ馬糧ノ經濟馬糧價格調節ノ必要ニ出テタルモノナリ又之カ拂下處分ヲ爲ササリシハ未タ試驗中ニ屬シ拂下ノ時機ニ到ラサルノミナラス縦ヒ試驗済ノモノト雖陸軍省ヨリ保管轉換ヲ受ケタルモノヲ賣却スルカ如キハ穩當ナラスト思料シタルニ因ルト謂フニ在リ然レトモ實地檢査ノ際主任技師ニ於テ須山某外三名ニ委託シアル馬匹三十頭中保存ヲ要スルモノハ十一頭ニ

過キスシテ他ハ既ニ試驗済ニ屬シ不用ト爲リタルモノナリト説明セルニ徵シ委託馬全部ハ試驗中ニ屬シ未タ拂下ノ時機ニ到ラサルモノナリトノ事實ハ之ヲ認メ難ク既ニ試驗ノ用途ニ供シ不用ト爲リタルモノナルニ於テハ縦ヒ他ヨリ保管轉換ヲ受ケタルモノト雖之カ拂下處分ヲ爲スハ毫モ支障ナキ所ナリ又其繋畜ノ必要アルモノニ關シ保管委託ノ名義ヲ用ヒ馬匹ノ使用ヲ許シ且經濟界變動ノ時期ニ於テ數年ニ涉リ同一ノ契約ヲ締結セルカ如キハ不當ノ措置ニシテ馬匹ノ保管及轉貸ノ實況ニ由リ之ヲ觀レハ契約上ノ義務履行ニ關スル監督ヲ等閑ニ付シ徒ニ受託者ヲ利セシメタルモノト認メサルヲ得ヌ要スルニ本件ハ官有馬匹ノ管理其宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計檢査院檢査報告ノ通

但シ馬匹委託契約ニ於テ馬匹ノ貸付料ヲ徵セサリシハ馬匹概シテ勞役ニ堪ユルモノナク且受託者ニ於テ相當高價ナル飼養料ノ負擔ニ任スルカ爲無料貸付トナシタルモノニシテ徒ニ受託者ヲ利セシメタルモノト認メヌ又試驗済ニ屬スル馬匹ニシテ不用ニ歸シタル分ハ大正九年四月賣却處分ヲ爲シタリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

既
往
年
度

既往年度

目次

豫算及法律勅令違背ノ事項	四五五
大正六年度	四五五
一般會計	四五五
歲入	四五五
特別會計	四五七
大藏省所管	四五七
帝國鐵道	四五七
資本勘定	四五七
歲出	四五七

既往年度

豫算及法律勅令違背ノ事項

既往年度歳入ノ賦課徴收ニ於テ

租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ四件

租税ノ徴收過ニ屬スルモノ一件

同歳出ニ於テ

工事施行上適當ノ注意ヲ缺キ工費ヲ無効ニ歸セシメタルモノ一件

合計六件

ナリ

大正六年度

歳入

租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ四件(九〇)(九一)

租税ノ徴收過ニ屬スルモノ一件(九一)

合計五件

歳出

工事施行上適當ノ注意ヲ缺キ工費ヲ無効ニ歸セシメタルモノ一件(九二)

一般會計

歳入經常部

既往年度

五八、五四七^円七一〇
一五、六〇二^円五四〇

七五、六六九^円〇〇〇
一四九、八一九^円二五〇

五八、五四七^円七一〇
一五、六〇二^円五四〇
七四、一五〇^円二五〇
七五、六六九^円〇〇〇

既往大正六年度 歳入 (九〇)(九一)

四五六

第一款 租 税 第二項 所得税

【報告】 (九〇) 龜戸稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

三三三二七五^円二五〇

アリ右ハ大日本製糖株式會社ノ所得額ヲ決定スルニ當リ 自大正五年十一月 事業年度ニ於テハ割賦賞與金壹萬千參百五拾八

圓八錢ヲ脱漏シ社債利子收入ハ其全額ヲ總收入ヨリ控除シタルニ之ニ對スル第二種所得税九拾圓ヲ損金ヨリ除外セス

自六年五月 事業年度ニ於テハ割賦賞與金壹萬五千五百拾參圓ヲ拾五萬圓ト計算シ違約金及物件賣却代六拾五萬五千四百四

拾參圓五拾參錢ヲ益金ニ計算セサルニ因ルモノナリ

京橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ株式會社大倉組ノ所得額ヲ決定スルニ當リ報償準備金參拾五萬圓ヲ損金ニ計算シタルニ因ルモノナリ

四谷稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ東京市赤坂區大倉某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ貸金所得額壹萬四百六拾六圓ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

右ハ孰モ取扱ノ過誤ニ因リ徵收不足ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

會計檢査院檢査報告ノ通

但シ大正八年度又ハ九年度ニ於テ更正済

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第三項 營業稅

【報告】 (九一) 橫濱稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハゼウキツトコースキ株式會社ノ問屋業報償金八萬四千貳百九拾五圓ヲ參萬七千九百八拾五圓ト決定シタルニ

因ルモノナリ

永代橋稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

一五、六〇二^円五四〇

アリ右ハ三井物產株式會社ノ運送業資本金額百貳拾八萬參千八百七拾貳圓ヲ四百四拾萬四千參百八拾圓ト決定シタルニ因

ルモノナリ

右ハ孰モ取扱ノ過誤ニ因リ徵收上過不足ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

會計檢査院檢査報告ノ通

但シ大正八年度又ハ九年度ニ於テ更正済

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

特別會計

大藏省所管

帝國鐵道

資本勘定

歳出

第一款 鐵道建設及改良費 第二項 改良費

【報告】 (九二) 鐵道院ノ支出ニ係ル

ハ新潟市木戸某外二名ノ請負ニ付シ施行シタル磐越西線五十島、馬下間及荻野豐實間豐實日出谷間防雪工事費貳拾壹萬參千

六百七拾九圓參錢ノ内ニシテ拾參萬八千拾圓參錢ハ大正七、八兩年度ニ屬シ外ニ七年度迄ニ官給材料價格五萬九千五百五拾七

圓五厘ヲ使用セリ右ハ大正七年度帝國鐵道資本勘定歳出第一款鐵道建設及改良費第二項改良費ニ詳悉セシ如ク工事施行上適

當ノ注意ヲ缺キ且其監督粗慢ナリシカ爲多額ノ工費ヲ無効ニ歸セシメタルモノニシテ不當ナリトス(四一六頁(五八)參看)

【辨明】 本件ハ大正七年度資本勘定歳出第一款鐵道建設及改良費ニ詳悉セシ通リ

既往大正六年度 帝國鐵道 (九二) 四五七

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

衆議院決議

△ 大正七年度ニ於テ鐵道院カ多數ノ船舶ヲ購入シ燃料炭運搬自營ノ途ヲ立テタルハ計畫其ノ宜シキヲ得タルモノニ非スト認

大正八年度歳入歳出決算検査報告

大正八年度歳入歳出決算検査報告

目次

豫算及法律勅令違背ノ事項 四五九^四

一般會計 四六三

 歳入 四六三

 歳出 五〇五

 内務省所管 五〇五

 大藏省所管 五〇八

 陸軍省所管 五一〇

 海軍省所管 五一七

 司法省所管 五二四

 文部省所管 五二五

 農商務省所管 五二六

 逓信省所管 五三一

特別會計 五三一

 大藏省所管 五三一

 專賣局 五三一

 歳出 五三二

朝鮮總督府	五三五
歲入	五三五
歲出	五三七
臺灣總督府	五四四
歲入	五四四
歲出	五四五
樺太廳	五四八
歲出	五四八
陸軍省所管	五四九
東京砲兵工廠	五四九
歲出	五四九
千住製絨所	五五二
歲入	五五二
海軍省所管	五五三
海軍工廠資金	五五三
歲出	五五三
文部省所管	五五四
東京帝國大學	五五四
歲出	五五四

農商務省所管	五五五
製鐵所	五五五
歲出	五五五
鐵道省所管	五五七
帝國鐵道	五五七
資本勘定	五五八
歲入	五五八
歲出	五五九
收益勘定	五六九
歲入	五六九
歲出	五七一
官金	五七二
官有物	五七五
既往年度	五八一
大正六年度	五八一
大正七年度	五八二
貴族院決議	五九二
衆議院希望事項	五九二

大正八年度歳入歳出決算検査報告

豫算及法律勅令違背ノ事項

大正八年度歳入歳出總決算及同特別會計歳入歳出決算ノ内歳入ノ賦課徴收歳出ノ使用官金及官有物ノ管理處分ニ於テ豫算又ハ法律勅令ニ違背シタル事項ハ

一般會計

歳入ニ於テ

課税標準ノ決定其宜シキヲ得サルモノ四十一件	六、五二五、六八五、三三〇
課税ノ決定緩慢ナリシカ爲徴收ノ途ナキニ至リタルモノ十二件	五五七、八二五、五九〇
監督上不注意ナリシカ爲租税ノ拂込ヲ遅延セシメタルモノ二件	一一一、八二二、八四〇
監督上ノ注意周到ヲ缺キ多額ノ税金ヲ遺脱セシメタルモノ四件	六七三、五六八、三〇〇
租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ九十一件	五七三、四一三、〇四〇
租税ノ徴收過ニ屬スルモノ十九件	一八五、九七二、〇九〇
土地使用料ノ決定低廉ニ失シタルモノ一件	二七、九六九、〇〇〇
監督不十分ナリシカ爲課税價格ヲ低下シ登録税ヲ騙取セラレタルモノ一件	九三〇、六九〇
名ヲ物品勞力ノ寄附ニ藉リ歳入ニ編入スヘキ寄附金ヲ別途ニ整理シ經費ニ移用シタルモノ一件	一、三〇二、一五七、八一〇
立木其他物件ノ代價ヲ歳入ニ編入セス直ニ之ヲ使用シタルモノ一件	一一、二六一、六一一
適當ノ減價償却ヲ爲シタル會社ノ計算ヲ認可シ配當金ノ徴收ニ至ラサリシモノ一件	五二、〇〇〇、〇〇〇

大正八年度

大正八年度

四六〇

過當ニ材料素品ノ格下ヲ爲シ作業益金ヲ減殺シタルモノ一件 一、三一五、五九九
 過當ニ斟酌ヲ加ヘ違約處分ヲ爲シタルモノ一件 一、二八六、〇〇〇
 歳入金ノ納付ヲ遅延シ所屬年度ヲ紊リタルモノ一件 一、三〇二、二〇二、三九〇
 豫定價格ノ算定其宜シキヲ得ス低價ニ物件ノ拂下ヲ爲シタルモノ一件 四七五、〇〇〇
 合計百七十八件 九、三二九、四七三、八一〇

歳出ニ於テ

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ八件 一、四〇一、五五七、三三九
 工事施行上ノ注意ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ五件 二七四、四六五、五一一
 虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ十件 一〇、二二七、四七〇
 競争入札ニ付スヘキ工事及物件ノ購買ヲ隨意契約ニ依リタルモノ五件 二、一九〇、一〇二、四七〇
 豫算ノ剩餘アルニ乘シ不急ノ物品ヲ購入シタルモノ二件 四一九、六七九、六一〇
 豫算ノ使用其宜シキヲ得サルモノ七件 一七六、五九二、〇二二
 監督其宜シキヲ得ス出來形設計ニ違背シタル粗造ノ工事ニ對シ之カ代金ノ全部ヲ仕拂ヒタルモノ三件 一五〇、五七〇、七一〇
 物件ヲ購入スルニ當リ請託ノ爲國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ一件 九七三、九二二、四九〇
 合計四十一件 五、五九七、一一八、六二二

特別會計

歳入ニ於テ 一八八、〇〇〇、〇〇〇
 過當ノ減價償却ヲ爲シタル會社ノ計算ヲ認可シ配當金ノ徴收ニ至ラサリシモノ一件 一八八、〇〇〇、〇〇〇

租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ一件 五、二五二、五五〇
 低價ヲ以テ土地ノ拂下ヲ爲シタルモノ一件 二、五五五、六九〇
 物件ノ拂下ニ當リ歳入歳出ヲ混同シタルモノ一件 四九、八八六、四五〇
 競争入札ニ付スヘキ物件ノ貸下ヲ隨意契約ニ依リタルモノ一件 二九、七八八、〇四〇
 過當ニ斟酌ヲ加ヘ違約處分ヲ爲シタルモノ一件 二八、七一九、一〇〇
 假收入金ノ整理ヲ遅延シ拂戻ヲ爲ササルモノ一件 一、三一七、九七五、二四〇
 其他不當ナルモノ一件 六、三二四、九六〇
 合計八件 一、六二八、五〇二、〇三〇

歳出ニ於テ

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ十三件 二六〇、四六二、八四二
 電力ノ購買契約其宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ一件 四五、七六九、八八〇
 工事施行上ノ注意ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ六件 二、三五、六二六、一九二
 設計上適當ノ注意ヲ缺キ且粗造ノ工事ニ對シ之カ代金ノ全部ヲ仕拂ヒタルモノ一件 六三、二九四、九三〇
 事實ヲ作爲シ年度所屬ヲ紊リ且正當債主ニ非サル者ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノ二件 一八、七六五、五四〇
 物品購入上注意周到ヲ缺キタルモノ二件 八五、〇七五、二二〇
 年度内竣功セサル工事ニ對シ工費ヲ支出シタルモノ一件 二六、二〇〇、〇〇〇
 物件ノ購入ニ當リ年度所屬ヲ紊リタルモノ二件 五二、一〇三、九九〇
 地方費ニ對スル補助其當ヲ得サルモノ一件 七〇、〇〇〇、〇〇〇
 豫算ノ使用其宜シキヲ得サルモノ三件 五一九、〇五六、六二〇

大正八年度

四六一

大正八年度

物件ノ購入ニ當リ措置其宜シキヲ得ス國庫ニ不利ヲ來シタルモノ一件
 高價ヲ以テ不急ノ物件ヲ購入シタルモノ一件
 虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ一件
 競争入札ニ付スヘキ物件ノ購入ヲ隨意契約ニ依リタルモノ一件
 豫算不足ノ爲決算ヲ作爲シ所屬年度ヲ紊リタルモノ二件
 物件購入代價ノ値増ヲ爲シ且不良品ヲ檢收シ遲滞ノ責任ヲ免除シタルモノ二件
 繼續費ニ非サル經費ヲ以テ數年度ニ涉リ一定金額ノ支出ヲ協定シタルモノ二件
 其他不當ナルモノ三件

合計四十三件

官金ニ於テ

國庫金預入利率ノ協定其宜シキヲ得ス國庫ニ不利ヲ來シタルモノ一件

其他不當ナルモノ一件

合計二件

官有物ニ於テ

官有財産ノ交換ニ當リ官有財産管理規則ニ違背シ且土地ノ評價低廉ニ失シ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ一件

印紙切手類ノ出納保管ニ關シ監督其宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ一件

合計二件

總計二百七十四件

ナリ

四六二

八五五、三三七^四六五〇

一四七、八四〇〇〇〇

八、〇七一〇八〇

四、七四八四九〇

一一、五二八、一七二、八五六

一七七、九九四〇二〇

六〇、六八七五七〇

五八一、九四二〇六九

五、七四一、一四八、九四九

一般會計

歳入

課税標準ノ決定其宜シキヲ得サルモノ四十一件(一)(二)(三)(四)(六)(七)(八)(一〇)(一一)(一二)

(一三)(一八)(一九)(二〇)(二二)(二三)(二五)

六、五二五、六八五^四三二〇

課税ノ決定緩慢ナリシカ爲徵收ノ途ナキニ至リタルモノ十二件(五)(九)(一五)

五五七、八二五五九〇

監督上不注意ナリシカ爲租税ノ拂込ヲ遲延セシメタルモノ二件(一四)(一七)

二一、八二二、八四〇

監督上ノ注意周到ヲ缺キ多額ノ税金ヲ遁脱セシメタルモノ四件(一六)(二五)

六七、三五六、八三〇

租税ノ徵收不足ニ屬スルモノ九十一件(二〇)(二三)(二四)(三六)

五七三、四一三〇四〇

租税ノ徵收過ニ屬スルモノ十九件(二〇)(二三)(三六)

一八五、九七二〇九〇

土地使用料ノ決定低廉ニ失シタルモノ一件(二六)

二七、九六九〇〇〇

監督不十分ナリシカ爲課税價格ヲ低下シ登錄税ヲ騙取セラレタルモノ一件(二七)

九三〇、六九〇

名ヲ物品勞力ノ寄附ニ藉リ歳入ニ編入スヘキ寄附金ヲ別途ニ整理シ經費ニ移用シタルモノ一件(二八)

一、三〇二、一五七、八一〇

立木其他物件ノ代價ヲ歳入ニ編入セス直ニ之ヲ使用シタルモノ一件(二九)

一一、二六一六一

過當ノ減價償却ヲ爲シタル會社ノ計算ヲ認可シ配當金ノ徵收ニ至ラサリシモノ一件(三〇)

五二、〇〇〇〇〇〇

過當ニ材料素品ノ格下ヲ爲シ作業益金ヲ減殺シタルモノ一件(三一)

一、三一五、五九九

過當ニ斟酌ヲ加ヘ違約處分ヲ爲シタルモノ一件(三二)

一、八六〇〇〇

歳入金ノ納付ヲ遲延シ所屬年度ヲ紊リタルモノ一件(三三)

一、一〇二、三九九

豫定價格ノ算定其宜シキヲ得ス低價ニ物件ノ拂下ヲ爲シタルモノ一件(三四)

四七五〇〇〇

合計百七十八件

九三三、二九、四七三、八一〇

歳入經常部

第一款 租税 第二項 所得税

大正八年度

四六三

【報告】

(一) 本項ニ於テ伊丹稅務署ノ徵收ニ係ル

一一、二一〇、六五一、六二〇

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收ニ係ル

一一、二七六、八六七、六〇〇

ハ大日本紡績株式會社ノ大正七年下半年分及八年上半年分所得額貳千八百貳拾七萬五千參百五拾五圓利得額千八百八拾八萬四千參百參拾八圓ニ對スル稅額ニシテ當初當局者ハ之ヲ決定スルニ當リ會社カ消費原棉價額ヲ買入價額ヨリ高價ニ見積リ損金ニ計算シ該差額ニ相當スル利益金ヲ損益計算外ニ留保セルノ疑アリシヲ以テ原棉其他ノ受拂ヲ質問シタルニ會社ハ營業上ノ機密ニ屬スト稱シ之カ回答ヲ爲ササルノミナラス帳簿開示ヲ拒絕シ調査困難ナリシモ懇談ノ結果消費原棉價額ト買入價額トノ差額ニ相當スル貳百八拾萬四千餘圓ヲ兩期分所得額ニ追加申告セシメ之ヲ是認決定シタルモノナリ右追加申告額ハ兩期共先ツ高價ナル當期買入品ヲ消費シタル後廉價ナル持越品ニ及ホセルモノノ如ク計算シタルモノニシテ所得計算上妥當ナラスト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ原料棉花ハ輸入後數年間之ヲ保存スルモ何等變質ヲ來スモノニ非サルヲ以テ其消費拂出ニ必スシモ一定ノ順序アルコトヲ寧ロ會社ノ經濟狀態ニ依リ比較的利潤多キ場合ニハ高價ナル當期買入品ノ消費後廉價ナル持越品ヲ消費スル場合ナシトセス本件ノ如キモ此事由ニ基キ其期買入ノ高價原料ヲ消費シ不足分ヲ持越品ヨリ補ヒ以テ利益ノ調節ヲ圖リシモノト認ム元來會社ハ稅法所定ノ質問ニ對シ營業上ノ機密ト稱シテ回答ヲ爲サス且帳簿開示ノ要求ニ應セサルモノニシテ固ヨリ之ヲ以テ調査ノ十全ヲ期シ得タリト謂フヲ得サルモ稅法上帳簿検査ノ權能ナキヲ以テ斯ル缺陷ハ已ムヲ得サルモノナリト謂フニ在リ然レトモ當初會社申告ノ計算ニ依レハ七年下半年ニ於ケル持越原料平均單價六拾五圓餘買入原料單價八拾參圓餘ナルニ期末現在品單價ハ五拾九圓餘ト爲リ八年上半年期ニ於テハ買入原料單價八拾六圓餘ニ騰貴セルニ拘ラス其期末現在品單價ハ更ニ五拾參圓餘ニ低下シタルモノニシテ其追加申告ノ計算ニ依ルモ七年下半年買入原料單價八拾參圓餘ナルニ期末現在品單價ハ六拾五圓餘ニ當リ八年上半年期買入原料單價八拾六圓餘ナルニ期末現在品單價ハ六拾六圓餘ニ過キサルノ事實ニ徵スレハ會社ハ消費原棉價額ヲ高價ニ積算シ利益ノ留保ヲ圖リタルモノト認メサルヲ得ス而シテ其留保利益額ハ會社ニ於テ計算ヲ開示セサルヲ以テ之ヲ確知スルニ由ナシト雖

【辨明】

假ニ前期ヨリ持越品及當期買入品ノ平均價格ト拂出價格トノ差額ヲ以テ推算スレハ更ニ兩期分所得額參百八拾萬八千餘圓利得額參百貳拾貳萬六千餘圓ヲ增加スヘキ計算ナリ依テ本件ハ不當ナリトス
會計検査院ハ大日本紡績株式會社ノ大正七年下半年分及八年上半年分所得額ヲ決定スルニ當リ其ノ消費原棉價格ヲ買入價格ヨリ高價ニ計算シ不當ニ利益ノ留保ヲ圖リタルモノヲ是認決定シタルハ不當ナリト云フニ在リ然レトモ本件ハ會社當初申告ニ不審ノ點アルヲ以テ原棉受拂其ノ他ノ事實ニ關スル内容ヲ調査セントシタルモ會社ハ名ヲ營業ノ機密ニ藉リ帳簿ノ提示ヲ肯セス止ムヲ得ス會社當務者ト懇談ヲ遂ケタル結果當初ノ申告ニ對シ所得金額約貳百八拾萬圓ノ增加申告ヲ爲スニ至リタルモノナリ而シテ其ノ申告ノ内容ニハ持越原棉及買入原棉ノ平均單價ト消費原棉價額トノ差七年下半年三圓餘、八年上半年四圓餘ノ相違アリト雖此ノ兩者ハ必シモ一致スヘキモノニアラス且帳簿書類ヲ精査セサル以上消費原棉價格ヲ正確ニ調査スルノ途ナキヲ以テ前記ノ如ク會社當務者ト懇談ノ結果更正ノ申告ヲ大體ニ於テ相當ナリト是認シタルモノニシテ敢テ不當ノ措置ニアラスト認ム

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】

(一) 本項ニ於テ八幡稅務署ノ徵收ニ係ル

二二、七一、五五六、〇六〇

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收ニ係ル

一六〇、六六三、九五〇

ハ管内納稅者二千二百五十四名ノ所得額參百七拾四萬參千九百貳拾六圓及五十七名ノ利得額百七萬九千九拾參圓ニ對スル稅額ナリ抑當署ニ於ケル所得決定ノ狀況ヲ觀ルニ連年所得調査委員會ニ於テ調査額ニ對シ削減ノ程度甚シク妥當ヲ缺クモノアリト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ從來所得調査委員會ニ於ケル多大ノ削減ヲ容認シタルハ稅務執行上圓滿ナル解決ヲ企圖セシ結果ナルモ大所得者ニ對スル多大ノ削減ハ最考慮ヲ要スルモノト認メ漸次其反省ヲ促シ十年度ニ於テハ尙認容シ能ハサル百七十餘名ニ對シ政府決定ヲ行ヒ多年ノ弊風ヲ改メタリト謂フニ在リ然レトモ本件所得決定ノ狀況ヲ觀ルニ五千圓以下ノ小所得者ニ對シテハ調査額ニ對シ九割内外ナルニ其所得ノ大ナルニ隨ヒ漸次低下シ拾萬圓以上ニ在リテハ六割餘ニ過キサルノ計算ニシテ大小納稅者間負擔ノ權衡ヲ得サルノミナラス管内大納稅者ハ全国各地ニ店舗ヲ有スルモノ多キヲ以テ當署ノ決定ニ於テ其削減甚シキニ於テハ店舗所在地ノ同業者トノ間負擔ノ輕重ヲ來シ穩當ヲ

缺クモノト謂ハサルヲ得ス即チ西川某外五名ノ東京市日本橋區所在營業所得ノ如キ永代橋稅務署ニ於テ經濟界ノ好況ニ鑑ミ或ハ店舖ニ臨ミ説明ヲ求メ或ハ精通者ノ意見ヲ徵シ専ラ同業者ノ權衡ヲ顧慮シ調査ノ上通報シタル所得額五拾萬五千餘圓ニ對シ拾六萬五千餘圓ヲ削減シ又大阪市東區所在外村某ノ營業所得ノ如キ東稅務署ヨリ拾八萬圓ノ通報アリタルニ拘ラス之ヲ拾四萬四千圓トシテ調査委員會ニ提案シ同會ハ更ニ九萬七千餘圓ニ削減シ森某ニ對スル通報額拾萬九千餘圓ヲ八萬七千餘圓トシテ提案シタルニ之ヲ五萬七千圓ニ削減シタルノ狀況ニシテ永代橋稅務署ノ如キ同一狀態ノ營業者九名ニ就キ悉ク其調査額ヲ以テ決定シ基本ニ對スル所得割合八分五厘、東稅務署ニ於テハ其割合四分四厘ナルニ比シ本署ハ二分五厘内外ニ止ルカ如キ甚シク權衡ヲ失スルモノト認メサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ要旨ハ八幡稅務署所得調査委員會ハ連年其ノ削減決議ノ程度甚シク而モ其ノ削減歩合ハ小納稅者ニ對シテ薄ク大納稅者ニ對シテ厚ク爲ニ他署トノ權衡ヲ失スト謂フニ在リ

元來同稅務署管内ノ所得調査委員會ハ多年稅務署ノ提案シタル調査額ヲ削減決議スルノ弊風アルカ故ニ既ニ數年前ヨリ毎年調査委員會ニ再調査ヲ命ジ其ノ反省ヲ促シテ漸次改善ヲ加ヘ大正十年ノ如キハ大納稅者ヲ主眼トシ百七十二名ニ對シ政府決定ヲ斷行シタル程ニシテ當局ハ之カ矯正ニ付非常ナル苦心ヲ爲シツ、アリ唯本年度ニ於テ尙多少決定ノ低キカ如キ感アルハ納稅者ノ負擔ヲ急劇ニ増加セシムルコトヲ避クルノ方針ヲ採リタルカ爲ニシテ敢テ不當ニアラスト認ム

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】

(三) 本項ニ於テ上京稅務署ノ徵收ニ係ル

二九一、四一九九二〇
一七五、一一二〇〇

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收ニ係ル
ハ綿絲外八種目ノ販賣業者二百四十四名ノ所得額百八拾參萬參千參百拾圓及四十三名ノ利得額百拾六萬七千四百八圓ニ對スル稅額ニシテ右所得額ノ内百四拾九萬千貳百七圓ハ本業ノ所得ニ屬スルモノナリ而シテ右所得ハ大體營業稅課稅標準ノ賣上金額ヲ所得基本トシ之ニ標準歩合ヲ適用算出シタルモノナルモ本稅決定當時ノ經濟界ハ前年ニ引續キ盛況ヲ呈シ各種營業ノ賣上金額亦増加セルノ狀況ナルヲ以テ之カ決定ニ際シテハ現況ヲ勘案シ適切ナル計算ヲ要スヘキモノト認メ之カ

事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ所得基本ヲ營業稅課稅標準ニ依ルノ取扱ハ當署多年ノ慣行ニシテ遽ニ之ヲ變更スルハ稅務行政ノ實際上困難ナルノミナラス大體此取扱ニ依ルモ當時ノ業況上大差ナカルヘント認メタルニ因ルト謂フニ在リ然レトモ所得決定當時ノ業況ハ前年ニ比シ好況ヲ呈シ現ニ隣接稅務署ニ於テモ現況ヲ加味シタルモノアルノ事實ニ徴シ多年慣行ノ故ヲ以テ負擔ノ實際ニ適セサル決定ヲ爲スカ如キハ其權衡ヲ得サルモノニシテ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス而シテ當署ニ於テ帳簿調査ヲ爲シタル十四名ノ營業者ニ就キ所得決定ノ蹟ヲ觀ルニ前年ノ賣上實額七百參拾六萬餘圓ニ對シ營業稅課稅標準決定額五百八拾六萬餘圓ヲ以テ所得基本ト爲シタルモノニ係リ本年ノ賣上實額ハ千貳百七拾餘萬圓ニ上レルノ狀況ナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ趣旨ハ大正八年所得決定當時ノ經濟界ノ狀況ハ前年ヨリ引續キ盛況ヲ呈シ居ルニ拘ラス上京稅務署ニ於テハ綿絲外八種目ノ販賣業ニ對スル所得ハ現況ヲ加味セシテ豫算シタルハ不當ナリト謂ヒ其ノ事例トシテ帳簿調査ヲ爲シタル者十四名ノ事蹟ヲ引用シタルモ右事例ニ供シタル營業者十四名ニ對スル所得ノ決定ハ大正七年ノ合計額九萬參千貳百七拾參圓ニ對シ大正八年ノ合計額拾六萬五千九百六拾貳圓ニシテ實ニ七割七分九厘ノ増加ヲ示シ相當激増シ居ルモノナレハ如何ニ現況ヲ加味スレハトテ夫レ以上ノ増加ハ甚シキ激増トナリ執行ノ圓滿ヲ害スル虞アリ又所得ノ基本額カ大正八年中ノ實蹟ニ對シ差違ヲ生シタルハ事實ナルモ大正八年ノ經濟界ハ其ノ後半期ニ於テ著シキ好況ヲ呈シタルモノナルヲ以テ其ノ實蹟ト一致セサルヲ理由トシテ決定當時ノ豫算ヲ不當ナリト認ムルヲ得ス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

【報告】

(四) 西宮神戸兩稅務署ノ徵收ニ係ル

一九三、四九九六二〇

ハ合名會社本嘉納商店ノ大正八年五月ヨリ九年二月ニ至ル事業年度間所得額八拾五萬五千九百四拾七圓及東洋製粉株式會社ノ八年十二月ヨリ九年二月ニ至ル事業年度間所得額七拾壹萬參千參百四拾壹圓ニ對スル稅額ニシテ孰モ所得額決定上前事業年度ノ所得稅及戰時利得稅前者ハ拾萬四千五百九拾八圓九拾貳錢後者ハ拾四萬八千七百貳拾貳圓七拾錢ヲ損金ニ計算セサルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ右兩會社ハ現實ニ納稅セサルニ因ルモノニシテ尙神戸稅務署ニ在リテハ會社カ相當ノ期間内ニ所得ノ申告ヲ爲ササルニ因ルト謂フニ在リ然レトモ前記會社ハ當事業年度限り解散シ後

者ハ日本製粉株式會社ニ合併シタルモノニ係リ前事業年度ノ所得稅及戰時利得稅ハ決定遲延シ會社合併前急遽決定シタル結果納稅ニ至ラサリシモノナルノミナラス將來ニ於テ損失ニ計算スル時期ヲ有セサルモノナルヲ以テ縱ヒ現實ニ納付ヲ爲サスト雖該稅額ハ之ヲ益金ヨリ控除スヘキモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ會社解散シタルヲ以テ更正ノ途ナシ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】

(五) 本項ニ於テ永代橋外二稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

一七七二五八〇五〇

一七〇二二六〇〇〇

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノアリ右ハ株式會社淺野造船所外三會社ノ所得額貳百參拾六萬參千四百四拾壹圓及利得額八拾五萬千五百參拾圓ニ對スル稅額ニシテ孰モ大正八年度中合併ニ因リ解散シタルモノナルニ解散前之カ決定ヲ爲ササリシカ爲テ遂ニ徵收ノ途ナキニ至リタルモノナリ依テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ右各會社ノ合併ハ營業稅調査ノ爲事務幅員ノ際ニ當リ尙株式會社淺野造船所ハ會社合併公告カ廣ク購讀セラレサル新聞ニ掲載セラレ之ヲ覺知スルノ機會ナカリシト法人事務擔當者缺員アリシトニ因リ石狩石炭株式會社ハ解散前決算報告及所得申告書ノ提出ヲ督促セシモ之ニ應セス鶴見埋築株式會社ハ九年二月決算内容ノ調査ニ臨ミタルニ主務者病氣缺勤ノ故ヲ以テ後日ノ調査ヲ希望シタルニ依リ之カ調査ヲ中止中合併解散シタルカ爲決定不能ニ歸シタルモノニシテ九州探炭株式會社ハ不注意ニ因ルト謂フニ在リ然レトモ會社合併等ノ際ニ於ケル所得ニ對シテハ縱ヒ事務繁劇等ノ事實アリトスルモ之カ調査決定ハ相當ノ方法ニ依リ急速處理ノ要アルハ論ヲ竣タス而シテ株式會社淺野造船所合併ノ事實ハ會計實地検査ノ際調査シタル處ニ依レハ當務者ニ於テ之ヲ覺知シ居タルモノニ係リ殊ニ石狩石炭株式會社ノ如キハ八年八月合併ノ公告ヲ爲シ九年三月解散シタルモノナルニ八年度下半年分ノ所得額及利得額ニ對シ之カ決定ヲ爲ササリシモノニシテ其措置怠慢ニ失スルモノト謂ハサルヲ得ヌ要スルニ本件ハ租稅ノ賦課決定上周

到ノ注意ヲ缺キ之カ徵收ノ途ナキニ至ラシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】

(六) 本項ニ於テ福岡小倉兩稅務署ノ徵收ニ係ル

一〇一、二九三、九八〇

五五、五八二、二〇〇

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收ニ係ルハ同署管内吳服太物外十一種目ノ販賣業者ニ對スル所得額百四拾萬八千四百六拾九圓及利得額參拾七萬五百四拾八圓ニ對スル稅額ニシテ所得額ノ内九拾九萬六千八百七圓ハ本業ノ所得ニ屬スルモノナリ右所得ハ大體前年ノ實績タル賣上金額ヲ所得基本トシ之ニ標準歩合ヲ適用算出シタルモノナルモ本稅決定當時ノ經濟界ハ前年ニ引續キ好況ヲ呈シ各種ノ營業亦其賣上高著シク増加セルノ狀況ナルヲ以テ之カ決定ニ際シテハ現況ヲ勘案シ適切ナル計算ヲ要スヘキモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ販賣業者中當年ノ業況カ前年ト變動ナシト認メラルモノハ營業稅課稅標準ニ依リ然ラサルモノハ現況ニ鑑ミ相當増減ヲ爲シ其所得基本ヲ定メタリト謂フニ在リ然レトモ兩署ニ於ケル前掲營業者ニ對スル大正八年度分營業稅賣上決定額貳千參百九拾餘萬圓ニ對シ所得基本ハ貳千四百貳拾萬餘圓ニシテ幾分ノ現況ヲ加味シタルカ如キ觀ヲ呈セルモ福岡稅務署管内ニ於ケル重ナル營業者九名ニ就キ調査スルニ前年ノ賣上實額參百七拾餘萬圓ニ對シ營業稅課稅標準決定額貳百八拾餘萬圓ヲ基本トシ算出セル所得額拾壹萬六千餘圓ヲ更ニ八萬七千餘圓ニ斟酌決定シタルカ爲却テ減少シ何等増加ノ事實ナキノミナラス八年中ノ賣上實額五百六拾餘萬圓ニ比シ甚シキ徑庭ヲ示シ小倉稅務署管内ニ於テモ前掲營業者ノ所得基本ハ營業稅課稅標準決定額ニ達セス八年中ノ賣上金額八百四拾餘萬圓ニ比シ約五割ニ過キサルノ結果ヲ示セリ加之福岡稅務署ニ於ケル賣上金額五千圓以下ノ小營業者十數名ニ就キ本稅賦課ノ振合ヲ觀ルニ算出セル營業所得額壹萬千餘圓ニ對シ之ヲ壹萬六千餘圓ニ増額決定セルノ狀況ニシテ大小各營業者間ニ於テ負擔ノ權衡ヲ得タルモノト認

ムルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院ハ營業所得ヲ調査決定スルニ當リ其ノ當時ニ於ケル經濟界ノ現況ヲ加味シテ適切ナル計算ヲ爲スヘキニ之ヲ爲サスシテ大體其ノ年營業稅課稅標準トシテ決定シタル前年ノ實額ニ相當スル金額ヲ所得基本ト爲シタル爲大正八年中ノ實上實額ニ比較シ甚シキ徑庭アリ加之其ノ調査力大小各營業者間ニ於テ負擔ノ權衡ヲ得サルモノアルヲ以テ其ノ決定ハ不當ナリト謂フト雖所得基本ハ調査決定當時ノ現況ニ依リ個人的ニ之ヲ定ムヘキモノナルカ故ニ其ノ業況ニ於テ前年ト大差ナシト認メラルモノハ其ノ年營業稅課稅標準額ヲ採リ然ラサルモノハ現況ニ應ジテ相當酌量ヲ爲ス方針ヲ採リツ、アリ隨テ其ノ斟酌ノ程度カ果シテ實際ニ適應スルヤ否ヤハ是亦各個人ノ實況ニ依リ之ヲ判定スルノ外ナク一部分ノ納稅者分ヲ集計シテ營業稅課稅標準額ト大差ナシトスルモ直ニ其ノ所得基本ヲ不當ナリト謂フヲ得又豫算ニ係ル所得基本額カ翌年ニ於テ調査シタル實額ノ賣上金額ト差異アルカ故ニ不當ナリト謂フモ果シテ不當ナルヤ否ヤハ各個人ノ業況ヲ具體的ニ調査スルニアラサレハ判定シ難キノミナラス豫算ト實額ト一致セサルノ故ヲ以テ其ノ當時ノ豫算ヲ不當ナリト謂フハ難キヲ強ユルノ嫌アリ現ニ大正八年ノ經濟界ハ後半期ニ於テ著シク好況ヲ呈シタルモノナルヲ以テ豫算力實績ニ及ハストスルモ直チニ所得基本ヲ不當ナリトハ認メ難シ又小營業者ノ分ニ付テ所得標準率ニ依リ算出シタル所得金額ヲ増額シタルモノアリテ大小營業者間ノ負擔權衡ヲ得スト謂フモ政府ハ常ニ大小納稅者ノ權衡ヲ保持セシムルコトニ注意ヲ拂ヒツツアリ決シテ小納稅者ニ重キ負擔ヲ課スルカ如キコトナシ尤モ所得標準率ナルモノハ所得標準ニ過キサルヲ以テ各個人ノ實況ニ應ジ其ノ算出額ヲ増減スルコトアルヘタ此ノ場合ニ於テ偶小納稅者ニ増加ヲ爲シタルモノアリトスルモ其ノ個人ノ營業狀態ヲ問ハスシテ直ニ大小納稅者間ノ權衡ヲ得サルモノト謂フヲ得ス依テ本件所得ノ決定ハ不當ニアラスト認ム

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

【報告】

(七) 本項ニ於テ横濱稅務署ノ徵收ニ係ル

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收ニ係ル

八七、〇五四、六二〇
四一、三五一、八五〇

ハ蠶絲問屋業者井上某外八名ノ所得額四拾九萬八千九百七拾七圓同人外七名ノ利得額貳拾七萬五千六百七拾九圓ニ對スル稅額ニシテ右所得額ノ内貳拾九萬四千七百七拾圓ハ本業ノ所得ニ屬スルモノナリ而シテ右所得ハ大體前年ノ實績タル報償金額七拾壹萬六千餘圓ヲ所得基本トシ之ニ標準歩合ヲ適用算出シタルモノナルモ生絲ハ大正八年一、三月頃一時不況ニ陥リシモ爾後價格漸騰シ決定當時貳千圓ヲ超ユルニ至リ引續キ騰貴ノ商勢ヲ呈セルニ拘ラス千貳百圓乃至千六百圓ヲ以テ終始

【辨明】

セル前年ノ實績ニ依リ所得ヲ決定セルハ措置當ヲ得サルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ生絲ノ需要國タル米國ノ財界ハ當時購買餘力ヲ減殺シ歐洲戰亂休戰以來漸次價格ノ低落ヲ來シ八年一、三月頃不況ニ沈衰シ五、六月ノ頃ニ至リ幾分市況ノ回復ヲ觀タルモ一面支那絲ニ牽制セラルル等ノ事情アリ到底前年中ノ實額ヲ凌駕スヘキ見込ナカリシニ因リ前年ノ實績ヲ所得基本ト爲シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ横濱港ニ於ケル生絲ノ輸出額ハ八年上半期千八百八十餘萬斤價格壹億九千六百餘萬圓ニシテ之ヲ前年同期千五百餘萬斤價格壹億四千五百餘萬圓ニ對比スルニ數量ニ於テ大差ナキモ價格ニ於テハ三割四分餘ノ増加ヲ示シ一時商況不振ナル時期ヲ存シタリト雖尙前年ニ比シ増加セルニ鑑ミ現況ニ適切ナル決定ヲ要スヘキモノナルニ前年ノ實績ヲ所得基本ト爲シタルハ其決定低キニ失スルモノニシテ八年下半年ノ輸出額ハ前年同期ノ千三百萬餘斤價格貳億貳千貳百餘萬圓ニ對シ千六百七十餘萬斤價格四億貳千七百餘萬圓ニ激増セルノミナラス本件所得決定ニ係ル九名ノ八年中ノ報償金額ハ百貳拾八萬餘圓ニ上ルノ狀況ナリ依テ本件ハ不當ナリトス

會計検査院ハ蠶絲問屋業者ノ營業所得ヲ決定スルニ當リ其ノ所得基本ヲ前年ノ實額ニ相當スル其ノ年營業稅ノ報償金額ト同一ト爲セルモ生絲ノ商況ハ本年二、三月頃一時不況ノ時期ヲ存シタリシコトアリシモ爾後價格漸騰シ決定當時ニ於テ益々昂騰ノ域ニ在リ之ヲ前年同期ノ夫レト對比スルモ甚シキ激増ヲ呈シ又之ヲ營業稅ノ大正八年中ノ實績ニ付テ見ルモ報償金額異常ノ増加ヲ示シ居レル事實アルニ依リ調査決定當時ニ於テ其ノ年營業稅ノ報償金額ヲ所得基本ト爲シタル前記所得ノ決定ハ不當ナリト謂フニ在リ然レトモ生絲ノ如キ國際的關係ノ輸出品ニ付テハ國內の營業ト其趣ヲ異ニシ價格ノ變動甚シキノミナラス其ノ取引數量ニ於テモ激變スル狀態ニ在ルヲ以テ其ノ所得ノ豫算方法極メテ困難ナリ而シテ決定當時ニ於テハ主タル需要國タル米國カ自給策ヲ講スルト一方支那蠶絲ノ輸出發展ニ伴ヒ内地品カ壓倒セララル傾向アリシト一面財界ノ動搖ニ依リ購買力カ減殺セラレムトシツツアル狀況ニ在リシヲ以テ假令調査決定當時ニ於テ數量價格カ前年ニ比シ多少増加ヲ呈スルモノアリトスルモ之ニ依リ直ニ前年ノ實額以上ニ其ノ所得基本ヲ豫算スルヲ得サルモノト認メ其ノ年營業稅ノ課稅標準タル報償金ヲ所得基本トシ之ニ對シ標準率ヲ適用算出シ尙各個人ノ實況ニ應ジ夫々所得ヲ増加決定シタルモノニシテ其ノ當時ノ豫算トシテハ之ヲ不當ト謂フヲ得ス依テ本件所得ノ決定ハ不當ニアラスト認ム

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

【報告】

(八) 本項ニ於テ同署ノ徵收ニ係ル

大正八年度 歳入 (八)

七九、八四七、〇二〇
四七一

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收ニ係ル

五〇、九〇七、七五〇

ハ横濱市取引所仲買人若尾某外二十七名ノ所得額六拾萬千百貳拾四圓及同人外十八名ノ利得額參拾參萬九千參百八拾五圓ニ對スル稅額ニシテ所得額ノ内參拾九萬六千八百四拾五圓ハ問屋業ニ屬スル所得ナリ而シテ右所得ハ大正八年上半年ニ於ケル仲買口錢實額ノ二倍ヲ基本トシ標準歩合ヲ適用算出セル所得六拾萬千餘圓ニ對シ大體六割五分ニ斟酌決定シタルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ從來前年中ニ於ケル取扱枚數ニ依リ算出セル金額ヲ所得基本ト爲シタルモ八年分ニ於テハ取扱方ヲ變更シタル結果同業組合員ヨリ著シク所得ノ激増セルト突發的原因ニ由リ増大シタル實績ニ依リ一箇年分ヲ推算スルハ不當ナリトノ事由ヲ以テ反對アリシニ由リ稅務執行上ノ影響ヲ慮リ斟酌決定シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ八年分所得額決定ニ關シテハ當年ノ業況ニ鑑ミ東京稅務監督局ニ於テ其計算方法ヲ指示シ算出セシメタルモノニ係リ同局管内永代橋稅務署ノ如キ大體ニ於テ算出額ヲ決定額トシ他局管内ニ於テモ略同様ナルニ拘ラズ當署ニ限リ激増ヲ事由トシ一率ニ三割五分内外ヲ減額決定スルカ如キハ彼此負擔ノ權衡ヲ失スルモノニシテ不當ナルノミナラス之ヲ實績ニ徵スルモ下半年ニ於ケル取扱枚數二百七萬五千餘枚ヲ超エ上半年ニ比シ三割餘ヲ増加セルノ狀況ナリ要スルニ本件ハ仲買人ノ所得額ヲ決定スルニ當リ適當ノ斟酌ヲ加ヘ且賦課ノ公平ヲ缺クニ至リタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院ハ取引所仲買人ノ所得ヲ決定スルニ當リ適當ノ斟酌ヲ加ヘ賦課ノ公平ヲ缺クモノアルハ不當ナリト謂フト雖取引所仲買人ノ如キ投機的事業ニ關スル所得ハ之ヲ豫算スルコト極メテ困難ニシテ各稅務署間ニ於テモ其ノ取扱ヲ異ニセルカ故ニ大正八年ニ於テ之カ取扱ヲ統一スル爲從來ノ豫算方法ヲ改善シタリ然ルニ單ニ取扱ヲ改正スルカ爲ニ急激ニ負擔ヲ加重スルハ稅務執行上ノ穩當ヲ缺ク嫌アリシニ依リ相當ノ斟酌ヲ加ヘタルハ止ムヲ得サルコトニ屬シ之ニ依テ負擔ノ權衡ヲ失スルモノト認メ又斟酌過大ナリト云フモ之ヲ前年所得決定額ニ比スレハ其ノ増加割合六割三分餘ニ相當スルモノナルヲ以テ前記ノ如キ斟酌ハ止ムヲ得サルモノト認ム

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】

(九) 本項ニ於テ兩國橋外一稅務署ノ徵收ニ係ル

六八、八九三、二七〇

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收ニ係ル

八八、四八九、八〇〇

ハ日本製氷株式會社及南太平洋貿易株式會社ノ所得額九拾壹萬八千五百七拾七圓及日本製氷株式會社ノ利得額四拾四萬貳千四百四拾九圓ニ對スル稅額ナリ右ハ孰モ會社合併解散後ニ於テ決定シタルコトヲ發見シ後繼會社ヨリ徵收ニ係ル前記税金ハ別途歳出金ヲ以テ拂戻ヲ爲シ南太平洋貿易株式會社ノ利得額拾貳萬五千六百拾七圓ニ對スル稅額貳萬五千百貳拾參圓四拾錢ハ收入スルコトヲ得サルニ至リタルモノナリ依テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ日本製氷株式會社ハ當時營業稅事務ノ最盛期ナリシカ爲合併公告ニ心附カサリシト同事務終了ト共ニ第三種所得稅調査ニ全力ヲ盡シタルカ爲遂ニ決定ノ時期ヲ逸シタルモノニシテ南太平洋貿易株式會社ハ損益計算書ノ提出遲延シタルカ爲決定ノ餘日ナカリシト當時營業稅事務ニ忙殺セラレシトニ因ルト謂フニ在リ然レトモ本件決定ノ經過ヲ觀ルニ日本製氷株式會社ハ大正八年四月合併ノ公告ヲ爲シ六月中解散シタルモノナルニ稍ク八月ニ至リ 自六年十一月 事業年度分所得額及利得額ノ決定ヲ爲シ又南太平洋貿易株式會社ハ八年一月合併公告ヲ爲シ三月中解散シタルモノナルニ七月ニ至リ 自七年四月 事業年度分ノ決定ヲ爲セルノ狀況ニシテ其決定著シク緩慢ニ失スルモノト認メサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

但シ會社解散シタルヲ以テ更正ノ途ナシ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】

(一〇) 本項ニ於テ秩父足利兩稅務署ノ徵收ニ係ル

五八、五五〇、八六〇

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收ニ係ル
ハ同署管内織物製造業者ノ所得額百貳拾八萬六千九拾九圓及利得額拾參萬六千五百拾七圓ニ對スル稅額ニシテ所得額ノ内百八萬八千九百四拾圓ハ本業ノ所得ニ屬スルモノナリ而シテ右所得ハ大體前年ノ實績タル收入金額ヲ所得基本トシ之ニ標準歩合ヲ適用算出シタルモノナルモ本稅決定當時ノ經濟界ハ前年ニ引續キ盛況ヲ呈シ製造業ノ收入金額亦増加セルノ狀況ナルヲ以テ之カ決定ニ際シテハ現況ヲ勘案シ適切ナル計算ヲ要スヘキモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯

大正八年度 歳入 (一〇)

ノ要旨ハ所得決定當時ハ幾分好況ナリシモ一時的現象ニシテ之ヲ參酌スルノ必要ヲ認メサリシニ因リ前年ノ實績ヲ基本ト爲シタルモノニシテ尙足利稅務署ニ於テハ其業況ノ異ナルモノニ就テノミ決定當時ノ現況ヲ參酌シタリト謂フニ在リ然レトモ所得決定當時經濟界ハ好況ヲ呈シ足利稅務署管内ノ事例ニ徵スルモ大正八年上半年ノ生産數量ニ基キ之ヲ前年ノ生産額ニ對比スルニ三割餘ノ増加ヲ示シ一面取引價格モ亦前年ニ引續キ漸次騰貴ノ趨勢ヲ持續シ之ヲ八年ノ生産實績ニ徵スルモ三割餘ノ増加ヲ示セルノミナラス附近桐生、浦和、青梅等ノ稅務署ニ於テハ當年ノ狀況ヲ勘案シ孰モ前年ニ比シ其基本額ニ割乃至五割餘ノ増加ヲ爲シタルノ事實ニ徵シ本件所得ノ決定ハ低キニ失スルモノト認メサルヲ得又足利稅務署ハ業況ノ異ナルモノニ對シテハ決定當時ノ狀況ヲ參酌シタリト謂フト雖重ナル製造業者ニ就キ調査スルニ其所得基本ハ概ネ前年ノ實績タル收入金額ニ比シ減少ヲ示シ殆ト現況ニ基ク増加ヲ計算シタルモノナキノ狀況ナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】

會計検査院ハ大正八年ノ所得決定當時ノ經濟界カ大正七年ニ比シ引續キ盛況ヲ呈シ收入金額ノ増加ヲ來スヘキ筈ナルニ大體前年ノ實績タル收入金額ヲ基本トシ標準歩合ヲ適用シ所得ノ算出ヲナシタルハ不當ナリト謂フニアルモ決定當時ノ狀況トシテハ爾等著シク好況ナリトハ認メ難ク且足利稅務署管内ニ於ケル大正八年上半年ノ織物生産高ハ前年ニ比シ三割餘ノ増加ヲ示セリトアルモ當省ノ調査スル所ニ依レハ一割七分ノ増加ニシテ秩父稅務署管内ノ如キハ僅ニ一割二分ノ増加ニ過キス又他ノ稅務署ニ於テ現況ヲ加味シテ所得基本ノ計算ヲ爲シタルモノアリトスルモ各署其ノ事情ヲ異ニシ其ノ取扱ヲ一定シ難ク大體上前年ノ收入金額ヲ所得算出ノ基本トシタルハ相當ニシテ本件所得又ハ利得ノ決定ハ敢テ不當ニアラスト認ム

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

【報告】

(一一) 本項ニ於テ足利、秩父兩稅務署ノ徵收ニ係ル

一九、三九五、一一〇
一六、〇二三、四五〇

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收ニ係ル
ハ同署管内生絲及綿絲商ノ所得額貳拾貳萬九千七百五拾五圓及利得額拾萬六千八百貳拾參圓ニ對スル稅額ニシテ所得額ノ内拾八萬五千九百五拾貳圓ハ本業ノ所得ニ屬スルモノナリ而シテ右所得ハ大體前年ノ實績タル賣上金額ヲ所得基本トシ之ニ標準歩合ヲ適用算出シタルモノナルモ同地方ニ於ケル織物ノ生産高ハ前年ニ比シ著シク増加セル狀況ナルヲ以テ其原料

タル本件生絲綿絲ノ販賣業所得ニ對シテモ亦前項織物製造所得ト同シク決定當時ノ實況ヲ勘案シ適切ナル計算ヲ要スヘキモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ秩父署ニ在リテハ現況ヲ加味スル必要ヲ認メサリシニ因リ前年ノ實額ヲ基本ト爲シ足利署ニ在リテハ多少現況ヲ加味シ計算シタルモノナルモ前年ニ比シ激増セルト織物製造所得トノ關係上斟酌決定セルモノナリト謂フニ在リ然レトモ所得決定當時經濟界ハ前年ニ比シ益好況ヲ呈セルノ狀況ナルヲ以テ現況ヲ加味スルノ必要ヲ認メスト謂フカ如キハ其當ヲ得サルノミナラス足利署ニ於テハ所得納稅者ニ對スル七年分賣上調査實額千參百八拾萬餘圓ナリシヲ八年分營業稅課稅標準ヲ決定スルニ當リ千八拾餘萬圓ニ斟酌シタルモノニシテ八年分所得調査當時之ニ對シ多少現況ヲ加味セシモノアリト雖尙前年ノ實額ニ達セス之ヲ八年中ノ實額參千四百七拾四萬餘圓ニ比較スルトキハ課稅額ハ三割ニ過キサルノ狀況ニシテ其決定低キニ失スルモノト認メサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】

會計検査院ハ織物ノ生産高カ前年ニ比シ著シク増加セルヲ以テ決定當時ノ實況ヲ勘案シ適切ナル計算ヲ爲スヘキモノナリト謂フニアルモ前項織物業者ノ所得ト同シク決定當時ノ狀況トシテハ爾等著シク好況ナリトハ認メサリシカ爲大體ニ於テ前年ノ實績タル賣上金額ニ據ルヲ相當ト認メタルモノニシテ又足利稅務署ニ於テ大正八年中ニ於ケル賣上實額カ同年所得計算ニ用ヒタル基礎金額ニ對シ大差ヲ生シタルコトハ事實ナルモ當時ハ經濟界ノ波瀾甚シク特ニ大正八年ハ其ノ後半期ニ於テ著シク好況ヲ呈シタルモノナルヲ以テ其ノ實績ト決定當時ノ豫算トカ一致セサルヲ理由トシテ本件ノ決定ヲ不當ナリト謂フヲ得ス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

【報告】

(一二) 本項ニ於テ板橋稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

四八、〇四六、三六〇
一〇七、五四八、四〇〇

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ王子製紙株式會社ノ所得額及利得額ヲ決定スルニ當リ大正六年下半年迄ニ償却セル金額ノ内否認スヘカリシモノノ機械八拾九萬參千貳百四拾九圓アルニ拘ラス之ヲ計算外ニ置キ七年下半年ニ於テ參拾貳萬六千六百參拾參圓八年上半年ニ於テ貳拾壹萬七千六拾八圓同年下半年ニ於テ九萬六千九百拾七圓四拾八錢ノ償却ヲ損金ニ是認計算シタルニ因ルモノナリ右ハ大正七年度検査報告ニ詳悉セシ如ク此等償却金ノ當否ハ單ニ其期ノ計算ニ基キ決定スヘキモノニ非ス既往ノ狀況ヲ勘

案スヘキモノニシテ既ニ前期迄ニ是認スヘキ範圍ヲ超過シ償却ヲ爲シタルモノニ對シ更ニ之カ償却ヲ是認シ損金ニ計算スルカ如キハ不當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス〔大正七年度(一)三五八頁參看〕

【辨明】 會計検査院ノ報告スル處ニ依レハ減價償却ノ當否ハ既往ノ狀況ヲ勘案スヘキモノニシテ既ニ前期迄ニ是認スヘキ範圍ヲ超過シ償却ヲ爲シタルモノニ對シ爾後ノ事業年度ニ於テ更ニ之カ償却ヲ是認シ損金ニ計算スルカ如キハ不當ノ措置ナリト謂フニ在リ然レトモ大正六年以前ニアリテハ減價償却ノ認定ニ關シ一定ノ標準ナク多クハ會計計算ヲ是認決定シタルモノニシテ大正七年七月ニ於テ大體ノ標準ヲ定メ其ノ後決定ヲ爲スモノニ付テハ該標準ヲ超過スル償却額ヲ否認スルコトト爲シタルモノヲ以テ既往ニ於テ一旦是認シタル金額ヲ左右スルコト穩當ナラサルノミナラス本年度ニ於テ現實ニ資産ノ減耗ヲ來シ其ノ減價償却スルモノナル以上ハ所得計算上之ヲ損金ニ非スト爲スヘキ理由ナキヲ以テ之ヲ否認セサル取扱ハ決シテ不當ノ措置ニアラスト認ム

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

【報告】

(一三) 本項ニ於テ上京稅務署ノ徵收ニ係ル

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收ニ係ル

四三八〇五六〇〇
一一、六八九七〇〇

ハ同署管内織物製造業者ノ所得額六拾六萬四千四百七拾四圓及利得額拾四萬四千五百九拾八圓ニ對スル稅額ニシテ所得額ノ内四拾八萬九千九百四拾四圓ハ本業ノ所得ニ屬シ同業組合トノ協定ニ基キ織物課稅價格百圓當六圓乃至七圓ノ標準率ニ依リ算定シタルモノナリ然ルニ稅務署ニ於テ標準率決定ノ基礎トシテ調査セル實蹟ニ依レハ大正七年中拾參圓七拾九錢乃至拾四圓貳拾八錢八年前半期中拾四圓貳拾七錢乃至拾五圓七拾參錢ニ當リ標準率ニ比シ大差アルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ同業組合トノ協定ハ多年ノ慣行ニシテ之ヲ無視スルトキハ稅務執行上管内一般ニ惡影響ヲ及ホスノ虞アリ而シテ所得標準率ハ再應調査ノ結果査定百圓當七圓乃至七圓五拾錢ヲ以テ協定セムトセシモ組合ニ於テ右ハ比較的好況ニ在ル營業者ニ就キ調査シタル傾アリ多數ノ薄利ナル營業者ニ適用セラルルハ酷ニ失スルノミナラス之カ基本ハ織物査定額ヲ基礎トスルカ故ニ相當ノ斟酌ハ至當ナリトシ之ニ應セサルヲ以テ其主張ノ幾分ヲ認メ決定セリト謂フニ在リ然レトモ實地検査ニ際シ調査スル所ニ依レハ所得實蹟ニ基キ一躍拾四、五圓ニ改定スルハ急激ノ増加ト爲ルヲ以テ相

當斟酌ヲ加ヘ實蹟ノ六掛即チ百圓當八、九圓ヲ適當ト認ムルモ前年ニ比シ激増ノ嫌アルヲ以テ五掛即チ七圓乃至七圓五拾錢ヲ穩當ナルモノト認メタリトアリテ既ニ當初ノ調査ニ於テ適當ノ斟酌ヲ加ヘタルモノナルニ協定ノ結果更ニ變更ヲ加フルカ如キハ妥當ノ措置ト認ムルヲ得ス今之ヲ織物産地タル桐生、米澤、福岡各稅務署ノ標準歩合ニ比較スルニ當署標準率ハ僅ニ三分ノ一内外ニ過キサノ狀況ナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院報告ノ要旨ハ標準率ノ實地調査額ニ對シ過大ノ斟酌ヲ爲シタルハ不當ナリト謂フニアルモ當初稅務署ニ於テ標準率決定ノ基礎トシテ調査セル實蹟大正七年中拾參圓七拾九錢乃至拾四圓貳拾八錢ハ其ノ調査ノ内容ニ不備アルコトヲ發見シ再調ノ結果七圓拾參錢乃至九圓五拾參錢ナル實蹟ヲ得從來通組合ト協商ノ結果六圓乃至七圓ノ標準率ニ依リ所得ノ算定ヲ爲シタルモノニシテ大體二割強ノ斟酌ニ當リ過大ノ斟酌トハ認メ難キヲ以テ本件所得又ハ利得ノ決定ハ敢テ不當ニアラスト認ム

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

【報告】

(一四) 神田橋稅務署ニ於テ徵收ニ至ラサリシモノ

アリ右ハ鬼怒川水電株式會社債利子ニ對スル第二種所得稅ニシテ同社ニ於テ本年度中徵收ヲ爲シタルモノナルニ大正九年八月ニ至ル迄金庫ニ拂込ヲ爲ササリシモノナリ右ニ對シ當該官吏説明ノ要旨ハ利子支拂期間中ニ之カ支拂ヲ完了セサリシト取扱銀行ヨリノ通報額中往々符合セサルモノアリ之カ爲相當日子ヲ要シタルニ因ルト謂フニ在リ然レトモ該稅ハ利子支拂者ニ於テ徵收ノ都度金庫ニ拂込ムヘキモノナルニ利子支拂期間中全額ノ支拂ヲ完了セサル等ノ故ヲ以テ之カ拂込ヲ遅延セシムルカ如キハ畢竟監督上不注意ニ基因シタルモノト認メサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ大正九年度ニ於テ拂込済

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】

(一五) 本項ニ於テ東稅務署ノ不納缺損ニ係ル

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ不納缺損ニ係ル

一八、一〇四二七〇
三四、八五四二〇〇

ハ電氣信託株式會社大正七年四月ヨリ八年一月ニ至ル間ニ於ケル兩事業年度ノ所得額貳拾四萬參千貳百五拾參圓及利得額拾七萬四千貳百七拾壹圓ニ對スル稅額ニシテ八年十月之ヲ決定シタルモノナルモ該會社ハ同年一月解散シ債權申立期間ヲ三月二十五日ト定メ公告ヲ爲シ九月末日迄ニ殆ト清算ヲ了シ決定當時ニ於テハ僅ニ株主分配拂戻未濟若干ヲ剩スニ過キサ
ルノ狀況ニシテ遂ニ徵收スルコト能ハサルニ至リシモノナリ之ニ對シ當該官吏ハ再三實地ニ臨ミタルモ重役又ハ係員不在
ノ爲調査スルコトヲ得ス處理遷延セルモノナリト説明スルモ本件ノ如キ解散會社ニ對スル賦課ノ處分ハ特ニ急速ノ處理ヲ
要スルハ論ヲ俟タサルノミナラス七年四月ヨリ九月ニ至ル事業年度分ニ對シ損益計算書提出後約一箇年ヲ經過セル八年十
月ニ至リ稍ク之カ決定ヲ爲スカ如キハ其措置緩慢ニ失スルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ會社解散シタルヲ以テ更正ノ途ナシ

【衆決】 不當

【報告】 (一六) 本項ニ於テ京橋稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

六、五六六四〇〇

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

一三、八六五〇〇〇

アリ右ハ株式會社猪原清商店ノ大正七年十一月分及同年十二月乃至八年五月ノ兩事業年度所得額ヲ八萬七千五百五拾貳圓
利得額ヲ六萬九千參百貳拾五圓ト決定スヘキモノナルニ同稅務署在勤稅務署屬吉原某外一名カ直稅事務擔任申請ヲ容レ
共謀シテ會社ノ提出セル損益計算書ヲ容認シ不課稅ノ決議書ヲ作製シテ前記稅額ノ遁脫ヲ爲サシメタルモノナリ右ハ畢竟
監督上ノ不注意ニ基因スルモノニシテ不當ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ大正九年度ニ於テ更正濟

【衆決】 不當

【報告】 (一七) 永代橋稅務署ニ於テ徵收ニ至ラサリシモノ

一、二二二五三〇〇

アリ右ハ鹽水港製糖拓殖株式會社債利子大正八年中支拂額七萬四千參百壹圓五拾錢ニ對スル第二種所得稅ニシテ九年十
一月ニ至ル迄金庫ニ拂込ヲ爲ササリシモノナリ右ハ大正七年度検査報告ニ詳悉セシ如ク監督上不注意ニ基因シタルモノト
認メサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス(大正七年度(二)三〇六頁參看)

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ大正九年度ニ於テ拂込濟

【衆決】 不當

【報告】 (一八) 盛岡稅務署ノ徵收ニ係ル

八三、二一六一〇

ハ盛岡市阿部某外二名ノ所得額壹萬貳千六百四拾貳圓ニ對スル稅額ニシテ内四千四百六拾貳圓ハ運送業ノ所得ニ屬スルモ
ノナリ右運送所得ハ收入金額壹萬七千六百五拾圓ヲ基本トシ計算シタルモノナルモ本年分營業稅運轉資本ノ基本タル收入
金額ハ八萬千六百六拾八圓ニシテ本件所得ノ基本ハ過少ニ失スルモノト認メサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ本人ニ於テ追加申告ヲ肯セサルモノノ外大正十年度ニ於テ更正濟

【衆決】 不當

【報告】 (一九) 藤枝稅務署ノ徵收ニ係ル

三、八六五〇〇

ハ静岡縣志太郡燒津町松永某ノ所得額ニ對スル稅額ニシテ内東京市日本橋區ニ於ケル商業所得ヲ千六百圓ト決定セルモノ
ナリ右商業所得ハ永代橋稅務署ニ於テ調査ヲ遂ケ貳萬參千貳百五拾七圓ト算定シタルモノニシテ當初之ヲ本人ノ納稅地所
轄ノ藤枝稅務署ニ通報セサルノミナラス同署ノ照會ニ對シテモ之カ通報ヲ爲サス右算定額ニ基キ決定シタルカ爲遂ニ取消
ヲ爲スノ已ムヲ得サルニ至リタルモノナリ而シテ爾後藤枝稅務署ニ於テ本人ニ對シ同額ノ追加申告ヲ促シタルニ開業日尙
淺ク經費多額ヲ要シ且收入ヲ豫算シ得サル故ヲ以テ千六百圓ノ外申告ヲ肯セサリシカ爲之カ決定ヲ變更セサリシモノナリ
要スルニ本件ハ所得額ノ決定上周到ノ注意ヲ缺キタルニ因ルモノニシテ不當ナリトス

大正八年度 歳入 (二八)(一九)

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ本人ニ於テ追加申告ヲ肯セサルニ依リ更正ノ途ナシ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】

(110) 西稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

八〇、九三七^円五〇〇

アリ右ハ前年度決定ニ係ル岸本汽船株式會社ノ大正六年分所得額増加決定ニ當リ汽船東瀛丸賣却益金百貳拾九萬五千圓ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

本項ニ於テ名古屋稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

三〇、四六一^円八五〇

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

八一、二三一^円六〇〇

アリ右ハ豐田紡織株式會社ノ所得額及利得額ヲ決定スルニ當リ留保利益金四拾萬六千五百八圓ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

本項ニ於テ神田橋稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

二六、二五〇^円〇〇〇

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

七三、六九九^円〇〇〇

アリ右ハ東京電燈株式會社大正八年上半年分所得額及利得額ヲ決定スルニ當リ保留利益ニ係ル電燈及電力收入參拾五萬圓ヲ所得額ニ加算セス又利得ノ基本タラサル有價證券ニ對スル資本金額八拾貳萬貳千六百六拾參圓ヲ控除セサルニ因ルモノナリ

同署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

一八、五二七^円〇三〇

アリ右ハ旭硝子株式會社ノ所得額ヲ決定スルニ當リ從業員養老基金貳拾四萬七千貳拾七圓ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

本項ニ於テ永代橋外十一稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

八、四三〇^円三四〇

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署外四稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

一、三六八^円六〇〇

アリ右ハ東京市日本橋區柿沼某外二十四名カ南滿洲製糖株式會社外三會社ヨリ受ケタル配當金所得額四萬七千八百八圓同人外六名ニ對スル利得額九千百貳拾四圓及同市麴町區郷某ノ貸金利子所得額參千四百貳拾九圓ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

本項ニ於テ神田橋稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

六、五四二^円五五〇

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

一七、四四六^円八〇〇

アリ右ハ浦賀船渠株式會社ノ所得額及利得額ヲ決定スルニ當リ職工養老積立金八萬七千貳百參拾四圓ヲ所得額ニ加算セザリシニ因ルモノナリ

本項ニ於テ北稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

六、三二三^円〇六〇

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

三、六〇七^円六五〇

アリ右ハ大阪市北區山内某ノ所得額及利得額ヲ決定スルニ當リ取引所仲買所得額拾壹萬四千五百貳拾八圓ナルニ自己賣買ニ屬スル所得額貳萬四千五百拾壹圓ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

本項ニ於テ神田橋稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

四、九四五^円二〇〇

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

三、九三〇^円〇〇〇

アリ右ハ東京市神田區堀井某ノ所得額及利得額ヲ決定スルニ當リ謄寫版製造及文具紙販賣所得ハ一般標準ニ基キ四萬九千貳百圓ト計算スヘキモノナルニ貳萬參千圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

本項ニ於テ延岡稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

四、八二〇^円二五〇

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

一一、二二二^円一八〇〇

アリ右ハ株式會社延岡銀行ノ所得額及利得額ヲ決定スルニ當リ増資ニ伴フ新株式ニ對スル額面超過金六萬四千貳百七拾圓

ヲ所得額ニ加算セサルニ因ルモノナリ

本項ニ於テ札幌稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

二、八七四、三〇〇

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

七、六六四、八〇〇

アリ右ハ北海道拓殖株式會社ノ所得額及利得額ヲ決定スルニ當リ土地賣却利益參萬八千參百貳拾參圓五拾貳錢ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

本項ニ於テ神田橋稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

二、八五〇、〇〇〇

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

一、〇九二、六〇〇

アリ右ハ富士水電株式會社ノ大正七年下半年分所得額及利得額ヲ決定スルニ當リ税金引當金參萬八千圓ヲ所得額及資本金額ニ加算セサリシト八年下半年分利得額ニ於テ利得ノ基本タラサル有價證券ニ對スル資本金額四萬八千參百五拾八圓ヲ四拾八萬六千五百五拾參圓ト計算シ尙資産金額中ニ諸稅引當金八萬貳百貳拾五圓ヲ重複ニ計算シタルニ因ルモノナリ

本項ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

二、七九二、四〇〇

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收過ニ屬スルモノ

一、三〇〇、三二〇〇

アリ右ハ株式會社日本興業銀行ノ大正八年上半年分所得額ヲ決定スルニ當リ稅法施行地外人ヨリ受ケタル配當金參萬七千貳百參拾貳圓ヲ所得額ヨリ控除シ又同下半年分利得額ニ關スル資本金額參千五百九拾壹萬八千參百五拾六圓ヲ參千四百七拾七萬八千六百七拾七圓ト計算シ利得ノ基本タラサル有價證券ノ價格ハ貳千九百五拾貳萬八千八百八拾八圓ナルニ中華匯業銀行株式價格參拾五萬八千圓ヲ除外セス貳千九百八拾八萬六千八百八拾八圓ト計算シテ之ヲ案分シ資本金額ヲ算定シタルニ因ルモノナリ

本項ニ於テ横濱稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

二、七五四、四〇〇

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

一、八七八、〇〇〇

アリ右ハ横濱市上甲某ノ所得額及利得額ヲ決定スルニ當リ營業所得貳萬貳千八百貳拾圓ヲ壹萬參百圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

永代橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

二、七二二、六八〇

アリ右ハ東京市日本橋區峰島某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ預金及貸金利子等ノ所得額四萬百九拾四圓ヲ貳萬七千貳百拾七圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

本項ニ於テ神戸稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

二、四五八、一七〇

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

一、二二五、九〇〇

アリ右ハ神戸市田村某ノ所得額及利得額ヲ決定スルニ當リ日本水產株式會社ニ對スル貸金利子所得額壹萬貳千六百六圓ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

本項ニ於テ西稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

一、一〇〇、六四〇

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

一、八五四、三〇〇

アリ右ハ大阪市西區吉村某ノ所得額及利得額ヲ決定スルニ當リ貸金利子所得額壹萬貳千參百六拾貳圓ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

本項ニ於テ永代橋稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

一、九五〇、〇〇〇

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

五、二〇〇、〇〇〇

アリ右ハ日本活動寫真株式會社ノ所得額及利得額ヲ決定スルニ當リ割賦賞與金貳萬六千圓ヲ所得額ニ加算セサリシニ因ルモノナリ

本項ニ於テ神戸稅務署ノ徵收過ニ屬スルモノ

二、四六二、一〇〇

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收過ニ屬スルモノ

六、五六五、六〇〇

アリ右ハ日本汽船株式會社ノ所得額及利得額ヲ決定スルニ當リ前事業年度ニ於テ課稅シタル同會社笠戶造船所ノ利益繰越金參萬貳千八百貳拾八圓ヲ控除セサルニ因ルモノナリ

本項ニ於テ西稅務署ノ徵收過ニ屬スルモノ

一、一五四、八九〇

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收過ニ屬スルモノ

二、四四一、〇〇〇

アリ右ハ合資會社日ノ丸鐵工所ノ所得額及利得額ヲ決定スルニ當リ損金中ニ計算ナキ資産減價償却金八千七百六拾八圓參拾壹錢ヲ否認ストシテ損金ヨリ除外シ又同償却金參千四百參拾七圓四拾八錢ヲ損金ニ計算セサルニ因ルモノナリ

神田橋稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

一、〇九五、六〇〇

アリ右ハ古河鑛業株式會社ノ所得額ヲ決定スルニ當リ使用人保護基金ヨリ支出セル壹萬四千六百八圓ヲ損金ニ計算セサリシニ因ルモノナリ

本項ニ於テ桐生稅務署ノ徵收過ニ屬スルモノ

三、一四一、五〇〇

歳入臨時部第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收過ニ屬スルモノ

四、八四五、二〇〇

アリ右ハ合資會社山田商店ノ所得額貳萬八千貳百貳拾五圓ニ對シ稅率ノ適用ヲ誤リタルト戰時利得稅法施行以前ニ屬スル事業年度分ナルニカ課稅ヲ爲シタルトニ因ルモノナリ

右ハ孰モ取扱ノ過誤ニ因リ徵收上過不足ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ本人既ニ死亡シ更正ノ途ナキモノ及本人ニ於テ追加申告ヲ肯セサル爲更正ノ途ナキモノノ外大正九年度及十年度ニ於テ更正濟【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 不當

【報告】

(二二) 横濱稅務署ノ徵收ニ係ル

九、六二一、三七〇

第三項 營業稅

ハ管内輸出絹織物業者七十名ノ物品販賣業及問屋業ニ對スル稅額ナリ抑當稅務署ハ大正三、四年ノ頃ヨリ各業ニ對スル本稅ヲ決定スルニ當リ各同業組合ト交渉シテ課稅標準ヲ協定シ來リシモ當局者ハ決定上ノ確實ナル資料ヲ得ルコト能ハサリシヲ以テ課稅ハ其實體ニ遠サカルコトアルノ狀況ナリシカ六年度ヨリ初テ僅少ノ營業者ニ就キ帳簿檢査爲スコトトシ之ヲ基準トシテ課稅ノ公正ヲ得ムコトヲ圖リタルモ因襲ノ久シキ未タ改善ヲ見ルニ至ラス今右營業者中實地調査ヲ爲シタル二十四名ニ就キ調査スルニ其實上額約貳百拾萬圓ニ上レルニ之ヲ百九萬餘圓ニ報償金額約拾貳萬圓ヲ五萬七千餘圓ニ斟酌決定シ其他ノ實額ヲ調査セサル者ニ於テモ略同様ノ狀態ニ在リ右ハ稅務執行上ノ障礙ヲ避クルカ爲事情ノ諒スヘキモノナキニ非スト雖實額ニ比シ其決定額五割内外ニ過キサルカ如キハ其措置當ヲ失スルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院ハ輸出絹織物業者ニ對スル營業稅課稅標準額ノ決定ハ同業者二十數名ニ對シ實地調査ヲ爲シ其ノ結果ニ基キ爾餘ノ同業者ヲ推定シタルモノナルモ其ノ決定額ハ調査額ノ五割内外ニ相當シ實地調査ヲ爲ササル營業者又之ト同一ノ狀態ニ在ルヲ以テ斯ノ如キ決定ハ低キニ失シ不當ナリト謂フニ在リ然レトモ前記同業者ノ課稅ニ關シテハ間接調査ニ依リ決定上確實ナル資料ヲ得ルコトノ不可能ナルト營業者ニ於テ實地調査ニ應セサル爲其ノ實額ヲ捕捉スルコトノ困難アリシトニ依リ從來ヨリ同業組合ト交渉シ課稅標準ヲ協定シ來リタル沿革ノ存スルヲ以テ之カ改善ヲ企圖シ大正六年以降ヨリ小數ノ實地調査ヲ爲スコトトシ之ヲ基準トシテ課稅ノ公正ヲ期スルコトトナシ漸次目的ヲ達成セントシツツアルノ際急激ナル課稅ノ變化ハ之ヲ避クルノ必要アリ故ニ年々漸進的ニ實額ニ接近セシムルコトト爲シ居レリ而シテ大正八年度ノ課稅ハ幾分斟酌多キカ如シト雖之ヲ大正七年度課稅ニ對比セハ販賣業ニ於テ稅額七割八分問屋業ニ於テ八割一分ノ増加ヲ示セルヲ以テ假令實額ニ對シ多少低シトスルモ遽ニ是レ以上ノ課稅ヲ爲スハ稅務執行上ニ障礙ヲ來スヘキニ依リ執行上ノ圓滿ヲ期スル意味ニ於テ之ヲ是認シタルニ外ナラス依テ本件ノ決定ハ止ムヲ得サルモノト認ム

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

【報告】

(二三) 前橋稅務署ノ徵收ニ係ル

五、七〇九、〇七〇

ハ生絲製造業者三十三名ニ對スル稅額ニシテ製造業資本金額中運轉資本ヲ計算スルニ當リ前年中ノ生絲生産高五萬三千七百六十二貫ニ對シ一貫當貳拾四圓ノ標準率ヲ適用シ算出額百貳拾九萬餘圓ヲ百拾九萬餘圓ニ斟酌決定シタルモノナリ右ハ大正七年度検査報告ニ詳悉セシ如ク其決定著シク低キニ失スルモノニシテ之ヲ前年中ノ實蹟ニ徵スルニ其生産高九萬九千八百餘貫ニ上リ所定ノ標準率ニ依リ計算スルトキハ運轉資本金額貳百參拾九萬餘圓ト爲リ決定額ハ僅ニ五割餘ニ過キサルノ狀況ナリ依テ本件ハ不當ナリトス(大正七年度(一〇三七五頁參看))

【辨明】 會計検査院ハ生絲製造業者ノ營業稅運轉資本金額ノ決定著シク低キニ失スルモノニシテ前年中ノ實蹟ニ徵スルニ其ノ生産高九萬九千八百餘貫ニ上リ所定ノ標準率ニ依リ計算スルトキハ運轉資本金額ハ貳百參拾九萬餘圓トナリ決定額ハ僅ニ五割餘ニ過キサル狀況ナルヲ以テ不當ナリト謂フモ本件ハ前年辨明ノ通永キ沿革ヲ有スルモノニシテ大正六年以前ニ在リテハ甚シキ低額ナリシカ故ニ其ノ改善ヲ企圖シ大正七年ニ於テハ平均六割餘大正八年ニ於テハ四割四分餘ノ増加決定ヲ爲シタル狀況ニシテ政府ハ常ニ其ノ改善ニ励メツツアリ而シテ尙未タ若干ノ及ハサルモノアルハ之ヲ認ムルモ敍上ノ如ク二箇年間ニ十數割ノ増額ヲ示シ是レ以上ノ引上ケハ負擔ノ激増ヲ來タシ不穩當ナルカ故ニ斟酌ヲ加ヘタルモノニシテ敢テ不當ニアラスト認ム

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

【報告】

(二三) 永代橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

一、一五、一〇〇〇

アリ右ハ合名會社保善社ノ金錢貸付業資本金額ハ貳百六拾四萬七千八百四拾九圓ト計算スヘキモノナルニ之ヲ四拾五萬六千拾六圓ト決定シタルニ因ルモノナリ

三、八五、五三三〇

神戶稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ株式會社兵神館ノ周旋業報償金額ヲ決定スルニ當リ家賃取立報償金拾貳萬八千五百拾壹圓ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

一、三三、二五、四三〇

八幡稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ近江帆布株式會社ノ製造業資本金額ヲ決定スルニ當リ營業稅法第十七條ノ適用ヲ誤リ資本金額百四拾壹萬六千五百九十九圓ヲ六拾四萬四千四百五拾六圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

淀橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ東京府豐多摩郡代々幡町佐藤某ノ物品貸付業運轉資本金額參拾壹萬九千五百圓建物賃賃價格百圓從業者二人ニ對スル課稅ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

一、九二、八〇〇〇

小樽稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ北日本汽船株式會社ノ運送業資本金額貳百六萬參千九百七拾五圓ト計算スヘキモノナルニ之ヲ百七拾貳萬六千六百拾六圓ト決定シタルニ因ルモノナリ

一、六八、六七九〇

東稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ中山合名會社ノ物品販賣業賣上金額參百六拾七萬九千八拾壹圓ヲ貳百四拾壹萬五千參百圓ト決定シタルニ因ルモノナリ

一、三九、〇一五〇

橫濱稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ岩上合名會社ノ物品販賣業卸賣甲九拾壹萬九千五百參拾參圓乙百七萬四千九百六拾壹圓建物賃賃價格參千九百圓從業者二十人間屋業報償金額參萬八千六百八拾七圓ヲ卸賣甲百五拾萬圓建物賃賃價格千八百圓從業者十人報償金額貳萬五千圓ト決定シタルニ因ルモノナリ

一、二九、五、六八〇

同署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ株式會社兒玉商店ノ代理業報償金額ハ四萬九千參百拾貳圓ト計算スヘキモノナルニ之ヲ壹萬千百拾五圓ト決定シタルニ因ルモノナリ

一、一四、五、九一〇

東稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ熊野製紙株式會社ノ製造業資本金額七拾八萬千貳百五拾圓ヲ四拾參萬七千五百圓ト決定シタルニ因ルモノナリ

一、〇三、一、二五〇

横濱稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

一〇〇、五二九、三四〇

アリ右ハ横濱正金銀行ノ銀行業資本金額ヲ決定スルニ當リ本法施行地外ノ支店出張所分ヲ控除シ貳千五百九拾七萬五千九百四拾壹圓ト爲スヘキモノナルニ之ヲ四千八百參拾壹萬五千七百九拾五圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

仙臺稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

一、四五三、二二〇

アリ右ハ仙臺市都竹某外三名ノ問屋業報償金額四萬五千五百九拾九圓ヲ九萬參千六百圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

福岡稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

一、一五二、八六〇

アリ右ハ西部合同瓦斯株式會社ノ製造業資本金額ヲ決定スルニ當リ營業稅法第十七條ノ適用ヲ誤リ資本金額貳百拾七萬參千九百六拾四圓ヲ貳百五拾五萬八千貳百五拾壹圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

右ハ孰モ取扱ノ過誤ニ因リ徵收上過不足ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ大正十年度ニ於テ更正済

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

(參照) ○營業稅法(明治二十九年三月二十八日法律第三十三號)

第十七條 製造業ノ資本金額カ前年ノ資本金額ニ對シ五分ノ一以上増加シタルトキハ其ノ増加額ハ二年間之ヲ課稅標準ヨリ控除ス但シ二年繼續シテ資本金額ヲ増加シタル場合ニ於テ前前年ノ資本金額ニ對シ五分ノ一以上増加シタルトキハ其ノ年ニ限リ前前年ニ對スル増加額ヲ控除ス

第四項 相續稅

【報告】 (二四) 上京稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

三、五一〇、五〇〇

アリ右ハ京都市上京區稻畑某ニ於テ大正七年六月中被相續人ヨリ贈與ヲ受ケタル株式會社稻畑商店株式拂込出資金拾壹萬貳千五百圓ニ對シ南稅務署ニ於テ之カ通報ヲ漏シタルカ爲課稅ヲ爲ササリシニ因ルモノナリ

神田橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

一、三九六、〇〇〇

アリ右ハ東京市麹町區大橋某外一名ニ於テ大正七年十二月中被相續人ヨリ贈與ヲ受ケタル株式拂込出資金七萬五千圓ニ對シ課稅ヲ爲ササリシニ因ルモノナリ

右ハ孰モ取扱ノ過誤ニ因リ徵收上不足ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ大正十年度ニ於テ更正済

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第十五項 關稅

【報告】 (二五) 本項ニ於テ横濱稅關ノ徵收不足ニ屬スルモノ

四、〇三八、〇〇〇

第二款印紙收入第一項印紙收入ニ於テ印紙ヲ以テ納付セシムヘキモノ

四二、八八七、四三〇

アリ右ハ横濱稅關鑑査官補清水某及同嶽野某カ輸入貨物ノ檢査及鑑定事務ニ從事中大正五年四月ヨリ九年十二月ニ至ル間ニ於テ輸入商又ハ其使用人等ヨリ收賄シ輸入價格ヲ低價ニ見積リ逋脫ヲ爲サシメタル稅額拾七萬參千貳百參拾七圓九拾九錢ノ内ニシテ貳萬貳千參百五拾參圓九拾錢ハ七年度以前ニ拾萬參千九百五拾八圓六拾六錢ハ九年度ニ屬スルモノナリ右ハ畢竟監督上ノ注意周到ヲ缺キ多額ノ稅金ヲ逋脫セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ稅稅金ハ大正十年度ニ於テ全部徵收済

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第二款 印紙收入 第一項 印紙收入

【報告】 (二六) 神戸稅關ニ於テ稅關所屬土地使用料トシテ印紙ヲ以テ納付セシメタルモノ

二七、九六九、〇〇〇

アリ右ハ東神倉庫株式會社ニ使用ヲ許可セル同關構内土地九千三百二十二坪餘ニ對スル料金ナリ抑本件土地ハ明治二十五

大正八年度 歳入 (二五)(二六)

年兵庫縣ヨリ神戸棧橋株式會社ニ對シ無料ニテ使用ヲ許可セルモノニ係リ大正六年同會社カ經營スル倉庫業其他ノ業務及之ニ附隨スル建設物一切ヲ東神倉庫株式會社ニ讓渡スルニ當リ一旦返地セシメ新ニ東神倉庫株式會社ニ對シ同年九月ヨリ向フ三十年間使用ヲ許可シ之カ料金ヲ一箇月坪當貳拾五錢ト定メ十年度分ヨリ之ヲ參拾五錢ト爲シタルモノナリ然ルニ同會社カ倉庫敷地トシテ神戸市小寺某ヨリ賃借セル三千三百餘坪ハ本件土地ニ隣接シ其利用價值ニ於テ比準スヘキモノナルニ之ニ比シ本件使用料ハ低廉ナルノミナラス附近土地ノ趨勢ニ徴スルモ相當改定ノ要アルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ本件土地ハ保稅地域内ナルカ故ニ使用ニ關シ各種ノ拘束ヲ受ケ且内國貨物ハ輸出貨物ニ非サル限リ絶對ニ藏置シ得サルヲ以テ之ヲ自由ナル民有地ノ賃借料ニ比シ地代ノ高下ヲ論スルコトヲ得ス又現時經濟界ノ變動甚シク輸出入貨物増減ノ趨勢容易ニ逆轉シ難キヲ以テ急遽之カ増額ヲ爲スノ必要ヲ認メスト謂フニ在リ然レトモ前掲小寺某ヨリ賃借セル倉庫敷地ハ坪當參拾錢乃至四拾錢ニシテ九年八月之ヲ壹圓拾錢ニ引上ケ又同年六月三菱倉庫株式會社外三會社ニ假上屋建設ノ目的ヲ以テ使用ヲ許可セル土地千八百餘坪ハ川崎波止場官設上屋間ニ介在シ構外トノ聯絡不完全ニシテ貨物ノ搬出入ニ不便ナルニ拘ラス其料金ヲ坪當五拾錢ト定メタルノ事實ニ由テ之ヲ觀ルモ新港突堤ヲ前ニシ小野濱停車場ニ近接シ海陸聯絡ノ至便ナル本件土地ノ料金ハ其當ヲ得サルコト明ニシテ十年度分ヨリ少許ノ引上ヲ爲シタリト雖尙著シク低廉ニ失スルモノト認メサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

東神倉庫株式會社ニ係ル神戸稅關所屬土地使用料ハ小寺某所有ニ係ル倉庫其ノ他ノ借地料並三菱倉庫株式會社外三社ノ川崎波止場土地使用料ニ比シ著シク低廉ニシテ不當ナリト謂フニ在レトモ凡ソ稅關所屬ノ土地ハ外國貿易ノ爲要スル國家的施設ニシテ專ラ收益ヲ目的トスルモノト異ナルカ故ニ本件土地ノ使用料モ亦隣接民有地ノ借地料ト同一又ハ之ニ近キ率ニ定メ難キノミナラス更ニ本件土地ノ上ニ設ケラレタル倉庫ハ稅關設備ノ不足ヲ補フノ效果アルニ鑑ミ成ルヘク之ヲ低廉ニスルヲ要ス而シテ三菱外三社ノ川崎波止場土地使用料ニ比シ尙低廉ナルハ右川崎波止場ノ土地使用ハ大正九年ニ於ケル滯貨收容ノ緊急ノ必要ニ應シ假上屋ヲ設ケンカ爲ニシテ其ノ使用期間本件土地ノ如ク長期ナラサルカ爲料率ニ等差アルモノトス

右ノ理由ニ依リ本件土地使用料率ハ不當ナラスト認ム

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

【報告】

(二七) 村上區裁判所ニ於テ登録稅トシテ印紙ヲ以テ納付セシメタル

九三〇^四六九〇

ハ同區裁判所勤務裁判所書記武藤某カ大正八年四月ヨリ九年七月ニ至ル間登記事務擔當中單獨或ハ近藤某外二名ト共謀シテ登記申請人ヨリ實際多額ノ登録稅ヲ領收シタルニ拘ラス之ヲ騙取スルノ目的ヲ以テ故ラニ低廉ナル價格ニ依リ登記ヲ了シ收納ノ手續ヲ爲シタル總額千七百四拾圓八拾八錢ノ内ニシテ八百拾圓拾九錢ハ九年度ニ屬スルモノナリ即チ島田某所有權登記外百二十件ニ對シ各其登記價格五拾五萬參千餘圓此登録稅六千餘圓ヲ相當トスルニ拘ラス登記申請人ニ對シテハ價格參拾九萬參千餘圓ヲ以テ登記ノ手續ヲ爲スヘキモノノ如ク裝ヒ之カ登録稅トシテ參千九百餘圓ノ印紙又ハ現金ヲ受領シ申請書類ヲ作爲シ價格拾六萬七千餘圓ヲ以テ之カ登記ヲ了シ之ニ相當スル登録稅千七百餘圓ニ對シテノミ收納ノ手續ヲ爲シ其差額ヲ騙取シタルモノニシテ右登記濟ニ係ル收納稅額ヲ前記見積相當價格ニ對スル稅額ニ對比スルトキハ四千參百餘圓ヲ減少セルノ計算ナリ要スルニ本件ハ監督不十分ナリシカ爲故ラニ課稅價格ノ認定ヲ低下シ且其登録稅ノ一部ヲ騙取セラレタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

會計檢査院檢査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第三款 官業及官有財産收入 第一項 郵便電信電話收入

【報告】

(二八) 本項決算額ノ外東京外六逓信局ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ

一三〇二^四一五七^四八一〇

アリ右ハ本年度内普通及特設電話新增設、通話事務開始並市外電話線架設工事用トシテ寄附ヲ受ケタルモノニシテ名義ヲ物品勞力ノ寄附トシ其實之カ資金ハ寄附者ヲシテ郵便貯金等ニ預入セシメ工事ノ進行ニ伴ヒ之カ出納ヲ爲サシメタルモノニ係リ名ハ物品勞力ノ寄附ト稱スルモ現金ノ出納ニハ職員ヲ參加セシメ物品ノ購入勞力ノ使用ハ事實政府ニ於テ執行スルモノナルヲ以テ之ヲ歳入ニ編入シ其使用ハ歳出豫算ニ基キ執行スルヲ要スヘキモノト認メ之カ事由ヲ逓信大臣ニ質問セシ

大正八年度 歳入 (二七)(二八)

ニ其辯明ノ要旨ハ電話擴張工事ハ歐洲戰亂ノ影響ヲ受ケ物價勞銀著シク騰貴ノ爲計畫ニ齟齬ヲ來シタルノミナラス電話ノ需要激増ノ爲從來ノ計畫ヲ改定スルノ要アルモ直ニ之カ實行ヲ爲ス能ハサルヲ以テ先ツ本年度ニ於テハ既定繼續費ヲ以テスル擴張工事ノ外應急ノ措置トシテ此方法ヲ採リタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ右寄附金ノ内普通及特設電話ノ新増設並通話事務開始ニ要スル寄附金ハ從來歳入ニ編入シ來リタル所ニシテ此等ノ收入ハ總テ歳入ニ整理スヘキモノナルコト論ヲ竣クサルノミナラス物價勞銀ノ騰貴及電話需要ノ激増ニ基ク經費ノ増加ニ對シテハ別ニ歳出豫算上相當ノ方法ヲ講スヘキモノト然ルニ之ヲ歳入歳出ノ外ニ措キ特別ノ整理ヲ爲シ巨額ノ工事ヲ別途ニ施行スルカ如キハ其收支ヲ移用シタルモノニシテ不當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス尙右ノ外加入者ノ執行スヘキ特設電話局外線架設工事ニ關シ委託ヲ受ケ之ヲ執行セルモノアルニ拘ラス其收支ヲ歳入歳出ニ編入セサルハ勿論之ヲ出納官吏ノ保管外ニ置クノ實狀ニシテ從來數次取扱上ノ改善ヲ促シタルモ未タ變更スルニ至ラス要スルニ本件ハ名ヲ物品勞力ノ寄附ニ藉リ歳入ニ編入スヘキ寄附金ヲ別途ニ整理シ之ヲ經費ニ移用シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 從來電話建設工事ニ對スル寄付ノ受理ハ現金ヲ本則トシ物件ヲ例外トシ而シテ現金ハ之ヲ歳入豫算ニ編入シ工事ニ要スル費用ハ之ヲ歳出豫算ヨリ支出スルノ方針ニシテ電話交換擴張費豫算ハ此ノ方針ニ依リ之ヲ編成セシモノナリ而シテ大正八年年度ニ於テハ歐洲戰亂ノ影響ニ因ル物價勞銀ノ騰貴並經濟界ノ活躍ニ伴フ電話需要激増ノ實況ニ鑑ミ既定繼續費ノ年額額ヲ以テスル擴張工事ノ外至急開通制度施行地以外ニ在リテハ特ニ急速電話ノ架設ヲ要望スル向ヨリ物件ノ寄付ヲ受ケ努メテ電話ノ普及ヲ企圖シ以テ社會ノ進運ニ適應セシメタル次第ニシテ其ノ寄付スヘキ物品ノ購買又ハ勞力ノ供出ハ品質ノ選定、取纏メ購入ノ便宜、工事施行順序等ノ關係上寄付者ノ委託ニ依リ政府ニ於テ之ヲ執行セシモ之ニ伴フ現金ノ保管及仕拂ヲ爲スコトハ一切之カ委託ヲ受ケサルコトト爲シタリ又ニ特設電話局外線架設工事ハ現制上加入者ノ負擔ニ屬シ政府ハ委託ニ依リ單ニ其ノ工事ヲ執行スルニ過キサルヲ以テ之カ收支ハ歳入歳出ニ編入スヘキ筋合ノモノニアラス但シ工事ニ要スル資金ノ保管方法ニ關シテハ加入者ニ於テ直接銀行ニ預入シ銀行ヲシテ之カ出納保管ヲ掌ラシムルコトト爲ス等適當ノ方法ニ據ラシメ居レリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【案決】 承認

第二項 森林收入

【報告】

(二一九) 本項決算額ノ外高知大林區署ニ於テ歳入ニ編入セザルモノ

一一二六二六一

アリ右ハ同署管内ニ於ケル官行斫伐作業用工作物ノ建設修繕等ノ爲無償ヲ以テ使用シタル立木二百二十一石丸太千三百三十三石餘挽材柚材板材等千七百二十八石餘木炭二千五百十二貫及樹皮四千四百四十坪餘ノ見積價格ニシテ此等ノ物件ヲ使用スル場合ニ於テハ其代價ヲ相當費目ノ支辨ト爲シ一面歳入ニ編入スヘキモノナルニ之カ手續ヲ履行セス事業費ノ補足ヲ爲シタルモノニ係リ歳入歳出ヲ混同セルモノナリ要スルニ本件ハ立木其他物件ノ代價ヲ歳入ニ編入セス直ニ之ヲ使用シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

【案決】 不當

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

第三項 配當金收入

【報告】

(三〇〇) 本項決算額ノ外大藏省ニ於テ徵收ニ至ラサルモノ

五二〇〇〇〇〇〇

アリ右ハ政府ノ所有ニ係ル東洋拓殖株式會社株式六拾五萬圓ニ對スル大正七事業年度利益配當金年八分ニ相當スルモノナリ抑同會社同年度ノ營業成績ハ朝鮮ニ於ケル農產物一般ニ豐作ニシテ其價格亦未曾有ノ好況ヲ呈シタルト拓殖資金ノ需要旺盛ニシテ收益ノ増大ヲ來シタルトニ因リ總益金ハ前年度ニ倍蕪セル八百八拾四萬餘圓ニ上リ右ノ内諸經費及利息ヲ支拂ヒタルノ外二年以降繰越ニ係ル債券價格較差百參拾七萬餘圓並所有建物及工作物年度末現在價額ノ八割ニ相當スル九拾萬餘圓ノ償却ヲ爲シ政府以外ノ株式ニ對シテ八年八分ノ配當ヲ爲シタルモ政府所有株式ニ對シテハ毫モ配當ヲ爲サザリシモノニシテ之ニ對スル當局者説明ノ要旨ハ債券價格較差ハ早晚其全額ヲ償却スヘキモノナルヲ以テ成ルヘク速ニ償却スルヲ適當ト認メタルト建物及工作物價格ノ償却ニ於テモ略同様ノ理由ニ基キ比較的收益ノ増加ヲ見タル際ニ於テ償却ヲ増加スルモ不當ニ非スト認メタリト謂フニ在リ然レトモ債券價格較差ノ償却ニ關シテハ姑ク之ヲ措クモ建物及工作物ノ減價償却ニ至リテハ其趣ヲ異ニシ保存年限ニ應シ遞次償却スルヲ普通ノ事例トスル所ニシテ本件建物及工作物ノ殆ト全部ハ明治四

大正八年年度 歳入 (二九)(三〇)

十四年度以降大正二年度ニ至ル間ニ於テ朝鮮各地ニ新築シタルモノニ係リ之ニ對シ一時ニ年度末現在價額ノ五分ノ四ニ相當スル著シキ多額ノ償却ヲ爲スカ如キハ其必要ヲ認メ難ク現ニ神田橋稅務署ニ於テ同會社ニ對スル八年度所得額ヲ決定スルニ當リ前掲償却額ノ内四拾參萬貳千餘圓ヲ否認シ之ヲ利益金トシテ計算シタルニ徵スルモ利益ノ留保ヲ爲シタルモノト認メサルヲ得ス而シテ本會社法ニ依レハ每營業期ニ於ケル利益配當ハ政府以外ノ株式ニ對シ年八分ノ割合ヲ超過スルトキハ其超過額ハ同率ニ達スル迄政府所有ノ株式ニ配當シ尙殘餘アルトキハ平等ニ配當スヘキ規定ナルヲ以テ本償却ヲ適當ノ程度ニ止メ政府所有株式ニ對シ少クモ年八分ノ配當ヲ爲サシムルヲ相當ノ措置ト認ム依テ本件ハ不當ナリトス

東洋殖産株式會社ニ對シ其ノ大正七事業年度決算ヲ認可スルニ方リ諸償却金中比較的多額ノ建物及工作物價格ノ償却ヲ認メタルハ該建物及工作物ノ如キハ會社ノ基礎ヲ鞏固ナラシムル上ニ於テ早晚其ノ全額ノ償却ヲ必要トスルモノナルノミナラス其ノ償却率ニ付テモ何等一定率ヲ設ケタルモノナキヲ以テ比較的收益ノ多キ際ニ於テ稍多額ノ償却ヲ爲スモ敢テ不當ニアラスト認メタルニ由ル

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

第八項 東京砲兵工廠益金

【報告】

(三二一) 東京砲兵工廠ノ徵收ニ係ル

一、三二五、五九九

ハ東京砲兵工廠ニ於テ一般會計歳入ニ編入セル本年度作業益金ナリ右損益計算ノ内容ヲ觀ルニ損失ニ歸シタル材料素品價格八拾參萬六千六百七拾四拾錢九厘ノ大部分ハ作業會計規則第三十六條ニ依リ年度末ニ於ケル市價ノ低落ヲ事由トシ未消費ニ屬スル材料素品ノ價格ヲ低減セルモノニ係リ内貳拾六萬六千五百五拾圓八拾七錢ハ電氣銅百十萬餘疋單價壹圓四錢餘ヲ八拾錢ニ改定シタル差損ニ屬スルヲ以テ改定單價ノ基準ニ關シ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ年度更新前後ニ於ケル電氣銅ノ市價ハ變動常ナキ狀態ニ在リ改定單價ハ大正九年三月ノ市價ニ比シ割安ト爲リ適切ナラサル點アルモ豫算外國庫ノ負擔トシテ同月十日附ヲ以テ内外物産合名會社ト契約シタル五十萬疋ノ單價八拾錢ヲ基準トシテ決定シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ内外物産合名會社トノ契約ハ其實同年四月下旬ニ締結セルモノナルヲ以テ之ヲ基準トシテ年度末ニ於ケル市價ヲ定ムヘキモノニ非ス又年度更新前後ニ於テハ市價低落ノ趨勢ヲ呈シタリト雖尙一疋壹圓内外ヲ持續シ現ニ

九年四月上旬契約シ同年一月二十日附トシテ證明シタル三菱商事株式會社ノ百萬疋ノ單價九拾五錢五厘ナルノ事實ニ徵シ本件改定單價ハ低廉ニ失スルモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ適當ニ材料素品ノ格下ヲ爲シ作業益金ヲ減殺シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件ハ當時材料素品ノ市價低落ノ趨勢ヲ呈シ就中電氣銅ニアリテハ殊ニ急激ナル低落ヲ來シタルヲ以テ作業經營上資本ノ安固ヲ期スル爲之カ價格ノ改定ヲ行ヒタルモノナリト雖措置適當ナラサル點アリ將來注意セシム

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

(參照) ○作業會計規則(明治二十三年三月二十日)

第三十六條 材料素品機械ノ運轉用品ノ年度内未消費ニ屬スルモノ市價ノ低落又ハ毀損變質等ニ由リ其價格ヲ減スルトキハ每年度ノ終リ當時ノ市價ニ依リ其價格ヲ改定スヘシ

第四款 雜收入 第三項 辨償及違約金

【報告】

(三二二) 文部省ノ徵收ニ係ル

一八六、〇〇〇

ハ岡山醫學專門學校本館並車寄外三廉改築工事請負契約解除ニ對スル違約金トシテ株式會社木村組ヨリ納付セシメタルモノナリ右工事ハ豫定價格四萬六千參百圓ニ對シ大正八年八月七日四萬六千貳百五拾圓ヲ以テ同會社ニ落札シ請負契約ヲ締結シタルモノナルニ同月二十日入札見積額ニ違算アリトシ解約ヲ申出テタルヲ以テ同年十月二十七日契約ヲ解除シ契約保證金四千六百五拾圓ノ百分ノ四ニ相當スル前掲金額ヲ徵收スルニ止メ差額四千四百六拾四圓ヲ免除シタルモノナリ依テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ本件入札當時ニ於テハ時局ノ關係上物價ノ暴騰殆ト底止スル所ヲ知ラサルノ狀況ナリシヲ以テ請負者カ違算ヲ理由トシ解約ヲ申出テタルハ不都合ナルモ多少酌量スヘキ餘地アリト認メ文部省工事竣物件入札及請負規則第二十九條ニ依リ特ニ契約保證金ノ百分ノ四ヲ沒收スルニ止メタリト謂フニ在リ然レトモ同規則第二十條ニ於テ落札人落札ノ日ヨリ五日以内ニ契約ヲ締結セサルトキハ入札保證金ノ全部ヲ政府ノ所得ト爲スヘキ旨ノ規定アルニ由リテ之ヲ觀ルモ契約締結後全ク之ヲ履行セサルモノニ對シ僅ニ契約保證金ノ百分ノ四ヲ徵收スルニ止ムルカ如キ

【辨明】

ハ彼此權衡ヲ失スルノミナラス落札金額ト豫定價格トノ差僅ニ五拾圓ニ過キサレニ對シ違算ヲ理由トシ違約處分ニ多大ノ斟酌ヲ加ヘ違約金ノ大部分ヲ免除スルカ如キハ其措置當ヲ得タルモノニ非ス依テ本件ハ不當ナリトス

會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

(參照) ○文部省工事並物件入札及請負規則(明治三十五年二月二十五日)

第二十条條 落札人落札ノ日ヨリ五日以内ニ契約ヲ締結セサルトキハ入札保證金ノ全部ヲ政府ノ所得トス

第二十九条條 請負事項ノ履行緩慢ニシテ契約期間内ニ到底完済スルノ見込ナシト認ムヘキ證據アルトキハ該契約ヲ解除シ契約保證金ノ全部若クハ一部ヲ政府ノ所得トス

第五項 雜入

【報告】

(三三三) 本項決算額ノ外農商務省ニ於テ徵收ニ至ラサルモノ

一、一〇二、三九〇

アリ右ハ獸疫調査所ニ於ケル「ツベルクリン」外七種ノ拂下代價及郵送料ニシテ本年度ニ於テ拂下ヲ爲シタルモノナルニ拘ラス大正九年四月ニ至リ初テ代金調定ノ手續ヲ爲シタルカ爲テ遂ニ年度内徵收ニ至ラサリシモノナリ元來當所ニ於テハ歳入徵收官並收入官吏ノ設置ナク此等血清類ノ拂下ニ關シテハ取扱者ニ於テ之カ代金ヲ領收シ後日之ヲ農商務省ノ收入官吏ニ送付シ官廳等ニ對スル分ハ當所ヨリノ報告ニ依リ調定ノ上納入告知書ヲ發行スルノ取扱ニシテ其取扱者ニ於テ領收シタルモノハ長期ニ涉リ擅ニ之ヲ保管シ概ネ年度末ニ至リ一時ニ之ヲ收入官吏ニ送付セルノ狀況ナリ今取扱者カ本年度ニ於テ代金ヲ領收シ擅ニ之ヲ保管セシ狀況ヲ觀ルニ十箇月以上ノモノ九拾五圓餘六箇月乃至九箇月ノモノ參百四拾貳圓餘二箇月乃至五箇月ノモノ貳百參拾四圓餘ニ及ヒ其取扱粗慢ニシテ所屬年度ヲ紊ルニ至リ現ニ本年度收入ニ整理シタルモノノ内四百七拾參圓餘ノ「マレイシ」外三種ノ代價ハ其實七年度ニ於テ之カ拂下ヲ爲シタルモノナリ加之製造血清類ノ受拂ニ關スル整理亂雜ヲ極メ九年四月整理ノ結果炭疽豫防接種液第一液四百十五瓦外二種此價格七百七拾八圓餘ノ帳簿外現品ヲ發見シ之カ受入ヲ爲スニ至レルモノアリ要スルニ本件ハ歳入金ヲ領收シ之カ納付ヲ遅延シ其所屬年度ヲ紊リタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

歳入臨時部

第一款 官有物拂下代

第三項 建物拂下代

【報告】

(三三四) 文部省ノ徵收ニ係ル

四七五、〇〇〇

ハ東京市麴町區元衛町中央氣象臺改築地内家屋木造二階建七十七坪餘平家建二十二坪餘ヲ取毀ノ條件ヲ以テ同市神田區石井某ニ賣却シタル代金ニシテ豫定價格ヲ四百五拾四圓トシ石井某外二名ヲ指名シ大正八年十一月入札ヲ執行シ之カ拂下ヲ爲シタルモノナリ右豫定價格算定ノ基礎ニ關シ當局者説明ノ要旨ハ該建物ハ腐朽蟲喰多ク古材トシテ使用シ得ヘキハ約半數ノ見込ナリシヲ以テ毀家値段段トシテハ坪當ニ階建ノ分五圓平家建ノ分參圓ヲ適當ト認メタリト謂フニ在リ然レトモ該建物ハ元陸軍近衛騎兵聯隊兵營ノ一部ニ存在セシ舊幕時代ノ建築物ニシテ強大ナル材料ヲ用ヒ爾後修繕ヲ爲シタルヲ以テ使用シ得ヘキ古材等少カラサルニ建築材料ノ價格騰貴ノ秋ニ當リ殆ト燃料ニ均シキ低價ノ見積ヲ爲シ殊ニ取毀ノ條件ヲ以テスル家屋ノ賣却ニ就キ一般ノ競争ニ依ラス單ニ用達商人等僅ニ三名ヲ指名シタルニ止ルカ如キハ不當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス而シテ本件建物ハ拂下後數次轉賣セラレ結局參千數百圓ニ達セルノ計算ナルニ由テ之ヲ觀ルモ豫定價格ノ杜撰ナリシコト明ナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第十四款 戰時利得稅

第一項 戰時利得稅

【報告】

(三五五) 横濱外八稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

一、一六七、七九四、五〇〇

アリ右ハ横濱正金銀行外十二會社ノ利得額ヲ決定スルニ當リ國債以外ノ有價證券ニ對スル資本金額ハ其資産價額ニ依リ總

大正八年度 歳入 (三三四)(三五)

資産ノ割合ヲ以テ按分セルニ國債ニ對スル資本金額ハ所得額ニ依リ按分シ之ヲ控除シテ利得ノ基本タル資本金額ヲ見積リ計算セルニ因ルモノニシテ其事由トスル所ハ戰時利得税法及同施行規則ニ於テ其資本金額ノ見積計算方ニ就テハ特ニ限定セサルヲ以テ適當ニ之ヲ見積リ計算スルヲ得ヘク而シテ國債ハ其利廻僅少ナルカ爲資産ニ依リ資本金額ヲ按分スルトキハ利得ノ基本タル資本金及平均所得額小額ト爲リテ多額ノ利得稅ヲ負擔セシムルコトト爲リ負擔ノ不權衡ヲ來シ且公債ノ募集ヲ困難ナラシメ公債政策上不得策ナル結果ヲ來スヲ以テ所得額ニ依リ資本金額ヲ按分シタリト謂フニ在リ然レトモ右ハ大正七年度検査報告ニ掲載セシ如ク利得ノ基本タラサル有價證券ニ對スル資本金額ヲ按分スルニ當リ一般ニ資産價額ニ依リ按分セルニ拘ラス國債ニ限リ法規上別段ノ規定ナキヲ理由トシ之カ取扱ヲ異ニスルカ如キハ其措置妥當ヲ缺クモノト認メサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス(大正七年度二六三八三頁參看)

【辨明】會計検査院ノ検査報告ニ依レハ利得ノ基本タラサル有價證券ニ對スル資本金額ヲ按分スル場合ハ一般ニ資産價格ニ依リテ按分スルニ拘ラス國債ノミニ限り之カ取扱ヲ異ニスルハ不當ナリト謂フニ在ルモノ利得ノ基本タル所得ト其ノ他ノ所得トヲ有スル法人ノ利得金額計算ノ基本タル所得金額ニ相當スル資本金額ノ計算ニ付テハ戰時利得税法施行規則第四條ニ於テ「利得金額計算ノ基本タル所得金額ニ相當スル資本金額ヲ見積リ計算ス」ト規定シアリテ其ノ見積方ニ付テハ特ニ限定セサルヲ以テ適當ニ見積計算セハ可ナルヘキコト既ニ前年辯明シタル所ノ如シ而シテ國債ノ利廻ハ國債以外ノ有價證券ノ利廻ニ比シ僅少ナルヲ常トスルヲ以テ偶確實ノ運用法ナリトノ見解ニ基キ國債ニ投資セル者ニ對シ資産ニ依リ資本金ヲ按分シタル結果利得ノ基本タル資本金額及平時所得金額少額トナリテ爲ニ法人ニ多額ノ利得稅ヲ負擔セシムルハ負擔ノ不權衡ヲ來スノミナラス公債ノ募集ヲ困難ナラシメ公債政策上洵ニ不得策ナル結果ヲ來スヲ以テ前述ノ如キ場合ニ於テハ其ノ所得ニ依リ資本金ヲ按分計算シタルモノニシテ取テ不當ニアラスト認ム

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 承認

(參照) ○戰時利得税法施行規則(大正七年四月四日 勅令第六十四號)

第四條 戰時利得税法第二條ニ該當スル法人又ハ戰時利得稅ヲ課スヘキ利得ノ基本タル所得ト其ノ他ノ所得トヲ有スル法人ノ資本金額ノ算定ニ付テハ利得金額計算ノ基本タル所得金額ニ相當スル資本金額ヲ見積計算ス

【報告】

(三六) 和歌山稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

四七、〇五一〇〇〇

アリ右ハ内海紡織株式會社ノ利得額貳拾參萬五千貳百五拾五圓ニ對シ課稅ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

永代橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

一〇、八一七二〇〇

アリ右ハ三井物產株式會社ノ利得額ヲ決定スルニ當リ資本金額中翌期ヨリ算入スヘキ未納税金引當金參百萬圓ヲ加算セルト利得ノ基本タラサル有價證券價格拾五萬貳百圓ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

七、五一九二〇〇

松原稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ多賀電氣株式會社ノ利得額ヲ決定スルニ當リ平時事業年度ノ平均所得額及控除額參萬七千五百九拾四圓ヲ七萬五千九拾圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

幸橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

五、六二五〇〇〇

アリ右ハ東京市芝區賴尊某ノ鑛業權賣却ニ依リ利得額參萬七千五百圓ニ對シ課稅ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

四、二四四四〇〇

アリ右ハ田井鱒大敷網株式會社ノ利得額ヲ決定スルニ當リ戰時事業年度ノ資本金額ハ繰越缺損額多カリシ爲計算上皆無ナルヲ以テ所得額參萬五千五拾壹圓ヲ利得額トシテ計算スヘキモノナルニ平時事業年度ノ平均所得額壹萬七千六百八拾五圓ヲ控除シタルニ因ルモノナリ

三、二六四〇〇〇

倉敷稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ備産織物株式會社ノ利得額ヲ決定スルニ當リ平時平均所得額半箇年分ヲ誤テ年額割合ニ依リ貳萬七千貳百拾四圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

二、七六〇四五〇

幸橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ東京市麻布區小林某ニ對シ所得額六萬四千參百八拾參圓ヨリ平時平均所得額及之カ二割ニ相當スル金額四千八拾參圓ヲ控除シ利得額ヲ六萬參百圓ト爲スヘキモノナルニ之カ決定ヲ爲サス既橋稅務署ニ於テ誤テ決定シタル四萬千八百九

拾七圓ヲ是認シタルニ因ルモノナリ

神田橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ三菱商事株式會社ノ利得額ヲ決定スルニ當リ資本金額中利得ノ基本タラサル有價證券ニ對スル資本金額貳拾貳萬五千七百參拾圓ヲ控除セサルニ因ルモノナリ

神戶稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ神戸市大松某ノ船舶賣却ニ依ル利得額壹萬八千圓ニ對シ課稅ヲ脫漏シタルニ因ルモノナリ

松原稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ株式會社日立銀行外五會社ノ利得額ヲ決定スルニ當リ平時平均所得額半年分ヲ誤テ年額割合ニ依リ計算シタルニ因ルモノナリ

幸橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ東京市芝區小平某ノ鑛業權賣却ニ依ル利得額壹萬千八百拾圓ニ對シ課稅ヲ脫漏シタルニ因ルモノナリ

岩國稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ山口縣玖珂郡由宇村島谷某ノ船舶賣却ニ依ル利得額ヲ決定スルニ當リ船員解雇慰勞金九千圓ヲ經費トシテ控除シタルニ因ルモノナリ

伏見稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ共同酒造株式會社ノ利得額ヲ決定スルニ當リ資本金額ノ計算ヲ誤リ利得額壹萬參千百圓ヲ六千六百貳拾八圓ト決定シタルニ因ルモノナリ

永代橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ西村合名會社ノ利得額ヲ決定スルニ當リ所得額ニ於テ前期ニ否認セル繰越損失金七千六百拾八圓七拾壹錢ヲ損金ト

一、二七〇九〇〇〇

一、二七〇〇〇〇〇

一、七二九八〇〇

一、六七七〇〇〇

一、三三〇〇〇〇

一、二九四四〇〇

一、二二六〇〇〇

一、一五四〇〇〇

一、一三六二〇〇

一、〇三二二五〇

一、九八三四〇〇

一、四三八〇〇〇

七、一五七二〇〇

二、六八五二〇〇

アリ右ハ日出紡績株式會社ノ利得額ヲ決定スルニ當リ戰時事業年度資本金額ノ計算ヲ誤リ利得額百拾四萬五千九百九拾參

シ之ヲ資本金額ヨリ控除シタルニ因ルモノナリ

同署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ合資會社東京惠比壽商會ノ利得額五千七百七拾圓ニ對シ課稅ヲ脫漏シタルニ因ルモノナリ

横濱稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ株式會社横濱貿易倉庫ノ利得額五千六百拾壹圓ニ對シ課稅ヲ脫漏シタルニ因ルモノナリ

兩國橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ東京市深川區鈴木某ノ船舶賣却ニ依ル利得額六千八百七拾五圓ニ對シ課稅ヲ脫漏シタルニ因ルモノナリ

神田橋稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

アリ右ハラサ島燐礦株式會社ノ利得額ヲ決定スルニ當リ利得ノ基本タラサル有價證券各月末現在平均價額ハ八拾四萬千六百六拾六圓ナルニ期末現在價額貳百六拾七萬圓ヲ以テ資本金額ヲ按分シ又未納稅引當金ヲ資產金額ニ重複計算シタル等ニ

因ルモノナリ

岸和田稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

アリ右ハ岸和田紡績株式會社ノ利得額ヲ決定スルニ當リ戰時事業年度資本金額千六拾四萬參百五拾九圓ヲ千貳拾六萬貳百七拾貳圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

鹿兒島稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

アリ右ハ株式會社山形屋吳服店ノ利得額ヲ決定スルニ當リ平時事業年度ノ平均所得額五萬九千參百六拾貳圓ヲ貳萬九千六百八拾壹圓ト計算シ又積立金ノ性質ヲ有スル千四百貳圓ヲ資本金額ニ加算セサルニ因ルモノナリ

御坊稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

アリ右ハ日出紡績株式會社ノ利得額ヲ決定スルニ當リ戰時事業年度資本金額ノ計算ヲ誤リ利得額百拾四萬五千九百九拾參

大正八年度 歳入 (二二六)

五〇四

圓ヲ百拾五萬九千四百拾九圓ト決定シタルニ因ルモノナリ

一、八〇三、六〇〇

峯山稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ
アリ右ハ合資會社田中商店ノ利得額ヲ決定スルニ當リ平時事業年度ニ於ケル資本金ノ計算ヲ誤リ平時平均所得額壹萬七千八百四拾七圓ヲ五千參百四拾六圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

一、一〇二、六〇〇

神田橋稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ
アリ右ハ日本製粉株式會社ノ利得額ヲ決定スルニ當リ利得ノ基本タラサル有價證券ノ資本金額七千六百拾參圓ヲ七萬六千百參拾壹圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

一、〇四〇、四〇〇

同署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ
アリ右ハ三菱商事株式會社ノ利得額ヲ決定スルニ當リ資本金額四千貳百五拾八萬八千參拾圓ヲ四千四百八拾四萬貳千七百拾壹圓ト計算シ又利得ノ基本タラサル有價證券ニ對スル資本金額九萬五千九百貳拾八圓ヲ拾八萬貳千六百參拾圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

右ハ孰モ取扱ノ過誤ニ因リ徵收上過不足ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

左記ノモノヲ除ク外會計檢査院檢査報告ノ通
但シ大正九年度及十年度ニ於テ更正済

會計檢査院ハ賴倉某ノ鑛業權賣却ニ因リ利得金ニ對シ課稅ヲ脫漏シタルハ不當ナリト謂フモ該鑛業權ノ賣却ニ對シテハ當初大正八年八月三十一日利得金額貳萬六千貳拾八圓ト決定シタル處其ノ後誤謬アルコトヲ發見シ本人ノ追加申告ヲ徵シ大正九年二月六日利得金額ヲ參萬七千五百圓ニ訂正シ其ノ稅額五千六百貳拾五圓ハ大正八年度中ニ徵收ヲ了シタルモノニシテ毫モ不當ノ點ナシ會計檢査院ノ報告ハ誤謬ナリト認ム

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】

承認(幸橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ五、六二五圓ノ分)
不當(其ノ他)

歳出

内務省所管

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(三七)

九五、九八一、七七〇

工事施行上ノ注意ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ一件(三八)

五九、〇〇一、七二二

合計二件

一五四、九八三、四九二

歳出臨時部

第四款 港灣改良費 第五項 神戸港修築費

【報告】

(三七) 内務省神戸土木出張所ノ支出ニ係ル

九五、九八一、七七〇

ハ同出張所官舎十三棟及傭人合宿所一棟此總建坪五百九十三坪餘竝附屬工作物ノ新營工事費ニシテ外ニ價格貳千四百六拾五圓六拾五錢ノ材料ヲ使用セリ右ハ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非スト認メ之カ事由ヲ該當官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ神戸市ノ發展ニ伴ヒ住宅ノ缺乏甚シク且物價暴騰ノ爲所員ハ勤務地外ニ住居ヲ求ムルモノ多ク事業ノ進捗ニ及ホス影響多大ナルニ因リ之ヲ施行シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ本項豫算中ニハ此等官舎宿舎ノ新營ニ關スル工費ヲ豫定セサルヲ以テ若施行ノ必要アリトセハ之カ經費ハ別途ニ要求スヘキモノニ屬シ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非ス依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス

【辨明】

神戸港修築事業ハ主トシテ海中工事ニ屬スルニヨリ時々激浪ノ爲海上不穩ノ場合尠カラズ此等非常事變ニ際シテハ當該吏員ハ晝夜ヲ間ハス敏速出務シ船舶諸機械其ノ他工作物材料等ノ防護ニ努メ臨機ノ策ヲ講セサレハ終ニ不測ノ損害ヲ被ムルニ至ルヘク事業ノ進捗上ニ及ホス影響ノ甚大ナルモノアリ然ルニ神戸市ハ近年急劇ナル發展ヲナシ爲メニ市内ニ於ケル住宅ノ缺乏著シク從テ賃借料暴騰シ住宅難ノ爲當該吏員以下ハ勢ヒ市外僻僻ノ地ニ散在居住スルモノ多キニ至リ事業遂行上至大ノ障碍ヲ來タスノ處アリ依テ此ノ難局ヲ緩和シ事業ノ遂行ヲ全カラシメムカ爲メ官舎及傭人宿舎ヲ設備スルノ必要ニ迫マレリ而シテ本項豫算ニハ營繕ニ關スル費用ヲ積算シアルニ依リ本件官舎等ノ建築費ヲ本項ヨリ支出スルモ豫算ノ目的外ニ使用シタルモノニアラス

大正八年度 内務省 (三七)

五〇五

【貴決】 措置器官ヲ闕ク

【衆決】 承認

(參照) ○會計法(明治二十二年二月十一日)

法律 第四十一號

第十二條第一項 國務大臣ハ豫算ニ定メタル目的ノ外ニ定額ヲ使用シ又ハ各項ノ金額ヲ彼此流用スルコトヲ得ス

第六款 北海道拓殖費 第八項 港灣費

【報告】

(三八) 北海道廳網走築港事務所ノ支出ニ係ル

五九、〇〇一、七二二

ハ網走築港工場埋立地甲部護岸及船入澗突堤工事費拾四萬四千五百九拾參圓八錢六厘ノ内ニシテ八萬五千五百九拾壹圓參拾六錢四厘ハ大正九年度ニ屬スルモノナリ右工事ハ網走海岸ノ前面ヲ埋立テ築港工場敷地ト爲シ中央ニ築港用船入澗ヲ設ケタルモノニシテ護岸ハ底幅十尺上幅八尺干潮面上六尺五寸突堤ハ底幅十四尺上幅十尺干潮面上五尺ノ石柁ヲ据附ケ上部ニ護岸ハ幅六尺厚一尺五寸突堤ハ幅九尺厚三尺ノ場所詰混泥土ヲ施シ前面ニ護岸ハ五割突堤ハ二割五分乃至八割勾配ノ捨石ヲ爲シ上部ニ二十五噸内外ノ捨塊ニ列ヲ施スノ設計ニ依リ護岸ハ八年五月突堤ハ同年八月工事ニ著手シタルモノナリ十年六月ノカ實地ヲ検査スルニ八年十二月暴風雪ノ爲護岸百三十間突堤二十間ノ石柁ヲ破壊流失セラレ九年度ニ於テ工費貳萬貳千餘圓ヲ支出シ之カ復舊ヲ計ルト共ニ殘工事ヲ竣功シタルニ同年十一月ノ暴風ノ爲復ヒ護岸五十四間突堤六十五間ヲ破壊セラレタルヲ以テ十年度ニ至リ設計變更ノ上護岸ハ工費四千參百餘圓ヲ支出シテ之カ復舊及補強工ヲ施シ突堤ハ石柁ヲ場所詰混泥土ニ變更シ工費四千餘圓ヲ支出シテ延長三十間ヲ竣功シ殘部三十五間ハ未著手ニ屬セリ之ニ關シ當該官吏説明ノ要旨ハ工場埋立地及船入澗ハ防波堤ノ築設及浚渫工事ノ施行上必要ナル假設的準備工事ナルヲ以テ本港ノ狀勢ニ鑑ミ工法ヲ簡ニシ工費ヲ節約シ其作業中ニ起ルヘキ被害ハ時時僅少ノ補修ヲ加ヘ進行スルヲ得策ト認メ且此等工作物ハ漸次防波堤ノ竣功ニ依リ其被覆ヲ受ケ安全ト爲ルヘキヲ以テ當初ヨリ此方針ノ下ニ計畫實施シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ本件護岸及突堤ハ單ニ石柁ヲ据附ケ上部ニ場所詰混泥土ヲ施行シ前面捨石上ニ捨塊ヲ施スニ過キスシテ北海激浪ノ衝ニ對スル設備トシテハ其構造甚薄弱ナルモノト謂ハサルヲ得當局者ノ説明スルカ如ク假設的準備工事ナルノ故ヲ以テ工法ヲ

簡ニスルヲ得策ト認メタルモノアリトアルモ其間自ラ程度ノ存スヘキモノニシテ冬季敢テ稀有ノ事例トスルニ足ラサル風浪ノ爲引續キ二箇年ニ涉リ其主要部數十間ヲ破壊セラレ其九年度施行ニ係ル補修工事ニ於テモ當初ノ方針ニ基キ單ニ之カ復舊ヲ爲スニ止メ前後多額ノ工費ヲ無効ニ歸セシメ延テ工程ヲ遅延スルニ至ラシメタルハ畢竟工事ノ施行上適當ノ注意ヲ缺キタルニ因ルモノト認メサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

網走港ノ修築設計ニ就テハ其ノ港灣ノ地勢ト多年設置シアル同所測候所ノ觀測トハ其ノ基礎ヲ成スモノニシテ其ノ外海ニ對スル地勢ハ小樽港ニ類似スルモノアリ小樽港第二期工事ニ於ケル船入澗突堤及埋立地護岸ノ設計ハ其ノ水深ニ於テ網走港ノ著シク淺キモノアリト雖モ略同様ノモノヲ以テ之ニ充ツルハ技術上最モ其ノ當ヲ得タルモノニシテ何等批難ノ餘地ナキヲ信スルモノナリ況ヤ小樽ノソレノ如キ防波堤未成時代ノ數年間激浪ノ直衝ヲ受ケ敢テ支障ナキヲ得タル事例アルニ於テオヤ更ラニ測候所ノ長期ニ亙ル觀測ニ徵スルニ遠ク兩港ニ何等海中構造物ノ施設ナカリシ往時ハ姑ク之ヲ措キ大正五年十二月二十七日ヨリ同二十九日ニ亙ル四十餘時間ノ怒濤ハ近來稀有ノコトニ屬シ小樽ニ於テハ波高堤外二十餘尺ニ達シ北防波堤ニ激スル飛沫ハ百餘尺ニ及ヒタリ當時北東ヨリ進入スル狂瀾ハ防波堤ノ被覆ナキ船入澗突堤ヲ吞ミテ澗内ヲ攪亂シ同所繫留ノ船舶ニ多大ノ損害ヲ與ヘタルモ遂ニ突堤ノ破壞ヲ見サリキ當時網走港ニ於ケル風浪ヲ比較スルニ小樽港ノソレニ伯仲シタルモ寧ろ時日ノ短キト渡良岩礁ノ被覆ト水深ノ淺キトハ現時工場埋立地海岸附近ニ於テ干潮面上十五尺ノ地區ニ餘波進入シタル形跡ヲ止メタルモノアリ之レ網走港ノ古老カ未曾有ノ時化ナリト稱スル所ナリ故ニ之等ノ實況ヲ參酌シテ小樽港ノ設計ニ做ヒ埋立護岸及船入澗突堤ノ設計ヲ定メタルモノニシテ根據ナキモノニ非サルナリ然レトモ固ヨリ永久的ノ工事ニ非サルヲ以テ時々多少ノ補強ト修理トハ當初ヨリ豫期スル所ナリトス之ヲ要スルニ大正八年度即チ第一回ノ被害ハ工事ノ中途ニシテ場所詰及捨塊未施行ノ場合ナリシヲ以テ大正九年度ニ施行セシ之カ復舊工事ハ其ノ當初ノ設計ヲ變更スルノ必要ヲ認メス同一工法ヲ繰返シタルモノナルモ大正九年度ノ被害ハ是等ノ諸工事ヲ終了シ設計ノ通完成セシ部分ナリシニ依リ其ノ被害ノ結果ヲ考慮シ其ノ復舊ニ際シテハ工場護岸ニ在リテハ外側ニ混泥土補強工事ヲ施シ船入澗突堤ニ在リテハ石柁ヲ廢シ干潮面上八尺高八尺ノ場所詰混泥土ヲ施スコトニ設計ヲ變更シタルモノニシテ今ニシテ之ヲ觀レハ第一回ノ復舊ニ際シ直ニ此ノ設計ニ變更スルヲ以テ得策トナスノ結果ヲ生セリト雖モ前述ノ如ク第一回ハ未完成ノ場合ナリシ爲之カ變更ノ要ヲ認メサリシモノニシテ亦已ムヲ得サルモノニ屬シ必シモ前設計ノミヲ墨守シ被害ノ狀況ニ顧慮ヲ用ヒサリシモノニ非サルナリ故ニ工事ノ施行上適當ノ注意ヲ缺キタルモノナリトノ批難ハ當ヲ得タルモノニアラス仍テ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

大藏省所管

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(三九)
工事施行上ノ注意ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ一件(四〇)
合計二件

四五、三八一・一〇九
六五、二〇〇・二〇〇
一一〇、五八二・三〇九

歳出臨時部

第二款 營繕費 第一項 神戸税關海陸運輸聯絡設備費

【報告】 (三九) 大藏大臣官房臨時建築課神戸出張所ノ支出ニ係ル

四五、三八二・一〇九

ハ同出張所合宿所二棟此總建坪二階建百五坪平家建四十五坪ノ建築及附屬工作物ノ設備費並敷地七百四十餘坪ニ對スル借
地料ニシテ外ニ價格千貳百九圓拾五錢ノ材料ヲ使用セリ右ハ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非スト認メ之カ事由ヲ當該官吏
ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ近時神戸附近ハ物價騰貴ト共ニ住宅缺乏ヲ極メ出張所備人等ハ通勤不便ノ地ニ移住シ工事施
行上多大ノ支障ヲ來セルヲ以テ事業費ノ餘裕アリシニ依リ本件合宿所ヲ新設シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ本項豫
算中ニハ此等住宅ノ設備費ヲ豫定セサルヲ以テ若施行ノ必要アリトセハ之カ經費ハ別途ニ要求スヘキモノニ屬シ本費ノ支
辨ト爲スヘキモノニ非ス依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス
【辨明】 附隨的雜工事ノ類ハ工事實施ニ伴ヒ臨機ニ其ノ必要ヲ生スルモノニシテ豫メ其ノ種別金額等的確ニ掲上スルヲ得サルモノニ屬シ總テ此等
ノ經費ハ概括的ニ雜工事費ノ名稱ヲ以テ豫算セサルモノナリ而シテ本件合宿所ノ經費モ亦前記雜工事費ニ中ニ包含セルモノニシテ會計法
第十二條ニ違背スルモノニ在ラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○會計法第十二條第一項(五〇六頁參看)

第七項 鹽專賣用倉庫新營費

【報告】 (四〇) 大阪專賣支局ノ支出ニ係ル

六五、二〇〇・二〇〇

ハ大阪市西區鶴町ニ建設シタル鹽倉庫三棟總建坪九百坪ノ新營其他工事費七萬參千七百五拾圓ノ内ニシテ八千五百四拾九
圓八拾錢ハ專賣局歳出第一款專賣局作業費第二項事業費ノ支辨ニ屬スルモノナリ大正十年五月之カ實地ヲ検査スルニ本件
敷地ハ大阪灣築港ノ際埋立テタル部分ナルニ其他形ハ側柱及荷持柱ノ下ニ長二間末口四寸ノ丸太二本乃至四本ヲ打込ミ六
寸角二ツ割長二尺ノ盤木ヲ置キ其上ニ拾土臺トシテ杉押四寸角ヲ置渡シ且敷地ノ周圍建物ニ密接シテ上幅一尺八寸深一尺
八寸乃至三尺ノ假下水ヲ設ケ内側ニ限リ土留板ヲ附スルニ止メ九年三月竣功シタルモノニ係リ四月前後ヨリ包裝鹽ノ倉入
ヲ爲シタルニ五月下旬ニ至リ地盤ノ低下ト共ニ第一號及第三號兩倉庫ハ桁行ノ約半部ニ涉リ一二寸下水側ニ傾斜シ各號倉
庫ノ片妻部ハ孕出シ急速補修ノ必要アリトシ五千餘圓ヲ以テ二重梁ト側柱上部トニ挾筋違ヲ施シ側柱下部ヨリ荷持柱又ハ
控抗ニ繫根根ヲ取附ケ土留柵及埋下水ヲ設ケ假下水ヲ埋立テ尙在庫鹽積替倉出ノ爲千六百餘圓ヲ要スルニ至リタルモノナ
リ右ニ對シ當該官吏説明ノ要旨ハ本件敷地ハ埋立後數十年ヲ經過シ地盤ハ或程度迄落著キ附近ニ民間大小規模ノ建造物ヲ
建設シタル實例アルノミナラス敷地約五尺ノ上層ハ砂土質ナルモ下層ハ泥土軟弱ナルヲ認メ細心ノ注意ヲ拂ヒ設計シタル
モノニシテ他地方ニ於ケル實例ニ比シ適當ト認メタリト謂フニ在リ然レトモ本敷地ハ極テ軟弱ナル地盤ナルヲ以テ本件ノ
如キ倉庫ノ建設ニ際シテハ設計上最注意ヲ要スヘキモノナルニ簡單ナル浮地形ト爲スニ止メ且建物ニ密接シテ假下水ヲ設
ケ竣功後幾クナラスシテ之カ補修工事ヲ爲スノ已ムヲ得サルニ至リタルカ如キハ畢竟當初ノ設計注意周到ヲ缺キタルモノ
ト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ設計其宜シキヲ得サリシカ爲國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件ハ設計前地質ノ調査ヲ爲シタルニ地質約五尺ノ上層ハ砂土質ニテ固結セルモ其ノ下層ハ泥土軟弱層ナリト認メタルヲ以テ建物自體ノ
重量ヲ輕減シテ全部木造ト爲シタルト又其ノ地形ニ於テモ地盤ノ低下ヲ防止スル目的ニテ十五尺ノ地下迄四本乃至二本ノ拾杭ヲ打込ミ拾
土臺ヲ施シ下柱築立等相當設備シ尙假下水側ニ對シテハ下柱側ノ切込土臺ト拾土臺間ニ束柱ヲ仕組ミ根柢ヲ内側ニ三段取付ケ更ニ其ノ外
側ニ土留板ヲ間隙ナキ様打立テ土留ニ充當スル等夫々地形ヲ強固ナラシメ此ノ種建物建築上一般ニ實行セラルル方法ニ依リ設計上最善ノ
注意ヲ以テ施行シタルモノニシテ不當ニアラス

【貴決】 措置適當ヲ闕ク

【衆決】 承認

大正八年度 大藏省 (四〇)

陸軍省所管

虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ二件(四一)(四九)
 競争入札ニ付スヘキ工事及物件ノ購買ヲ隨意契約ニ依リタルモノ四件(四二)(四三)(四七)
 豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ二件(四四)(四六)
 工事施行上ノ注意ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ一件(四五)
 豫算ノ剩餘アルニ乘シ不急ノ物品ヲ購入シタルモノ一件(四八)
 合計十件

歳出經常部

第二款 軍事費 第二項 廳費

【報告】 (四一) 第九師團經理部ノ支出ニ係ル 一九八^門六三〇

ハ第九師團司令部事務用諸用紙及木炭ノ購買代トシテ證明シタルモノナルモ其實同司令部陸軍二等計手齋藤某カ大正八年二月ヨリ七月ニ至ル間ニ於テ供給人吉田某外一名ノ使用人ト共謀シ虚偽ノ證書書類ヲ作成シ納入品ノ單價ヲ變更シ又ハ數量ヲ附加シ其差額ヲ騙取シタル總額貳百四圓拾參錢ノ内ニシテ五圓五拾錢ハ七年度ニ屬スルモノナリ尙前記齋藤某ハ委任經理所屬仕拂代金百六拾貳圓六拾四錢ヲ横領セルノ事實アリ右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ被害金ハ歳入ニ納付シ又ハ現品追納濟ニシテ責任者ハ相當處分濟ナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 不當

第十項 兵器彈藥費

【報告】 (四二) 陸軍兵器本廠ノ支出ニ係ル 五、九二二、〇〇〇

ハ同廠ノ委託ニ基キ陸軍被服本廠ニ於テ隨意契約ニ依リ大正九年二月天滿織物株式會社ヨリ單價參拾九圓四拾八錢ヲ以テ購入シタル兵器格納棚覆用生雲齋百五十反ノ代價ナリ右ハ競争入札ニ付スヘキモノト認メ之カ事山ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ被服ニ屬スル生雲齋ハ特種品ナルカ故ニ被服本廠ニ於テ隨意契約ニ依リ購入ヲ爲シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ本件ト同一ノ目的ヲ以テ同時期ニ大阪小倉兩兵器支廠ヲシテ調辨セシメタルモノハ孰モ競争契約ニ依リ前者ハ參拾貳圓九拾錢後者ハ貳拾九圓九拾九錢ヲ以テ購買セルノ事實ニ徴シ之ヲ特種品トシテ購入スルノ要ナク縱ヒ被服本廠ニ購買ヲ委託ストスルモ被服用ニ非サルヲ以テ競争入札ニ付スヘキモノナリ依テ本件ハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 本件ハ調辨上ノ便宜ヲ顧慮シ陸軍被服本廠ニ委託購買ノ際同廠ニ於ケル需要品調辨ノ例ニ倣ヒ取扱ヒタルモノナリト雖措置適切ナラサル點アリ將來注意セシム

【貴決】 措置穩當ヲ闕ク 【衆決】 會計法第二十四條違背

(參照) ○會計法(明治二十二年二月十一日) 法律勅令ヲ以テ定メタル場合ノ外政府ノ工事又ハ物件ノ賣買貸借ハ總テ公告シテ競争ニ付スヘシ(下略)

歳出臨時部

第五款 軍備充實費 第一項 營繕及初度調辨費

【報告】 (四三) 本項ニ於テ東京砲兵工廠ノ支出ニ係ル 一、二一五、三二五、三三〇
 第十二款兵器製造所新設費第一項兵器製造所新設費ニ於テ同廠ノ支出ニ係ル 六五三、八九六、六〇〇
 ハ名古屋機器朝鮮兵器兩製造所新設ニ伴ヒ設備シタル鑛盤其他器具機械ノ代金ニシテ大正五年勅令第百八十八號ニ依リ隨意契約ヲ以テ購入シタルモノナリ右ハ大正七年度検査報告ニ詳悉セシ如ク同勅令ハ特別會計ニ於ケル作業經營上必要ナル物件ノ購入ニ關シ隨意契約ヲ許容シタルモノニシテ本件ノ如ク製造所初度設備ノ爲購入スル器具機械ニ對シテハ同勅令ヲ適用スヘキモノニ非ス依テ本件ハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス(大正七年度三八三九八四號)

【辨明】 本件ハ前年度報告ニ對シ辨明セシ如ク兩製造所ハ共ニ砲兵工廠編制内ノ一部ニシテ作業上必要ナル器具機械ノ備附ナルヲ以テ大正五年勅令第百八十八號ヲ適用シ隨意契約ヲナシタルモノトス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○砲兵工廠及千住製絨所ニ於テ作業上必要ナル物件ノ買入ニ關スル隨意契約ノ件(大正五年七月二十七日勅令第百八十八號)

砲兵工廠及千住製絨所ニ於テ作業上必要ナル機械器具材料素品機械運轉用品及作業場用備品ノ買入ヲ爲ストキハ時局ノ影響ノ存スル間隨意契約ニ依ルコトヲ得

○會計法第二十四條(五一頁參看)

【報告】 第十二師團經理部ノ支出ニ係ル

六三二一七三〇〇

【(四四)】 第十二師團經理部ノ支出ニ係ル
ハ野戰重砲兵第五聯隊ニ於ケル上長官宿舍五棟士官宿舍二十三棟准士官下士官宿舍五棟及共同浴室五棟此總建坪六百七十三坪餘ノ新築工事費ニシテ外ニ價格四萬四千五百六圓拾參錢七厘ノ材料ヲ使用セリ右ハ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非スト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ小倉衛戍地ニ於ケル住宅ノ拂底ハ大正八年七月師團凱旋ニ際シ其極ニ達シ營外居住者ニシテ家族ト同棲シ難キモノ多キニ至リ加フルニ同年十二月野戰重砲兵第五聯隊ヲ下關ヨリ北方新兵舍ニ移轉シタルカ爲同隊將校以下ノ宿舍ヲ小倉衛戍地ニ求ムルコトハ到底見込ナク下關ヨリ通動スルノ已ムヲ得サル狀況ニ在リテ勤務上不利不便少カラス然ルニ北方ニハ不用臨時構築物存在セルヲ以テ之ヲ移築シ居住ニ適應スル假設備ヲ爲シ一時之ニ收容シ其急ニ應スルコトトセハ隊務遂行上有利ナルヲ認メ假宿舍ヲ建設シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ之カ實地ヲ検査スルニ工費一坪百五拾九圓餘ニ當リ其構造ハ一般官舍ニ比シ程度稍劣レリト雖假宿舍ヲ以テ目スルヲ得サルノミナラス縱ヒ一時假設ノモノトスルモ本項豫算中ニハ官舍設備ニ關スル經費ヲ豫定セサルヲ以テ若施行ノ必要アリトセハ之カ經費ハ別途ニ要求スヘキモノニ屬シ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非ス依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス
本件工事ハ當時該衛戍地ニ於ケル住宅不足ノ現況ニ鑑ミ隊務遂行上之カ施設ヲ緊要トセシニ依リ不用臨時構築物ヲ移築シ居住ニ適應スル

假設備ヲ爲シタルモノシテ要スルニ本費ノ支出ハ軍備充實ニ基テ陣營移轉ニ伴ヒ必要ヲ生シタルモノナルヲ以テ豫算目的外ニアラス

【貴決】 措置適當ヲ闕ク

【衆決】 承認

(參照) ○會計法第十二條第一項(五〇六頁參看)

第十二款 兵器製造所新設費 第一項 兵器製造所新設費

【報告】 東京砲兵工廠ノ支出ニ係ル

一六三〇〇〇

ハ朝鮮兵器製造所職工浴室新築工事費壹萬八拾貳圓四拾五錢八厘ノ内ニシテ七千參百貳拾八圓ハ大正七年度ニ貳千五百九拾壹圓四拾五錢八厘ハ九年度以降ニ屬シ外ニ價格貳千四百九拾九圓參拾錢ノ材料ヲ官給スルコトトシ東京市清水某ノ請負ニ付シ施行シタルモノナリ右ハ大正七年度検査報告ニ詳悉セシ如ク當初設計ノ際注意周到ナラサリシカ爲増補工事ヲ爲スノ已ムヲ得サルニ至リタルモノニシテ不當ナリトス(大正七年度(三九三九九頁參看))

【辨明】 本件ハ前年度報告ニ對シ辨明セシ如ク増補工事ノ必要ヲ生シタルハ強チ設計ノ疎漏ニ原因スルトハ認メ難キモ工事實施上注意ノ周到ヲ期スヘク特ニ將來ヲ注意セリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

第十三款 土地建造物利用費 第一項 土地建造物利用費

【報告】 第七師團經理部ノ支出ニ係ル

五三三三三三六〇

ハ常麻演習場整備ノ爲立木ノ伐採竝建築用材及薪炭製造ニ要シタル經費ナリ右ハ大正七年度検査報告ニ詳悉セシ如ク演習場整備ノ必要ニ出テタルモノナルヲ以テ之カ經費ハ別途ニ要求スヘキモノニ屬シ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非ス縱ヒ一面ニ於テ土地附屬物タル立木ヲ利用シ陸軍營繕費補充資金特別會計ノ收入ヲ増加シ得ルモノトスルモ其收入増加ハ演習場整備ニ伴フ結果ナルヲ以テ同特別會計ニ所謂土地ノ利用ニ屬スルモノト認ムルヲ得ス依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス(大正七年度(四〇三九九頁參看))

【辨明】 本件ハ前年度報告ニ對シ辨明セシ如ク演習場ノ整備ト共ニ一面陸軍營繕費補充資金ノ收入ヲ増殖セシムルノ目的ニ出テ土地ノ附屬物タル

立木利用ノ爲ニスルニ外ナラサルヲ以テ豫算目的外ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(参照) ○會計法第十二條第一項(五〇六頁參看)

第三十二款 大正三年臨時事件費 第一項 大正三年臨時事件費

【報告】 (四七) 陸軍東京經理部ノ支出ニ係ル

一三二五、七九七、二六〇

ハ臨時軍用鐵原料研究委員所屬野牛研究所新設ノ爲大正八年十月ヨリ九年三月ニ至ル間ニ於テ東京市芝罘長澤某代理富山
礦業事務所外三名ヨリ購入シタル粉碎機其他ノ代價及新潟縣南蒲原郡加茂町小柳某代理富山礦業事務所ニ請負ハシメタル
臨時構築物ノ工事費ニシテ孰モ會計法第二十四條第三號ヲ適用シ非常急遽ノ際競争ニ付スルノ暇ナシトシ隨意契約ニ依リ
タルモノニシテ其理由トスル所ハ帝國內豐富ナル砂鐵ニ對シ團鑛法ヲ急速ニ研究シ鐵鑛ノ自給ヲ策スルハ軍事上緊急ナル
ヲ認メ八年九月閣議ニ於テ之カ研究費トシテ本費ヨリ參拾萬圓ヲ支出スルコトニ決議セラレタルニ基キ年度内ニ遂行スル
ノ計畫ヲ樹テタルモ其研究期間ハ右決定後五箇月有餘ニ過キスシテ該設備ハ場所並時期ノ關係上緊急ノ措置ヲ要シ制規ノ
手續ヲ履行スル暇ナカリシニ因ルト謂フニ在リ然ルニ之カ實施ノ跡ヲ觀ルニ同年九月岸某外數名ヲ委員ニ任命シ岸某ノ所
有鑛區内ニ岸式團鑛法ニ依ル研究場ヲ設置シ並其砂鐵原料ヲ無償提供セシムルコトトシ設備ニ著手シタルモ請負人長澤某
ノ工場ハ極メテ小規模ニシテ請負機械ノ大部分ヲ赤羽飛行機製作工場等ニ製造セシメタルモ尙期日内ニ完成スル能ハス建
築工事ハ冬期ニ際シ豫定ノ如ク進捗ヲ見ス九年三月下旬纔ニ竣成ヲ告ケタルノ狀況ナリ而シテ其後試驗作業ノ實施中熔結
爐ニ損壞ヲ生シ作業中止ノ已ムナキニ至リ遂ニ九年七月之ヲ砲兵工廠ノ管理ニ移シ更ニ此ノ團鑛ニ係ル製鐵並經濟的團鑛
製造方法研究ノ爲岸某カ八年末特許ヲ得タル岸式團鑛法ヲ國ニ於テ使用スルモ異議ナキ旨ヲ承諾セシメ設備一切ヲ製鐵所
ニ保管轉換ヲ爲スニ至リタルモノニシテ此ノ如ク短期ニ研究ノ終了ヲ要スル事由不明ナルノミナラス元來砂鐵ヲ原料トス
ル製鐵事業ニ於テ最困難トセラルル所ハ熔鑛爐内ニ「チタニウム」化合物ノ固結集積ヲ防止スルノ點ニ在ルヲ以テ縱ヒ團

鑛法ノ研究ヲ爲スモ直ニ鐵材自給ノ目的ヲ達スル能ハサルモノニ屬シ且當時鐵鑛供給ノ狀況ニ照シ非常急遽ノ處置ヲ爲ス
ノ要アリシモノト認メ難キヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ本件ハ當時ノ狀況ニ於テ鐵鑛供給ニ支
障ヲ生シタル場合ノ應急策ヲ講シ置ク必要アリト認メ考慮中岸某ノ提言アリシヲ以テ之ヲ實施シタルモノニ係リ學究的研
究又ハ産業的見地ヨリ砂鐵利用方法ノ解決ヲ目的トシタルニ非ス其砂鐵選鑛ニ於テ「チタニウム」含有量ヲ減少セシメ普
通鐵鑛ト適當ノ比例ヲ以テ混合スルトキハ製鐵作業上支障ナキモノト推斷セラルルヲ以テ先ツ所期ノ物理的性質ヲ有スル
砂鐵團鑛ヲ得ルヲ主眼トシ最少日子内ニ其目的ヲ達成スルヲ企圖セルカ爲試驗期間ヲ五箇月ト限定シタルモノニシテ之カ
設備ヲ競争契約ニ付スル餘裕ナカリシモノナリト謂フニ在リ然レトモ當時鐵鑛並鐵鑛ノ輸入狀況ハ順調ニシテ製鐵所ニ於
テ漢冶萍公司ヨリ購入セル鉄鐵及鐵鑛ノ如キハ前年度ニ比シ價格ヲ引下ケタルニ拘ラス敢テ納入ヲ阻碍セラレタルノ事實
ナク又砂鐵團鑛法ノ研究ヲ遂クルモ更ニ製鐵方法ノ實驗ヲ要スルモノアルヘキハ推斷ニ難カラサル所ニシテ當時我國ニ於
ケル鑛石供給ノ途ヲ講スルノ要アリトスルモ非常急遽ノ措置トシテ之カ設備ヲ競争入札ニ付スルノ暇ナカリシモノト認メ
難シ依テ本件ハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】

本件ノ調査研究ハ當時帝國四圍ノ狀況ニ鑑ミ鐵鑛ノ自給ヲ策スルヲ軍事上緊急事ト認メ實施シタルモノニシテ大正九年度陸軍軍需工業動
員計畫上研究期間ヲ限定スルノ要アリタルト又季節及施設場所ノ關係ハ急遽ノ措置ヲ必要トセシニ由ル

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

(参照) ○會計法(明治二十二年二月十一日)

第二十四條 法律勅令ヲ以テ定メタル場合ノ外政府ノ工事又ハ物件ノ買賣貸借ハ總テ公告シテ競争ニ付スヘシ但シ左ノ場合ニ
於テハ競争ニ付セス隨意ノ約定ニ依ルコトヲ得ヘシ
第三 非常急遽ノ際工事又ハ物品ノ買入借入ヲ爲スニ競争ニ付スル暇ナキトキ

【報告】

(四八) 陸軍被服本廠ノ支出ニ係ル

一〇〇、一六六、〇九〇

ハ大正九年三月三十一日千住製絨所ヨリ購入シタル毛布製作材料二等複生反毛十萬百六十六封度餘ノ代價ニシテ現品ハ購

入後引續キ同所ニ保管ヲ委託シ未使用ノ儘十年度ニ至レルモノナリ右ハ年度内必要ナキ物品ヲ購入シタルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ復生反毛ノ使用ニ就テハ價格ノ關係上有利ナルヲ認メ之カ購入ヲ希望シタルニ年度末ニ至リ物價騰貴ニ伴フ豫算約百萬圓ノ令達アリシニ依リ直ニ購入スルコトトシ九年度ニ於テ千住製絨所ヲシテ毛布絨其他ノ工料製作ヲ爲サシムル計畫ヲ以テ之カ材料ヲ準備シタルモノナルモ同所ノ軍絨製作ニ於テ「メリノー」羊毛ヨリ生スル反毛ヲ使用スルノ有利ナルヲ認メ該計畫ヲ變更シ復生反毛ハ十年度ニ於テ使用スルコトト爲シタルモノニシテ作業上翌年度所要材料ヲ若干準備スルコトハ已ムヲ得サルモノナリト謂フニ在リ然レトモ本件物品ノ賣却ニ關シ千住製絨所ノ説明スル所ニ依レハ賣却セル復生反毛ヲ使用シ得サリシハ九年度ニ於ケル毛布絨ノ註文僅少ナルト其註文品ハ八年度内製造ニ著手シタルモノヲ以テ之ニ充當シタルトニ因ルモノナルヲ以テ答辯ハ事實ト認メ難ク物價騰貴ニ基ク豫算ノ不足ヲ補足スル本費ヲ以テ後年度所要ノ材料ヲ準備セムカ爲此ノ如ク多量ノ物品ヲ購入スルカ如キハ失當ノ措置ト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ豫算ノ剩餘アルニ乘シ年度内其必要ナキ物品ヲ購入シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

陸軍被服廠ニ於テ調製製造スル被服ハ各部隊ニ於ケル給與ニ支障ナカラシムルト共ニ同廠ノ製作用業ヲ圓滑ナラシムルノ必要アルカ故ニ一時同廠ノ貯藏ニ係ル戰用準備被服ノ内ヨリ繰替補給スルヲ例トス而シテ右繰替品ニ對シテハ在庫品ノ現況ヲ查察シ尙將來ニ於ケル各部隊ノ需要ニモ顧慮シテ適切ナル品種ヲ撰定補填スルノ必要アルモノナルヲ以テ縱令當該年度ノ調製品ヲ以テ現實ニ當該年度補給品ニ充當セサルモノヲ以テ年度内所要ナキ物品ト斷スルハ適當ナラス

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 承認

【報告】

第三十七款 伊國飛行家羅馬東京間飛行費助費 第一項 伊國飛行家羅馬東京間飛行費助費 五、一三七〇〇〇

ハ朝鮮軍經理部ニ於テ大正八年十一月大邱府山中某ノ請負ニ付シ施行シタル大邱飛行機著陸地平均工事費ニシテ九年三月竣功シタルモノトシ仕拂ヲ爲シタルモノナルモ其實同部附陸軍技手古島某カ現場監督ニ從事中請負人ノ使用人ヨリ收賄ノ上設計書ニ明示セル工費八百拾六圓七拾五錢ニ相當スル仕上工事ヲ省略セシムルト共ニ歩兵第八十聯隊ノ兵力ヲ以テ之

【辨明】

ヲ執行セシメタルニ拘ラス恰モ請負人ニ於テ實施セルカ如ク關係書類ヲ偽造シタルカ爲請負代金全部ノ仕拂ヲ爲スニ至リタルモノナリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ工費ノ全額ヲ仕拂ヒタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 不當

海軍省所管

虛構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ六件(五〇)(五一)(五五)(五六) 四、五九五四三〇
 工事施行上ノ注意ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ二件(五二)(五四) 一五〇、一〇〇五八九
 競争入札ニ付スヘキ工事ヲ隨意契約ニ依リタルモノ一件(五三) 八九、一六一三〇〇
 豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ二件(五七) 一、一三七、八二六〇〇〇
 豫算ノ剩餘アルニ乘シ不急ノ物品ヲ購入シタルモノ一件(五八) 三一九、五一三、五二〇
 豫算ノ使用其宜シキヲ得サルモノ一件(五九) 一二六、九六〇、〇二三
 合計十三件 一、八二八、一五六、八六二

歳出經常部

第二款 軍事費 第七項 造船造兵及修理費

【報告】

(五〇) 本項ニ於テ佐世保海軍經理部ノ支出ニ係ル 五〇〇〇〇〇

歳出臨時部第七款水陸設備費第一項水陸設備費ニ於テ同部ノ支出ニ係ル 七五〇〇〇

ハ佐世保工廠造船部試驗所新増築竝「デイゼル、エンジン」試驗用基礎等ノ工事ニ使用シタル職工人夫賃トシテ證明シタルモノナルモ其實經理部建築科技手古川某及技生足立某ノ兩人カ大正八年三月ヨリ同年八月ニ至ル間ニ於テ職工人夫點檢簿ニ實際使役セサル員數ヲ附加シ職工人夫供給請負人ヲシテ之カ賃金ノ請求ヲ爲サシメ騙取シタル總額千百圓ノ内ニシテ五

【**辨明**】 百貳拾五圓ハ七年度ニ屬スルモノナリ右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス
會計検査院検査報告ノ通

但シ政府ノ損害ハ辨償セシメ監督ノ任ニ在リタル者ニ對シテハ相當ノ處分ヲ了セリ

【**貴決**】 將來ノ注意ヲ促ス

【**衆決**】 不當

第九項 患者費

【**報告**】 (五一) 本項ニ於テ佐世保海軍經理部ノ支出ニ係ル

第十一項艦營費ニ於テ同部ノ支出ニ係ル

二四八九〇
四〇七二七〇

ハ鳳山海軍無線電信所ニ於ケル物品購入代點燈料及運搬賃トシテ證明シタルモノナルモ其實海軍二等主計兵曹中林某カ大正九年一月ヨリ同年八月ニ至ル間ニ於テ支出傳票ヲ偽造シ或ハ正當債主ニ交付スヘキモノノ如ク裝ヒ騙取又ハ横領シタル總額千貳百七拾四圓八拾錢ノ内ニシテ八百四拾貳圓六拾四錢ハ九年度ニ屬スルモノナリ右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【**辨明**】 會計検査院検査報告ノ通

但シ政府ノ損害ハ會計検査院ノ判決ヲ待テ辨償セシムヘク監督ノ任ニ在リタル者ニ對シテハ相當ノ處分ヲ了セリ

【**貴決**】 將來ノ注意ヲ促ス

【**衆決**】 不當

歳出臨時部

第七款 水陸設備費 第一項 水陸設備費

【**報告**】 (五二) 吳海軍經理部ノ支出ニ係ル

九六、一五〇、五八九

ハ吳工廠水雷部潜水艇棧橋築造工事豫定費額拾七萬八千四百貳圓六拾參錢ノ内ニシテ六萬九千四百貳圓九拾六錢四厘ハ大正七年度ニ壹萬貳千八百四拾九圓七錢七厘ハ九年度ニ屬シ外ニ本年度迄ニ價格五百六拾五圓拾五錢五厘ノ材料ヲ使用セリ右ハ大正七年度検査報告ニ詳悉セシ如ク海底地質ト築造物トノ關係及假積重量等ニ就キ適當ノ注意ヲ缺キタル爲工事

中石垣側壁ノ崩壞ヲ來シ多額ノ工費ヲ無効ニ歸セシメタルモノニシテ不當ナリトス〔大正七年度(四一)四〇一頁參看〕

【**辨明**】 本件ハ大正七年度歳入歳出決算ノ検査報告ニ對シ辨明ノ通ニシテ其ノ後ノ調査ニヨレハ殊ニ崩壞ノ原因ト認ムヘキモノヲ發見セスト雖將來注意セシムヘシ

【**貴決**】 將來ノ注意ヲ促ス

【**衆決**】 不當

【**報告**】 (五三) 吳海軍經理部ノ支出ニ係ル

八九、一六一、三〇〇

ハ吳工廠火藥庫新營工事費拾貳萬九百貳圓六拾錢ノ内ニシテ參萬千七百四拾壹圓參拾錢ハ大正七年度ニ屬スルモノナリ右ハ大正七年度検査報告ニ詳悉セシ如ク火藥庫ノ新營ト共ニ庫ノ内外ニ電燈設備ヲ爲スニ過キサルモノナルヲ以テ之ヲ一般競争ニ付シ難キ事由アルモノト認ムルヲ得ス依テ本件ハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス〔大正七年度(四二)四〇二頁參看〕

【**辨明**】 本件ハ大正七年度歳入歳出決算検査報告ニ對シ辨明ノ通秘密ニ付スルノ要アリト認メ隨意契約ニ依リタルモ妥當ナラサルヲ以テ將來注意セシムヘシ

【**貴決**】 將來ノ注意ヲ促ス

【**衆決**】 會計法第二十四條違背

(參照) ○會計法(明治二十二年二月十一日法律第四號)

第二十四條 法律勅令ヲ以テ定メタル場合ノ外政府ノ工事又ハ物件ノ賣買貸借ハ總テ公告シテ競争ニ付スヘシ但シ左ノ場合ニ於テハ競争ニ付セス隨意ノ約定ニ依ルコトヲ得ヘシ

第二 政府ノ所爲ヲ秘密ニスヘキ場合ニ於テ命スル工事又ハ物品ノ賣買貸借ヲ爲ストキ

【**報告**】 (五四) 横須賀海軍經理部ノ支出ニ係ル

五三、九五〇、〇〇〇

ハ横須賀工廠炸藥彈丸庫新營工事費ニシテ大正八年二月起工同年六月竣功ヲ告ケタルモノナリ十年八月之カ實地ヲ検査スルニ桁行二十間ノ一方ニ於テ約一尺内部床ハ數十坪ニ涉リ二寸五分ノ沈下ヲ來シ煉瓦壁ニハ十數箇所ノ龜裂アリテ補修ヲ爲シタル形跡アルモ尙擴大スル傾向アルノミナラス未タ起重機ノ据附ヲ爲サス竣功後二箇年ヲ經過シタル會計實地検査當時尙完全ニ使用スルコト能ハサル状態ニ在リシヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ本工事設計ニ當

大正八年度 海軍省 (五三)(五四)

リ地質ノ模様大略判明セルヲ以テ試錐等ノ調査ハ爲ササリシモ敷地内最軟弱ト認ムル東南及北東部ニ於テ深五尺五寸ノ根切ヲ爲シ割栗石厚一尺ヲ詰込ミ五十貫以上ノ真棒ヲ以テ十分搗固メ二平方尺ノ混泥土塊ヲ据附ケ之ニ錘量半噸ヨリ漸次加重シテ五噸餘ニ至ラシメ數回検査ノ上尙一週間以上放置セシニ更ニ異狀ヲ呈セサリシモ敷地ハ埋立地ニシテ下層ハ十分沈定シ居ラサルヤモ計リ難ク且泥土層ナルヲ以テ最安全ヲ計リ地耐力ヲ一平方尺ニ付零噸七五トシテ設計セリト謂フニ在リ然レトモ本敷地ハ敷年前ノ埋築ニ係リ其ノ埋立約三十尺ニ及ヒ海底地質ハ泥土又ハ粘土層ニシテ四、五十尺ニ及フモ尙岩盤ニ達セサル軟弱ノ地質ナルニ拘ラス東南及北東部ノ二箇所ニ於テ僅ニ二平方尺ノ狭小ナル面積ノ荷重試験ヲ行ヒタルニ過キサルカ如キハ重量物ヲ格納スル彈丸庫トシテ精密ナル試験ヲ施行シタルモノト認メ難キノミナラス絛上ノ如キ地質ニ對シ其柱下ノ基礎ハ構造薄弱ニシテ安全ノ工法ニ依リタルモノト認ムルヲ得ヌ要スルニ本件ハ當初設計ノ際注意周到ヲ缺キタルカ爲建物ニ損傷ヲ來シ之ヲ完全ニ使用スルコト能ハサルモノニシテ不當ナリトス

【辯明】 本件ハ埋築地ナルヲ以テ特ニ地耐力ヲ測定シ負荷力ヲ低下シ且同一狀態ノ埋築地ニ於ケル既設建物ヲ参照設計セシモノニシテ工法上普通以上ノ注意ヲ拂ヒタルモノナレハ不當ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】 (五五) 吳海軍經理部ノ支出ニ係ル

一三三七〇八一〇

ハ吳海軍工廠廣支廠工場新營及附帶工事ニ使用セシ職工人夫賃トシテ證明シタルモノナルモ其實督役工新谷某カ大正七年九月ヨリ八年八月ニ至ル間ニ於テ實役點檢簿ニ實際使役セサル員數ヲ附加シ職工人夫供給請負人ヲシテ之カ賃金ノ請求ヲ爲サシメ騙取シタル總額參千參百九拾六圓拾五錢ノ内ニシテ千貳拾五圓參拾四錢ハ七年度ニ屬スルモノナリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ大正七年度歳入歳出決算報告ニ對シ辯明セシ通政府ノ損害ハ全部辨償セシメ當事者ニ對シテハ相當處分ヲ了セリ(大正七年度(四三)四〇三頁參看)

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】 (五六) 佐世保海軍經理部ノ支出ニ係ル

一、二二七、四六〇

ハ佐世保市堀某ヨリ購入シタル佐世保工廠巡洋艦船臺工事用平鋼九百貳丸鋼二千八十疋及鋼板千七百八十疋ノ代價トシテ證明シタルモノナルモ其實同人カ同工廠造機部工手龜山某ト共謀シ大正八年十月中構内材料置場ニ在リタル造機部所屬ノ該材料ヲ納入品ノ如ク裝ヒ代金ノ仕拂ヲ爲サシメ之ヲ騙取シタルモノナリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ政府ノ損害ハ事件司法裁判所ニ繫屬中ニ付確定ノ上辨償セシムヘク監督ノ任ニ在リタルモノニ對シテハ相當ノ處分ヲ了セリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第二十五款 大正三年臨時事件費 第一項 大正三年臨時事件費

【報告】 (五七) 橫須賀海軍經理部ノ支出ニ係ル

七六九、四五五〇〇〇

ハ橫須賀工廠ニ於テ造船造兵用機械トシテ設備シタル「ユニバーサル」外百十五臺ノ購入代

二六八、三七一〇〇〇

ハ舞鶴工廠ニ於テ造船造兵用機械トシテ設備シタル「ユニバーサル」外四十七臺ノ購入代ナリ右ハ大正九年一月乃至三月ノ間ニ於テ海軍大臣ノ訓令ニ基キ年度末ニ差迫リ急遽購入シタル「ユニバーサル」外二百六十八臺價格百參拾壹萬四千五百參拾壹圓ノ内一臺參千圓以上ノモノニシテ當局者ハ軍事費造船造兵及修理費支辨ニ屬スル工場機械ノ引換補充ノ目的ヲ以テ購入シタルモノナルニ由リ本費ノ支辨ト爲シタルモノニシテ舞鶴工廠ニ於テハ水陸設備費支辨ニ係ル工場完成ノ上之ニ移轉セシムル計畫ナリシモ本件補充機械ノ購入ヲ機トシ工場作業ノ便宜上其儘新設工場ニ据附ケタルモノナリト説明スルモ十年三月及六月之カ實地ヲ検査スルニ購入後既ニ一箇年ヲ經過スルニ拘ラス未タ之ヲ使用シタル形跡ナキモノ多カリシノミナラス橫須賀工廠ニ在リテハ既設工場狹隘ニシテ据附實施不能ナル爲作業簡易ナル仕

大正八年度 海軍省 (五六)(五七)

五二一

上工事ニ要スル機械ノ如キハ一時的工場ヲ假設シテ之ヲ移轉シ舞鶴工廠ニ在リテハ据附未了ニ屬スル十七臺價格拾四萬五千餘圓ノ多クハ水陸設備費ヲ以テ施行中ニ係ル新設水雷工場等ニ据附ケ尙著シク其工場ヲ擴張スルノ計畫アルニ徴シ單ニ既設機械類ノ引換補充ノ爲購入シタルモノト認メ難ク畢竟工場能力ノ増進ヲ目的トスル擴張的施設ニ屬シ隨テ年度内物價騰貴ニ因ル經費ノ補足ヲ目的トスル本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非ス依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス

【辯明】

本件ハ工場機械ノ引換補充並艦船維持補修ニ要スル機械増備ヲ目的トスル費目ノ支辨ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○會計法第十二條第一項(五〇六頁參看)

【報告】

(五八) 海軍省經理局ノ支出ニ係ル

三一九、五一三、五二〇

ハ製鐵所ヨリ購入セル各種鋼材千三百五十三噸餘ノ代價ニシテ艦船修理用トシテ年度末ニ迫リ購入シタルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ當時艦船ノ修理用鋼材ノ必要アリシ際偶製鐵所ニ在庫品アリシヲ以テ將來ノ修理用材料トシテ購入セリト謂フニ在リ然レトモ大正九年十月吳海軍工廠ニ就キ之カ實地ヲ検査スルニ本品ハ三月末日同工廠ニ現品ノ納入ヲ爲サシメタルモノニシテ九年七月ニ至リ横須賀外二工廠ニ分配ノ目的ヲ以テ所要數ヲ照會シタルニ對シ僅ニ百三十餘噸ノ申込アリシニ止リ他ハ所要ノ見込ナク其儘保管シ居ルノ狀況ニシテ年度末ニ迫リ之ヲ購入スルノ必要アリシモノト認メ難シ要スルニ本件ハ豫算ノ剩餘アルニ乘シ不急ノ物品ヲ購入シタルモノニシテ不當ナリトス

【辯明】

本件ハ偶製鐵所在庫品ニ恰當ノモノアリシヲ以テ購入セシモノナリ其ノ量多キニ過クルノ嫌アルヲ以テ將來注意セシムヘシ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】

(五九) 吳海軍經理部ノ支出ニ係ル

一一二六、九六〇、〇二二

ハ吳工廠製鋼部薄鋼板工場新營工事中薄鋼板工場新營汽罐室新營瓦斯發生爐上家新設及水道鐵管移轉増設此總工費參拾九萬四千四百八拾六圓參拾五錢ノ内ニシテ貳拾六萬七千五百貳拾六圓參拾貳錢七厘ハ大正七年度以前ニ屬シ外ニ價格百五拾

八圓九拾九錢五厘ノ材料ヲ使用セリ抑本件工事ハ時局ノ爲受託造船材料製造ニ對スル應急設備トシテ七年二月乃至五月直營施行ニ著手シ材料ノ購入其他ノ準備中偶休戰條約成立ニ際會シ八月一月頃ヨリ全然之ヲ中止シ次テ八年六月其位置及設計ヲ變更シ同年七月乃至十月頃ヨリ其基礎工事ニ著手シ年度内稍ク竣功ヲ告ケタルモノナリ九年十月之カ實地ヲ検査スルニ本工事施行ノ目的タル受託造船材料製造事業ハ休戰條約成立ノ影響ニ因リ一般造船業ノ不振ヲ來シタル結果之カ繼續施行ノ要ナキニ至リタルニ拘ラス休戰後數箇月ヲ經タル時期ニ於テ始テ基礎工事ニ著手セルノミナラス設計變更ノ結果水陸設備費支辨ノ製鋼部甲鐵板鍛鍊工場ノ一部ニ該當スル地位ヲ選定シ獨立工場トシテ使用シ能ハサルノ狀況ニ在リシヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ本件ハ七年度迄ニ材料其他ノ準備トシテ既ニ貳拾六萬七千餘圓ヲ支出シ之カ組立ヲ爲スノ程度ニ運ヒ居タルヲ以テ之ヲ中止スルハ不經濟ナルノミナラス水陸設備費ニハ本工事費豫算計上ナキヲ以テ作業能力ノ點ヲモ熟慮シ當初ノ計畫ニ基キ本費ヲ以テ之ヲ完成セリト謂フニ在リ然レトモ本工費用トシテ六、七兩年度ニ調辨セル材料ハ僅少ノ部分ヲ附屬工事ニ使用セルノミニシテ他ハ全部八年度ニ繰越シ何等加工セルノ形跡ナキノミナラス八年度ニ於テ設計變更ノ結果水陸設備費ノ支辨ヲ以テ起工計畫ニ係ル甲鐵板鍛鍊工場ニ連續シ其構造寸度ヲ一樣ナラシメタルモノナルヲ以テ答辯ノ如ク既ニ組立ヲ爲スノ程度ニ運ヒ居タルモノト認メ難ク又當局者ハ作業能力ノ關係上之ヲ完成スルノ要アリト謂フト雖本工場ハ起重機其他ノ設備ヲ缺クヲ以テ八年十月起工ニ係ル前記甲鐵板鍛鍊工場ノ竣成スヘキ數年ノ後ニ非サレハ之ヲ使用スルコト能ハサルモノニシテ豫算ノ目的ヲ達セサルノミナラス休戰後數箇月ヲ經過シ豫算要求ノ事由トセシ事業上ノ必要既ニ消滅シタルノ秋ニ際シ急遽本費ヲ以テ之ヲ遂行スルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】

本件基礎工事ニ著手セルハ休戰後ナルモ既ニ七年度迄ニ材料等總額ノ約三分ノ二ヲ準備シタルモノナレハ休戰後ト雖之ヲ完成スルヲ必要ト認メ本費ヲ以テ支辨シタルモノニシテ當時ノ情況ニ照ラシ止ムヲ得サルニ出テタルモノナルモ將來注意セシムヘシ

【貴決】 措置豫算ヲ關ク

【衆決】 承認

司法省所管

虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ一件(六〇)
豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(六一)
合計二件

九四〇〇〇
二、九六七〇〇〇
三、〇六一〇〇〇

歳出經常部

第三款 監獄 第四項 在監人費

【報告】

(六〇) 高松監獄ノ支出ニ係ル

九四〇〇〇

ハ作業材料品藥七百貫購入代トシテ證明シタルモノナルモ其實同監獄看守佐々木某カ大正八年十月ヨリ九年十月迄ノ間ニ於テ物品受入命令票及仕拂證明書類等ヲ偽造シ實際購入若ハ修繕セサル作業用材料品竝器具類ヲ購入若ハ修繕ヲ爲シタルモノノ如ク裝ヒ之カ仕拂ヲ受ケ騙取シタル總額貳千七百五拾六圓五拾九錢ノ内ニシテ貳千六百六拾貳圓五拾九錢ハ九年度ニ屬スルモノナリ右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

歳出臨時部

第二款 營繕費 第十六項 松本分監幼年監建築費

【報告】

(六一) 長野監獄ノ支出ニ係ル

一、九六七〇〇〇

ハ大正八年十二月及九年三月ノ二回ニ涉リ長野監獄及松本上田兩分監看守長監獄醫、教誨師、看守、授業手、小使等百三十四名ニ對シ支給シタル賞與金ナリ然ルニ本項豫算ハ二箇年度ニ跨ル繼續工事費ニシテ本年度年割額貳萬圓ニ對シ建築費トシテ支出セルハ材料代壹萬四千餘圓ニ止リ實際建築工事ニ著手セルハ九年度以降ナルノミナラス何等建築工事ニ關係ナキ職員

ニ對シテモ支給セルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ建築工事施行前ニ本費ヨリ賞與ヲ支給シタルハ聊カ穩當ヲ缺クモノト思料スルモ經常部豫算ニ不足ヲ告ケタルト且又直接工事ニ關係セザルモノモ自ラ其影響ヲ受クルヲ以テ豫メ之ヲ慮リ支給シタリト謂フニ在リ然レトモ本費ヲ以テ經常部豫算ノ不足ヲ補充スヘキモノニ非サルノミナラス直接工事ニ關係ナキモノニ對スル給與ハ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院ハ(一)初年度豫算額ハ單ニ材料ヲ購入セシニ止リ實際建築工事ニ著手セサルニ付建築工事施行前ニ工事豫算ヲ賞與ニ支出セリ(二)臨時部豫算ヲ以テ經常部豫算ノ不足ヲ補充セリ(三)工事ニ直接ノ關係ナキ者ニ對スル賞與ヲ本費ヨリ支辨セリ故ニ何レモ不當ナリト謂フニ在リ然レトモ(一)建築ニ要スル工事材料ヲ本費ヨリ購入セル以上既ニ營繕事業ヲ開始シ工事ニ著手セルハ明ナル事實ナルニ依リ從業員ニ本費ヨリ賞與セシハ不當ニアラス(二)事實ノ真相ハ常務ニ從事セシ分ハ經常費ヨリ營繕事務ニ從事セシ分ハ臨時費ヨリ各區分支給セシ次第ニシテ經常費ノ不足ヲ臨時費ヲ以テ補充セシモノニアラス(三)直接工事ニ關係セザル者ニ迄範圍ヲ擴張シテ賞與セシハ會計検査院報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

文部省所管

豫算ノ使用其宜シキヲ得サルモノ五件(六一)

四、〇〇〇〇〇〇

歳出經常部

第四款 醫師及藥劑師試驗費 第二項 事務費

【報告】

(六二) 本項ニ於テ文部省ノ支出ニ係ル

五〇〇〇〇〇

第六款普通教育費第三項普通教育諸費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル
第八款獎勵費第一項科學研究獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル
歳出臨時部第四款臨時調查費第二項實業教育調查費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル
第十二款大正三年臨時事件費第一項大正三年臨時事件費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

大正八年度 文部省 (六一)

ハ文部書記官同事務官教育博物館長及圖書官八名ノ住宅ニ架設スヘキ電話至急開通料納付用トシテ東京市麴町區佐藤某ヨリ購入シタル郵便切手代ナリ然ルニ電話至急開通料ハ現金納付ノ規定ナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ規定ヲ誤解シ郵便切手ヲ購入シタルモ現金納付ノ規定ナルニ由リ已ムヲ得ス更ニ歳出經常部第一款文部本省第二項廳費及修繕費外六科目ヨリ支出シ現金ヲ以テ納付シ不用ニ歸シタル郵便切手ハ其大部分ヲ翌年度ニ繰越シタリト謂フニ在リ右ハ規定ニ對スル調査粗漏ノ爲必要ナラサル物品ヲ購入シ延テ同一費途ニ屬スル經費ニ對シ其科目ヲ異ニシ重複ニ之カ支出ヲ爲スニ至レルモノニシテ豫算ノ使用宜シキヲ得タルモノニ非ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

農商務省所管

虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ一件(六三)

監督其宜シキヲ得ス出來形設計ニ違背シタル粗造ノ工事ニ對シ之カ代金ノ全部ヲ仕拂ヒタルモノ三件(六四)(六七)(六八)

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(六五)

物件ヲ購入スルニ當リ請託ノ爲國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ一件(六六)

合計六件

二〇二四一〇

一五〇、五七〇、七一〇

二、七九四、一〇〇

九七三、九二三、四九〇

一、一二七、四九〇、七一〇

歳出經常部

第三款 森林費 第三項 事業費

【報告】 (六三) 鹿兒島大林區署ノ支出ニ係ル

二〇二四一〇

ハ宮崎縣北諸縣郡高城村蔵ヶ野外一箇所國有林造林地ニ於ケル蔓切事業人夫賃トシテ證明シタルモノナルモ其實森林主事猪口某カ加治木都城兩小林區署ニ勤務中大正八年一月ヨリ同年九月ニ至ル間ニ於テ人夫使役簿及仕拂證明書類ヲ偽造シテ

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第九款 工業試驗所 第二項 事業費

【報告】 (六四) 大阪工業試驗所ノ支出ニ係ル

七、二八〇、〇〇〇

ハ大阪工業試驗所第二部乾溜室外十三室四百八十二坪餘ニ對スル床煉瓦敷工事費並第七號窯場百七十五坪ノ模様替工事費ニシテ前者ハ參千八百貳拾餘圓ヲ以テ大阪府豊能郡中豊島村北之坊某ニ請負ハシメ大正八年十一月起工同年十二月竣功シ後者ハ參千四百五拾餘圓ヲ以テ同府西成郡豊崎町龜田某ニ請負ハシメ九年一月起工同年三月竣功シタルモノナリ抑本工事ハ竣功後未タ使用セサリシ建物ニ對スル補足工事ニシテ當初乾溜室外十三室ハ土間ノ儘使用スル見込ナリシモ蘆草ノ發生砂塵ノ飛散等作業上支障アリ又窯場ハ本邦多數ニ行ハルル直接熱火窯ニ依ル計畫ナリシカ最近進歩セル瓦斯熱法ニ依ル製造法ハ經濟上有利ノ點多キヲ以テ窯ノ模範ヲ示シ併セテ製品ノ改良ヲ試驗スルノ必要アルヲ理由トシ修繕費配付豫算千貳百圓ニ對シ圖書及印刷費、内國旅費等ヨリ多額ノ流用ヲ爲シ修繕工事トシテ施行シタルモノナリ十年三月之力實地ヲ検査スルニ模様替工事ニ在リテハ在來基礎打杭ヲ地中常水面迄切下ケ之ニ蠟燭石ヲ建テ更ニ煉瓦十六段積ト爲スノ設計ナルニ側廻基礎根積煉瓦ハ延長八十間ノ全部ニ涉リ最下部二枚積二段ヲ一段ニ止メタルノミナラス之カ爲在來杭ノ切下ハ常水面ニ達セス又杭上ノ蠟燭石ハ荷持柱ノ直下ヲ外レ或ハ煉瓦積「モルタル」ノ飼方不十分ノ爲容易ニ脱落スル部分アル等保持上不安ヲ免レシ其他床煉瓦敷工事ハ敷方不陸ニシテ且目地粗雜ナル箇所少カラス要スルニ本件ハ工事施行上監督宜シキヲ得ス其出來形設計ニ違背シタル粗造ノ工事ニ對シ之カ代金ノ全部ヲ支拂ヒタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 大體會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第十五款 諸支出金 第一項 諸支出金

【報告】 (六五) 製鐵所ノ支出ニ係ル

二、七九四、一〇〇

ハ供給請負契約ニ基キ使役シタル職夫ニ對シ死傷手當トシテ支給シタル七千四百拾貳圓拾八錢ノ内ニシテ四千貳百四拾八圓八錢ハ大正九年度ニ屬スルモノナリ右職夫ハ請負人ノ供給ニ係ルヲ以テ之ニ對シ死傷手當ヲ支給スヘキモノニ非スト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ當所ノ事業ハ其從業者ニ對シ危險多キヲ以テ直接雇傭ノ職夫ト同一場所ニ於テ同様使役スル職夫ニ對シテモ相當扶助スルノ必要ヲ認メ職夫供給規則ヲ改正シ八年一月以降之カ支給ヲ爲シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ請負人ノ供給ニ係ル職夫ハ政府ノ雇傭スルモノニ非サルヲ以テ縦ヒ之ニ對シ相當扶助スルノ必要アリトスルモ豫備金補充費途ニ屬スル本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非ス依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス

【辨明】

本件職夫ハ主トシテ職工補缺ノ爲使用スルモノニシテ其ノ業務ノ種類性質ハ職工ト殆ント相濫ルナク殊ニ職夫中ニハ政府ノ指名スル者モアルヲ以テ兩者ノ救済慰安ニ差別ヲ設クルハ現在勞働界ノ趨勢及工場法ノ趣旨等ニ鑑ミ策ノ得タルモノニアラスト認メ職夫供給規則中「職夫供給人ハ職夫ノ募集、救済、慰安及職夫ノ供給ヲ完全ニ履行スル爲職夫供給人組合ヲ組織シ規約ヲ定メ認可ヲ受クヘシ」又「供給職夫職務上負傷シ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタル場合ニハ傭人扶助令ニ依リ其ノ本人又ハ遺族ニ扶助料ヲ支給ス」ト規定シ官役傭人トシテ扶助令ヲ適用シ死傷手當ヲ支給スルコトヲ明ニシテ雇傭シタルモノナリ故ニ本件ハ請負人ノ負擔スヘキ死傷手當ヲ政府ニ於テ支給シタルモノニアラス依テ會計法第十二條ニ違背シタルモノニアラスト認ム

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○會計法第十二條第一項(五〇六頁參看)

歳出臨時部

第二款 製鐵所擴張費 第二項 工場費

【報告】 (六六) 製鐵所ノ支出ニ係ル

九七三、九二三、四九〇

ハ大倉商事株式會社ヨリ購入シタル「ロール」運轉汽機外十點代百五拾八萬八千貳百八拾參圓八拾五錢ノ内ニシテ六拾壹萬四千參百六拾圓參拾六錢ハ大正七年度以前ニ屬スルモノナリ右ハ大正六、七兩年度検査報告ニ詳悉セシ如ク收賄金額ヲ加算セル高價ノ代金ヲ以テ物件ノ購入ヲ爲シ國庫ニ損失ヲ及ボシタルモノニシテ不當ナリトス(大正六年度(二七二九八頁及七年度(四八四〇七頁參看))

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第三款 營業費 第二項 新營費

【報告】 (六七) 大阪工業試験所ノ支出ニ係ル

八二、九六〇、〇〇〇

ハ大阪工業試験所長官舎外四庫此建坪六百五坪餘及表門外二十一庫ノ新營工事費ニシテ前者ハ六萬八千九百餘圓ヲ以テ大阪府西成郡豐崎町龜田某後者ハ壹萬參千九百餘圓ヲ以テ同府豐能郡中豐島村北之坊某ノ請負ニ付シ孰モ大正八年十二月起工九年二月竣功ヲ告ケ所長官舎外四庫ノ工事ハ布石外十六件ノ設計違背アリシモ建物保存體裁及耐力等ニ支障ナク設計相違ニ因ル價格増減對照ノ結果却テ參拾餘圓ノ利益ナリトシ工事費ノ全額ヲ仕拂ヒタルモノナリ十年三月之カ實地ヲ検査スルニ右設計相違ノ廉ハ僅ニ見エ掛リノ一部分ニ過キスシテ其見エ隠レノ部分ニ於テハ出來形設計ニ違背シ粗造ナルモノ頗ル多ク前者ニ在リテハ所長官舎及甲號官舎中二棟ノ各二階建ノ部分側廻全部荷持柱下基礎根積煉瓦ハ十一段積ノ設計ナルヲ八段積ニ止メ上三段ハ布石ヲ以テ之ニ代用シ其積方粗雜ヲ極メ煉瓦ノ上端ハ布石ニ達セス孰モ甚シキ間隙ヲ生シ飼物ヲ施シ又ハ砂利ヲ詰込ミ殊ニ甲號官舎ノ如キ荷持柱ハ煉瓦積ノ中心ヲ外レ布石折傷シ合宿所ニ於テハ側廻荷持柱下基礎根積煉瓦ハ下部ヨリ七八段目二段ヲ堅小口積ト爲シ或ハ最下部二枚積二段ヲ一段積トシ且積方不規則ナル爲荷持柱下ニ於テ龜裂ヲ生シ植込「ポートルト」ハ長寸ナリシ爲締附不能ノ儘放置シ柱上下ハ殆ト込栓締附ヲ缺キ又各官舎ニ於ケル小屋東通シ貫

大正八年度 農商務省 (六六)(六七)

五二九

ハ二階建ノ部分ハ一本平家建ハ二本乃至三本取設クヘキ設計ナルニ全ク之ヲ施工セス尙筋違貫二本取設クヘキ箇所ハ水平貫一本ト爲シ又間仕切柱短寸ノ爲數箇ノ飼木ヲ施シ母屋ノ繼手ハ鎌繼ト爲スヘキニ約一寸ノ合欠ト爲シタルモノアリ天井釣木受水ハ梁上ニ乗セ掛ケタル儘何等縮附ヲ施サス面戸板ハ釘附不完全ノ爲脱落シ床板ハ傍削リ張立ツヘキニ荒板ノ儘使用セルノミナラス甚シキ間隙ヲ生シ雨戸ハ寸度不足ノ爲開閉不能ノ部分アリ襖ハ既ニ糊放レ障子ハ狂ヲ生シ其他屋根雨仕舞不備ノ爲雨漏ヲ生セル等設計仕様ニ相違シ且粗造ノ箇所頗ル多ク又後者ニ在リテハ第二號板扉控柱ニ杉三寸丸太二ツ割二尺五寸ノ根柢ヲ取附クヘキ設計ナルニ延長百三十二間ノ全部ニ涉リ之カ施工ヲ缺キ官舎通用門内道路幅六尺延長二百八十間ノ兩側ハ煉瓦二段積トシ道床ハ相當盛土ヲ爲シ三州叩キ厚三寸搗固メ上部「モルタル」厚四分ノ設計ナルニ各所ニ於テ破壊セル部分約二百間ニ及ヒ側煉瓦積亦崩壞シ盛土ノ搗固メ不十分ナルノミナラス三州叩キハ約一寸七八分ノ施工ニ止メ「モルタル」塗亦其厚ヲ減シ其他各所ニ涉リ設計ニ違背シ又ハ手抜ノ箇所少カラス要スルニ本件ハ工事施行上監督宜シキヲ得ス其出來形設計ニ違背シタル粗造ノ工事ニ對シ之カ代金ノ全部ヲ仕拂ヒタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 大體會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】 (六八) 茶業試験場ノ支出ニ係ル

六〇、三三〇、七一〇

ハ廳舎及研究室外十四廉ノ新營工事費ニシテ當初工費六萬千拾壹圓貳拾壹錢ノ外敷地内ノ松立木百四十三本ヲ官給シ靜岡縣榛原郡川崎町木村某ノ請負ニ付シ大正八年十月起工九年二月竣功ヲ告ケタリト雖窻硝子戸框及鴨居兩端仕口設計ニ違背シ屋根瓦ハ品質劣等且下見板幅不揃ノモノアリトノ理由ニ依リ請負金中ヨリ六百八拾圓五拾錢ヲ減額シ之カ仕拂ヲ爲シタルモノナリ十年三月之カ實地ヲ検査スルニ右出來形ハ尙設計仕様ニ違背シ粗雜ナル箇所頗ル多ク即チ廳舎及研究室ノ基礎ハ割栗石幅二尺五寸厚一尺二寸ニ打込ノ設計ナルニ側廻全部ニ涉リ平均經四寸大ノ玉石ヲ用ヒ側面及背面ニ於テ延長三十七間餘ハ厚五寸乃至一尺ノ施工ニ止メ且之カ間隙ニ填充スヘキ目潰砂利ハ山土ノ混入夥シク間内各荷持柱下基礎混泥土東

ノ打方ハ高低不陸ニシテ土臺下端ニ飼木ヲ施シタル箇所多ク床束二百八十餘本ノ基礎ハ割栗石一尺打込ミタル上ニ經一尺以上ノ束受石ヲ「モルタル」据ト爲スヘキニ概ネ寸度不足ノ受石ヲ地上ニ据附ケタルニ止リ又床束短寸ニシテ浮動シ取合ノ箇所ニ飼木ヲ施シ小屋組ニ於テハ天井釣木受木ハ天井検査口部分ノ外之カ施工ヲ缺キ又敷桁、軒桁及各種合掌等ノ縮附用「ポールト」ハ短寸又ハ長寸ニ失シ一般ニ縮附不十分ナルノミナラス甚シキハ隅合掌ノ上部眞束取合ノ箇所ノ如キ短寸ノモノヲ以テ貫通ヲ裝ヒ又ハ乗セ掛ノ儘之ヲ放置シ又屋根瓦ハ兩面磨ノ設計ナルニ總葺坪約百五十坪ノ内百四坪餘ハ片面磨ノモノヲ使用シ外部「ペンキ」塗ハ既ニ剝落セル所多ク附屬家引違戸ハ鴨居垂下ノ爲開閉ノ自由ヲ缺キ其他製茶試驗室官舎物置等ニ於テモ廳舎同様手抜粗造ノ箇所少カラス當局者ハ側廻基礎割栗石地形寸度不足ナルハ優良ナル天然大玉砂利層ニ達シタルヲ以テ之ヲ利用シ設計寸度迄掘下ケサリシト説明スルモ何等設計變更ノ認ムヘキモノナク果シテ此ノ如キ事實アリトセハ相當代金ノ減額ヲ爲サシメサルヘカラス要スルニ本件ハ工事施行上監督宜シキヲ得ス其出來形設計ニ違背シタル粗造ノ工事ニ對シ之カ代金ノ全部ヲ仕拂ヒタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 大體會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

遞信省所管

豫算ノ使用其宜シキヲ得サルモノ一件(六九)

歳出臨時部

四五、六三二、〇〇〇

第十三款 大正三年臨時事件費 第一項 大正三年臨時事件費

【報告】 (六九) 遞信省ノ支出ニ係ル

四五、六三二、〇〇〇

ハ戰時船舶管理事務ニ關スル賞與金トシテ支出シタル金額ナリ右戰時船舶管理事務費ハ大正六年十月勅令第七十六號ヲ以テ設置セラレタル戰時船舶管理局ノ經費ヲ支辨スルカ爲同年度以降引續キ大正三年臨時事件豫備費ヨリ支出シ來リタル

大正八年度 遞信省 (六九)

モノニシテ本年度豫算額拾貳萬參千餘圓中俸給トシテ積算シタルモノ僅ニ貳萬參千餘圓支出額壹萬七千餘圓ニ過キサルニ賞與金トシテ流用支出ヲ爲シタルモノ前掲ノ如ク四萬五千餘圓ニ上リ殊ニ年度末ニ於テ省外ノ官吏ニ對シ戰時船舶管理令ノ制定準備並豫算編成等ノ事項ニ關シ勤勞ヲ煩ハセシモノアリシトノ事由ヲ以テ通信取締費ヨリ支出シタルモノヲ併セ四千餘圓ノ賞與ヲ爲シタルモノアルカ如キ畢竟豫算ノ豊裕ナリシニ因ルモノニシテ其使用宜シキヲ得サルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 本件戰時船舶管理事務費支辨ノ俸給額ニ比シ賞與額ノ多額ニ上リシ所以ハ元來戰時船舶管理局ノ事務ハ其ノ專任官吏ト他ヨリノ兼任業務者トヲ以テ之ヲ處辨セシムルコトトシ所要ノ經費ヲ要求セシモノナルカ故ニ其ノ官制定員ニ依ル專任官吏以外ニ相當員數ノ兼任業務者ヲ置キ事務ノ運行ニ努メ來リシ處本事務ハ大體大正九年三月ヲ以テ終了ヲ告グルニ依リ此ノ機ニ際シ右專任官吏ノ外兼任業務者並兼ニ緊急勅令ヲ以テ公布セラレタル戰時船舶管理令ノ制定準備及之カ運用上等ニ關シ本務以外特別ノ勤勞ヲ煩ハセシ向ニ對シ臨時賞與ヲ行ヒタルニ由ルモノナリ從テ單ニ專任官吏ノ俸給額ト兼任業務者等ヲ併セタル賞與額トノ比較ニ於テハ後者ノ方多額ニ上レリト雖之ヲ以テ不當ト謂フヘキモノニアラスト認ム

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

特別會計

大藏省所管

專賣局

歳出

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ八件(七〇)

電力ノ購買契約其宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ一件(七一)

工事施行上ノ注意ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ一件(七二)

合計十件

一三一、四五七、九〇〇
四五、七六九、八八〇
八、五四九、八〇〇
一八五、七七七、五八〇

第一款 專賣局作業費 第二項 事業費

【報告】

(七〇) 宇都宮外七專賣支局ノ支出ニ係ル

一三一、四五七、九〇〇

ハ口附紙卷煙草製造増加ノ爲新ニ刻煙草工場ヲ利用シ年額二十五億本製造ノ計畫ニ基キ之カ設備トシテ購入シタル器具機械ノ代價ナルヲ以テ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非スト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ口附紙卷煙草需要激増ノ爲既設刻煙草工場ノ一部ヲ利用シ應急増製ノ必要上購入シタルモノニシテ工場擴張新營ニ伴フ設備ニ非サルヲ以テ本費ノ支辨ト爲シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ本件ハ本年度新ニ製造増加ノ計畫ヲ樹テ之ニ基キ購入シタルモノナルヲ以テ大正六年度迄ニ完成セル年額八十五億本及本年度ニ於テ擴張セル年額十五億五千萬本ノ口附紙卷煙草製造計畫ニ對スル所要ノ器具機械類ト等シク之ニ要スル物件ハ既成設備補充ノ範圍外ニ屬シ別途ニ豫算ヲ要求スヘキモノニシテ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非ス依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 口附紙卷煙草ノ需要激増セル爲之カ應急増製ノ必要上既設工場ニ施設シタルモノニシテ專賣局所屬固定資本ノ補充ニ屬シ豫算ノ目的外支出ニ在ラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

(參照) ○會計法第十二條第一項(五〇六頁參看)

【報告】

(七一) 三田尻專賣支局ノ支出ニ係ル

四五、七六九、八八〇

ハ同局下松分工場ニ於テ鹽粉碎洗滌再製ノ爲使用シタル電動機運轉用電力料トシテ山陽電氣株式會社ニ仕拂ヒタルモノナリ右ハ豫メ一箇月最低使用電力量ヲ協定シ「キロワット」時六錢七厘ノ單價ヲ以テ大正八年四月以降購買契約ヲ締結シタルモノニ係リ最低使用電力量ハ當初六萬六千餘「キロワット」時ナリシニ翌五月六萬四千餘「キロワット」時トシ更ニ十一月ニ至リ四萬八千餘「キロワット」時ト改メタルモノナルモ各月使用電力量ノ實蹟ハ一萬千餘「キロワット」時乃至二萬六千餘「キロワット」時ニ過キサルヲ以テ最低使用電力量ハ過大ニ失スルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ最低使用電力量ハ工場据附機械ノ全馬力ニ依リ算定シタルモノニシテ供給者亦之ニ適應スル設備ヲ爲シ供給開始

大正八年度 專賣局 (七〇)(七一)

當時ノ如キハ少カラサル建設費ヲ投シタル關係アルヲ以テ作業ノ計畫又ハ實踐カ据附機械ノ能率ニ達セス或ハ豫定ノ馬力ヲ使用スルニ至ラサリシ事由ヲ以テ最低使用電力量ヲ低減スルカ如キハ供給者ノ事業經營上肯諾セサル所ナリ故ニ漸ヲ以テ事業ノ計畫確定スルト共ニ成ルヘク實踐電力量ヲ近通セシムル最低使用電力量ノ協定ヲ爲スノ方針ニシテ九年度初頭之ヲ三萬六千餘「キロワット」時ニ減少セリト謂フニ在リ然レトモ創業ノ際ニ在リテ其所要電力量ヲ豫定スルハ困難ナルモノアルヘシト雖之カ爲ニ最低使用電力量ヲ算定スルニ据附機械ノ全馬力ヲ以テスヘキモノニ非ス寧ロ相當ナル最低使用電力量ヲ定メ實踐ニ依リ漸ヲ以テ遞増スル餘地アラシムヘキモノナルニ拘ラス契約ノ變更ニ當リテモ尙供給人ノ事情ニ制セラレ依然トシテ實踐電力量ニ數倍セル最低使用電力量ノ協定ヲ繼續スルニ至レルハ失當ノ措置ト認メサルヲ得ス當局者ハ九年度ニ於テ亦最低使用電力量ヲ低減シタリト謂フト雖之ヲ實踐ニ比スルニ尙二倍餘ニ相當スルノ状態ニシテ未ク取扱ノ改善トスルニ足ラス要スルニ本件ハ契約ノ締結其宜シキヲ得サリシカ爲實踐電力量ニ數倍セル料金ヲ仕拂ヒ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 据付傳導機馬力數ノ範圍内ニ於テ契約ヲ爲シタルモノニシテ供給者ニ於テモ特ニ相當設備ヲ要シタルモノナルヲ以テ當初僅少ナル最低使用電力量ヲ定メ實踐ニ依リ遞増セントスルカ如キハ不可能ノ事ニ屬ス依テ實踐ニ鑑ミ漸ヲ遂テ遞減シ來リシモノニシテ不當ニ在ラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】 (七二) 大阪專賣支局ノ支出ニ係ル

八、五四九、八〇〇

ハ大阪市西區鶴町ニ建設シタル鹽倉庫三棟總建坪九百坪ノ新營其他工事費七萬參千七百五拾圓ノ内ニシテ六萬五千貳百圓貳拾錢ハ一般會計大藏省所管歳出臨時部第二款營繕費第七項鹽專賣用倉庫新營費ノ支辨ニ屬スルモノナリ右ハ同項ニ於テ詳悉セシ如ク設計其宜シキヲ得サリシカ爲國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス(五〇八百(四〇)參看)

【辨明】 大藏省所管一般會計歳出臨時部第二款營繕費第七項鹽專賣用倉庫新營費ニ對シ辯明シタル如ク設計上最善ノ注意ヲ以テ施行シタルモノニシテ不當ニ在ラス

【貴決】 措置適當ヲ認ク

【衆決】 承認

朝鮮總督府

歳入

過當ノ減價償却ヲ爲シタル會社ノ計算ヲ認可シ配當金ノ徴收ニ至ラサリシモノ一件(七三)

一八八、〇〇〇、〇〇〇

租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ一件(七四)

五、二五二、五五〇

低價ヲ以テ土地ノ拂下ヲ爲シタルモノ一件(七五)

二、五五五、六九〇

合計三件

一九五、八〇八、二四〇

歳出

設計上適當ノ注意ヲ缺キ且粗造ノ工事ニ對シ之カ代金ノ全部ヲ仕拂ヒタルモノ一件(七六)

六三、二九四、九三〇

事實ヲ作爲シ年度所屬ヲ紊リ且正當債主ニ非サル者ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノ二件(七七)

一八、七六五、五四〇

物品購入上注意周到ヲ缺キタルモノ二件(七八)(八一)

八五、〇七五、二二〇

年度内竣功セサル工事ニ對シ工費ヲ支出シタルモノ一件(七九)

二六、二〇〇、〇〇〇

物件ノ購入ニ當リ年度所屬ヲ紊リタルモノ二件(八〇)

五二、一〇三、九九〇

合計八件

二四五、四三九、六八〇

歳入經常部

第一款 朝鮮歳入 第四項 官業及官有財産收入

【報告】

(七三) 本項決算額ノ外朝鮮總督府ニ於テ徴收ニ至ラサルモノ

一八八、〇〇〇、〇〇〇

アリ右ハ政府ノ所有ニ係ル東洋拓殖株式會社株式貳百參拾五萬圓ニ對スル大正七事業年度利益配當金年八分ニ相當スルモノニシテ一般會計歳入經常部第三款官業及官有財産收入第三項配當金收入ニ於テ詳悉セシ如ク同會社七年度利益金ヲ計算スルニ當リ建物及工作物減價償却金トシテ年度末現在價額ノ八割ニ相當スル九拾萬餘圓ヲ損金トシ政府所有株式ニ對シテハ毫モ配當ヲ爲ササリシモノニシテ特ニ七年度ニ限リ過當ナル減價償却ヲ爲スノ必要ヲ認メ難ク之ヲ適當ナル程度ニ止メ政府所有株式ニ對シ少クモ年八分ノ配當ヲ爲サシムルヲ相當ノ措置ト認ム依テ本件ハ不當ナリトス(四九五頁(三〇)參看)

大正八年度 朝鮮總督府 (七三)

【辨明】 東洋拓殖株式會社ニ對シ其ノ大正七事業年度決算ヲ認可スルニ方リ諸償却金中比較的多額ノ建物及工作物價格ノ償却ヲ認メタルハ該建物及工作物ノ如キハ會社ノ基礎ヲ鞏固ナラシムル上ニ於テ早晚其ノ全額ノ償却ヲ必要トスルモノナルノミナラス其ノ償却率ニ付テモ何等一定率ヲ設ケタルモノナキヲ以テ比較的收益ノ多キ際ニ於テ稍多額ノ償却ヲ爲スモ敢テ不當ニアラスト認メタルニ由ル

【衆決】 承認

歳入臨時部

第一款 戰時利得稅 第一項 戰時利得稅

【報告】 (七四) 京城府ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

五二二五五〇

アリ右ハ京城府白川某ノ鑛業權及設備賣却ニ依ル利得額ヲ決定スルニ當リ賣却價格拾貳萬五千圓ヨリ諸經費參萬貳千百圓ヲ控除シ九萬貳千九百圓ト計算スヘキモノナルニ之ヲ五萬七千八百八拾參圓ト決定シタルニ因ルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ徵收不足ノ分ニ對シテハ京城府ニ於テ徵收手續ヲ了セリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第二款 官有物拂下代 第一項 土地拂下代

【報告】 (七五) 咸鏡南道咸興郡ノ徵收ニ係ル

一一五五五〇

ハ大正八年六月咸興面大塚某ニ拂下ケタル咸鏡南道咸興郡咸興面鐘閣里及豐陽里所在陸六百三十一坪餘ノ代價ナリ右ハ七年四月同人ヨリ拂下ヲ出願シタルニ對シ評定價格ヨリ其貸付期間中投下セル有益費一坪當參圓六錢ヲ控除シタル五百三十八坪餘外ニ九拾貳坪餘ヲ併セ平均坪當四圓四錢餘ヲ以テ賣却シタルモノナリ然ルニ拂下價格ハ同年六月ノ評定ニ係リ拂下ヲ實行シタル八年六月トノ間ニ一箇年餘ノ餘日ヲ存シ該期間ニ於テハ土地價格著シク騰貴シ咸興慈惠醫院敷地買收ニ關スル價格調査ニ於テ八年三月ニ至リ七年六月七月頃ニ比シ三倍強ニ及フ旨記載シアリ又咸興地方法院ノ調査スル所ニ依ルモ本件

土地ト道路ヲ隔テテ相對スル土地ニシテ賣買價格ハ當時坪當拾九圓六拾五錢及拾九圓貳拾參錢トセル登記申請ニ對シ前者ヲ貳拾四圓ニ後者ヲ貳拾七圓ニ訂正セシメ同年十月拂下地ノ附近ニシテ同一地位ト認ムヘキ土地ノ賣買價格ハ一坪當貳拾圓ヲ以テ登記申請ヲ爲セルモノアルノ事實ニ徵シ本件拂下價格ハ低廉ニ失スルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ八年四月五月前後ノ價格ハ咸興地方法院ノ賣買登記價格ニ依レハ騰貴セシコト疑ナキモ此等ハ概ネ土地所有者カ家屋建築其他特殊ノ必要上自己ノ所有地ニ接續セル他人ノ土地ヲ買受ケタルモノニシテ之ヲ以テ直ニ時價ナリト謂ヒ難キモノアリ又慈惠醫院敷地買收價格調査ニ於テ騰貴ノ事實ヲ記載セルハ同買收敷地附近ノコトニシテ本道物産共進會ヲ鄉校里孔子廟敷地内ニ選定シ買收敷地ニ沿ヘル道路ヲ改修シ大和町ニ直通連結スル大通ト爲スノ議アリシヲ以テ附近ノ地價ハ爲ニ非常ナル騰貴ヲ見ルニ至リタルモノニ係リ一般ノ騰貴率ニ非スト謂フニ在リ然レトモ咸興地方法院ニ於ケル前記登記價格ハ特殊ノモノト認メ難キノミナラス咸興慈惠醫院敷地買收ニ際シ其價格ノ前年ニ比シ著シク騰貴シタルハ共進會開催ニ伴フ特別ノ騰貴率ヲ示シタルモノナリト謂フト雖右ハ同調査ニ示スカ如ク主トシテ鐵道ノ開通及各種事業發達ノ一般の影響ニ因ルモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ時價ニ比シ低廉ナル價格ヲ以テ官有地ノ拂下ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件ハ曩ニ會計検査院ノ照會ニ對シテ詳細説明セルカ如ク咸興地方法院ノ賣買登記價格ヲ基礎トシタル調査ニ依ルモノハ概ネ土地所有者カ家屋建築其ノ他特殊ノ必要上自己ノ所有地ニ接續セル他人ノ土地ヲ買受ケタルモノニシテ之ヲ以テ直ニ時價ナリト云フコトヲ得ス又慈惠醫院敷地買收價格調査ニ於テ騰貴ノ事實ヲ記載セルハ同買收敷地附近ノコトニシテ本道物産共進會ヲ鄉校里孔子廟敷地内ニ選定シ買收敷地ニ沿ヘル道路ヲ改修シ大和町ニ直通連結スル大通ト爲ス議アリシヲ以テ附近ノ地價ハ爲ニ非常ナル騰貴ヲ見ルニ至リタルモノニ係リ一般ノ騰貴率ニアラス要スルニ本件ハ相當時價ニ依リ拂下タルモノニシテ不當ニアラス

【衆決】 承認

歳出臨時部

第七款 營繕費 第六項 新營及設備費

大正八年度 朝鮮總督府 (七五)

【報告】

(七七六) 朝鮮總督府ノ支出ニ係ル

六三、二九四、九三〇

ハ京城府日田某ノ請負ニ係ル龍山中學校校舍其他新築工事費六萬五千九百參拾五圓拾參錢ノ内ニシテ貳千六百四拾圓貳拾錢ハ大正九年度ニ屬シ外ニ價格千九百拾參圓五拾四錢五厘ノ材料ヲ使用シ八年五月起工九年五月竣功ヲ告ケタルモノナリ十年五月之カ實地ヲ検査スルニ校舍ノ外部周壁ハ殆ト全面ニ涉リテ龜裂ヲ生シ背面胴差廻リ孕出シ剝落ノ虞アリ又壁厚ハ寸度不足シ階上階下床板ハ拔節多ク各板間竝巾木接合ノ點間隙ヲ生スル等全體ニ於テ用材劣等施行亦粗雜ト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ物價勞銀騰貴ニ際シ工費節約上周壁ハ張附瓦ノ土壁塗トスルヲ普通ノ工法ト爲スヘキニ之ヲ省略シタルト柱其他軸廻リ組立材料及床板ハ紅松ヲ使用スヘキモノナルヲ低級品タル杉松ヲ用ヒタル爲用材著シク短縮シ其結果周壁ニ龜裂ヲ生シ胴差廻リ壁ノ孕出竝床板拔節多キモ亦之ニ基因セリ又壁厚ノ寸度不足ハ下地材料ノ關係ニ依リ實際上多少ノ凹凸ハ免ルルコト能ハス右ハ請負人ノ過失又ハ粗漏ニ因ルモノト認メ難キヲ以テ適當ノ時期ニ於テ之カ補修ヲ爲サムトスト謂フニ在リ然レトモ縱ヒ豫算ノ關係上工費ノ節約ヲ圖ルノ必要アリトスルモ甚シキ劣等材ヲ使用セシムルニ於テハ後日用材短縮シ延テ建物ニ損傷ヲ及ホスニ至ルヘキモノニシテ不當ナルノミナラス又下地材料ノ關係上壁塗方ハ特ニ入念ヲ要スヘキニ却テ厚約二分ノ不足ヲ生シ全體ニ對シ耐力ヲ薄弱ナラシメ幾クナラスシテ補修工ヲ要スルニ至レルカ如キハ畢竟當初設計ニ際シ周到ノ注意ヲ缺キタルト施工粗雜ナリシトニ因ルモノト認メサルヲ得ヌ要スルニ本件ハ設計上適當ノ注意ヲ缺キ且粗造ノ工事ニ對シ之カ代金ノ全部ヲ仕拂ヒタルモノニシテ不當ナリトス

【辯明】

本件批難ノ要點ハ(イ)用材劣等工事粗雜(ロ)壁厚不足(ハ)以上工事ニ對シ代金全部ヲ支拂タルハ不當ナルコト等ニ在リ左ニ之カ事由ヲ説明スヘシ

(イ)大正八年度ハ世界戰亂ノ影響ヲ蒙リ材料勞銀異常ノ騰貴ヲ示シ建築工事ノ既定計畫遂行上最モ困難ナリシ時ニシテ此ノ場合ノ處置トシテハ豫算不足額ニ對シ更ニ追加豫算ヲ要求シ其ノ成功期ヲ幾分延長シテ其ノ目的完成ヲ計ルカ又ハ所定豫算ヲ以テ其ノ一部ヲ成功セシメ其ノ完成ヲ他日ニ讓ルカノ外ナカリシモ本校ノ施設ニ對シテハ生徒ノ收容上其ノ完成頗ル急ヲ要シ之カ遲延ハ關係スル所甚大ニシテ假令後日外部ニ多少ノ補修ヲ要ストスルモ基礎骨組等構造ノ主要部分ノ堅牢ニ支障ナキ限リ設計程度ヲ幾分低下シテ工費ノ節約ヲ計リ所定

豫算ヲ以テ所期ノ目的ヲ達成セシメ教育施設上些ノ支障ヲ來サラシムルハ此ノ場合必要ナル措置ト認メ施行シタルモノナリ
 (ロ)外壁内部下地用素材前號記述ノ如ク設計程度ヲ低下セシメタル關係上木摺表面ニ於テ多少ノ凹凸ヲ生シタルハ已ムヲ得サルコトニシテ從テ漆喰塗施行ノ際不陸ノ箇所ハ下付、中途直直シ、上塗等數回ニ互リ順次壁面一圓塗均ラスハ普通ノ工法ナリ本件仕様書指示壁厚寸法ハ大體ノ平均厚ヲ示セルモノニシテ實際仕上リノ結果ハ箇所ニ依リ多少ノ厚薄アルハ免レサル所ナレハ該指示寸法ニ對シテハ全體のヨリ見テ批難事項ノ如キ厚ニ不足アルコトナシ

(ハ)建造物粗雜ノ感アルハ上述設計程度ヲ低下シタルノ結果ニシテ請負人ニ於テハ仕様書圖面明示ノ通り施工シ何等違背ノ事項ナク完全ニ契約ヲ履行セルモノト認メタルヲ以テ之カ代金ヲ仕拂タルモノニシテ要スルニ物價勞銀ノ騰貴ニ際シ生徒收容ノ關係上工事急ヲ要シ所定豫算ヲ以テ必要期限ニ所期目的ヲ達成セシメタル結果ニシテ誠ニ不得已措置ナリトス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス
 【衆決】 承認

【報告】

(七七七) 本項ニ於テ忠清北道ノ支出ニ係ル

一、一一六、〇〇〇

第二十八款臨時警務費第一項臨時警務費ニ於テ同道ノ支出ニ係ル
 八年度末ニ於テ購入シタル自轉車其他ノ代價トシテ證明シタルモノナリ大正十年四月之カ實地ヲ検査スルニ右ハ孰モ隨意契約ニ依リ購入シ其現品ハ九年四月中ノ納入ニ係リ殊ニ内六千六百九拾七圓八拾錢ハ清州佐々木某ヨリ購入セル自轉車三十六輛ノ代金トシテ證明セルモ其實大阪市丸石商會ヨリ購入シタルモノニシテ九年三月下旬特ニ警部及巡查部長ヲ神戸大阪等ニ出張セシメ自轉車ハ右丸石商會ト八十輛ノ購入契約ヲ締結シタルモ後經費ノ推算ニ誤謬アルヲ發見シ同年四月中旬更ニ巡查部長ヲ大阪ニ出張セシメ契約解除ノ交渉ニ當ラシメタルニ同商會ニ於テハ既ニ全部ノ發送ヲ了シ内三十六輛ハ鳥致院驛ニ四十四輛ハ釜山到著ノ後ナリシヲ以テ鳥致院著ノ分ヲ購入スルコトトシ釜山著ノ分ニ對シテハ大阪釜山間ノ運賃ヲ賠償シテ契約ヲ解除シ右賠償額及三十六輛ニ對スル關稅並運賃ハ孰モ購入セル三十六輛ノ代價ニ加算シタルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ官制改正ノ結果備品其他ヲ各警察署ニ配給スルノ必要アリシヲ以テ

急速之カ計畫ヲ樹テ執行ノ豫定ナリシモ豫定ノ如ク進捗セズ三月下旬ニ於テ購入ノ手續ヲ履行スルニ至リシ爲年度經過後
納入スルニ至リシモノニシテ隨意契約ニ依リタルハ急速ヲ要シタルヲ以テ會計法第二十四條第三號ニ依ルモ差支ナキモノ
ト認メタルニ因ル又自轉車ハ丸石商會ヨリ購入シタルモノナルモ關稅ヲ課セラレタルハ四月九日ナルヲ以テ八年度經費ヨ
リ支出スルノ妥當ナラサルヲ認メ便宜上清州佐々木某ヲ供給者トシテ經費ノ支出ヲ爲シタリト謂フニ在リ然レトモ木件物
品ハ遽ニ其必要ヲ生シタルモノニ非ス年度末ニ至リ購入ノ手續ヲ爲シタルニ過キサルヲ以テ會計法第二十四條第三號ヲ適
用セルハ當ヲ得タルモノニ非ス又自轉車三十六輛ノ代價ハ解約セル四十四輛ニ對スル大阪釜山間運賃ヲ加算セルノミナラ
ス債主ヲ異ニセル關稅及釜山島致院間ノ運賃等ヲ加算シタルモノニシテ事實ヲ作爲シ正當債主ニ非ラサル者ニ對シ仕拂ヲ
爲シタルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 本件備品ノ購入ハ警察制度改正ノ結果各警察署ニ配給スルノ必要アリシヲ以テ急速之カ計畫ヲ樹テ執行スル豫定ナリシカ混雜ノ際豫定ノ
如ク進捗セズ三月下旬ニ至リ購入ノ手續ヲ爲シタル爲競争ニ附スルノ違ナカリシニ由リ隨意契約ニ依リタルモノニシテ此ノ點ニ付テハ事情
已ムヲ得サリシモノト認ム其ノ他ノ點ニ付テハ不穩當ノ處置ト認ムルヲ以テ關係者ニ對シ相當處分ヲ了セリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

(參照) ○會計法第二十四條第三號(五一五頁參看)

第二十八款 臨時警務費 第一項 臨時警務費

【報告】 (七八) 朝鮮總督府ノ支出ニ係ル

六四三三五二二〇

ハ巡查用冬服三千三十八着ノ購入代價ナリ右ハ大正八年八月京城府小林某ヨリ購入ニ係ル巡查用冬服八千二百十四着ノ一
部ニシテ本府ニ於テ之ヲ購入シ各道ニ配付シタルニ各道ニ於テハ地質軟弱使用ニ堪ヘスト引換ヲ請求セルノ狀況ナリ依
テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ本件購入ニ關シテハ當時各製絨會社ニ於テ請負品多數ニ上リ更ニ註文
ニ應スルノ餘力ナク在庫品亦缺乏セルノミナラス一面警察制度ノ變革ニ際シテ品質價格ノ如何ヲ問フノ違ナカリシニ因ル
而シテ返還品ハ道巡查教習中教練及作業等ノ實習用ニ使用セシメツツアリト謂フニ在リ然レトモ本件購入ニ際シテハ一般

ニ公告シ仕様書見本品其他關係書類ヲ熟覽セシメ競争入札ニ付シタルノミナラス之カ納入期モ相當日アルニ拘ラス當初
ノ目的ニ適合セサル多數ノ劣等品ヲ納付セシメ各道ニ於テ之カ引換ヲ請求スルノ已ムナキニ至ラシメタルカ如キハ畢竟物
品購入上注意周到ヲ缺キタルニ因ルモノト認メサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 本件巡查冬服ハ警察制度改正ニ伴ヒ從來ノ人員ニ對シ九千五百餘人ノ増員ヲ爲スコトナリタル結果急遽購入スルノ必要ヲ生シ各製絨會
社ニ對シ之レカ地質ノ在否ヲ照會セルニ熟レモ本府ノ所要ヲ充スヘク持合セナカリシヲ以テ滿洲長春ニ存在セルノニシテ從來モ使用セル
モノヨリハ稍低級ナルAA標ヲHH標、ホ號標ト共ニ併用スルコトヲ認ムルニアラサレハ其ノ所要數ヲ充タス能ハサリシニ依リ不得已之レカ
併用ヲ認メ納付品ハ孰レモ其ノ見本品ニ恰當シタルモノナリ而シテAA標ヲ使用セル分ニ付道ヨリ引換ヲ請求ヲ受ケタルハ事實ナルモ右ハ
從來使用セル地質ヨリ低級ナル見本品ニ依リ契約シタル結果從來ノ分ト比較シ劣等ナリト認メタルニ因ルモノニシテ全然使用ニ堪ヘサル劣
等品ヲ納付セシメタルニ因ルモノニアラス要スルニ本件ハ當時ノ狀勢上已ムヲ得サリシモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】 (七九) 咸鏡北道ノ支出ニ係ル

二六、二〇〇〇〇

ハ穩城警察署及新阿山警察署新築工事費ニシテ大正八年十二月起工年度内竣功セルモノトシ證明シタルモノナルモ九年五
月之カ實地ヲ検査スルニ年度内竣功程度ハ前者ハ五分後者ハ五分五厘ニシテ實際ノ竣功ハ孰モ九年五月下旬ニ屬スルモノ
ナリ右ハ豫算繰越ノ手續ヲ爲サス年度内竣功シタルモノトシ本年度豫算ヨリ之カ經費ヲ支出シタルモノニシテ會計法第三
條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ道ニ於テ右繰越手續ヲ失念シタルニ因ルモノナルヲ以テ將來ヲ戒告セリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 會計法第三條違背

(參照) ○會計法(明治二十二年二月十一日)

第三條 各年度ニ於テ決定シタル經費ノ定額ヲ以テ他ノ年度ニ屬スヘキ經費ニ充ツルコトヲ得ス

【報告】 (八〇) 咸鏡南道ノ支出ニ係ル

二四、九一九〇五〇

大正八年度 朝鮮總督府 (七九)(八〇)

咸鏡北道ノ支出ニ係ル

二七、一八四、九四〇

ハ絨緞其他ノ代價及運搬賃ニシテ右物品ハ孰モ大正九年四月以降ノ納入ニ係リ殊ニ咸鏡南道ニ於テハ九年五月未納ニ屬スル物品ニ對シ仕拂命令ヲ發行シ六月三日納入ト同時ニ仕拂通知書ヲ本人ニ交付シタルモノアリ又咸鏡北道ニ於ケル購入契約ハ孰モ九年四月締結シタルモノナルヲ以テ本年度經費ヲ以テ支辨スヘキモノニ非スト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ本件ハ憲兵制度廢止ニ伴ヒ各署増員並新設警察署等ニ屬スル備品ニシテ年度内道廳所在附近ニ於テ調辨ノ見込ナリシモ年度切迫ニ際シ調辨不能ノ爲契約ノ遲延セルト經濟界ノ變動ニ際會シ物品取揃方ニ困難ヲ來シ年度内完納スル能ハサルモノニシテ若之ヲ解約スルトキハ九年度ニ於テハ到底豫算ノ許ササル所ナルト同時ニ執務上支障ヲ來スヲ以テ已ムヲ得ス本年度豫算ヲ以テ購入ヲ爲シタリト謂フニ在リ右ハ物品ノ購入ニ當リ年度區分ヲ無視シ殊ニ翌年度ニ至リ前年度支辨ニ屬スル契約ヲ締結スルカ如キハ失當ノ措置ニシテ會計法第三條ニ違背シタルモノトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

但シ本件ハ警察制度改正ニ伴フ混雜ノ際ナリシヲ以テ事情已ムヲ得サリシモノト認メ將來ヲ戒告セリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 會計法第三條違背

(參照) ○會計法第三條(五四一頁參看)

【報告】

(八一) 朝鮮總督府ノ支出ニ係ル

一〇、七〇〇、〇〇〇

ハ京城府吉岡某ヨリ購入セル巡查刀三千本ノ代價ナリ抑本件ハ大正八年六月前記吉岡某ト單價四圓八拾參錢ヲ以テ巡查刀千六百九十五本ノ購入契約ヲ締結シ納期ヲ八年七月ヨリ九年三月ニ至ル五回分納ト定メ更ニ同年八月十四日ニ至リ同人ト單價六圓九拾錢ヲ以テ同刀八千二百四十四本ノ購入契約ヲ締結シタルモノ同月十六日ニ至リ第二回契約ヲ變更シ數量ヲ三千本ニ減少シ解約數量ニ對シテハ陸軍兵器本廠ヨリ騎兵及下士刀五千本ヲ購入シテ之ヲ改造補充セリ然ルニ第一回契約ハ最終納期タル九年三月十五日ヲ經過スルモ尙其全部ノ履行ヲ爲サス稍ク同年五月十八日ニ至リ同年一月附ヲ以テ延期願ヲ提出

セシメ納期ヲ同年三月十五日ニ變更シ同月二十日第一回契約ヲ解除シタルモノノ如ク作爲シ三月十六日以降五日分ニ對スル遲滞償金四百九圓參拾四錢ヲ徵收シ契約保證金八百貳拾圓ヲ沒收セリ而シテ第二回契約ニ係ル三千本ヲ納付シタルハ第一回契約ノ履行期間内ニ屬スルニ拘ラス全部高價ナル第二回契約分ニ充當シタルヲ以テ遲滞償金及契約保證金ヲ差引クモ尙貳千貳百七拾九圓餘ノ損失ト爲リ又第二回契約ノ數量ヲ減少シテ陸軍兵器本廠ヨリ購入セル補充刀ハ改造費及其他ノ經費ヲ併セ四萬貳千百參拾貳圓餘ヲ要シ單價八圓四拾貳錢餘ト爲リ第二回契約ニ比シ七千六百參拾貳圓餘ノ損失ト爲ルノ計算ナリ依テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ既納ニ係ル刀三千本ノ内千六百九十五本ハ第一回契約分ニ充當スヘキモノナルモ請負人カ第二回契約分トシテ納付シタルヲ以テ誤テ受入レ整理ヲ爲シタルモノニシテ第一回契約納期變更手續ノ遲延セルハ請負人カ刀身蒐集ノ爲旅行不在ナリシニ因リ又第二回契約ニ對スル一部ノ解約ヲ爲シタルハ刀身ノ市場ニ存在スルモノ少ナキヲ認メ不用ノ憲兵補助員刀ヲ以テ急需ニ應スルコトトシ解約ヲ爲シタルモノ其不用數量ヲ確知スルヲ得ス且引上ケノ爲多數ノ日子ヲ要スルヲ以テ詮議ノ結果陸軍兵器本廠ヨリ之カ購入ヲ爲シタリト謂フニ在リ然レトモ縦ヒ請負人ニ於テ第二回契約分トシテ納付シタルモノモ契約納期ノ順序ニ從ヒ先ツ廉價ナル第一回契約分ニ充當セシムルヲ相當ト爲スノミナラス九年五月ニ至リ願書ノ日附ヲ作爲シ遲滞償金ヲ輕減シタルハ請負人ノ爲故ラニ其便益ヲ圖リタルモノト認メサルヲ得ス又第二回契約變更ノ事由ノ如キモ當初之カ調査ヲ遂クヘキモノナルニ之カ調査ヲ爲サス契約締結後僅ニ二日ヲ出テスシテ之ヲ變更シ高價ナル物品ヲ購入スルニ至レルハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス要スルニ本件ハ契約締結及履行ニ際シ周到ノ注意ヲ缺キタルカ爲國庫ニ損失ヲ及ボシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件批難ノ要點ハ(イ)第一回契約ノ分ニ充當スヘキ千六百九十五本ヲ第二回契約ノ分ニ充當セル爲遲滞償金及契約保證金ヲ差引クモ尙貳千貳百餘圓ノ損失ヲ蒙リタルコト(ロ)第一回契約ヲ解除スルニ方リ願書ノ日附ヲ作爲シ遲滞償金ヲ輕減シタルコト(ハ)第二回契約變更ニ關スル調査粗漏ナリシ爲高價ナル物品ヲ購入スルニ至レルコト等ニ在リ左ニ之カ事由ヲ説明スヘシ

(イ)本件ハ第一回分ニ充當スヘキヲ誤テ第二回分トシテ受入整理ヲ爲シタルニ因ルモノナルヲ以テ將來大ニ注意ヲ加フヘシ

(ロ)第一回契約解除手續ノ遲延セルハ請負人吉岡某ヨリ一時ニ完納ノ見込ヲ以テ最終納期タル三月十五日迄延期セラレタキ旨ヲ願出タル

ハ大正九年一月九日ナリシカ當時本人ハ刀身蒐集ノ爲内地旅行中ナリシヲ以テ其ノ歸來ヲ待テ事情精査ノ上詮議スルコトトシ推移中三月二十日ニ至リ本人病氣ノ爲到底履行不可能ナリトシ解約願ヲ提出シ來リタルモ當時本人ハ尙旅行中ニシテ事情判明セス依テ其ノ歸來ヲ待チタルニ因ルモノニシテ既ニ三月二十日ヲ以テ解約スルコトヲ承認セル以上手續ニ於テ遲延セルモ同日以後ノ遲滞償金ハ之ヲ徵收スヘキモノニアラスト認メ徵收セサリシモノナリ

(ハ)第二回契約ニ對スル一部ノ解約ヲ爲シタルハ刀身ノ市場ニ存在スルモノ少キヲ認メ不用ノ憲兵補助員刀ヲ以テ急需ニ應スルコトトシ解約ヲ爲シタルモ其ノ不用數量ヲ確知スルヲ得ス且引上ケノ爲多數ノ日子ヲ要スルヲ以テ詮議ノ結果陸軍兵器本廠ヨリ之カ購入ヲ爲シタルモノニシテ當時警察制度改正ニ伴フ急需ニ應スル爲不得已決行シタルモノナリ

【貴決】 措置穩當ヲ闕ク 【衆決】 承認

臺灣總督府

歳入

物件ノ拂下ニ當リ歳入歳出ヲ混同シタルモノ一件(八二)

歳出

工事施行上ノ注意ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ一件(八三)

地方費ニ對スル補助其當ヲ得サルモノ一件(八四)

合計二件

歳入經常部

第一款 臺灣歳入 第二項 官業及官有財産收入

【報告】

(八二) 臺灣總督府營林局ノ徵收ニ係ル

四九、八八六、四五〇

ハ大正七年度ニ於テ合名會社鈴木商店ニ拂下ケタル紅檜板子枕木等ノ代價ニシテ外ニ本年度ニ於テ拂下ケ九年度ニ至リ收入シタルモノ貳萬九千參拾七圓拾九錢アリ抑木件ハ阿里山ニ於ケル根株、末木、屑木及老齡木等ヲ利用セムカ爲七年五月同商店ト契約ヲ締結シ山地ノ區域ヲ指定シテ原木ヲ交付シ之ヲ製材セシメ其製品ハ嘉義ニ於ケル市價ヲ標準トシ先山貨製材

費及利益等ヲ控除シタル價格ヲ以テ拂下ケタルモノニシテ右ハ歳入歳出ヲ混同シタルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ本件木材ノ利用ハ繁雜ニ涉リ到底官業トシテ經濟的ニ經營シ難キ處ナルモ相當利用價值アル木材ヲ腐朽セシムルニ忍ヒサルヲ以テ集約的ニ全部ヲ利用シ且跡地造林地拵ノ目的ヲ達セムカ爲比較的簡便ノ方法ヲ採ルノ已ムヲ得サルニ至リ之ヲ原木ノ儘處分セムトスルモ其利用シ得ヘキ材積ノ計算困難ナルノミナラス製品ノ種類多種ニシテ單價容易ニ一定シ難ク一方製品ノ搬出ハ阿里山鐵道ニ託送スルノ外ナク其檢査及監督ハ最正確ニ行ヒ得ルノ便アルヲ以テ授受簡便ニシテ取締容易ナル製品處分ノ方法ヲ採リタルモノニシテ歳入歳出ヲ混同シタルモノニ非スト謂フニ在リ然レトモ本件契約ハ原木ヲ交付シ拂受人ヲシテ製材ヲ請負ハシメ其製品ハ一旦檢査シ製材費等ヲ控除シタル價格ヲ以テ拂下ケルモノナルニ依リ製材請負等ノ費額ニ對シテハ別ニ歳出ヲ以テ整理シ拂下代金ハ其全額ヲ歳入ニ編入スルヲ相當トス縱ヒ答辯ノ如ク製品處分上簡便ナル方法ヲ採ルノ已ムヲ得サル事情アリトスルモ現ニ本件拂下價格ノ計算ニ於テ製材費ヲ控除セルノ事實ニ徴シ之カ收支ヲ區分計算シ難キモノト認ムルヲ得ス加之當初ノ契約ニ於テハ本件拂下製品ノ内枕木ノ大部分ハ同商店ヲシテ所定ノ價格ニ依リ同府鐵道部ニ供給セシムルコトト爲シタルモ八年度ニ於ケル追加契約ニ際シ拂下價格ハ七年度契約ヲ踏襲シ鐵道部ニ對スル賣渡價格モ亦變更セシメサル意思ナリシニ何等約款ヲ設ケサリシト之ヲ同部ニ通報セサリシトノ爲同部ニ於テ七年度ノ所定價格ニ比シ高價ニ買入レタルノミナラス七年度一部既製品モ亦同様ノ價格ヲ以テ購入シ其差額壹萬餘圓ニ上レルモノアリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 會計檢査院檢査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

歳出臨時部

第二款 事業費 第八項 道路橋梁費

【報告】

(八三) 臺灣總督府土木局ノ支出ニ係ル

一五〇、九〇九、四七〇

大正八年度 臺灣總督府 (八三)

ハ淡水河架橋工事費貳拾七萬八千七百四拾六圓四拾壹錢ノ内ニシテ拾貳萬七千八百參拾六圓九拾四錢ハ大正七年度ニ屬スルモノナリ抑本件工事ハ臺北大稻埕ヨリ對岸三重埔庄ニ至ル延長千四百十尺幅員十六尺二寸ノ木造橋ヲ方杖式ニ依リ架設スルモノニシテ鐵筋混凝土橋脚徑間四十五尺又ハ六十尺トシ橋脚ハ長三十尺又ハ六十尺徑一尺二寸ノ八角形鐵筋混凝土杭六本ヲ一列ニ干潮水面上二尺五寸迄打込ミ之ニ接合シテ長二十四尺ノ同型脚柱ヲ施シ一列ヲ一體ヲラシムル爲「アングル」ヲ以テ交互ニ締附クルノ構造ト爲シ七年度ニ於テ起工シ八年度ニ繰越工事中八月洪水ノ爲橋脚基礎杭ト脚柱トノ接合部ニ於テ基礎杭挫折シ其頭部ハ稍下流ニ傾斜シタルヲ以テ歲出臨時部第八款災害費第六項廳舎官舎其他風水害復舊費ヨリ之カ復舊補修ノ爲貳萬千五百餘圓ヲ支出シ九年三月稍ク竣功ヲ告ケタルモ同年九月復ヒ洪水ノ爲全部破壞流失スルニ至リタルモノナリ右ハ其設計宜シキヲ得サルノミナラス八年八月ノ被害ニ鑑ミ適當ノ施設ヲ爲スノ要アルニ拘ラス單ニ原設計ヲ遂行シタルニ因ルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ八年八月被害ノ橋脚ハ水勢最猛烈ナル流心部分ニ屬スル六箇所ニシテ之カ復舊工事施行ニ際シテハ十分ノ考慮ヲ加ヘ補強ノ爲上下流共各數本ノ基礎杭ヲ増設シ且各杭ノ作用ヲ合一ナラシムル目的ヲ以テ一體ニ鐵筋混凝土工ヲ施シ堅固ニ連絡セシメ十分完全ヲ期シタルモノナルモ九年九月ノ出水ハ平水面上二十尺以上ヲ持續スルコト十八時間十八尺以上ヲ持續スルコト實ニ三十時間餘ニ涉リ斯ル長時間ノ洪水ハ未曾有ニ屬シ八年八月ノ出水ニ比シ約三倍ノ時間ニ涉リタルカ爲橋脚基礎ハ甚シク洗掘セラレ隨テ其震動激烈ヲ極メ流心部分ノ橋脚基礎ニ挫折ヲ來シ漸次擴大シ遂ニ流失スルニ至リタルモノニシテ設計上ニ於テハ遺算ナキヲ期シタルモ偶未會有ノ長時間ニ涉ル高位ノ洪水ニ遭遇シタル爲遂ニ流出ノ已ムヲ得サルニ至レルモノナリト謂フニ在リ然レトモ之ヲ既往ノ實例ニ徵スルニ明治四十四年九月及大正元年八月ニ於ケル洪水ハ共ニ平水面上二十三尺ニ及ヒ九年九月ノ高水位以上ニ達セルヲ以テ之ヲ未曾有ト稱スルヲ得サルノミナラス二年度ヨリ四年度ニ涉リ本件架橋地點ノ上流一帶ニ臺北市街保護ノ爲干潮水面上二十數尺ニ達スル擁壁ヲ設ケタルヲ以テ爾後一層水位ヲ高メ其持續時間ヲ延長スルニ至ルヘキハ豫測スルニ難カラサル所ニシテ設計上相當ノ注意ヲ爲シタルモノト認ムルヲ得ス殊ニ八年八月ノ被害ニ鑑ミ相當考慮ヲ盡スヘキモノ

【辨明】

ナルニ大體ニ於テ原設計ヲ維持シ單ニ被害部分ニ對シ若干ノ補強工事ヲ施スニ止メ基礎杭ヲ増設シ鐵筋混凝土工ヲ施シタルニ過キサルカ如キハ適當ノ措置ト認ムルヲ得ス要スルニ本件ハ工事ノ施行ニ際シ適當ノ注意ヲ缺キ竣功後幾クナラスシテ破壞流失セラレ國庫ニ多額ノ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

本件洪水ハ平水面上二十尺以上十八時間、十八尺以上三十三時間、十八尺以上十七時間ニ比較スルトキハ約二倍又大正八年八月ノ洪水二十尺以上七時間、十八尺以上十一時間ノ洪水ニ比較スルトキハ約三倍ノ長時間ニ互リタルモノニシテ斯カル長時間ノ洪水ハ實ニ未曾有ニ屬シ設計當時ニ於テ全ク豫想スルコト能ハサリシ所ナリ又本件架橋地點ノ上流一帶ニ干潮水面上二十七尺ニ達スル擁壁ヲ設ケタルノ事實ハ洪水持續時間ヲ延長スルノ原因トシテ當然豫測シ得ヘカリシ點ナルヤノ觀アルモ該擁壁ハ河ノ一定ノ幅員ヲ狭メタルモノトハ自ラ其ノ趣ヲ異ニス元來淡水河ノ氾濫區域ハ頗ル廣大ニシテ臺北市街ノ對岸低地一帶一里餘ニ互ルモノニシテ臺北市街ニ氾濫スルハ洪水面以下ノ低地ニ過キス其ノ區域ハ全氾濫區域ニ比シ甚タ僅少ノモノナルヲ以テ該擁壁ノ爲淡水河ノ洪水位ヲ高メ持續時間ヲ延長スルカ如キハ殆ト考慮シ得サル程微少ノモノニシテ之ヲ大正八年八月ノ洪水位カ本件ノ洪水位ヨリ僅々一寸低キ大洪水ナリシニ拘ハラス其ノ持續時間ノ著シク短カカリシヨリ察スルモ略之ヲ推知シ得ヘシ

要スルニ本件ハ明治四十四年以降ノ洪水ニ鑑ミ十分ノ考慮ヲ加ヘ施工シタルモノナルモ未曾有ノ長時間ニ互ル洪水ニ際會シタルト本橋梁カ根本的永久工ナラサリシ爲遂ニ流失スルニ至リタルモノニシテ遺憾トスル所ナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

第八款 災害費 第十項 蕃地風水害復舊地方費補助

【報告】

(八四) 臺灣總督府ノ支出ニ係ル

七〇、〇〇〇、〇〇〇

ハ大正八年八月二回ノ暴風雨ノ爲臺灣地方費第一第二費區ニ於ケル蕃地構築物ノ被害甚シク急速復舊ヲ要スルモ到底地方費ノ負擔ニ堪ヘストシ之カ補助ヲ爲シタルモノナリ右ハ大正六年度以降検査報告ニ詳悉セシ如ク蕃地ニ對スル諸經費ハ當然臺灣地方稅規則ニ依リ處理スヘキモノナルノミナラス本年度ニ於テハ地方費ニ對シ既ニ五百參拾八萬餘圓ヲ補足シ同費收支計算書ニ依レハ純剩餘額四百五拾貳萬餘圓ニ達スルノ狀況ナルヲ以テ之ヲ補助スルノ必要ナキコト明ナリ依テ本件ハ不當ナリトス(大正六年度(四六)三二八頁及七年度(七一)四三二頁參看)

【辨明】 本件ハ大正六年度及大正七年度會計検査院検査報告ニ對スル辨明ノ如ク地方稅ハ其ノ所屬地方費區内ノ人民ヨリ徵收スルモノニシテ其ノ使途モ亦當該費區内ノ經費ニ充當スヘキハ論ヲ俟タス而シテ蕃地ハ行政區域外ニ屬シ從テ地方稅ヲ賦課徵收スルノ範圍外ニアリ元來臺灣ニ於ケル蕃地ノ開發蕃人ノ撫育ハ國家の大事業ニシテ國費支辨トシテ國自身ニ於テ經營スヘキヲ至當トス唯之カ實行方トシテ警察機關ヲシテ之ニ當ラシムルヲ便宜ト認メ地方費區支辨タル警察機關ニ委シタルニ過キス從テ其ノ經費ヲ行政區域外ニシテ而モ地方稅ト何等關係ナキ地方費區ノ負擔ニ歸セシムルカ如キハ穩當ナラスト認メ地方稅會計ニ餘裕アルト否トニ關セス從來其ノ經費ノ全部ヲ國庫ヨリ補足シ來リタルモノナリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

樺 太 廳

歳出

工事施行上ノ注意ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ一件(八五)

一一、八六七^円七四〇

歳出臨時部

第一款 事業費 第二項 營繕土木費

【報告】 (八五) 樺太廳ノ支出ニ係ル

一一、二八六七^円七四〇

ハ眞岡町船入澗増設工事費貳萬九千九百七拾四圓九拾貳錢ノ内ニシテ九千七百七圓拾八錢ハ大正七年度ニ屬スルモノナリ抑本工事ハ在來船入澗ノ西方ニ隣接シ幅三十五間長七十間干潮面以下五尺五寸ノ船入澗ヲ増設連絡スルト共ニ其南部護岸ノ一部ハ幅員三間ノ眞岡川流出口ニ當ルヲ以テ之ヲ遮斷シ西方海中ニ放流セシムル爲河水衝突箇所二十間ノ裏法ヲ石張ト爲ス設計ヲ以テ七年八月起工シタルニ其後眞岡町ノ申請ニ依リ眞岡川西方一帶ノ埋立許可ニ際シ同川ノ放流路ヲ失フニ至ルヘキヲ以テ同町ヲシテ右護岸ト埋立地先トノ間ニ幅員九尺ノ放流路ヲ設ケ其兩側ニ土留柵ヲ施行セシメ八年八月前記石張ハ之ヲ廢止シ同年九月竣功ヲ告ケタルモノナリ十年七月之方實地ヲ検査スルニ右護岸中同川トノ衝突箇所約十間ハ九年申出水ノ際破壊シ多量ノ土砂ヲ流入シタルノミナラス北方海岸ノ波除堤ハ在來ノ分ニ比シ高約二尺ヲ減シタル爲海中ヨリ漂砂

ヲ打込ミ澗内ハ土砂堆積シ殆ト船入澗ノ用ヲ爲ササルニ至レリ右ハ同川放流路及海岸波除堤ノ施設宜シキヲ得サルニ因ルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ眞岡川ノ處置ニ就テハ眞岡町ニ對シ海岸埋立許可ニ際シ河川ヲ直角ニ屈曲セシムルハ流水ノ疏通上懸念ナキニ非サリシモ出願人及同町住民カ實驗上出水被害ニ就テハ杞憂ニ過キストノ證言ニ依リ之ヲ許可シタルニ偶九年申未會有ノ出水ノ爲護岸ノ一部決潰シ澗内ニ土砂ヲ流入セシモノニシテ又波除堤ノ高在來ノ分ニ比シ減少セシハ増設位置ノ在來船入澗ニ比シ波浪少ナキ等ヨリ推定シ本計畫ヲ以テ足レリト認メタルニ因ルト謂フニ在リ然レトモ眞岡川ハ附近ノ山間部ヨリ流下シ相當ノ勾配ヲ有スルヲ以テ之カ疏通ニ對シテハ適當ノ注意ヲ要スヘキモノナルニ拘ラス之ヲ直角ニ屈曲セシメ其下流ヲ僅ニ幅員ノ二分ノ一ニ過キサル九尺ノ放流路ト爲サシメタル結果疏通ヲ阻碍セラレ遂ニ護岸ヲ破壊セラルルニ至リタルモノナリ要スルニ本件ハ工事ノ施設其宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 眞岡川放流水路ノ設計ハ多年ノ實驗ニ徴シ眞岡川ノ最大流量ヲ考査シ十分ノ確信ヲ以テ施工セルモノニ係リ既往ノ出水程度ニ於テハ決シテ異狀ヲ見サルヘキ筈ナリシモ偶大正九年八月地方稀有ノ大暴風雨出水ノ爲眞岡川ノ出水豫期以上ニ達シ遂ニ一部ノ被害ヲ見タルモノナリ又防波堤ノ築堤ハ沿岸波浪ノ高低ヲ調査シ在來船澗新設當時ノ狀況ニ鑑ミ増設位置ハ在來場所ヨリ波浪低キヲ以テ工費豫算ノ關係モアリ在來防波堤ヨリ高サヲ減シタルモノニシテ既往ノ事實ニ於テハ本計畫ヲ以テ足レリト思料シタルモノナリ要スルニ施設充分ナリシモ豫想外ノ天災ノ爲被リタル損害ニシテ決シテ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

陸軍省所管

東京砲兵工廠

歳出

豫算ノ使用其宜シキヲ得サルモノ一件(八六)

物件ノ購入ニ當リ措置其宜シキヲ得ス國庫ニ不利ヲ來シタルモノ一件(八七)

高價ヲ以テ不急ノ物件ヲ購入シタルモノ一件(八八)

大正八年度 樺太廳 (八五)

一三八、一〇四〇^円八〇
 八五五、三三七^円六五〇
 一四七、八四〇〇〇〇
 五四九

大正八年度 東京砲兵工廠 (八六)(八七)
其他不當ナルモノ一件(八九)
合計四件

五五〇
七七、五〇〇、〇〇〇
一、二一八、七八一、七三〇

【報告】 (八六) 東京砲兵工廠ノ支出ニ係ル
第一款 東京砲兵工廠作業費 第二項 事業費

一三八、一〇四、〇八〇

ハ板橋、目黒、岩鼻各火藥製造所危害豫防地買収代及地上物件移轉費並右用地買収ニ伴ヒ施行シタル工事費ヲ併セ總額四拾六萬參千參百九拾九圓八拾錢ノ内ニシテ參拾貳萬五千貳百九拾五圓七拾貳錢ハ大正七年度以前ニ屬スルモノナリ右ハ大正六年度検査報告ニ詳悉セシ如ク作業擴張ノ目的ヲ以テ工室ノ増設、設備ノ移轉、改良等ヲ企圖スルモノニシテ既存土地建物ノ維持補充ト認ムヘキモノニ非ス依テ本件ハ陸軍作業會計法第三條ニ違背シタルモノトス(大正六年度(四八)三二〇頁參看)

【辯明】 本件ハ前年度報告ニ對シ辯明セシ如ク銃砲火藥類販縮法ノ制定ニ伴ヒ必要ナル危害豫防地帶ノ設定ト共ニ一工室ノ作業量減少ニ伴フ工室ノ補充又ハ貯藏所ノ位置變更等ヲ行ヒ以テ作業ノ安全ト危害豫防ノ完全ヲ期シタルモノニシテ要スルニ既設備ノ補充ヲ目的トシ何等事業ヲ擴張セルモノニアラス從テ作業會計法第三條ニ違背シタルモノニアラス(大正七年度(七三)四三四頁參看)

【貴決】 異議ナシ
【衆決】 承認
(參照) ○陸軍作業會計法(明治二十三年三月十八日) 第十八條
第三條第一項 東京及大阪砲兵工廠ハ俸給諸給旅費應費職工人夫ノ諸費材料素品及機械運轉用品ノ購入費土地建物其他工作物船舶機械器具ノ維持修理及補充費工場ノ雜費並ニ損失金ヲ作業ノ歲出トス

第三項 材料素品費

【報告】 (八七) 東京砲兵工廠ノ支出ニ係ル

八五五、三三七、六五〇

ハ大正六年十一月及七年二月日本グリセリン工業株式會社ト購入契約ヲ締結シタル「グリセリン」六十萬三千三百三十六疋價格百七拾四萬千五百拾七圓八錢ノ内本年度仕拂ニ係ル三十三萬八千四百五十疋ノ代價ニシテ八拾八萬五千八百拾九圓五拾參錢ハ前年度ニ屬スルモノナリ右ハ大正七年度検査報告ニ詳悉セシ如ク同會社ニ於テ納入ヲ遅延セシ爲三井物産株式會社

其他ヨリ高價ヲ以テ補充品ヲ購入スルノ已ムナキニ至リ且市價暴落シタルニ拘ラス長期ノ延納ヲ許可シ國庫ニ多大ノ不利ヲ來シタルモノニシテ不當ナリトス(大正七年度(七四)四三五頁參看)

【辯明】 本件ハ前年度報告ニ對シ辯明セシ如ク供給者タル日本「グリセリン」工業株式會社ニ於テ製造機械ニ故障ヲ生シタルト船腹不足ノ爲原料輸入ノ困難ニ陥リシ等何レモ不可抗力ニ準スヘキ事故ノ爲生産力ニ減少ヲ來セシモノト認メ延滞價金ヲ免除シ延納セシメタルモノニシテ其ノ間補充ノ爲臨時購入シタルモノニアリテモ當時ノ市價以內ノ價格ヲ以テ調辨シタルモノナリト雖當事者ノ措置適當ナラサル點アリ特ニ將來ヲ戒飭セリ

【貴決】 措置穩當ヲ關ク
【衆決】 承認
一四七、八四〇、〇〇〇

【報告】 (八八) 東京砲兵工廠ノ支出ニ係ル

一四七、八四〇、〇〇〇

ハ大正七年十二月東京市日本橋區野澤某ヨリ購入シタル「ニツケル」四萬九千二百八十疋ノ代價ニシテ八年五月初旬ニ於テ野澤某ヨリ十五萬疋單價參圓ニテ供給方レタルモノナリ右ハ其單價一疋參圓ニ當リ高價ト認メラルルノミナラス當時相當ノ在庫品アリシヲ以テ購入ヲ爲スノ要ナキモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ七年度ヨリ八年度ヘ持越高ハ一見多量ナルカ如キモ當廠最大作業能力ヲ實現スルトキハ六箇月ヲ維持スルニ過キス且歐洲戰ノ狀況ハ本品ノ供給上不測ノ障礙ヲ來スヤモ保シ難ク隨テ作業計畫上安全ヲ期スル爲多量ノ豫備量ヲ必要トス然ルニ七年五月初旬ニ於テ野澤某ヨリ十五萬疋單價參圓ニテ供給方申出テタルモ其納期ハ輸出禁止又ハ航海中ノ危險等ヲ顧慮シ當時確知スルヲ得サリシヲ以テ輸入確定スル毎ニ其數量ニ對シ七年度中ノ條件ニテ契約ヲ締結スヘシトノ口約ヲ爲シタルモノニシテ當時ニ於ケル需給狀態ニ照シ已ムヲ得サル處置ナリト謂フニ在リ然レトモ右口約ノ存在ニ就テハ何等證據ノ徵スヘキモノナキノミナラス之カ納期ハ八年五月ナルヲ以テ口約ノ條件ニ反シ本件契約ハ答辯ノ如キ事實ニ基クモノト認メ難ク且契約當時ニ於テハ休戰ノ結果雜貨ノ價格崩落シ現ニ八年一月陸軍東京經理部ニ於テ三井物産株式會社ヨリ購入シタル本品ノ價格ハ一疋貳圓參拾九錢ニ當リ之ニ基キ砲兵工廠ニ於ケル持越高ノ價格ヲ改定セルノ事實ニ徵シ本件ノ購入代價ハ高價ニ失スルモノト認メサルヲ得ス加之本品ノ翌年度持越高ハ十八萬五千餘疋ニ上リ答辯ノ如ク工廠最大作業力ヲ實現スルモ尙六箇月ヲ維持スルニ足ル狀況ナルヲ以テ當時之ヲ購

【辨明】 入スルノ要アリシモノト認メ難シ要スルニ本件ハ高價ヲ以テ不急ノ物品ヲ購入シタルモノニシテ不當ナリトス
本件購入品ハ之カ資源ヲ海外ニ仰クモノナルヲ以テ歐洲戰亂ノ影響ニ依ル當時ノ需給状態ニ照ラシ作業ノ安固ヲ期スル爲調辦計畫上已ム
ヲ得サル處置ニシテ買入價格ノ如キモ其ノ品質ニ對應シタルモノニシテ市價ニ比シ高價ニアラスト認ム

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 承認

【報告】 (八九) 東京砲兵工廠ノ支出ニ係ル

七七、五〇〇〇〇

ハ東京瓦斯電氣工業株式會社ニ請負ハシメタル自動貨車十臺價格拾五萬五千圓ノ内五臺ノ代價ニシテ七萬七千五百圓ハ前
年度ニ屬スルモノナリ右ハ大正七年度檢査報告ニ詳悉セシ如ク當初ヨリ民間ニ製造セシムル方針ナルニ拘ラス其價格以下
ニテ陸軍省ヨリ製造令達ヲ受ケ之カ差損ヲ工廠特別會計ノ負擔ニ歸セシメタルモノニシテ不當ナリトス(大正七年度七五)四三六頁參看)
【辨明】 本件ノ如キ臨時製作品ニ對シ價格ニ著シキ差違ヲ生シタル場合ニ於テ之カ改定ヲ要求セサリシハ適當ト認メラレサルモノアルニ依リ特ニ
將來ヲ注意セリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

千住製絨所

歳入

競争入札ニ付スヘキ物件ノ貸下ヲ隨意契約ニ依リタルモノ一件(九〇)

二九、七八八〇四

第一款 千住製絨所作業收入 第二項 雜收入

【報告】 (九〇) 千住製絨所ノ徵收ニ係ル

二九、七八八〇四

ハ東洋麻毛紡織株式會社外七名ニ對シ隨意契約ニ依リ織機械類ヲ貸下ケタル料金ナリ右ハ大正六、七兩年度檢査報告ニ詳
悉セシ如ク物件ノ貸借ハ法令ニ特別ノ明文アル場合ノ外總テ競争入札ニ付スルヲ要シ隨意契約ニ依ルヘキモノニ非ス當局
者ハ之ニ對シ貸下機械ハ一時不用ニ屬シ作業ノ膨脹ヲ要スルトキハ何時ニテモ引上使スヘキ條件附ノモノニシテ不用機
械ノ利用ヲ計リタルモノナリト辯明スルモ八年九月滿蒙毛織株式會社ニ貸下ケタル裝針帶外二十四種ノ如キ多クハ工場備

附ノモノヲ取外シタルモノニ係リ同社ハ主トシテ該機械ニ依リ事業ヲ經營セルノ實狀ナルヲ以テ隨時之カ引上使スヘキ條件附
カ如キハ至難ノ事ニ屬スルノミナラス爾後製絨所ニ於テハ同種機械ノ新規購入ヲ爲シタルモノアリ而シテ九年度ニ於ケル
同所作業力ハ陸軍絨類所要高ノ半ニ達セス殘餘ハ製絨所ニ比シ約四割ノ高價ヲ以テ民間ニ工料製作ヲ爲サシメ居レルノ狀
況ナリ要スルニ本件ハ競争ニ付スヘキ物件ノ貸下ヲ隨意契約ニ依リタルモノニシテ會計法第二十四條ニ違背シタルモノト
ス(大正六年度四九)三二二頁及七年度七〇四三三頁參看)

【辨明】 本件貸下機械ハ前年度報告ニ對シ辯明セシ如ク千住製絨所一時ノ不用ニ屬シ作業ノ膨脹ヲ要スルトキハ何時ニテモ引上使スヘキ條件附
ノモノナルト一般紡績會社ノ需用セサル特種ノ機械ナルヲ以テ貸下出願ヲ俟ツテ附帶ノ條件ニ合スルヤ否ヤニ依リ其ノ要否ヲ決定スルモ
ノナルト共ニ一面同所經營ノ附帶務タル民業獎勵ノ爲不用機械ノ利用ヲ一層有意義ナラシメタルモノナリ要スルニ需給ノ投合ヲ俟ツテ初
メテ其ノ目的ヲ達成シ得ルモノニシテ事實上一般競争入札ニ付スルノ餘地ナキモノトス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 承認

【衆決】 承認

海軍省所管

海軍工廠資金

歳出

虛構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ一件(九一)

八、〇七一〇八〇

第一款 材料物品費 第一項 材料物品費

【報告】 (九一) 佐世保海軍工廠ノ支出ニ係ル

八、〇七一〇八〇

ハ佐世保市堀某ヨリ購入シタル銅板八十枚一萬五百九十四疋「ポールトナット」七千七百二十九疋及銅板百二十七枚一萬三
千二百二十八疋餘ノ代價トシテ證明シタル壹萬千五百六拾四圓八拾五錢ノ内ニシテ參千四百九拾參圓七拾七錢ハ大正九年度
ニ屬スルモノナリ右ハ其實同人カ同工廠造機部工手龜山某ト共謀シ八年十一、十二兩月中構内材料置場等ニ在リタル遺機
大正八年度 海軍工廠資金 (九一)

部所屬ノ材料ヲ納入品ノ如ク裝ヒ代金ノ支拂ヲ爲サシメ之ヲ騙取シタルモノナリ依テ本件ハ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ政府ノ損害ハ事件司法裁判所ニ繫屬中ニ付確定ノ上辨償セシムヘク監督ノ任ニ在リタル者ニ對シテハ相當ノ處分ヲ了セリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

文部省所管

東京帝國大學

歳出

競争入札ニ付スヘキ物件ノ購入ヲ隨意契約ニ依リタルモノ一件(九二)

四、七四八^円四九〇

歳出經常部

第一款 東京帝國大學

第二項 物件費

【報告】

(九二) 傳染病研究所ノ支出ニ係ル

四、七四八^円四九〇

ハ東京市京橋區堀内某外二名ヨリ購入シタル大麥六千四百貫ノ代價ナリ右ハ大正八年十二月ヨリ九年三月迄ノ間ニ於テ千二百貫又ハ千三百貫宛五回ニ涉リ隨意契約ヲ以テ購入シタルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ購入當時ニ於ケル市價ノ暴騰ハ一時的現象ノ見込ナリシ爲小買ヲ繼續シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ本所ニ於ケル動物飼料ノ購入ハ從來約半箇年ニ涉ル契約ヲ爲シ來リタル所ニシテ物價ノ騰貴又ハ低落ノ豫想ヲ理由トシ僅僅四箇月間ニ於テ孰モ千圓未滿ニ分割シ五回ノ注文ヲ爲シタルカ如キハ故ヲニ競争入札ヲ避ケタルモノト認メサルヲ得ス而シテ其契約單價ハ百貫當七拾壹圓四拾四錢乃至七拾七圓五拾錢ニシテ市場價格又ハ他ノ官所ニ於ケル事例ニ比シ高價ニ當レリ要スルニ本件ハ競争入札ニ付スヘキ物品ヲ隨意契約ニ依リ購入シタルモノニシテ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

【辯明】

會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 措置穩當ヲ闕ク

【衆決】 會計法第二十四條違背

(参照) ○會計法第二十四條(五一頁參看)

農商務省所管

製鐵所

歳出

豫算ノ使用其宜シキヲ得サルモノ二件(九三)(九四)

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(九五)

合計三件

三八〇、九五二^円五四〇
五、四八七^円一七〇
三八六、四三九^円七一〇

第一款 製鐵所作業費

第二項 事業費

【報告】

(九三) 製鐵所ノ支出ニ係ル

一、二五二、七八六^円一一〇〇

ハ製鐵所事務所用煉瓦造三階建延坪二千四百十五坪餘外ニ煉瓦造倉庫等新築工事費大正九年度迄ノ支出額六拾六萬六千八百拾參圓七拾貳錢ノ内ニシテ貳拾壹萬五千六百四拾六圓七拾六錢ハ七年度以前ニ拾九萬八千參百八拾圓八拾四錢ハ九年度ニ屬シ尙未タ竣成ヲ告ケサルモノナリ十年七月之カ實地ヲ検査スルニ該工事ハ外部煉瓦積竝屋根工事ヲ竣成シタルニ止リ全部ノ竣成ハ今後兩三年ヲ要シ殘工事費尙參拾萬圓ヲ要スヘキ見込ナルニ作業費財源ノ關係上殆ト中止ノ狀況ニシテ擴張ニ伴フ事務所ノ新營ヲ數年ニ涉リ作業費支辨トシ且全部ノ計畫ニ關スル書類ナキヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ現事務所ハ取引者ノ出入不便ナルノミナラス危險多ク且工場取締上不都合少カラサルヲ以テ之ヲ構外ニ移轉ノ爲新築シタルモノナルヲ以テ作業費支辨トシ又現事務所ニハ意思疏通上必要ナル職員職工ノ會合室ナク取引者ノ出入參觀者見學者ノ來所頻繁ナルニ相當ノ應接室ナキハ不便トスル所ナルト貴重ナル製圖設計書ノ格納庫不十分ナル等ノ爲移轉ニ際シ之ヲ補充スルコトトセリ而シテ本工事ハ補修費支途ノ緩急不定ナルカ爲數年ニ涉リタルモノニシテ繼續費ノ如

大正八年度

製鐵所 (九三)

五五五

ク一定ノ年度割ヲ以テ起工シタルモノニ非サルカ故ニ別段ノ書類ヲ作製セザリシト謂フニ在リ然レトモ現事務所ハ其位置ノ關係上之ヲ構外ニ移スノ必要アリトスルモ本件工事ハ事業ノ擴張ニ伴ヒ事務所ノ狹隘ヲ感シ之ヲ新築スルモノナルヲ以テ固定資本ノ維持補修ト認ムヘキモノニ非サルノミナラス作業費豫算ノ餘裕ヲ豫測シ漫然施行ノ計畫ヲ樹テ繼續費ニ非サル本費ヲ以テ數年ニ涉リ其目的ヲ達成スヘキ工事ヲ施行スルカ如キハ豫算ヲ無視シ且作業會計法第四條ニ違背シタルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 本件事務所建物ハ從來隨時ノ建築ニ係ル數棟ノ舊事務所建物カ其ノ四圍ノ狀勢變遷シテ近時ハ鐵道線路ノ環繞スル所トナリ汽車ノ運轉極メテ頻繁ニシテ外來ノ製品買受人其ノ他取引關係者等ノ出入ニ頗ル危險且不便ヲ感セシムルニ到レルヲ以テ之ヲ構外ニ移スノ必要アルト從來不備ノ點ヲ補充スルノ必要アリ故ニ新ニ製鐵所所産ノ低廉ナル鑛滓煉瓦ヲ以テ別ニ構外ニ建築スルコトトシ之ヲ固定資本ノ維持補充ト認メ作業費支辨トナシタリ而シテ本件經費八年々其ノ施行見込額ヲ豫算ニ計上シ來リタルモ時局ノ影響ニ因リ物價勞銀ハ昂騰シ勞力材料等ノ供給圓滑ヲ缺キ一面製鐵所作業ノ收入豫定ノ如クナラサルヲ以テ支出ニ大緊縮ヲ施スニアラサレハ巨額ノ缺損ヲ生スヘキニ至リタル等爲ニ豫期ノ工程ヲ遂行シ能ハサリシモ之畢竟作業會計ノ本旨ニ鑑ミ其ノ緩急ヲ調節シタルモノニシテ敢テ豫算ヲ無視シタルモノニアラス依テ本件ハ不當ニアラスト認ム

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○作業會計法(明治二十三年三月十八日法律第十七號)

第四條 固定資本ノ維持修理及補充ハ作業所特別會計ノ歳入ヲ以テ支辨スヘシ

【報告】

(九四) 製鐵所ノ支出ニ係ル

一二八、一六六^四四二〇

ハ福岡縣遠賀郡上津役村養福寺貯水池築造ニ要スル豫定費額約百貳拾五萬圓ノ内ニシテ貳拾貳萬參千貳百貳拾四圓八拾九錢ハ大正六、七兩年度ニ其他ハ九年度以降ニ屬シ外ニ本年度迄ニ價格拾萬千參百拾貳圓八拾壹錢ノ材料ヲ使用セリ十年七月之カ實地ヲ検査スルニ未タ全工程ノ半ニ達セサルノミナラス作業費豫算ノ關係上竣功時期又豫測シ難キ狀態ニ在リ右ハ大正六年度以降検査報告ニ詳悉セシ如ク繼續費ニ非サル本費ヲ以テ數年ニ涉リ其目的ヲ達成スヘキ工事ヲ施行スルモノニシテ擴張工事ノ一部ニ屬シ固定資本ノ維持補充ト認ムヘキモノニ非ス依テ本件ハ作業會計法第四條ニ違背シタルモノトス
〔大正六年度(五二)三二六頁及七年度(八三)四四四頁參看〕

【辨明】

本件ハ大正六年度以降検査報告ニ對スル辨明書ニ詳悉セシ如ク畢竟既設工場所要水量ノ不足ヲ補充スルト共ニ從來ニ於ケル給水上ノ障礙及不安ヲ除去セムカ爲ノ設備ニ外ナラサルヲ以テ作業會計法第四條ニ違背シタルモノニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○作業會計法第四條(五五六頁參看)

第四項 諸支出金

【報告】

(九五) 製鐵所ノ支出ニ係ル

五、四八七^四一七〇

ハ供給請負契約ニ基キ使役シタル職夫ニ對シ死傷手當トシテ支給シタル壹萬五千六百六拾七圓六拾貳錢ノ内ニシテ壹萬百八拾圓四拾五錢ハ大正九年度ニ屬スルモノナリ右ハ一般會計農商務省所管歲出經常部第十五款諸支出金第一項諸支出金ニ於テ詳悉セシ如ク請負人ノ供給ニ係ル職夫ニ對シ死傷手當ヲ支給シタルモノニシテ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス〔五二八頁(六五)參看〕

【辨明】

本件ハ一般會計農商務省所管歲出經常部第十五款諸支出金第一項諸支出金ニ於ケル辨明ニ詳悉セル如ク製鐵所直接雇傭ノ職夫ニ對スル死傷手當ノ支出ニシテ且本項第三目死傷手當ニ關スル各目明細書ニ掲記セル說明「官吏及官役職工人夫等ニ給スル手當金」中ノ「職工人夫」ニハ本件職夫ヲモ包含セルモノナリ依テ本件ハ豫算ノ目的外ニ屬スルモノニアラスト認ム

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○會計法第十二條第一項(五〇六頁參看)

鐵道省所管

帝國鐵道

歳入

適當ニ斟酌ヲ加ヘ違約處分ヲ爲シタルモノ一件(九六)
假收入金ノ整理ヲ遲延シ拂戻ヲ爲ササルモノ一件(一〇七)
大正八年度 製鐵所 (九五)

二八、七一九^四一〇〇
一三、一七、九七五^四二四〇
五五七

大正八年度 帝國鐵道 (九六)

其他不當ナルモノ一件(一〇八)

合計三件

歳出

豫算不足ノ爲決算ヲ作爲シ所屬年度ヲ紊リタルモノ二件(九七)

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ四件(九八)(一〇〇)(一〇一)(一〇五)

工事施行上ノ注意ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ三件(九九)(一〇二)(一〇三)

物件購入代價ノ増價ヲ爲シ且不良品ヲ檢收シ運滞ノ責任ヲ免除シタルモノ一件(一〇六)

繼續費ニ非サル經費ヲ以テ數年度ニ涉リ一定金額ノ支出ヲ協定シタルモノ一件(一〇九)

其他不當ナルモノ二件(一〇四)(一一〇)

合計十三件

資本勘定

歳入

第一款 鐵道資金收入 第三項 雜收入

【報告】 (九六) 本項ニ於テ鐵道院ノ徵收ニ係ル

ハ大正七年四月東京市芝區山路某ノ請負ニ係ル西條線第六工區及同年八月久米合名會社ノ請負ニ係ル津和野線第六第八兩工區ノ建設工事費百拾四萬貳千餘圓ノ内僅ニ參拾參萬九千餘圓ノ工事ヲ成功シタルニ止リ尙八拾萬參千餘圓ノ未成部分アルニ對シ請負人ヨリ解約ヲ出願セル爲之ヲ許容シ違約金トシテ徵收シタルモノナリ抑右請負工事ハ其竣功期限ヲ前者ハ八年十月後者ハ九年六月及十年一月ト定メ請負人ヨリ本契約ノ解除ヲ請求シタルトキハ違約金トシテ請負金額ノ十分ノ一以內ニ於テ鐵道院ノ定ムル金額ヲ徵收スル約款ヲ設ケタルモノナルニ執モ物價勞銀ノ暴騰ヲ理由トシ契約解除ヲ出願セシヲ以テ山路某ニ對シテハ八年四月未成部分七萬八千七百餘圓ニ對シ參千七百餘圓久米合名會社ニ對シテハ同年五月未成部分七拾貳萬四千餘圓ニ對シ貳萬五千圓ノ違約金ヲ徵收シ之ヲ許容スルニ至リタルモノニシテ其違約金ハ未成部分ニ比シ僅ニ

五五八

六三三、二四九六〇

一、三三三、〇一九三〇〇

二、五二八、一七二八五六

一、二二二、五一七七七二

六三三、二九九一八二

一七七、九九四〇二〇

六〇、六八七五七〇

五〇四、四四二〇六九

三、四五八、一一三四六九

二八、七一九一〇〇

百分ノ四内外ニ當リ從來解約高ノ十分ノ一ヲ下ラサル程度ノ違約金ヲ徵收セル例ニ比シ甚シク寡少ニ失スルノミナラス各工區ニ對スル徵收割合亦一樣ナラサルヲ以テ鐵道大臣ニ對シ之カ事由ヲ質問セシニ其辯明ノ要旨ハ本件徵收率ハ物價勞銀ノ昂騰ニ因ル損失並工事進捗ノ程度等ヲ參酌シテ査定シタル結果區區ニ涉リタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ違約金ハ契約不履行ニ因ル損害賠償額ノ豫定ニ外ナラサルヲ以テ解約ニ依リ被ルヘキ國庫ノ損害程度ヲ考量スルハ格別請負人ノ既成工事ニ對スル損害ヲ標準トシ之ヲ増減スヘキモノニ非ス而シテ本件ハ孰モ請負人カ專ラ自己ノ利害ニ基キ其契約ヲ離脱シタルモノニシテ就中西條線第六工區ノ如キハ契約上ノ竣功期間五百六十餘日ニ對シ解約當時迄ニ三百五十餘日ヲ經過シ其成功高僅ニ三割餘ニシテ工程著シク遲滞シ請負人ニ於テ何等誠意ヲ盡シタリト認ムヘキモノナキノミナラス前記未成部分ノ工事ハ爾後之ヲ直營又ハ請負ニ付シ其豫算又ハ請負額ハ本件請負額ノ未成部分ニ比シ西條線第六工區ハ十割二分津和野線第六工區ハ四割八分同第八工區ハ八割一分ヲ増加セルノ計算ナリ然ルニ之ニ對シ違約金ノ徵收上多大ノ斟酌ヲ加ヘ之カ輕減ヲ爲スカ如キハ他ノ請負人トノ權衡ヲ失スルノミナラス契約ノ本旨ニ副ハサルモノニシテ其措置當ヲ得タルモノニ非ス要スルニ本件ハ契約上徵收スヘキ違約金ヲ輕減シテ解約ヲ爲シ國庫ニ損失ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辯明】 本件ハ契約締結後物價及勞銀暴騰シ且勞働者不足ノ爲請負人ニ於テハ其ノ工事ヲ進捗完成スルヲ得サル苦境ニ陥リタルニ依リ解約スルニ至リタルモノニシテ請負人ノ怠慢ニ依ルモノニアラサルカ故ニ契約條項ノ範圍內ニ於テ相當ト認メタル金額ヲ徵收シタルモノナリ仍テ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

歳出

第一款 鐵道建設及改良費 第一項 建設費

【報告】 (九七) 鐵道院ニ於テ決算額ニ編入ヲ要スルモノ本項ニ於テ

第二項改良費ニ於テ

大正八年度 帝國鐵道 (九七)

一、六一一、八一〇五五九

九一六、三六二二九七

五五九

アリ右ハ工事材料品ノ購入代建設工事請負工費及用地代ニシテ孰モ年度内仕拂ヲ爲スヘキモノナルニ本年度豫算ニ超過スルヲ以テ時ニ之ヲ翌年度ノ負擔ニ移シタルモノナリ即チ右ノ内工事材料品ノ購入ニ就テハ年度内用品基金所屬ヨリ購入ノ手續ヲ了シ現品ノ配給ヲ受ケ其所要運送費ハ決算ヲ了シ該物品中既ニ年度内所要工事ニ使用シタルモノアルニ拘ラス故ラニ物品請求券若ハ之カ決算ヲ取消シ或ハ用品基金所屬收入ニ振替未了ノ儘翌年度ニ繰越シ請負工事ニ就テハ年度内其出來高検査ヲ了シタルニ九年度ニ至リ検査シタルモノノ如ク調査ヲ作成シ用地代ニ就テハ既ニ登記ヲ了シ年度内仕拂ノ請求ヲ受ケタルモノナルニ之カ仕拂ヲ爲ササリシモノニシテ本年度豫算殘額建設費參拾六萬七千餘圓改良費參拾九萬七千餘圓ニ對シ甚シク其額ヲ超過シ豫算ノ經理宜シキヲ得ス且歲出所屬年度ヲ紊ルモノト認メ之カ事由ヲ鐵道大臣ニ質問セシニ其辯明ノ要旨ハ

大正八年度ハ歐洲戰爭終熄後初回ノ年度ニシテ之カ豫定計畫ハ特別ノ注意ヲ爲シタルモ戰後ノ經濟界ハ豫想ニ反シ意外ニ波瀾ヲ極メ豫算執行上周到ノ注意ト臨機ノ處置トヲ要シ就中工事材料品ノ調達困難ナリシ結果年年相當ノ未納繰越ヲ見込ミ準備シタル諸材料ニ豫想以上ノ納入アリ爲ニ配給物品ヲ貯藏品トシテ繰越スノ已ムヲ得サルニ至レリ而シテ其物品請求券又ハ決算取消ニ係ル物品ヲ決算前ニ使用シタルハ札幌保線事務所ニ於テ誤テ貸借ノ意味ヲ以テ使用シタル轉輸器ニ止リ又請負工事ニ在リテハ年度末迄ニ現場ニハ幾分ノ未拂出來高アリシモ當省債務ノ確定ハ工事物件ノ竣功受渡或ハ當省ノ任意ニ執行スル既成高検査ニ依ルモノナルヲ以テ歲出整理ハ凡テ法規ニ基キタルモノニシテ所屬年度ヲ混淆シタルコトナシ唯物品代ニ關シ其運送費ヲ既ニ建設改良費ニテ決算シ登記ヲ了シタル用地代ヲ未決算ト爲シタル誤扱若下アリシハ遺憾トスル處ナルモ建設改良ノ如キ繼續事業ニ在リテハ格別弊害ヲ認メス

ト謂フニ在リ然レトモ本件工事材料品ニ就テハ既ニ各決算負擔場所ノ所要工費用トシテ請求券ヲ發行シ配給ヲ受ケタルモノニ係レルヲ以テ從來ノ取扱上當然本年度ノ決算ニ整理スヘキモノニ屬シ之カ運送費ヲ本年度ノ決算ト爲シタルハ誤扱ニ非サルノミナラス甚シキハ既ニ當該年度内使用済ニ係ル物品ニ對シ單ニ形式上ノ取消ヲ爲シ其負擔ヲ翌年度ニ移スカ如キ

ハ法規ニ反スルモノニシテ辯明ノ如ク札幌保線事務所ニ止ルコトナキハ實地検査ノ際確認セル處ニシテ單純ナル誤謬ニ基クモノト認メ難シ又請負工事ニ在リテハ宮崎建設事務所ニ於ケル九萬四百餘圓ハ出來高検査官吏出張ノ事實ニ徴シ年度内既成高検査ヲ爲シタルモノナルニ九年度ニ至リ検査ヲ爲シタルモノノ如ク整理シタルモノニシテ此外既ニ請負人ニ於テ竣功届ヲ提出シ或ハ既成高検査ヲ願出タルニ對シ建設局ヨリ各建設事務所ニ對シ一般ニ方法ヲ指示シ之カ検査ヲ遅延シ年度内仕拂ヲ爲ササリシモノ頗ル多ク其額百萬圓内外ニ達シ又ハ保線事務所ニ於テ工事請負人ニ對シ代金ノ仕拂ニ代へ出來高證明書ヲ交付セルモノアルカ如キ事實ニ徴シ故ラニ事實ヲ作爲シ豫算超過ノ支出ヲ避ケタルモノト認メサルヲ得ス其他用地代ヲ未決算トシタルニ關シ當局者ハ建設改良ノ如キ繼續事業ニ在リテハ格別弊害ヲ認メスト謂フト雖此ノ如キハ繼續費年割豫算額ヲ無視シ所屬年度ヲ紊リタルモノニシテ不當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス要スルニ本件ハ經理宜シキヲ得ス豫算ノ不足ヲ免レムカ爲決算ヲ作爲シ其所屬年度ヲ混淆シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 歐洲戰爭中ニ於ケル鐵道建設及改良工費用材料品ノ調達ハ圓滑ヲ缺キ内地及外國注文品ノ數量及納期トモ契約通納入セラレサル場合多ク爲ニ事業遂行上支障ヲ來シ且建設及改良工事ノ如キモ遅延シタルモノ多カリシカ偶八年六月講和條約締結ニ至ルヤ之等材料品供給ノ情態一變シ豫期以上ニ納入アリタルヲ以テ建設及改良工事亦前年度ニ比シ大ニ進捗シタルトモ貯藏倉庫ノ關係上一部ノ材料品ヲ工事現場ニ送付シ貯藏セシメタルモノアリ而シテ斯ノ如キ異常ノ時機ニ際會シタルヲ以テ振替未了ノ物品代登記ヲ了シタル用地代並年度内出來高検査ヲ執行シタル工費用ニシテ未拂ノモノ等一少部分ノ誤扱アリタルハ甚タ遺憾トス要スルニ本件ハ帝國鐵道會計ノ經理上異常ノ措置ヲ講スルノ已ムヲ得サリシ次第ナリトス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

第二項 改良費

【報告】

(九八) 鐵道院及鐵道省ノ支出ニ係ル

四九三二二四〇一

ハ神戸外五鐵道管理局ニ於テ施行セル百九拾四廉ノ一般電燈増設工事及有馬療養所給水設備並新舞鶴中舞鶴兩停車場間電話線新設工費用ニシテ一旦收益勘定歲出第一款鐵道作業費第一項事業費中補充費支辨ト決定シタル後ニ至リ科目更正若ハ

大正八年度 帝國鐵道 (九八)

五六一

直決算ノ方法ニ依リ改良費ニ決算シタルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ鐵道大臣ニ質問セシニ其辯明ノ要旨ハ改良工事ハ特種
 工事ヲ除キ其實質ヨリ觀ルトキハ補充工事ト何等差異ナキ場合ナキニ非スト雖大體ニ於テ補充工事ハ既設物ノ補充施設ヲ
 目的トシ從來ノ沿革ニ徴スルモ主トシテ小改良工事トモ稱シ得ヘク隨テ其支辨費途ヲ變更スル場合アルハ免レサル所ナリ
 ト謂フニ在リ然レトモ一般電燈増設工事ノ如キハ現ニ大正七年度ニ至ル迄ハ補充費ヲ以テ支辨シ來リタルノミナラス九年
 度ニ於テモ亦之ヲ補充費ノ支辨ニ移シ尙本年度ニ在リテモ前年度ヨリ繼續施行ニ係ルモノハ依然補充費支辨ト爲セル事實
 アルニ本年度著手ノモノニ限リ之ヲ改良費ノ支辨ト爲シ又有馬療養所給水設備新舞鶴中舞鶴兩停車場間電話線新設及大阪
 驛構内工夫合宿所外九廉ノ電燈新増設工事ハ孰モ其主體工事ヲ補充費又ハ保存費ヲ以テ施行シタルニ拘ラス附帶工事タル
 此等工事ヲ改良費ノ支辨ト爲シタルハ當局者ノ便宜ニ基キ其費途ヲ變更シタルモノニシテ妥當ノ措置ト認ムルヲ得ス由來
 改良費豫算ハ小工事ニ就テハ綜合的ニ積算セルヲ以テ具體的工事ノ名稱明ナラサルモノアリト雖隨時ノ必要ニ依リ在來設
 備ノ補充ヲ目的トスル本件工事ノ如キハ之ヲ包含セサルコト明ニシテ其實質上何等差異ナキノ理由ヲ以テ其費途ヲ變更ス
 ルカ如キハ豫算ヲ無視スルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス
 【辯明】 本件工事ハ改良費中ニ計上セル電氣費ニ屬スル電燈通信等ノ設備費豫算ニ依リ支出セルモノト既設物ノ補充的施設トシテ前年度ヨリ繼續
 施行中ノモノニ對シ事業費中補充費ヨリ支出シタルモノトアルモ右ハ孰レモ豫算ノ目的ニ從ヒ夫々支出ノ項目ヲ異ニシタルモノニシテ當
 然ナリ但シ有馬療養所給水設備、新舞鶴中舞鶴兩停車場間電話線新設及大阪驛構内工夫合宿所外九廉ノ電燈工事費ヲ改良費支辨ト爲シタ
 ルハ誤撥ニ屬セリ本件ハ誤撥ノ分ヲ除キ其ノ他ハ豫算目的外ノ支出ニアラス
 【貴決】 異議ナシ
 【衆決】 承認
 (參照) ○會計法第十二條第一項(五〇六頁參看)

【報告】

(九九) 鐵道院ノ支出ニ係ル

三八一九五〇二〇

ハ函館停車場構内地先第二區埋築其他工事豫定費額貳拾貳萬六千四百拾六圓五錢參厘ノ内ニシテ四萬九千四百八拾四圓五
 拾參錢ハ大正七年度以前ニ拾參萬八千七百參拾六圓五拾錢參厘ハ九年度以降ニ屬シ外ニ本年度迄ニ價格六千九百拾九圓六
 拾參錢ノ材料ヲ使用セリ抑本工事ハ函館五稜郭間線路改良ノ一部タル函館停車場構内海陸連絡設備擴張ノ爲急施ノ要アリ
 トシ六年十月請負ニ付シ施行中一部設計變更ノ必要ヲ認メ船修繕場豫定地附近ノ地築埋土及之ニ關聯スル工事ハ七年八
 月以降中止ノ儘ニ委シタルヲ以テ既成埋築土砂ハ波浪ノ爲流出甚シク八年四月末ニ至リ假土留柵ノ施行ヲ決定シ工費九百
 七拾餘圓ヲ投シ十月竣功シタルモ土砂流出防止ノ效ナキヲ以テ九年八月更ニ五千四百餘圓ヲ以テ捨石及土俵積工ヲ追加施
 行スルト共ニ中止部分ノ請負契約ヲ解除スルニ至レルモノナリ右ハ措置當ヲ得サリシニ因ルモノト認メ之カ事由ヲ鐵道大
 臣ニ質問セシニ其辯明ノ要旨ハ

本工事著手後貨物ノ激増ニ鑑ミ從來ノ計畫ヲ變更改善スルノ要ヲ認メ先ツ函館工場ヲ五稜郭ニ移轉改良スルコトニ變
 更ノ結果船修繕場ノ位置其他ニ變更ヲ要スルニ至レルト新ニ貨車渡船連絡設備ノ機熟シ其設計決定後ニ非サレハ進行
 セシメ難キヲ以テ一部施工ヲ中止シ一面本埋築工事施行上不可分ノ關係アル函館五稜郭間線路變更ニ要スル用地其他ニ
 關シ北海道廳並函館區役所トノ交渉豫想ニ反シ急速ニ解決シ難ク自然設計變更ノ方針確定セサルノミナラス埋立工事ノ
 前進スルニ從ヒ防波堤ヲ築造スル等相當防護ノ方法ヲ講セサルヘカラサル關係モアリ遂ニ一部解約ヲ爲スノ已ムヲ得サ
 ルニ至レルモノナリ又埋築土砂ノ流出ニ關シテハ設計變更ノ決定近キニアルヘキヲ豫期シタルト流失土砂ハ多ク中止區
 域内ノ設計變更後埋立ツヘキ見込場所ナルニ依リ前述諸懸案ニシテ豫期ノ如ク進捗スルニ於テハ假防護ノ爲投スヘキ費
 額ノ却テ損失ニ歸スルナキヲ顧慮セルニ因ルモノニシテ畢竟諸種ノ懸案豫想外ニ解決遲延セルニ胚胎スルモノナリ
 ト謂フニ在リ然レトモ右ハ縱ヒ答辯ノ如キ事情アリトスルモ工事中止後三箇年ヲ經過セル今日尙其設計確定スルニ至ラス
 ト謂フカ如キハ當初連絡貨物ノ激増ニ應スヘキ當面ノ急ヲ救フニ必要ナリトシ設計シタル趣旨ヲ沒却セルノミナラス函館
 五稜郭間線路變更ニ伴フ用地其他ニ關スル關係廳所トノ交渉ハ元年以來ノ懸案ニ屬シ其解決容易ナラサルハ既往ノ經過ニ
 徴シ明ナルニ拘ラス漫然工事ニ著手シ尙著手後ニ於テモ其解決近キニ在リトシ多量ノ埋築土砂流出スルノ事實アルニ拘ラ
 ス速ニ防禦工ヲ施サス爲ニ多額ノ工費ヲ損失ニ歸セシメ結局設計變更決定ノ時期豫想シ難キニ及ヒ遂ニ工事中止部分ノ請

負契約ヲ解除スルノ已ムナキニ至ラシメタルハ畢竟工事施行上ノ注意周到ヲ缺キタルニ基因スルモノト認メサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】 本件埋築工事ノ著手後其ノ計畫變更ヲ要スルニ至リタルハ貨物豫想以上ニ激増スル狀況ニ徴シ函館停車場ノ水陸連絡設備上當然ノ措置ニシテ本工事中右計畫變更ノ爲中止セル部分ハ約三分ノ一ニ止マリ他ノ埋築工事ハ當初ノ計畫通其ノ工程ヲ進捗シ一部ハ軌條敷設ヲ爲シ十年二月ヨリ客車收容及石炭到着線トシテ使用シ之カ爲同驛到着貨物荷捌上多大ノ便益ヲ擧ケ他ノ一部ハ十年七月中竣功シ材料置場トシテ使用シ居レルニ拘ラス中止部分ニ付テハ北海道廳及函館區ト交渉ヲ重ヌルモ豫期ノ通解決スルニ至ラサルモノト認メタルニ依リ一時契約ヲ解除スルノ措置ヲ採ルノ已ムヲ得サルコトナリタルハ遺憾トスル處ナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】 (100) 鐵道院ノ支出ニ係ル

三、八、七、四、九、五〇一

ハ足尾線大間々原向間線路法張石新設原向足尾兩驛合宿所新築木更津線姉ヶ崎檜葉間海岸石垣改築及東海道本線茅ヶ崎平塚間三十八哩二十鎖附近築堤防護等ノ工費貳拾萬八千五百拾壹圓六拾六錢壹厘ノ内ニシテ拾六萬九千九百貳拾八圓貳拾四錢六厘ハ大正七年度ニ百參拾參圓九拾壹錢四厘ハ九年度以降ニ屬スルモノナリ右大正七年度檢査報告ニ詳悉セシ如ク當初收益勘定歳出第一款鐵道作業費第一項事業費ヲ以テ施工シ若ハ施工スヘク決定シタルモノナルニ爾後其益金ヲ増加セシムルカ爲特ニ之ヲ本費支辨ニ變更シタルモノニシテ前掲足尾線ノ如キハ同年度新ニ買收セル線路ニ屬シ既定改良費豫算中此等ノ工費ヲ包含セサルコト明ナルノミナラス木更津線及東海道本線ニ於ケル工事モ亦孰モ風水害ノ復舊目的トスルモノナルヲ以テ當然收益勘定ノ費途ニ屬シ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非ス依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス(大正七年度(五七)四一五頁參看)

【辯明】

本件ハ前年度檢査報告ニ對シ辯明セシカ如ク足尾線大間々原向間線路法張石新設、原向足尾兩驛合宿所新設工事費ハ改良費支辨ト爲スヲ相當トシ又木更津線姉ヶ崎檜葉間海岸石垣改築及東海道本線茅ヶ崎平塚間三十八哩二十鎖附近築堤防護工事亦單ニ風水害ノ復舊ノミニ止マルモノニアラサルヲ以テ改良費支辨ト爲スヲ相當トス仍テ本件ハ豫算目的外ノ支出ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

(參照) ○會計法第十二條第一項(五〇六頁參看)

【報告】 (101) 鐵道院及鐵道省ノ支出ニ係ル

三、三、七、四、〇、二、五〇

ハ足尾線上神梅水沼間九哩二十一鎖附近線路護岸石垣新設外六箇所工事豫定費額四萬四千六百九圓拾七錢六厘ノ内ニシテ壹萬八百六拾八圓九拾貳錢六厘ハ大正九年度以降ニ屬シ外ニ價格八千六百六拾六圓五拾六錢八厘ノ材料ヲ使用セリ右工事ハ七年度ニ於テ新ニ買收ニ係ル足尾線内ニ施設シタルモノニシテ既定改良費豫算中ニ包含セサルコト明ナルヲ以テ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非ス依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス

【辯明】

本件既成線路改良工事費ハ改良費中線路及建造物費支辨ト爲スヘキモノニシテ豫算目的外ノ支出ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○會計法第十二條第一項(五〇六頁參看)

【報告】 (1011) 鐵道院ノ支出ニ係ル

一、七、八、二、七、三、七〇

ハ新潟市木戸某外二名ノ請負ニ付シ施行シタル磐越西線五十島馬下間及荻野豐實間豐實日出谷間防雪工事費貳拾壹萬參千六百七拾九圓參錢ノ内ニシテ拾九萬五千八百五拾壹圓六拾六錢ハ大正七年度以前ニ屬シ外ニ價格六萬四千參百九拾六圓拾錢八厘ノ材料ヲ使用セリ右大正七年度檢査報告ニ詳悉セシ如ク工費用混凝土ノ調査ハ他ニ實例ナキ割合ニ依リ其硬化ハ施行後約一箇年ヲ要スト自認セルニ拘ラス之ヲ年末寒氣ノ候ニ施行シ設計及施工其當ヲ得サリシモノト認メラルノミナラス工事監督ニ從事セル鐵道院技手渡邊某及雇岡沼某等ハ請負人ヨリ屢金品ヲ收賄シ又ハ酒食ノ饗ヲ受ケ就中請負人水戸某ノ用人等方相結託シテ官給「セメント」ヲ窃取セル不正行爲ヲ默視セルノ事實アルモノニシテ其功程僅ニ四五分ニシテ額零ニ因リ既成部分ヲ崩壞セラレ其損失額ハ請負工費ノミヲ以テスルモ五千餘圓ニ及ヒ既成部分ノ撤去改修工費並官給材料損失額等ヲ加算スルトキハ壹萬七千餘圓ニ及ヘルモノナリ要スルニ本件ハ工事ノ施行上適當ノ注意ヲ缺キ且其監督粗慢ナリシカ爲多額ノ工費ヲ無効ニ歸セシメタルモノニシテ不當ナリトス(大正七年度(五八)四一六頁參看)

【辨明】 本件ハ前年度検査報告ニ對シ辨明セシカ如ク大正六年七月ヨリ起工降雪前ニ完成スルノ豫定ナリシニ當時「セメント」ノ供給不十分ナリシニ依リ中途之ニ代ヘ凝結速度幾分劣レル火山灰及石灰ヲ混用スルノ已ムヲ得サルニ至レリ然レトモ火山灰及石灰混用ノモノハ其ノ初期ニ於テハ凝結速度著シク大ナルヲ以テ通常積雪ノ襲來スル時期(三、四月頃)マテニハ相當硬化スル見込ナリシナリ隨テ工事設計及施行ノ時期等ニ付キテハ別段遺漏アリト認ムルコトヲ得ス然ルニ工事關係者中不正者ヲ出シタル爲擁壁ノ破損力寧ろ類雪ノ破壞力ニ起因シタルモノニ非サルヘシトノ感ヲ懷カシムルハ遺憾トス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス
【衆決】 承認

【報告】 (1011) 鐵道院ノ支出ニ係ル

七、二七六、七九二

ハ小野濱停車場擴張工事ノ内海面埋立其他工事ニ於テ護岸据附用トシテ製作シタル混凝土方塊中凝結不良ニシテ其用ヲ爲ササリシ三百八十六箇體積約七十四立坪ノ工費損失額九千九拾壹圓貳拾壹錢六厘ノ内ニシテ千九百拾四圓四拾貳錢四厘ハ前年度ニ屬スルモノナリ右ハ大正七年度検査報告ニ詳悉セシ如ク品質粗悪ノ「セメント」ヲ使用シタルカ爲多額ノ工費ヲ無効ニ歸セシメタルモノニシテ不當ナリトス(大正七年度六〇四一八頁參看)

【辨明】 本件ハ前年度検査報告ニ對シ辨明セシカ如ク東亞セメント株式會社製造ノ「セメント」ハ鐵道省所定ノ規格ニ適合シタルモノナルモ他會社製品ニ比シ此ノ種工事ニ對シテハ其ノ品質適當ナラサル結果ヲ示シタルハ遺憾トス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】 (1014) 鐵道院ノ支出ニ係ル

四、四四二、〇六九

ハ東京市京橋區鹿島某ニ請負ハシメタル北千住龜有間荒川橋梁架設第一回橋臺橋脚新設其他工事及同區鈴木某ニ請負ハシメタル龜戸小岩間荒川及新中川橋梁架設第一回橋臺橋脚新設工事ニ關シ橋脚井筒沈下中設計深度ニ達セサル以前ニ於テ試驗荷重ニ耐ユルニ至リシ橋脚ニ對シ所定高以上過積ト爲リタル頭部煉瓦積請負工事費及之カ取毀ヲ爲シタル工費合計六千六百拾七圓六拾壹錢四厘ノ内ニシテ千七百貳拾五圓五拾四錢五厘ハ大正九年度以降ニ屬シ外ニ價格七千百圓五拾八錢ノ官給品ヲ併セ總計壹萬參千貳百六拾八圓九錢四厘ノ損失ヲ來シタルモノナリ右ハ請負人ノ負擔ニ屬スヘキモノト認メ之カ

事由ヲ鐵道大臣ニ質問セシニ其辯明ノ要旨ハ井筒沈下基礎工ハ現場試掘ヲ爲シ其深度ヲ豫定シ實施ニ臨ミ最後ノ煉瓦疊積ハ其前迄ノ沈下狀態ヲ斟酌シ最終ノ煉瓦疊積高ヲ推定シ請負人ニ命シテ之ヲ疊積セシメ井筒ノ沈下ヲ繼續シタルニ數尺沈下ノ後周圍土砂ノ摩擦力及底部土砂ノ支持力張大ト爲リ試驗荷重若ハ夫レ以上ノ荷重ヲ積載シタルモ沈下セス井筒トシテ相當ノ深度ニ沈降シ且十分ナル支持力ヲ有シ目的ヲ達シタルヲ以テ既定設計ノ深度ニ達セシムルヨリハ過積取毀費用ヲ仕拂フモ設計ヲ變更シ沈下ヲ短縮スルヲ得策ト認メタルニ因ル即チ此場合ニ於テ疊積シタル煉瓦積ハ豫定通り沈下スル必要ナキヲ認メ設計變更ヲ命シ沈下餘部ヲ取毀タシメタルモノナルニ由リ煉瓦積トシテ積立テ及之ヲ取毀タシメタル各坪數即チ仕事ノ結果ニ對シ代價ヲ仕拂ヒタルハ當然ナリト認ムト謂フニ在リ然レトモ本件請負契約ノ内容ヲ觀ルニ井筒沈下ノ設計深度ハ單ニ概數ヲ示セルニ過キスシテ實施ニ當リ一定ノ荷重試驗ヲ以テ其深度ヲ定メ井筒ノ長ハ設計上所定ノ高ニ對シ一呎以内ノ高低ヲ許セル頂端ヨリ双口下端迄トシ此精算數量ニ基キ請負金額内譯書記載ノ單價ニ依リ算出シ請負金額ヲ増減スヘシト定メタルヲ以テ本件ノ如ク既ニ基礎工トシテ目的ヲ達シタル程度ニ沈降シ其頂端ノ設計高以上ニ及ヘル過積部分ハ請負人ノ負擔ニ於テ之ヲ取毀テ所定高ニ仕上ケシムヘキハ當然ノコトニ屬シ其手戻費用ハ官ノ負擔ト爲スヘキモノニ非ス當局者ノ辯明ニ依レハ最後ノ煉瓦疊積ヲ爲スニハ直前ノ沈下狀態ヲ斟酌シ最終煉瓦疊積高ヲ推定シ請負人ニ命シテ之ヲ疊積セシメタルト謂フト雖荷重試驗ハ請負人ノ執行スヘキ義務ニ屬スルヲ以テ疊積高ヲ推定シテ之カ疊積ヲ命スヘキモノニ非ス假ニ此ノ如キ命令ヲ爲シタルトセハ本件孰ノ橋脚ニ微スルモ最終荷重試驗ノ結果ハ最高二寸七分以内ノ沈下ニシテ或ハ全ク沈降セサルノ狀況ナルニ多キハ十呎内外ノ過積ヲ爲シタルモノニシテ施工監督上注意ノ周到ヲ缺キタルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 本件井筒沈下ノ如キ地中ノ基礎工事ハ當初現場試掘ヲナシ其ノ深度ヲ見込ミ設計スルモ施工ニ當リ其ノ深度ニ變更ヲ來スヲ常トスルヲ以テ本件基礎工事ニ付テハ地質上特ニ周到ノ注意ヲ用キタリ然ルニ設計深度ヲ目標トシテ工事ニ著手シ漸次煉瓦疊積ヲ進メタルトコロ豫定深度ニ達セスシテ適當ナル支持力ヲ得タルヲ以テ寧ろ當初ノ設計深度ニ達セシムルヨリハ既成煉瓦積ヲ取毀ツヲ有利ナリトシ沈下作業ヲ停止シ且煉瓦積剩餘部分ヲ廢却スルコトト爲シタルモノニシテ右ノ爲ニ要シタル支出ハ何等不當ニアラス

【報告】 (一〇五) 鐵道院及鐵道省ノ支出ニ係ル

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 承認

一七〇五^四六二〇

ハ兵庫驛構内職員食堂新設名古屋鐵道管理局廳舍附屬湯沸所設備及同水道設備等ノ工事費六萬七千七百七拾貳圓參拾八錢ノ内ニシテ六萬六千六拾六圓七拾六錢ハ大正九年度ニ屬スルモノナリ右ハ時局以來物價ノ昂騰甚シキヲ以テ從業員ノ生活ヲ緩和シ其保健ヲ計ルカ爲簡易食堂ヲ普及セムトシ之カ設備ハ改良費支辨トスルノ方針ニ基キ本年度ヨリ施行シタルモノナルモ前年度ヨリ繼續施行ニ係ル鐵道院廳舍附屬食堂新築其他工事ハ收益勘定鐵道作業費支辨トシ彼此取扱ヲ異ニスルヲ以テ之カ事由ヲ鐵道大臣ニ質問セシニ其辯明ノ要旨ハ簡易食堂ノ建築ハ從業員待遇上漸次大設備ヲ要スルニ至レルヲ以テ一定計畫ノ下ニ改良費支辨トシタルモノニシテ七年度中直轄施行シタル鐵道院廳舍食堂其他工事ハ右計畫外工事ニシテ作業費支辨ヲ適當ト認メ施行シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ近時當局豫算運用ノ蹟ヲ觀ルニ資本勘定歲出第一款鐵道建設及改良費第二款改良費ト收益勘定歲出第一款鐵道作業費第一項事業費中補充費トノ間ニ於テ豫算上ノ區分ヲ無視シ同種工事ニ對シ同一年度ニ於テハ改良費支辨トシ一ハ補充費所屬トシ或ハ前年度ニ於テハ補充費支辨ナルヲ後年度ニ於テハ改良費所屬ト爲ス等其費途ヲ混淆スルモノ益多キヲ加フルノ狀況ニシテ當局者ハ單ニ一定計畫ノ有無ニ依リ之ヲ區別スト謂フト雖前年度ヨリ繼續施行ニ係ル同種工事ニ對シテハ補充費支辨トシ本年度ニ於テハ改良費豫算積算上之ヲ變更シタルノ事實ナキヲ以テ之ヲ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非ス依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス

【辯明】

從來從事員ノ爲補充費支辨ニ依リ小規模ノ食堂ヲ設備シタルモ時勢ニ順應スル爲其ノ生活費ノ輕減、保健ノ増進ヲ圖リ延テ能率ヲ向上セシムル必要上漸次範圍ヲ擴張シ一定計畫ノ下ニ相當規模ノ設備ヲ爲スコトトシ隨テ本年度ヨリ其ノ工事ノ性質ニ從ヒ改良費支辨トナスヲ相當ト認メタルニ依ル仍テ本件ハ豫算目的外ノ支出ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○會計法第十二條第一項(五〇六頁參看)

【報告】 (一〇六) 鐵道院及鐵道省ノ支出ニ係ル

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 承認

一七七、九九四^四〇二〇

ハ株式會社大島製鋼所ヨリ購入セル板型車輪二千箇代價四拾壹萬七千四百圓ノ内ニシテ貳拾貳萬貳千四百七拾四圓貳拾錢ハ大正七年度ニ壹萬六千九百參拾壹圓七拾八錢ハ九年度ニ屬スルモノナリ右ハ大正七年度檢査報告ニ詳悉セシ如ク契約後既ニ十數箇月ヲ經過シタルモノニ對シ會社ノ情願ヲ容レ之カ仕様ヲ變更シ代價ノ増増ヲ爲シタルノミナラス其納品ハ使用後幾クナラスシテ疵又ハ氣孔等危險ノ狀態ヲ發現スルモノ漸増シ磨耗限度ニ達スルヲ待タス之ヲ外輪附ニ改造スルノ已ムナキニ至レルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス(大正七年度(六一四一九頁參看))

【辯明】 本件ハ前年度檢査報告ニ對シ辯明セシカ如ク時局ノ影響ニ依リ鐵道用品殊ニ車輛材料ノ供給ヲ得ルコト極メテ困難ニシテ本件製作工場ノ如ク經驗ニ乏シク製品價價ノ劣ルモノヲ採用スルノ已ムヲ得サリシ際ニシテ多少ノ納期延長及幾分他會社ノ製品ニ及ハサルハ免レサル所ナリ而シテ偶十噸短軸ニ代フルニ十噸長軸ヲ使用スルコトニ省議確定ノ折柄請負會社ヨリ請願アリシヲ幸ヒ時宜ニ適セル樣設計ヲ改メシモノニシテ其ノ改定單價ハ時價ニ比シ著シク安價ナルノミナラス檢査ニ當リテモ適當ノ順序方法ヲ踏ミシモノナルヲ以テ其ノ間何等不良品ヲ默許セシ事實ヲ認メス仍テ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 承認

收益勘定

歳入

第一款 鐵道作業收入 第一項 運輸收入

【報告】 (一〇七) 鐵道院ノ徵收ニ係ル

一三二七、九七五^四二四〇

ハ連帶運輸ノ爲臺灣總督府鐵道部外三箇所南滿洲鐵道株式會社外百二十五會社ニ拂戻スヘキ假收入金ニシテ年度内拂戻未済ニ屬シ大正九年度ニ至リ之カ拂戻ヲ爲スニ至リタルモノナリ右ニ對シ鐵道大臣辯明ノ要旨ハ八年度營業ノ好成绩ハ延テ諸拂戻金ノ増加ヲ來シ豫算ノ關係上同年度ヨリ支出スルコトヲ得サリシ爲己ムヲ得ス翌年度ニ於テ之カ拂戻ヲ爲シタルモノ

大正八年度 帝國鐵道 (一〇六)(一〇七)

五六九

ノナリト謂フニ在リ然レトモ此等ノ科目ニ對スル歲出豫算ノ不足ニ關シテハ之ニ應スヘキ相當ノ途アルヲ以テ豫算ノ關係
上本年度決算額ニ整理スルコトヲ得サリシ正當ノ事由アリシモノト認メ難ク之ヲ翌年度ノ歲出ニ整理スルカ如キハ年度所
屬ヲ紊リ且實質上益金ニ非サル假收入ヲ以テ收益勘定ノ益金ニ計算セラルルノ結果ト爲リ現ニ本年度ニ於テハ前掲百參拾
壹萬餘圓ハ之ヲ益金ニ併算シ資本勘定ニ繰入レ以テ鐵道ノ建設改良資金ニ充當セラルルニ至リシモノナリ依テ本件ハ不當
ナリトス

【辨明】 本件連帶運輸收入拂戻金ヲ包括セル諸拂戻及立替金歳出豫算ノ不足ニ對シ六百萬圓ノ豫算超過支出ノ手續ヲ了シタルニ拘ラス連帶運輸收
入拂戻金ハ本年度ニ於ケル豫期以上ノ増加ト且其ノ收入後連帶運輸ヲ爲シタル官衙、會社ノ收入相殺計算カ年度經過後整理期間内ニ全部
完了スルニ至ラサリシトニ因リ本件拂戻未済金多額ニ上ルニ至リ検査報告ノ如キ結果ヲ生シタルモノニシテ事情全ク已ムヲ得サルモノト
ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

第二項 雜收入

【報告】 (一〇八) 本項決算額ノ外鐵道院ニ於テ收入ニ至ラサルモノ

六三二四^四九六〇

アリ右ハ富山礦業事務所岸某ニ對シ貸付シタル十八封度軌條五千二百餘本及同附屬品ニ對スル貸付料並同人ノ請願ニ基キ
施行シタル糸魚川停車場構内石炭積込用側線敷設工事費及同人ニ對シ貸付シタル魚津所在鐵道用地八千七百餘坪ノ使用料
ニシテ孰モ收入未済ニ屬スルモノナリ抑本件軌條類ハ明治四十年十二月鐵道院ニ於テ陸軍省ヨリ借受ケタルモノニシテ大
正五年八月ヨリ八年七月ニ至ル間料金一箇月百六拾七圓參拾七錢ノ割合ヲ以テ前記岸某ニ轉貸シ契約期間滿了ノ際ハ同
品種ノ新品ヲ以テ返還セシムルコトヲ約シ又糸魚川停車場構内石炭積込用側線工事ハ同人ノ請願ニ基キ其費用ヲ請願者ニ
負擔セシムル契約ノ下ニ六年十月中工費四千五百餘圓ヲ以テ之ヲ完成シ魚津所在土地八千七百餘坪ハ一箇年坪當五錢ノ割
合ヲ以テ五年六月貸付シタルモノナリ然ルニ軌條類ハ契約期間滿了後二箇年餘ヲ經過セルモ尙現品ノ返還ヲ受ケサルノミ
ナラス前掲軌條類及土地ノ貸付使用料並請願工費等一切收入ニ至ラサルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ

要旨ハ越後方面ハ石炭價格不廉ナルヲ以テ該地方ニ炭山ヲ開掘セシメ價格ヲ牽制スルノ必要アルヲ感セシ折柄富山礦業事
務所所有ノ鑛區ハ有望ナルヲ認メ該石炭ノ購入契約ヲ締結スルト共ニ其炭坑ハ搬出極テ不便ノ地ニ在ルヲ以テ供給ヲ容易
ナラシムル爲本件軌條類ヲ貸付シタルモノナリ然ルニ成績豫期ニ反シ甚シク不良ニシテ到底使用ノ見込ナキニ至リシヲ以
テ遂ニ其契約ヲ解除シ貸付軌條類ニ就テハ契約期間滿了ノ際約款ニ基キ新品ヲ以テ返還スヘキ旨ヲ通シ爾後屢督促ヲ加フ
ルモ未タ返還ニ至ラス其他請願工事費並貸付使用料等ニ關シ同様督促ヲ加フルモ納入ニ至ラサルモノナリト謂フニ在リ然
レトモ同坑產炭ハ六年十一月中鐵道院糸魚川外三機關庫ニ於テ試焚シタル成績ニ徵スレハ列車運轉用ニ使用シ能ハサルハ
勿論點火用若ハ煖爐用ニモ適セサル不良品ニシテ到底使用ノ見込ナシトアルニ由テ之ヲ觀ルニ當初炭質ニ就テハ嚴密ナル
調査ヲ爲サス漫然石炭ノ購入契約ヲ締結シタルカ爲遂ニ本件ノ如キ事實ヲ生スルニ至リシモノニシテ殊ニ該軌條類ハ陸軍
省管理ノ戰用品ニ屬シ之ヲ民間ニ轉貸スルハ同省ノ承諾シタルコトナキモノナルニ鐵道院ニ於テ一切ノ責任ヲ負擔シ何等
ノ擔保ヲ徵スルコトナク之ヲ個人ニ轉貸シ價格六萬參千八百餘圓ニ相當スル現品ノ返還ヲ受クルコト能ハス惹テ前掲貸付
使用料並請願工事費等學ケテ之ヲ徵收スルコト能ハサルニ至ラシメタルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

但シ本件ニ付テハ契約履行及損害賠償請求ノ訴訟ヲ提起シ目下裁判繫屬中ナリ

【貴決】 對來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

歳出

第一款 鐵道作業費 第一項 事業費

【報告】 (一〇九) 鐵道省ノ支出ニ係ル

六〇、六八七^四五七〇

ハ白石川改修工事費分擔金年割額トシテ宮城縣ニ仕拂ヒタルモノナリ右ハ大正六年度以降検査報告ニ詳悉セシ如ク縣ノ計
畫ニ係ル河川改修工事ニ對シ繼續費ニ非サル本費ヲ以テ數年度ニ涉リ之カ補助ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス〔大正七年
度(六二〇四二二頁參看)〕

【辨明】 本件ハ大正六年度以降毎年度検査報告ニ對シ辨明セシカ如ク宮城縣ニ工事ヲ託委シ其ノ費用ヲ仕拂ヒタルモノニシテ補助ヲ爲シタルモノニアラス又繼續費ニアラサル事業費ヲ以テ數年度ニ亙リ支出セシハ縣事業計畫ノ數年度ニ亙ルモノナリシ爲己ムヲ得サルニ出テシモノニシテ事業費津算成立ニ伴ヒ之ヲ支出スルモノナリ仍テ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 承認

第二項 利子及債務取扱諸費

【報告】 (一一〇) 本項決算額ノ外鐵道院ニ於テ支出ヲ要スルモノ

五〇〇,〇〇〇.〇〇〇

アリ右ハ大藏省預金部ヨリノ借入金壹千萬圓ニ對スル利子相當額ニシテ年度内未拂ニ屬スルヲ以テ之カ事由ヲ鐵道大臣ニ質問セシニ其辨明ノ要旨ハ仙北鐵道買收公債ヲ發行セルト大正八年度所要公債發行期日繰上ノ關係トニ依リ豫算ニ不足ヲ生シ遂ニ年度内ニ於テ之カ繰入ヲ爲スコト能ハサルニ至レルモノナリト謂フニ在リ然レトモ本件利子ハ當初ヨリ本項豫算ニ積算セルモノナルニ反シ仙北輕便鐵道買收公債發行期日繰上ニ對スル利子ハ其見積リナク第四十二回帝國議會ニ追加豫算ヲ提出セシモ議會解散ノ爲不成立ニ終リシモノナルヲ以テ其豫算ノ不足ニ關シテハ別ニ之ニ應スヘキ相當ノ途ヲ講スルヲ要シ既成豫算ニ積算セル利子ノ仕拂ヲ翌年度ニ繰延ヘ豫定以外ノ利拂ヲ爲スカ如キハ經費ノ年度所屬ヲ混淆スルモノニシテ措置其當ヲ得タルモノニ非ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 本件ハ仙北鐵道買收公債ノ發行ト八年度公債發行期日ノ關係トニ依リ豫算ニ不足ヲ生シ相應ノ措置ヲ採リタルニ拘ラス翌年度ニ於テ國債整理基金特別會計ニ繰入ルルノ已ムヲ得サルニ至リタルヲ遺憾トス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 承認

官 金

國庫金預入利率ノ協定其宜シキヲ得ス國庫ニ不利ヲ來シタルモノ一件(一一一)
其他不當ナルモノ一件(一一二)
合計二件

【報告】

(一一一) 大藏省ニ於テ一般會計並預金部國債整理基金臨時國庫證券收入金各特別會計所屬餘裕金ヲ内地ニ於テ日本銀行ニ預入シタルモノ前年度ニ引續キ頗ル巨額ニ上リ其額特別用途ヲ指定シタルモノヲ除キ各月平均最高大正九年三月參億參拾五萬餘圓最低八年十月壹億貳千四百四拾參萬餘圓全年平均壹億八千六百貳萬餘圓ナルニ之カ預入利率ハ保證準備兌換券發行稅ニ相當スル年一分二厘五毛ノ低率ヲ襲踏セリ右ハ大正六年度以降検査報告ニ詳悉セシ如ク繼續的ニ巨額ノ預入ヲ爲スニ至レルノ狀態ナルニ拘ラス依然舊時ノ利率ヲ墨守セルモノニシテ不當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス元來預入利率ハ時ノ狀勢ニ照シ相當ニ定ムヘキモノニシテ之カ改定ハ當局者辯明ノ如ク敢テ制度ノ改正ニ決ツテ要セス若日本銀行ニ於テ右國庫金ノ預入ナカリセハ年度内制限外發行高平均壹億五千四百五拾六萬餘圓ノ外更ニ壹億八千貳百拾參萬餘圓ノ制限外發行ヲ必要トシ之カ爲負擔スヘキ制限外發行稅額ハ千七百七拾萬餘圓ニ上リ内預入金利子貳百貳拾八萬餘圓ヲ差引キタル殘額九百四拾貳萬餘圓ハ國庫金ノ利用ニ因リ同行ノ利益ト爲リタル計算ナリ而シテ同行ニ於テハ國庫預金ノ激増ト共ニ著シク外國爲替貸付金ヲ増加シ同行營業週報ニ依レハ年度内平均參億四百參拾壹萬餘圓ニ達シ之カ貸付利率ハ從來二分乃至六分五厘ナリシヲ更ニ本年度中ニ引上ケ竟ニ千五百萬圓迄ハ年二分千五百萬圓以上壹億圓迄ハ日本銀行商業手形割引歩合ニ依リ壹億圓以上ハ五千萬圓毎ニ日歩一厘ヲ加フルコトニ改メタルニ徴シ國庫金ノ預入利率ハ頗ル低キニ失スルコト明ナリ要スルニ本件ハ國庫金預入利率ノ協定其宜シキヲ得ス多大ノ不利ヲ來シタルモノニシテ不當ナリトス(大正六年度(五四)三二九頁及七年度(八六)四四七頁參照)

【辨明】

本年度ニ於テ一般會計、預金部、國債整理基金及臨時國庫證券收入金各會計ニ於テ餘裕金ヲ内地ニ於テ日本銀行ニ當座預入セシハ國庫ニ多額ノ資金ヲ死藏スルキハ徒ニ兌換券ノ發行高ヲ増加セシメ金融界ニ於ケル感覺上面白カラサル所ナルヲ以テ從來荷國庫ニ餘裕アル場合ニ於テ之ヲ日本銀行ニ預入シ其ノ預入利率ハ日本銀行力之ニ因リ免ルヘキ保證準備發行稅ニ相當スル年一分二厘五毛ノ割合ヲ以テ納入セシムルヲ例トシタルモノニシテ政府ニ於テモ國庫制度ノ改正ニ伴ヒ大正十一年度ヨリ適當ノ改正ヲ加フル方針ナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 承認

【報告】 (一一二) 逓信省所管各遞信局及爲替貯金局等ニ於テ其所屬歲入金ノ本年度收入濟額ヲ大正九年六月三十日迄ニ金庫ニ拂込ヲ了セサルモノ八百七拾四萬餘圓ノ多額ニ上リ十年六月ニ至ルモ尙四百參拾萬餘圓ヲ存セルノ外九年度分歲入金ニ於テ

大正八年度 官金 (一一一)(一一二)

八拾錢建物三千三百六十坪餘此價格四拾五萬參千七百六拾參圓六拾錢以上合計價格五百貳萬千八百貳拾圓四拾錢ニ對シ會社提供ノ土地七十五萬坪此價格百貳萬五千圓專用鐵道線路路盤構築及軌條準備此費額八拾萬圓建築工費限度參百貳拾萬圓以上合計價格五百貳萬五千圓ト爲シ尙之カ交換完成期間ヲ四箇年ニ延長スルニ至リ同年十一月專用地野積地及建物ノ各一部ノ引渡ヲ行ヒ其他ハ交換未了ニ屬セリ右ハ不用ノ土地建物ハ之ヲ賣却シ必要ナル設備ハ別途豫算ニ計上シテ之ヲ實施スルヲ相當トシ且本件交換ハ官有財産管理規則ニ違背シ交換價格ノ算定亦當ヲ得サルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ

大連所在軍用地ハ地積狹少ニシテ將來軍事ノ要求ニ適セス諸建物モ亦移轉改増築ヲ爲スノ必要ニ迫レルト共ニ一面該地ヲ解放スルハ同市ノ發展上緊要事トスルノ情勢ニ在リ此等ノ要求ヲ充サムカ爲ニハ該地方ニ於テ特殊地位ヲ有スル南滿洲鐵道株式會社ヲシテ一括實施セシムルヲ最妥當ト認メ該會社ト軍用地解放ニ關スル交換契約ヲ締結シタルモノナリ而シテ關東州ニ於ケル官有財産ノ管理ニ關シテハ該地方ノ事情之ヲ許ス限リ主義トシテ官有財産管理規則ノ精神ニ準據スルヲ可トスルモ本件交換ニ於テ土地以外ノ營造物建物及債權ヲ內容ト爲シタルハ本件ノ如ク軍事上ノ要求ヲ急途ニ充足セシムルノ必要アルモノニ在リテハ已ムヲ得サルモノアリタルト交換相手方ハ前記ノ如ク特殊地位ヲ有スル會社ナルヲ以テ交換契約ノ履行ニ關シ何等ノ不安ナカリシニ因ル又交換地ノ評價ニ關シテハ前契約ハ六年九月本件軍用地整理ニ關スル實地調査委員ノ調査ヲ基礎トシ之ニ爾後狀況ノ變移ヲ參酌シ相互ノ價格略相均シキモノト認メタルモ契約締結後ニ於テ會社ハ本社ノ建物狹隘ナルヲ以テ之カ擴張ノ爲其隣接地ニ存在スル大連支庫敷地ヲ地上建物ト共ニ追加交付ヲ受ケ之カ代償トシテ會社受入豫定ノ專用地上西倉庫敷地ノ一部ヲ受入地ヨリ除外シ且追加交付地上ノ建物移築費ヲ負擔セムコトヲ申出テ陸軍ニ於テモ諸般ノ關係上之ヲ有利トスルノミナラス前契約ニ於テ基礎トシタル評價ハ同市ノ急速ナル發展ニ伴ヒ現況ニ適セサルモノアリテ相互ノ負擔較均等ヲ缺クニ至レルヲ以テ會社ノ提案ヲ是認シ之ニ伴ヒ契約ヲ改定スルヲ適當ト認メ會社ノ建築費負擔額ヲ參百貳拾萬圓ニ増加セルハ大連支庫應舍宿舍ノ交付ニ伴ヒ之ニ代ハルヘキ同等ノ

建物其他ノ新築ヲ要スルト前契約ニ依リ移轉改増築ニ要スル建築費ハ物價ノ急激ナル騰貴ニ依リ實施困難ト爲リタルニ因ル而シテ交換渡地ニ屬スル野積地及倉庫地ハ明治四十年以來關東督都府ニ管理ヲ委託シ有時ノ際使用ニ支障ヲ生セザラシムル制限ヲ付シ民間ニ貸下ヲ許シ來レルモノニシテ八年四月ニハ合計十一萬二千九百七十四坪ニ達シ未貸付地ハ比較的便利ナラサル地區ニ限ルノ狀ト爲リ且此等ノ貸下ハ孰モ長期契約ニシテ倉庫地ノ如キハ殆ト地上權ノ設定ニ似タル委ト爲レリ然ルニ七年乃至九年初頭ニ在リテハ同市ノ急劇ナル發展ニ伴ヒ企業熱ノ昂騰ト住宅難トハ市街地ノ地價ヲ著シク騰貴セシメタルモ此等ハ畢竟一時ノ變態ニ過キサルノミナラス本件軍用地ハ前記ノ如ク既ニ長期貸付中ノモノ多ク市況ニ伴ヒ急劇ニ地代ヲ増徴シ又ハ競賣ニ付スルカ如キハ實行困難ノ事ニ屬スルヲ願慮スルノ要アルヲ以テ本件評價ハ不當ニ非ス

ト謂フニ在リ然レトモ本件ハ重要ナル各種設備ノ存廢ヲ目的トスルモノナルヲ以テ之カ施行ハ豫算上適當ナル方法ヲ以テ之カ計畫ヲ爲スヘキモノナルニ官有物交換ノ手段ニ依リ其目的ヲ達セムトスルハ收支混同ノ結果ヲ來スモノニシテ不當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス當局者ハ關東州ニ於ケル官有財産ノ管理ニ關シテハ官有財産管理規則ノ適用ナキモノト解スルカ如シト雖同規則ハ政府ニ屬スル財産ノ管理方法ヲ定メタルモノナルヲ以テ其管理者ハ管理財産ノ所在如何ヲ問ハス特別ノ規定ナキ限リ總テ同規則ニ從ヒ處理スヘキモノナルハ當然ノ事理ニシテ同規則第十一條ニ依レハ官有財産ヲ以テ他人ノ所有物ト交換スルコトヲ得ルハ同一種類ノ財産タルヲ要シ且營造物家屋等ハ之カ交換ヲ禁シタルモノナルニ本件交換ニ於テハ土地ノ外建造物ヲ包含スルノミナラス會社ヲシテ線路路盤構築及軌條ノ準備ヲ爲スノ債務ヲ負擔セシメ之ヲ交換受入ノ目的物ト爲シタルハ違法ノ措置ト認メサルヲ得ス而シテ本件交換渡物件中主要部分ヲ占ムル土地ニ就キ其評價ヲ觀ルニ前契約ハ六年九月ノ調査ニ基ケルモノナルヲ以テ約二箇年ヲ經過シタル契約當時ノ情勢ニ適セサルハ論ヲ俟タサル所ニシテ引渡土地中四萬三千五百五十二坪餘ノ道路敷ヲ除外シテ計算スルモ平均一坪七圓九拾參錢ニ過キス當局者ハ前契約ニ於ケル評價ハ大連市ノ急速ナル發展ノ爲現況ニ適セサルモノアルニ至レルヲ以テ會社ノ提案ヲ是認シ契約ヲ改訂シ建築工費ノ限度

ヲ増加シタリト謂フト雖改訂契約ニ於ケル引渡土地ハ道路敷四萬二千六百三十坪餘ヲ除外スルモ平均一坪貳拾壹圓餘ニ過キスシテ大連阜頭前面一帶ノ地域ヲ包有シ商工業地トシテ最重要ナル地點ヲ占ムル本件土地ノ評價トシテハ低廉ニ失スルモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ官有財産ノ交換ニ當リ官有財産管理規則ニ違背シタルノミナラス土地ノ評價低廉ニ失シ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件土地建物ノ處分ニ關シテハ内地ト事情ヲ異ニスル關東州ニ在リテハ特別ノ規定ナキ限リハ臺灣朝鮮ノ如キ別ニ當該地方ニ適用スヘキ官有財産管理規則ヲ特定セラレアルニ見テモ必スシモ官有財産管理規則ニ依據スルノ要ナキモノト認メ實際ノ必要上最モ有利ナル方法トシテ之ヲ實施シタルモノトス又價格ニ就テモ本件ノ如キ特別處分ニ對シテハ普通賣買ノ例ヲ以テ律シ難キモノアリト雖然カモ本土土地ノ評價ハ附近土地ノ賣買實例ヲ參酌シ實際ニ適應スル如ク最モ慎重ナル調査ヲ遂ケテ之ヲ決定シタルモノニシテ毫モ低廉ニ失スルモノト認メス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○官有財産管理規則(明治二十三年十一月二十五日)

第三條 官有財産ノ賣拂、讓與、交換及貸付ハ特別ノ規定アルモノヲ除外シテ此ノ規則ニ依ルヘシ

第十一條 第一項及第三項 官有財産ヲ以テ他人ノ所有物ト交換スルコトヲ得ルハ同一種類ノ財産ニシテ少クトモ評定價格相均

キモノニ限ル

營造物、家屋、船舶及其ノ附屬物ハ他人ノ所有物ト交換スルコトヲ得ス

【報告】

(一一四) 逓信省所管郵便局ニ於テ其所屬職員中印紙切手類ヲ橫領セルモノ少カラス今本年度ニ於ケル重ナルモノヲ擧ク

兵庫縣寶塚郵便局長津下某ハ各種ノ營利事業資金ニ不足ヲ告クルノ結果收入印紙ノ融通ヲ受ケテ之ヲ賣却シ以テ資金ニ充テムコトヲ企圖シ神戸郵便局庶務係印紙切手類出納取扱主任通信書記補井上某外一名ト共謀シ大正七年十二月ヨリ十年二月ニ至ル間ニ於テ神戸郵便局在庫收入印紙中ヨリ成規ノ手續ヲ經ス擅ニ交付ヲ爲サシメタルモノ額面六拾萬圓ニ及ヒ尙神戸郵便局長ノ名ヲ以テ虚偽ノ請求書ヲ發行スル等ノ手段ニ依リ本省經理局ヨリ交付ヲ受ケ成規ノ手續ヲ經スシテ別途ニ保管シタルモノ額面六百八拾九萬參千圓ノ巨額ニ達セリ而シテ右橫領總額七百四拾九萬參千圓ノ内七年度ニ於テ横

領シタル四拾萬圓ハ年度末ニ於テ一旦之カ補填ヲ爲シ其罪跡ヲ蔽ヒ爾後數十回ニ涉リ其犯行ヲ繼續シ罪跡隱蔽ノ爲屢次補填ヲ爲シタルコトアリト雖結局本年度末ニ於テ計算證明上不符合ヲ來シタル橫領額七拾萬圓ニ達シ九年度分ヲ通算スルトキハ貳百參拾四萬參千圓ノ巨額ニ上レリ

福岡縣八幡郵便局ニ於テ同局通信書記水町某ハ庶務係通信書記田中某ト共謀シ大正八年八月頃ヨリ數十回ニ涉リ收入印紙賣下代金四千四百餘圓ヲ橫領シ其犯跡ヲ蔽ハムカ爲八年十二月ヨリ九年五月ニ至ル間ニ於テ本省經理局及熊本逓信局ニ對シ虚偽ノ請求書ヲ發シ收入印紙類額面貳萬五千五百圓ヲ送付セシメテ之ヲ橫領セリ

京都府七條郵便局ニ於テ大正八年十一月中同局印紙切手類取扱主任通信事務員小谷某ハ擅ニ同局長ノ職印ヲ押捺シテ京都郵便局長ニ對スル收入印紙請求書ヲ偽造發送シ額面壹萬圓ノ收入印紙ヲ送付セシメ之ヲ橫領セリ

東京府東京中央郵便局ニ於テ同局庶務係印紙切手類出納主任通信書記補松岡某ハ大正七年七月ヨリ十年四月ニ至ル間ニ於テ現金取扱時限後請求シ來リタル印紙切手類ノ賣下代金ヲ便宜上預リ置キ擅ニ現品ヲ交付シテ之カ代金ヲ橫領シ又窓口ニ於ケル印紙切手類賣捌主任ト共謀シ所定ノ手續ニ依ラス定數外臨時窓口ニ交付シタル印紙切手類ノ代金ヲ直接自己ニ交付セシメ之ヲ橫領シタル總額收入印紙額面參萬四千參百圓郵便切手額面貳萬六千圓合計六萬參百圓ニ達セリ

右ハ孰モ印紙切手類ノ保管出納ニ對シ監督上周到ノ注意ヲ缺キタルニ因ルモノニシテ神戸郵便局ニ於テ八年度及東京中央郵便局ニ於テ七、八兩年度末ヲ以テ本院ニ證明シタル印紙切手類ノ出納計算書ニ對シテハ當該局長ニ於テ下檢査書ヲ調製シ物品出納簿ト現品トノ符合ヲ保證シ提出ヲ爲シタルカ如キ其實之カ調査ヲ爲ササリシモノニシテ畢竟其責任ヲ盡ササリシト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ印紙切手類ノ出納保管ニ關シ監督宜シキヲ得ス國庫ニ多大ノ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件印紙切手類ニ關スル事故ノ發生ハ甚遺憾トスル所ナリ就テハ爾來一層之カ取扱者ノ人選ヲ慎重ニ爲スト共ニ嚴密ナル監督ヲ勵行シ以テ是等事故ノ絶滅ヲ期圖シ居レリ

但本件犯人ハ執レモ刑事訴追ヲ受ケ神戸及東京中央郵便局關係犯人ハ第一審判決ヲ不服トシテ目下控訴中、八幡及七條兩郵便局關係犯人ハ服罪セリ又損害ニ對スル賠償ニシテ既ニ回收ヲ了シタルモノハ神戸郵便局關係ノ分四拾參萬八千九百貳拾圓拾八錢(債權受額九萬圓ヲ含ム)八幡郵便局關係ノ分壹萬八千六百圓(發覺前犯人自ラ補填シタル額六千五百圓ヲ含ム)七條郵便局關係ノ分八千參百貳拾參圓五拾錢東京中央郵便局關係ノ分五萬參千圓(債權受額壹萬圓ヲ含ム)ニシテ其ノ他ハ引續キ回收ノ手續中ニ係リ又監督ノ任ニアル官吏ニ對シテハ夫々相當處分ノ手續進行中ナリ

【貴決】 措置不當ナリ

【衆決】 不當

既 往 年 度

既往年度

目次

豫算及法律勅令違背ノ事項 五八一頁

大正六年度 五八一

一般會計 五八二

 歳入 五八二

 大正七年度 五八二

 一般會計 五八三

 歳入 五八三

 歳出 五八三

 海軍省所管 五八九

 農商務省所管 五九一

既 往 年 度

豫算及法律勅令違背ノ事項

既往年度歳入ノ賦課徴収ニ於テ

租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ十五件

監督上ノ注意周到ヲ缺キ多額ノ税金ヲ遁脱セシメタルモノ三件

租税ノ徴收過ニ屬スルモノ一件

名ヲ公共ノ利益ニ藉リ低價ヲ以テ土地ノ拂下ヲ爲シタルモノ二件

課税標準ノ決定其宜シキヲ得サルモノ二件

合計二十三件

同歳出ノ使用ニ於テ

豫算ノ剩餘アルニ乘シ不急ノ物品ヲ購入シタルモノ二件

虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ二件

其他不當ナルモノ一件

合計五件

ナリ

大 正 六 年 度

歳入

租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ一件(一一五)

既往年度

五三、五六八^円三九〇

六、六二四^円二三〇

五、二四五^円八〇〇

九七、〇二三^円一四〇

一五五、五七二^円五〇〇

三一八、〇三四^円〇六〇

四七〇、九七五^円五七九

五二五^円〇〇〇

三、三九八^円三四九

四七四、八九八^円九二八

一、四二二^円九〇〇

五八一

既往大正六年度 歳入 (一一五)

五八二

一 歳入會計

歳入經常部

第一款 租 稅 第三項 營業稅

【報告】 (一一五) 神戸稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ山下汽船合名會社ノ仲立業報償金額ヲ決定スルニ當リ未收入金五萬千參百七拾八圓ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ
右ハ取扱ノ過誤ニ依リ徵收上不足ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ會社解散シタルヲ以テ更正ノ途ナシ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

大正七年度

歳入

監督上ノ注意周到ヲ缺キ多額ノ税金ヲ遁脱セシメタルモノ三件(一一六)

租稅ノ徵收不足ニ屬スルモノ十四件(一一七)(一一八)(一二二)

租稅ノ徵收過ニ屬スルモノ一件(一一七)

名ヲ公共ノ利益ニ藉リ低價ヲ以テ土地ノ拂下ヲ爲シタルモノ二件(一一九)

課稅標準ノ決定其宜シキヲ得サルモノ二件(一二〇)(一二一)

合計二十二件

歳出

豫算ノ剩餘アルニ乘シ不急ノ物品ヲ購入シタルモノ二件(一二三)

虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ二件(一二四)

其他不當ナルモノ一件(一二五)

六、六二四^四二三〇
五二、一五五^四四九〇
五、二四五^四八〇〇
九七、〇三三^四一四〇
一五五、五七二^四五〇〇
三一六、六二一^四一六〇
四七〇、九七五^四五七九
五二五、〇〇〇
三三九、八三三^四四九

合計五件

四七四、八九八^四九二八

一 歳入會計

歳入經常部

第一款 租 稅 第二項 所得稅

【報告】 (一二六) 本項ニ於テ既橋稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

四、一四三^四三八〇

第三項營業稅ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

三三三、〇〇〇

歳入臨時部第十三款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

二、四四七^四八五〇

アリ右ハ同稅務署在勤稅務署屬渡邊某外三名カ直稅事務擔任申請託ヲ容レ或ハ單獨ニ或ハ共謀シ所得額營業稅課稅標準額
及利得額ヲ輕減シ又ハ納稅資格ナキモノノ如ク裝ヒ若ハ減損ノ事實ヲ虚構遁脱セシメタル稅額七千百拾貳圓六拾參錢ノ内
ニシテ四百八拾八圓四拾錢ハ大正八年度ニ屬スルモノナリ右ハ畢竟監督上ノ不注意ニ基因スルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ大正八年度又ハ九年度ニ於テ更正濟

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】 (一二七) 本項ニ於テ西宮稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

七、五八八^四八三〇

歳入臨時部第十三款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

六、五八八^四六〇〇

アリ右ハ兵庫縣武庫郡精道村賀田某ノ所得額及利得額ヲ決定スルニ當リ貸金利子所得額四萬參千貳百四拾參圓ヲ脱漏シタ
ルニ因ルモノナリ

本項ニ於テ品川稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

二、八三〇^四八〇〇

歳入臨時部第十三款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收過ニ屬スルモノ

五、二四五^四八〇〇

既往大正七年度 歳入 (一二六)(一二七)

五八三

アリ右ハ大日本麥酒株式會社ノ所得額及利得額ヲ決定スルニ當リ諸損失補填積立金參萬七千七百四拾參圓六拾七錢ヲ所得額ニ加算セサルト利得ノ基本タル資本金額計算上該積立金及其他ノ準備金等ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ
 本項ニ於テ西稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ
 二、六四五、一六〇
 歳入臨時部第十三款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ
 二、五一四、四五〇
 アリ右ハ大阪市西區吉村某ノ所得額及利得額ヲ決定スルニ當リ貸金利子所得額壹萬九千四百八拾圓ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ
 二、二一九、三五〇
 本項ニ於テ東稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ
 一、五八六、五五〇
 歳入臨時部第十三款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ
 一、〇二五、一一〇
 アリ右ハ大阪市東區木村某ノ貸金利子所得額貳萬千五百拾五圓ニ對シ課稅ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ
 六、二六、五五〇
 本項ニ於テ淀橋稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ
 六、二六、五五〇
 歳入臨時部第十三款戰時利得稅第一項戰時利得稅ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ
 六、二六、五五〇
 アリ右ハ東京府豊多摩郡代々幡町佐藤某ノ所有汽船其他ノ所得額壹萬貳千貳百壹圓ニ對シ課稅ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ
 六、二六、五五〇

右ハ孰モ取扱ノ過誤ニ依リ徵收上過不足ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス
 會計検査院検査報告ノ通
 但シ大正九年度ニ於テ更正済
 【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 不當

第三項 營業稅

【報告】 (一一八) 神戸稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

六、六五、〇三〇

アリ右ハ運送業神戸棧橋株式會社ノ資本金額ヲ決定スルニ當リ増資ニ伴フ新株式ニ對スル額面超過金月末現在平均額百參拾參萬貳百六圓ヲ加算セサルニ因ルモノナリ
 東稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
 三、六二八、八二〇
 アリ右ハ朝鮮銀行大阪支店ノ銀行業資本金額ハ資産金額ニ基キ按分シ百貳拾萬六千四百五圓ト決定スヘキモノナルニ申告額四拾萬圓ヲ是認シタルニ因ルモノナリ
 同署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
 三、三六、一一三〇
 アリ右ハ株式會社臺灣銀行大阪支店ノ銀行業資本金額ハ資産金額ニ基キ按分シ百拾四萬六千九百四拾圓ト決定スヘキモノナルニ申告額四拾萬圓ヲ是認シタルニ因ルモノナリ
 右ハ孰モ取扱ノ過誤ニ依リ徵收上不足ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通
 但シ大正九年度ニ於テ更正済
 【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

歳入臨時部

第一款 官有物拂下代 第二項 地所拂下代

【報告】 (一一九) 北海道廳上川河西兩支廳ノ徵收ニ係ル
 九七、〇二三、一四〇
 ハ北海道旭川區ニ拂下ケタル同區所在土地三萬三千三百十六坪及帶廣町ニ拂下ケタル同町所在地八千九百一坪ノ代價ニシテ孰モ元司法省用地ニ屬シ官有地特別處分規則第一條第一號ヲ適用シ隨意契約ニ依リ拂下ヲ爲シタルモノナリ右ノ内旭川區ニ拂下ケタルモノハ當初同區ト司法省當局者トノ間ニ於テ其總坪數四萬八百餘坪ニ對シ價格ヲ七萬圓ト協定シ商工學校及病院建設ノ爲必要アリトノ事由ヲ以テ特賣ヲ出願シタルニ對シ北海道廳ニ於テハ堤防敷地用ヲ除キ前掲三萬三千三百餘

既往大正七年度 歳入 (一一九)

坪ヲ價格六萬七千貳拾參圓拾四錢ト評定シ大正七年十月之カ拂下ヲ爲シタルモノナリ然ルニ右土地ハ同區ニ於テ七年十二月以降逐次其大部分ヲ他ニ賃貸シ料金年額壹萬四千五百餘圓ニ上リ病院敷地用トシテ拂下ヲ受ケタルモノノ如キハ十箇年ノ期限ヲ以テ賃貸セルノ狀況ニシテ豫定ノ事業ニ著手スルノ形跡ナシ右ニ對シ當該官吏說明ノ要旨ハ右ハ物價勞銀騰貴ノ爲未タ區ニ於テ著手スルニ至ラサルモノニシテ區財政ノ狀況ヨリ推察シ商工學校ハ大正十八年病院ハ二十五年頃ニ建設シ得ヘキ見込ナルモ經濟界ノ狀況等ニ依リ尙多少ノ遅延ヲ免レサルヘシト謂フニ在リ然レトモ本件土地ハ同區ニ於テ拂受後直ニ之ヲ賃貸シ又北海道廳長官ヨリ内務大臣ニ對スル稟申書類中同區ニ於テ之ヲ普通基本財産トシテ管理スルノ意思ナルモ斯クテハ特賣ニ依リ拂下ヲ受クル能ハス云云ノ記載アルニ由テ之ヲ觀ルモ當初ヨリ事業ノ計畫ハ單ニ拂下ヲ受クル名義ニ過キサルコト明ナルニ拘ラス之カ拂下ヲ許容スルカ如キハ法規ヲ無視シタルノ措置ニシテ不當ノ甚シキモノト謂ハサルヲ得ス假ニ前記ノ答辯ヲ事實ナリトスルモ今後十數年ヲ經過スルニ非サレハ其事業ニ著手スルコトヲ得サルカ如キ未定ノ計畫ニ對シテハ公共ノ利益ヲ理由トシ之カ拂下ヲ爲スヘキモノニ非ス加之其價格ハ四年中ノ見積ニ依リ爾後何等ノ變化ナシトシ之カ拂下ヲ爲シタルモノナリト雖當時經濟界ノ發展ニ伴ヒ一般地價ノ騰貴セルハ爭フヘカラサルノ事實ニシテ前記賃貸料ノ收入額ニ徵スルモ拂下代價ノ低廉ニ失スルコト明ナリ又帶廣町ニ拂下ケタルモノハ徒弟實業學校、圖書館及物産陳列館ヲ設置スルヲ名トシ七年八月前掲八千九百餘坪ノ特賣ヲ出願セルニ對シ北海道廳ハ之ヲ參萬圓ト評定シ同年十二月之カ拂下ヲ爲シタルモノナルニ八年一、二月ニ於テ町會ノ決議ヲ經右地積ノ内道路敷等ヲ除キタル全部五千三百餘坪ヲ拾四萬四千餘圓ヲ以テ他ニ轉賣セリ右ニ關シ當該官吏ハ町ニ於テ計畫セル事業ハ町民ノ寄附ニ俟ツノ計畫ナリシモ實行上困難ノ事情アリ且該地ハ停車場ト石狩街道並河東郡音更村ニ通スル要路ノ中央ニ位シ之ヲ店舖用ニ利用セムトスル町民ノ要望ニ依リ他ニ轉賣スルニ至リシモノニシテ其轉賣價格ノ特賣價格ニ比シ高價ナルハ當時農村ノ好況ナリシト新ニ製糖會社ノ設立アリシ等ニ因ルモノナリト説明スルモ本件拂下ト轉賣ニ關スル町會ノ決議トノ間僅ニ一箇月餘ニ過キサルヲ以テ新ニ寄附ヲ受クルニ困難ナル事情發生シタルモノト認メ難ク且右町會ノ議案中基本財産造成ノ目的ヲ以テ特賣ヲ受ケタル土地

ヲ賣却スル旨記載アルニ徵シ當初ヨリ町ニ於テ此ノ如キ事業ノ計畫ナカリシコト明ニシテ名ヲ公共ノ利益ニ藉リ之カ拂下ヲ爲シタルモノト認メサルヲ得ス假ニ特賣ノ際當局者ニ於テ其事實ヲ窺知スルヲ得サリシトスルモ之カ實行ヲ確保スル爲現ニ府縣ニ於テ契約スルカ如ク其目的ニ使用セサル場合ハ違約金ヲ徵シ若ハ拂下處分ヲ取消シ既納ノ代金ヲ還付セサル等相當ノ條件ヲ附スルヲ當然トス然ルニ之ニ關シ何等ノ詮議ヲ爲サズ漫然拂下ヲ爲スカ如キハ甚シキ失當ノ措置ナルノミナラス其價格ニ關シテモ特賣ト轉賣トノ間約二箇月ヲ隔ツルニ過キサルヲ以テ其間此ノ如ク騰貴シタリトノ答辯ハ事實ト認メ難ク之ヲ河西稅務署ノ附近地調査價格一坪參拾圓乃至四拾圓ナルニ徵シ拂下價格ハ甚シク低廉ニ失スルモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ名ヲ公共ノ利益ニ藉リ且甚シキ低價ヲ以テ土地ノ拂下ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件ハ旭川區及帶廣町ノ特賣出願ニ對シ其ノ目的公共ノ利益ニ存スルモノト認メ官有地特別處分規則ニ據リ拂下ヲ許可シタルモノニシテ其ノ處分ハ不當ニ非スト雖拂下後ニ於テ拂下出願當初ノ計畫ヲ實行セス殊ニ帶廣町拂下地ノ如キハ全ク出願當初ノ目的ニ反スルノ結果ヲ示スニ至リタルハ假令地方財政ノ都合上困難ノ事情アリタルニ因ルトスルモ拂下地ノ得喪管理及其ノ利用等ニ關シ行政上ノ監督ニ缺クル所アリタルヲ遺憾トス尙當事者ニ對シテハ特ニ將來ヲ注意セリ

【貴決】 措置穩當ヲ闕ク
 【衆決】 承認
 (參照) ○官有地特別處分規則(明治二十三年七月二十二日勅令第三百三十五號)

第一條 内務大臣ハ左ノ場合ニ限り官有地ヲ競争ニ付セス隨意ノ契約ヲ以テ賃貸又ハ賣渡スコトヲ得
 一 直接公用ニ供スル爲又ハ公共ノ利益トナル事業ノ爲府縣都市町村及公共組合又ハ其他ノ起業者ニ官有地ヲ賃貸又ハ賣渡スコトキ

第十三款 戰時利得稅 第一項 戰時利得稅

【報告】

(1110) 佐世保稅務署ノ徵收ニ係ル

一五四、五〇〇、〇〇〇

ハ佐世保市橋本某所有汽船賣却ニ依ル利得額百九拾五萬貳千圓ニ對スル稅額貳拾九萬貳千八百圓ノ内ニシテ拾參萬八千參百圓ハ後年度ニ屬スルモノナリ右ハ當初利得額貳百六萬圓ト決定シタルモノナルニ爾後之ヲ前掲百九拾五萬餘圓ニ變更シ

タルモノニシテ其計算ノ基礎ヲ觀ルニ賣却益貳百四拾四萬圓ニ對シ二割ノ斟酌ヲ加ヘタルノミナラス賣却手數料貳拾萬圓中帝國汽船株式會社ニ支拂ヒタル拾萬圓ノ外ハ之カ受領者判明セサルノ狀況ナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院ハ船舶賣却益貳百四拾四萬圓ニ對シ二割ノ斟酌ヲ加ヘタルコト及賣却ニ關スル經費中ノ手數料貳拾萬圓ノ中拾萬圓ハ之カ受領者等判明セサルカ故ニ不當ナリト言フト雖利得金額計算ノ基礎タル賣却代金、製造費、設備費及賣却ニ關スル必要ノ經費等ハ本人ノ帳簿ヲ閱覽スルニ非サレハ其ノ真相ヲ知り難キニ付帳簿ノ開示ヲ求メタルモノ之ニ應セサル爲遺憾ナカラ其ノ真相ヲ捕捉シ得サリシニ付已ムヲ得ス納税者ノ申立ニ係ル賣却益貳百四拾四萬圓(計算内譯ヲ示サス)ヲ基礎トシ之ヨリ二割ヲ減シタル金額ヲ以テ直ニ利得金額ト計算シタルモノニシテ手數料ノ金額ハ利得金額計算ノ基礎ノ一部ヲナササルモノトス故ニ賣却手數料カ拾萬圓ナリヤ貳拾萬圓ナリヤハ本件利得金額ノ算定ニ影響ナキモノナリ又本人申立ニ係ル鞍馬山丸賣却益貳百四拾四萬圓ヲ直ニ利得金額ト爲サスシテ二割ノ斟酌減ヲナシタルハ同人所有ニ係ル彦山丸カ鞍馬山丸賣却ノ年ニ於テ敵艦ノ爲撃沈セラレ多大ノ損害ヲ被リタル事實アリ彦山丸ノ損害ハ直ニ鞍馬山丸ノ利得ト差引クヘキモノニアラスト雖彦山丸ノ撃沈ニ依リテ當人ハ多大ノ損害ヲ受ケ居ルコトハ事實ナルヲ以テ此等ノ事情ヲ酌量シ前記ノ如ク二割ノ斟酌減ヲナシタルモノニシテ必スシモ不當ノ措置ニ非スト認ム

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】

(一一一) 唐津稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

一、〇七二、五〇〇

アリ右ハ佐賀縣松浦郡相知村長尾某ノ鑛山賣却ニ依ル利得額ハ長崎市東某トノ共有ニ係ルモノトシ利得ノ半額ヲ以テ決定ヲ爲シタルモノナルモ長崎稅務署長ノ説明ニ依レハ該鑛區ハ表面上兩人ノ共有ナルモ東某ハ自己ノ債權ヲ保全スルノ必要上單ニ名義ノミノ共同權利者ト爲レルモノニシテ本鑛區賣却ニ依リ何等利益シタルコトナキカ故ニ課稅セストアルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ東某カ縱ヒ債權ヲ保全スルノ目的ニ出テタリトスルモ既ニ共同權利者ト爲リタル以上ハ特殊ノ物件タル鑛業ニ關シテハ一切ノ權利義務ヲ共有スルモノト爲ササルヘカラス而シテ持分均一ナルコトノ推定ヲ否認スヘキ證左ナカリシヲ以テ半額ノ課稅ヲ爲シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ本件ハ長崎稅務署長ノ説明ノ如ク東某ハ債權保全ノ爲名義上ノ共同權利者タルニ過キスシテ本鑛區賣却ニ依リ何等利得シタルモノニ非サルコト大正六年九月作成ニ係ル公正證書ニ徵シ明ナルヲ以テ事實上ノ權利者タル長尾某ニ對シ利得額全額ニ基キ之カ課稅ヲ爲スヘ

【辨明】

キモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【衆決】 不當

【報告】

會計検査院検査報告ノ通

但シ大正十年度ニ於テ更正済

【衆決】 不當

【報告】

(一一二) 平戶稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

八、三四六、三〇〇

アリ右ハ長崎縣松浦郡佐々村濱野某ノ鑛業權及設備賣却ニ依ル利得額ハ拾五萬五千六百四拾貳圓ト計算スヘキモノナルニ賣却代金及控除額ノ計算ヲ誤リ之ヲ拾萬圓ト決定シタルニ因ルモノナリ

淀橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

一、二四六、五七〇

アリ右ハ東京府豐多摩郡代々幡町柴崎某ノ船舶賣却ニ依ル利得額ヲ決定スルニ當リ利益保險料壹萬六千四百參拾七圓ヲ經費トシテ控除シタルニ因ルモノナリ

右ハ孰モ取扱ノ過誤ニ依リ徵收上不足ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

但シ大正九年度ニ於テ更正済

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

海軍省所管

歳出經常部

第二款 軍事費 第七項 造船造兵及修理費

【報告】

(一一三) 本項ニ於テ海軍省經理局ノ支出ニ係ル

一、〇八九、一五一六

歳出臨時部第二十三款大正三年臨時事件費第一項大正三年臨時事件費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル 四五〇、〇八四、〇六三
ハ英國政府ヨリ讓受ケタル軟鋼板二千七百九十四噸ノ代價及運搬費ノ一部ニシテ外ニ運搬費保險料關稅トシテ大正八年度

既往大正七年度 歳入 (一一二) 海軍省 (一一三)

五八九

大正三年臨時事件費ヨリ五萬六千八百七拾四圓拾六錢特別會計臨時軍事費ヨリ貳萬四千參百貳拾九圓五錢ヲ支出セリ右款銅板ハ八年一月譲受ノ申込ヲ爲シ三月英國ニ於テ受渡ヲ了シタルモノニシテ年度末ニ迫リ多量ノ購入ヲ爲シタル事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ本品ハ一般艦船修理材料トシテ英國政府ノ貯藏品ヲ讓受ケタルモノニシテ直ニ本邦へ輸送シ當該年度内所定ノ工事ニ充ツル目的ナリシニ依リ本費ヲ以テ支辨シタルモノナルモ船腹缺乏ノ爲翌年度ニ到達シタルニ依リ當該工事ハ自然繰越ノ已ムナキニ至レリト謂フニ在リ然レトモ本件銅板ハ八年四月乃至八月ノ間ニ横須賀工廠へ千七百九十四噸佐世保工廠へ千噸ヲ配給シ十年六月迄ノ狀況ハ横須賀工廠ニ在リテハ九年十一月受入ノ手續ヲ了シ工事用四十四噸餘吳外二工廠へ保管轉換拂三百五十八噸餘佐世保工廠ニ在リテハ九年十一月受入ノ手續ヲ了シ工事用二十二噸餘ノ拂出アルニ過キスシテ年度末ニ迫リ之ヲ購入スルノ必要ヲ認メ難シ要スルニ本件ハ豫算ノ剩餘アルニ乘シ不急ノ物品ヲ購入シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件ハ一般艦船修理材料トシテ英國政府貯藏品ヲ讓受ケタルモノニシテ其ノ量多キニ過タル嫌アレハ將來注意スヘシ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】

(一二四) 本項ニ於テ佐世保海軍經理部ノ支出ニ係ル

三〇〇〇〇
一二二五〇〇〇

歳出臨時部第七款水陸設備費第一項水陸設備費ニ於テ同部ノ支出ニ係ル
ハ佐世保工廠造機部試驗所新増築竝「ディゼル、エンヂン」試驗用基礎等ノ工事ニ使用シタル職工人夫賃トシテ證明シタルモノナルモ其實經理部建築科技手古川某及技生足立某ノ兩人カ大正八年三月ヨリ同年八月ニ至ル間ニ於テ騙取シタル總額千百圓ノ内ニシテ五百七拾五圓ハ八年度ニ屬スルモノナリ右ハ大正八年度檢査報告ニ詳悉セシ如ク虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス(五一七頁(五〇)參看)

【辨明】

會計檢査院檢査報告ノ通

但シ政府ノ損害ハ辨償セシメ監督ノ任ニ在リタル者ニ對シテハ相當ノ處分ヲ了セリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

農商務省所管

歳出臨時部

第十二款 大正三年臨時事件費 第一項 大正三年臨時事件費

三三三九八三四九

【報告】

(一二五) 農商務省臨時米穀管理部ノ支出ニ係ル

ハ外米指定商合名會社鈴木商店ニ對シ大正七年中朝鮮米取扱手数料トシテ仕拂ヒタル參萬五千貳百九圓五拾九錢ノ内過拂ヲ爲シタル金額ナリ抑本件ハ米價調節ノ爲七年六月同商店ニ朝鮮米二十萬石以内ノ買附及販賣ヲ命シ其取扱手数料ハ石當參拾七錢五厘ト定メ其實買ニ依ル損益ハ政府ノ計算ニ歸屬セシムルコトトシ朝鮮ニ於テ之カ買附ヲ爲シ内地ニ於テ販賣ヲ爲サシメタルモノニシテ其買附原價貳百九拾五萬五千五百五拾壹圓五拾五錢ノ外鈴木商店カ買附人小西某ニ對シ仕拂ヒタル石當貳拾五錢ノ買附手数料及小西某カ仲立人ニ仕拂ヒタル石當五錢乃至拾錢ノ口錢其他廻送費販賣費等ヲ併算シ參百五拾貳萬七千四百七拾參圓五拾參錢ニ對シ之カ收入ハ賣上其他ヲ合シ參百五拾參萬貳千四百八拾壹圓拾八錢ト爲リ差引五千七圓六拾五錢ノ利益ヲ得タルノ計算ナリトシ賣上石數十萬七千餘石ニ對スル取扱手数料四萬貳百拾七圓貳拾參錢トノ差額トシテ前掲參萬五千貳百餘圓ノ仕拂ヲ爲シタルモノナリ九年十月實地ニ就キ關係書類ヲ檢査スルニ右收支ノ計算ニ關シテハ單ニ鈴木商店ヨリ提出シタル計算書類アルニ過キスシテ其内容ニ就テハ何等正當ナルコトヲ確認スヘキ帳簿證據ノ存在セラルモノナク數次ノ推問ニ依リ纔ニ其内譯明細表等ヲ提出スルニ過キス依テ之ヲ精査スルニ其取扱數量中仲繼品トシテ計上シタル二千四百四十五石餘ノ内ニハ小西某ノ所有米千五百五十四石餘ヲ混同包含セシメ且計算ヲ誤リタルカ爲之カ過拂ヲ爲スニ至リタルモノナリ右ハ畢竟調査周到ナラス之カ仕拂ヲ爲シタルニ基因スルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件ハ指定商合名會社鈴木商店ニ命シ時價ヲ以テ買附指定價格ニ依リ販賣セシメ其ノ損益ハ政府ノ計算ニ歸屬セシメタルモノナルカ故ニ之カ收支ノ計算ニ關シテハ特ニ同商店ノ帳簿其ノ他證據書類等ニ就キ直接實地監督調査ヲ爲シ之ニ依リ同商店ヲシテ收支計算明細書ヲ作製提出セシメ支拂ヲナシタルモノニシテ計算上過拂アリタルハ甚遺憾トスルトコトナルモ其ノ支拂ハ不當ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

貴族院決議

貴族院ハ逕信省所屬職員兵庫縣寶塚郵便局長津下某、福岡縣八幡郵便局通信書記水町某同田中某、京都府七條郵便局通信事務員小谷某、東京中央郵便局通信書記補松岡某等カ大正七年以降數年ニ互リ收入印紙切手類其ノ額貳百四拾參萬八千八百圓ヲ横領シタルハ政府ノ監督其ノ宜シキヲ得ス官紀弛廢シ國庫ニ多大ノ損害ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリト議決ス

衆議院希望事項

印紙切手類ノ保管出納ニ就テハ從來監督手續上周到ノ注意ヲ缺ケルモノアリト認メラルルニ付將來一層ノ注意アラシムコトヲ望ム

大正九年度歳入歳出決算検査報告

大正九年度歳入歳出決算検査報告

目次

豫算及法律勅令違背ノ事項	五九三
一般會計	五九六
歳入	五九六
歳出	六一三
外務省所管	六一三
内務省所管	六一五
大藏省所管	六一八
陸軍省所管	六一〇
海軍省所管	六二六
司法省所管	六二九
文部省所管	六三一
農商務省所管	六三五
逓信省所管	六三六
特別會計	六四三
大藏省所管	六四三
造幣局	六四三